

集歌 草	尾山篤二郎	三八二頁	紙裝	二・五〇	先著曼珠沙華以降の作中より一千二十三首を 選で収録す。装幀豪華典麗、奔放暢達なる歌 風と相俟つて最近歌壇隨一の好著たり矣。	紅 玉 堂
改現代一萬歌集	松村英一	四五〇頁	布裝	二・三〇	現歌壇の代表的作家の秀歌を廣く集めて一巻 としたもので真に明治大正の萬葉集と言つて よく、作歌者行住の好伴侶たるを失はぬ。	同
朝の螢	齋藤茂吉	一三四頁	上裝	一・五八〇	天才詩人茂吉の歌は全く子規・漱石と共に文 壇の寶玉である。此歌集は現代歌壇の一大權 威。	改 造 社
現代代表自選歌集 海やまのあひだ	釋 迢空	二六六頁	上裝	一・八二〇	尤も幽寂な歌人。此人の歌を誦し居れば身は いつでも深山幽谷にあるの思ひがする。	同
現代代表自選歌集 川のほとり	古泉千樫	一八八頁	上裝	一・八八〇	未だ曾つて歌集を出さざりし氏の處女歌集に 材。併せて全集。左千夫を師として出藍の偉 材。	同
現代代表自選歌集 原の生	前田夕暮	二〇四頁	上裝	一・二〇〇	歌集として見れば此人程意外に立派な歌が集 まる人は又他に少いと思はれる。總てこれ名 玉。	同
現代代表自選歌集 槻の木	窪田空穂	一九三頁	上裝	一・二〇〇	この人の藝道に於ける境地は近時ますます展 けて来た。此一書を讀みて近時に迫れば一段 の味あり。	同
現代代表自選歌集 十年	島木赤彦	一四〇頁	上裝	一・一五〇	彫琢の殿堂に達す。かくの如く藝道に澄透の 境地を有する歌人の自選集出るとは歌壇の喜び 啄木を知るものは哀果を擧げ、哀果を論ずる ものは啄木を引合に出す。近時彼に一轉機あり。	同
現代代表自選歌集 空を仰ぐ	土岐哀果	一九六頁	上裝	一・二〇〇	啄木を知るものは哀果を擧げ、哀果を論ずる ものは啄木を引合に出す。近時彼に一轉機あり。	同
現代代表自選歌集 人間往來	與謝野晶子	一七二頁	上裝	一・一八〇	北原氏と共に歌壇の雄にしてその功勞は枚擧 に遑あらず此人の自選歌集は歌壇の一重鎮だ	同

現代代表自選歌集 野原の郭公	若山牧水	四六六頁	上裝	一・二〇〇	その風格、その和歌共に脱俗して歌道以外の 人々まで氏を仰ぎ見る氏が半生の史的集積。 アララギ新進歌人隨一、天才ありて視野に一 新境地を發見せり茂吉、赤彦と併稱さる。	改 造 社
現代代表自選歌集 松の芽	中村憲吉	一八〇頁	上裝	一・二〇〇	白樺第一の歌人信綱を師としその和歌は師の 發見せざる一別境を行く長閑なる感がある。	同
現代代表自選歌集 立春	木下利玄	一七六頁	上裝	一・二〇〇	利玄氏は本集を最も愛惜し、病篤きを忘れて これが訂正に刻苦せられた。宣なる哉、その 高雅典麗なる歌品は珠玉の光を放つてゐる。	同
集歌 紅玉	木下利玄	三四〇頁	紙裝	二・一五〇	本書は古今和歌集と新古今和歌集の兩者全卷 を網羅して縮刷したる、愛歌者諸士の便を計 りたる最も重寶なる和歌集であります。	同
掌古 新古今集	下村書房	六三〇頁	布裝	一・七〇〇	從來の舊型を破りて思想的傾向を捉へ明快な 著分類的許に綜合的に評論せる近來稀有の好 著也津々たる趣味の裡に兩書の情味溢る。	下 村 書 房
評新 古今と新古今	文學博士 尾上柴舟	三九〇頁	洋裝	二・五〇〇	古今集に簡明で而も要を得た標註を加へてお つて初學者の類句索引は甚だ重寶有益なるもの 添へてある類句索引は甚だ重寶有益なるもの。	弘 道 館
校註 古今和歌集	金子元臣	二二〇頁	布裝	一・三〇〇	古今集は勅撰和歌集の濫觴にして苟も歌學に 志す者は熱讀玩味すべきものなり善きもの少 なきを遺憾とし飯田先生之に釋註を加へらる	明 治 書 院
標註 参考 古今和歌集	飯田永夫	一〇〇頁	菊判和裝	一・〇〇〇	萬葉集から徳川期に及ぶ迄の歌書の中から國 民の凡てに愛誦されてゐる、歌を萃めて類を 分ち語句を註した好著である。	六 合 館
國 民の歌	武笠三	三七八頁	總布	一・二二〇	本書は歌集部、索引部の二部より成る、國文 學上の至寶として學界の珍重措かざる既に定 評ある有名な大著である。(内容見本進呈)	有 朋 堂
國 歌大觀 (正篇)	松下大雄	二二〇頁	總布	一・六三〇	本書は歌集部、索引部の二部より成る、國文 學上の至寶として學界の珍重措かざる既に定 評ある有名な大著である。(内容見本進呈)	紀 元 社

集歌	新	新古今集選釋	新撰歌典	口語集	處女歌集	現代抒情歌選	第一の街
伊藤 恕	佐々木信綱	文學博士 佐々木信綱	飯田 永夫	鹽井 正衛	落合 直文	後藤 史郎	尾山 篤二郎
上二〇頁	一六二頁	一六二頁	一六二頁	一六二頁	一六二頁	一六二頁	一六二頁
一三〇	〇八五	〇八五	〇八五	〇八五	〇八五	〇八五	〇八五
厚生閣	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館

集歌	新	新古今集選釋	新撰歌典	口語集	處女歌集	現代抒情歌選	第一の街
伊藤 恕	佐々木信綱	文學博士 佐々木信綱	飯田 永夫	鹽井 正衛	落合 直文	後藤 史郎	尾山 篤二郎
上二〇頁	一六二頁	一六二頁	一六二頁	一六二頁	一六二頁	一六二頁	一六二頁
一三〇	〇八五	〇八五	〇八五	〇八五	〇八五	〇八五	〇八五
厚生閣	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館

一九九

啄木遺稿	石川啄木	紙半裝 四七〇頁	送價 一・七〇	石川啄木が唯一の遺せる文集なり。社會革命の類を輯む。彼の歌集と俱に讀むべきもの。	紅玉堂
啄木歌集	石川啄木	菊半裝 二七〇頁	送價 一・〇〇	啄木は歌壇第二次の革命兒也。啄木歌集一卷切の束縛より放たれたる現代青年痛苦の聲也。	同
短歌五十講	尾山篤二郎	四〇〇頁	送價 二・三〇	現歌壇の第一線に立ちて雄筆を振ふる著者の第一文集にして評論感想隨筆歌話等を輯む著者の全面目は本書に於て書きたりと云ひ得。	同
短歌作法	前田夕暮	一〇〇頁	送價 〇・五〇	「新らしき歌」の作法を説いて懇切な極め忌憚なき批評に現歌壇諸家の作風を紹介して正しき作歌の大道を示した初學者の最良教本。	松陽堂
短歌新考	牛田貞平	三〇〇頁	送價 二・三〇	新歌壇の中堅作家にして文藝批評家たる著者の第一の感想論文の集なり。著者の歌集野づかきと共に讀まるべきもの。	紅玉堂
短歌隨見	窪田空穂	三九〇頁	送價 二・五〇	現歌壇に第一位の座を占むる著者が該博なる知識と深大なる鑑賞力と俊敏なる洞察力を以てせる唯一の歌論集。作歌者必讀の書。	同
短歌は如何して作るか	小林鶯里	四六〇頁	送價 一・五〇	萬葉時代の質朴勇壯なる、貫之躬恒の華麗優美なる、俊成定家の幽玄なる、徳川の再興、明治の新思想等總て本書が述べ盡してある。	文藝社
改短歌用語辭典	松村英一	紙半裝 三五〇頁	送價 一・八〇	現代の短歌に用ゐられたる語を、新語、古語を問はず集めて、初學者に好適す。その實例を問はず集めて、初學者に好適す。	紅玉堂
短歌立言	太田水穂	四六〇頁	送價 二・二〇	著者が前後六年に亘つて探求して來た短歌の根本に關する立言を集む。愛を強調してゐる所に著者独自の見解がうかがはれる。	岩波書店
全町村歌集	上野他七郎	菊半裝 三三六頁	送價 一・〇〇	郷土の歌が如何に愛郷の念を熾んならしめ自治の善に力あるかは言を俟たない。本書は此意味に於て町村研究の好資料たるものあり。	中央報徳會

口語土の歌	中村孝助	三〇〇頁	送價 〇・七〇	口語歌の中央機關雜誌藝術と自由に連載されたもの、そこには若き一農士のへの愛着と物質文明への呪詛と人類の正義の叫びがある。	紅玉堂
庭燎	植松壽樹	二〇〇頁	送價 〇・三〇	庭燎一卷はこれ若き著者が夢と現實の交錯を歌へるもの、歌品の高雅と表現の精緻とは今更調ふを要せず。秋燈の下、靜かに讀むに適し。	同
訂増日本歌學史	佐佐木信綱	菊半裝 六六二頁	送價 二・四〇	帝國學士院が學界最高の名譽たる恩賜賞を授與せる名著、歌壇唯一の權威たる著者が和歌に關する學問的研究の嚆矢をなせるもの。	博文館
野づかさ	半田貞平	二四〇頁	送價 二・〇〇	長平氏の、第一の歌集にして、永らく絶版たであるもの、再び世に向ふべく刊行したものである。	紅玉堂
人麿と其歌	樋口功	一〇〇頁	送價 〇・八〇	人麿を知る事は萬葉集の核心に徹する事である。人麿の傳記としてその作品の研究として、本書は實に我國文界のプライドである。	有朋堂
百人一首講義	佐佐木信綱	三〇〇頁	送價 〇・六五	古來百人一首の註釋はその數頗る多し、しかもその全部を統一して標準となるべき講義を確立せるものには本書を以つて隨一とす。	博文館
百人一首新釋	新井誠夫	三〇〇頁	送價 〇・〇〇	世人の多くわ取る事を知つて之を味ふ事を知らぬ歌の眞意作者の略歴一讀明瞭作者索引歌句に索引を附し解し易し。	文陽堂
百人一首山彦抄	文學博士 物集高見	二〇〇頁	送價 〇・二〇	此書は博士が子女に其歌の心を云ひ聞かせた其歌の心を語を變へて詠みたるものにて歌は習字の手本にもと書かれたるものなり。	嵩山房
集歌氷魚	島木赤彦	三六〇頁	送價 二・一〇	子規左千夫の傳統を繼承して更に寫生の一道を究極する事廿年深く人生の奥所に參りて沈黙の響を成す者現歌壇中居然として著者あり。	岩波書店
解註平賀元義歌集	羽生永明	六二七頁	送價 三・二〇	著者は二十五年不撓不屈の精神を以て元義を研究されたが其博學を碎て親切な註解を施し終に正細なる元義年譜を附したものである。	古今書院



明治天皇御和歌集	警眼社編輯部	大和綴	袖珍美裝送	〇三〇	一面大詩人に在せし明治天皇の御製三百七十餘種を謹輯せり。徳を治め智を開く聖訓のみならず、正に國文學史上稀觀の珍籍なり。	博 文 館
本居宣長稿本全集	本居清造	興判布裝	九九二頁送	四・五八〇	宣長の著書中未刊の稿本を蒐集上梓せん。其の正に國文學史上稀觀の珍籍なり。	博 文 館
やますげ	松村英一	興判紙裝	三一〇頁送	三・〇五〇	世の雑音を離れて獨り靜かに歌へる著者の心境は、今や渾熟の域に至れり。その質實なる歌風、平明なる歌品は、人間味を傳へて餘す處なし。	紅 玉 堂
御製 明治天皇 御製 謹註 やまと心	文學博士 佐佐木信綱	興判上裝	一七六頁送	一・〇〇六	新らしき日本帝國の建設者におはす明治天皇は、また歌聖として幾多の作品を遺させ給へり。佐佐木博士の謹撰謹註まさに國民の必讀書。	博 文 館
註校 和歌叢書 第二卷	佐佐木・芳賀	菊判布裝	七七八頁送	各三・二一八〇	佐佐木信綱、芳賀矢一兩博士の萬葉集に對して精到なる註解を加へたるもの、學界の至寶なり。第一卷第二卷を萬葉集略解とす。	同
註校 和歌叢書 第三卷	佐佐木・芳賀	菊判布裝	八四六頁送	三・二一八〇	『八代集』上卷とす。	同
註校 和歌叢書 第四卷	佐佐木・芳賀	菊判布裝	七二二頁送	三・二一八〇	『八代集』下卷とす。	同
註校 和歌叢書 第五卷	佐佐木・芳賀	菊判布裝	七二二頁送	三・二一八〇	『三十六人集』とす。	同
註校 和歌叢書 第六卷	佐佐木・芳賀	菊判布裝	六三四頁送	三・二一八〇	『近代名家歌選』とす。	同
註校 和歌叢書 第七卷	佐佐木・芳賀	菊判布裝	六九〇頁送	三・二一八〇	『和歌作法集』とす。	同

俳諧

和歌入門	文學博士 佐佐木信綱	興判布裝	二五二頁送	一・〇四〇	和歌に親しみ作歌に熟せん。欲する初心者に對し、歌人として隨一人が恰も門弟各自に對する如くに指導せる手引草。	博 文 館
和歌百話	文學博士 佐佐木信綱	興判布裝	六二〇頁送	二・〇四〇	或は初學の手引となり、或は和歌の講義となり、或は歌人の傳記逸話を傳へ、或は歌集の解説に及ぶ。話題一百多趣多味の講話なり。	同
和歌名所めぐり	文學博士 佐佐木信綱	袖珍布裝	四三〇頁送	一・〇六〇	我國古今の名所に關する名家の和歌を汽車の沿線、汽船の航路の順次に編纂して説明を加へ、居ながらにして歌の名所を巡り得る。	同
和田巖足と其の家集	彌富破摩雄	興判布裝	四六四頁送	一・一八〇	建國以來の大精神を體認した武士、萬葉傳來の純眞美に立脚した隠れたる歌人、巖足の傳記と歌集で肥後の國學の由來も明かにしてある。	古 今 書 院
新しき俳句入門	閑窓晋宮	興判並裝	二五二頁送	一・〇〇六	著者は多年斯道を研究せしものにして、又一流の宗家である。初めて學ぶ人の爲に最も親切に最も解り易く詳述せし良書である。	文 武 堂
一茶新集	勝峯晋風	興判洋裝	四〇三頁送	二・二八〇	我春集、株番、だん袋、みどり日記、文政八年一茶眞蹟本で覆刻し一茶の新年譜を附す。	古 今 書 院
一茶選集	中村六郎	興判上裝	三八〇頁送	二・一五〇	枯寂の底に溢るゝばかりの人間味を體し、哄笑の衣に血涙を包む吾が俳諧寺一茶の爲人を、知るに恰好の選集。	聚 英 閣
一茶旅日記	俳諧寺一茶	興判布裝	四〇五頁送	二・一九〇	享和四年から文化五年迄一茶放浪の旅の間の句日記で、越後で發見された自筆本を勝峯晋風氏が校訂した物で、藤村露伴の序文も附てある。	古 今 書 院
委題別 一茶俳句集	中田 頁平	興判布裝	四六六頁送	二・〇五〇	一茶の句は現代人に共鳴すべき藝術的魅力を、一分にもつてゐる。本書蒐むる二千字句一茶の秀句佳作は全部網羅して餘す所がない。	紅 玉 堂

一茶俳句新釋	川島つゆ	三〇〇頁	二〇〇	現實生活を最も卒直に詠んだ一茶の句を著者や格調の點まで藝術的特色を明かにしてゐる	紅玉堂
一茶七部集	勝峯晋風	三〇三頁	二〇〇	華集(春甫)木樨集(魚淵)三韓人(一茶)迹祭(魚淵)杖の竹(松宇)おらが春(一茶)種即し(素鏡)流布本の誤を訂し校合を嚴格に努めた	古今書院
一茶發句集	俳諧寺一茶	三五頁	〇八五	最も正確で價値の高い文政二年梓行した一茶發句集を勝峯晋風氏の嚴正な校合により覆刻したもの。猶嘉永年間の増補版を添えてある	同
鶉衣	武笠三	三六頁	二〇〇	讀過の難き所は假名を漢字に代へ又註釋は讀者の便を圖り故事の如きも各條下毎に曲據を説明し俳文好學者として垂誼措かざらじめた	光風館
新奥の細道	三宅邦吉	四〇六頁	〇六四	芭蕉の旅日記を詳密に註釋し正確なる考證を加へて國文學の爲めに模範的の註解を施したものである。各學校の参考書に用ひてゐる	友俳善書堂
おらが春	初山梓月	七〇頁	〇六五	俳人一茶の文政二年に書いた日記を校訂したものである。一茶の生涯は言ふまでもないことであるがこの日記を讀めば更に明瞭なる蕪村の俳句一千九百餘句を收録して然も各句を載する處の原本を明にし、加之、校訂の嚴正と裝幀の瀟灑とを期したる斯道の好伴侶。	同
季題別蕪村俳句全集	半田良平	八〇頁	〇五〇	蕪村の俳句の全面容を窺ふに足る一大句集。一茶一派に偏せず作品本位にて編纂の上、新味あり歳事記例句選もこめて完備す。第二俳句大觀近刊	紅玉堂
現代俳句大觀	素人社	三五〇頁	〇五八	俳壇の全面容を窺ふに足る一大句集。一茶一派に偏せず作品本位にて編纂の上、新味あり歳事記例句選もこめて完備す。第二俳句大觀近刊	素人社
紅葉山人俳句集	瀬川疎山	一四〇頁	〇七四	山人の俳句は一句一句味ひ來れば所謂一の小概に網羅せり俳諧に志あるものは缺く可らず	河内書店
故人春夏秋冬	大須賀乙字	六七〇頁	一八〇	元祿より天明に亘り古來の名句を類題別には能く古句の味を知るのが最捷徑である。	友俳善書堂

最新二萬句	今井柏浦	七〇〇頁	〇三八	『新撰一萬句』に蒐録せられたる以後の發表に成る俳句と、同じ趣意の下に編纂す。	博文館
子規句集	高濱虚子	二五〇頁	一〇〇	明治俳句の大成者子規居士の高弟たる虚子碧梧桐兩氏が慎重なる審議を経て居士の作句一萬句中より撰抜編纂したる名著である。	友俳善書堂
子規句集講義	鳴雪梧桐外子	四〇〇頁	一八〇	子規の俳句の精粹を抜いてこれに精細完全なる解説を加へ俳句の大道を照す燈火たらしめたるのがこの書である。	同
子規の第一歩	河東碧梧桐	三四七頁	四二七	來れ！荷も俳句の研究に力を傾むくるの士は明治文學の一驚異にして千古不磨の偉績也。	俳畫堂
春夏秋冬	正岡子規	四八〇頁	一五〇	子規居士生前に選みたる唯一の句集である。斯界の珍寶であると共に正に元祿の猿蓑と相對して俳諧の定本とも云ひ得らるゝもの。	友俳善書堂
眞蹟おらが春稿本	俳諧寺一茶	茶色紙判	三五〇	一茶の隨筆おらが春の眞蹟を發見して精巧なコロタイプ刷にして複製したものでそれに勝峯晋風氏の論文おらが春通考を添えてある。	古今書院
新撰一萬句	今井柏浦	五〇〇頁	〇八〇	現俳壇の主流をなせるホト、ギス派の俳句を兼集せるもの、同好者座右の味讀に便し、兼て作句の參考に資す。	博文館
俳諧新撰歳事記	今井柏浦	新形布装	二〇〇	連年改訂増補して愈よ完璧を期し、歳事記として定本とするに足る好評を浴びつゝあり	同
奥の細道通解	萩原蘿月	一六〇頁	一六〇	本書は舊酒竹文庫を校訂したもので、錦江の自筆稿本による。我紀行文の白眉奥細道を知らんとする者には實に得がたい珍書である。	紅玉堂
其角俳句新釋	高木讓	一三〇頁	〇二八	「名月や疊の上に松の影」で有名な其角の佳句秀句を促して、各句がもてる風韻、俳味を藝術的に評釋した興味深き新著である。	同

新俳句選集	今井柏浦	四三頁	一〇二〇	最近三ヶ年間に於ける子規系統の全國俳壇の俳句を精選して一萬を算す。幾多類書中に軒然として覇を稱する唯一の俳句集である。	修省堂
晋明集	高井几董	和綴紙裝	一六〇	師蘇村をして其句作の技倆神に近きを感嘆せしめた中興俳諧史の主腦者夜半亭几董の自選句帖であつて勝峯氏の解説を附して公にした。	古今書院
漱石俳句研究	寺田小宮根	四〇〇頁	二二〇	先生の生前最も深交ありし三氏が、その句の起し先生の機境更に先生の生活等を一々思ひ生れる動機還境更に先生の生活等を一々思ひ起し先生の機境更に先生の生活等を一々思ひ	岩波書店
漱石俳句集	夏目漱石	小型布裝	一三〇	漱石先生は俳人としては最も特色ある一大家として常に俳壇に重きを成せり。本書輯むる所句數二千餘句之を季題年代に排列す。	同
續晋明集	高井几董	和綴紙裝	一六〇	續篇には井華集に採録しない句々もあまた見えて後半には優麗な雅文でよく洗練されたその句作に照應するやうな行文を収めてゐる。	古今書院
續芭蕉俳句研究	幸田沼波阿部 安倍勝峰太田 小宮和辻	四六頁	二八〇	芭蕉の四季發句百廿章に就て句評を試みた芭蕉研究會第二年度の收穫。芭蕉研究中恐らく萬人を裨益する最大なる者と言へよう。	岩波書店
大正一萬句	今井柏浦	四二八頁	二〇〇	ホト、ギス派の俳句を中心とし、全國俳人の名句を涉獵して類別せるもの、作句座右の參考にして且つ大正名句集の觀となす。	博文館
大正新一萬句	今井柏浦	四三〇頁	二〇〇	子規系統に屬する全國俳人の句作を苦心蒐錄せるものより更に一萬餘を撰擇して各部門に分類載す、俳人の座右必備の一書とす。	同
大正新俳句	今井柏浦	四六〇頁	二〇〇	『大正一萬句』に連續して、同様の趣意に分類編纂せられたる句集。	同
新俳諧歳事記	今井柏浦	四七頁	一〇〇	俳壇稀有の評判となつたもので、體裁も内容も完美整齊、携帶に便利であり、定價も極めて易い、天下百萬の俳人には是非お薦めします。	修省堂

俳諧叢書第一卷	巖谷小波	六〇二頁	三〇〇	俳諧註釋集上卷とす、芭蕉發句諸抄大成、七部集大鑑、七部婆心錄を収め俳聖芭蕉に親炙する唯一の完書である。	博文館
俳諧叢書第二卷	巖谷小波	七九頁	一〇〇	俳諧註釋集下卷とす、晋子發句提解、俳諧のみな草、嵐雪發句撮解、註解實峰集、俳諧十論發蒙、俳諧古今抄其他の諸篇を収む。	同
俳諧大要	正岡子規	八〇〇頁	一八〇	俳句の作法に通曉せんとするもの能く俳句を解し俳句上の見識を立てんと志すものはこの書を讀み俳句の綱要を知る必要がある。	友俳善書堂
俳諧手帳	俳書堂	紙半帳	〇三〇	俳書堂の創案になる俳句を書きこめるに便利なるやうに作られた手帳である季題用語の參考となるべきものを巻末につけてある。	同
俳諧文庫	小林鶯里	美裝	〇五〇	古今の俳書を順次翻刻編著し、温古知新の主眼により斯界に便益を與へんとするもの芭蕉以前、芭蕉時代より天明、明治、大正に至る旅行家にして俳趣味に富む著者が、遠く宗因芭蕉より近く子規紅葉に至る俳壇數百家の全國名所を巡つて吐ける名句實地を説く。	博文館
俳諧名所めぐり	坪谷水哉	袖珍上裝	一〇六	春夏秋冬新年の五部に亘り天文時候人事宗教の地理動植物の季題一切を網羅してある。作句の場合にはなくして叶はぬものである。	友俳善書堂
俳句季寄せ	俳書堂	紙珍裝	〇三〇	十七字の短い藝術に哀切の抒情幽遠の叙景を描く眞の俳句は一時の即興句作に産れるものではない即ち俳三昧に入るの詩境を説いて切實	松陽堂
俳句とばどんなものか	高濱虛子	一〇九頁	〇八〇	全く俳句を知らざる人も一讀直ちに俳句の眞趣を解し、無限の感興を十七文字に現はすを得べく、既に知れる人は更に啓發せらる。	日實本業社
俳句のしき味ひ方	萩原井泉水	洋裝入送	一〇九	芭蕉蘇村の句より新傾向に至る迄の一貫したるリズムを説き難解の句章を解き句作のコツを説きて俳句の眞義を極めし近來の名著なり	交關社

俳句の作りかた	中内蝶二	四〇頁	洋装	一・六〇	温健にして忠勇に、しかも初學者の爲に最もわかり易く説かれたものは本書である。作品の説明と其作句上に於ける注意等千金の價値。	日本書院
俳句の作り方	沼波瓊音	二〇頁	菊半特装	〇・七〇	俳句とは何ぞやに答へ俳句に最も重要な季題を説くこと共七十餘の實例をあげて作法を平易に詳説した著者は斯道の大家である。	新潮社
俳句の作りやう	高濱虚子	一八頁	菊並装	〇・八〇	今まで俳句を作れる人は勿論、これから俳句の味は必ず本書を一讀するの要がある。	日實業社
俳句名所めぐり	小林鶯里	一八頁	菊半装	〇・二〇	到るに必す本書を一讀するの要がある。	文藝社
芭蕉一葉集	勝峰晋風	六〇頁	菊布装	三・九〇	今日以前の芭蕉研究は悉くこゝに發す。内容は發句の部に別る。忠實なる校訂を經たり評語の部に別る。忠實なる校訂を經たり。	紅玉堂
芭蕉研究	樋口功	二五〇頁	菊布装	二・二〇	著者、芭蕉研究を出して學界を驚嘆せしめ流の評釋を試みらる。	文獻書院
芭蕉書簡集	樋口功	四〇頁	菊布装	四・二〇	従來の芭蕉研究書の放漫杜撰なるは何人も概頭くること多年漸くにして此の大書を成す。	同
芭蕉全集	吉木燦郎	三四〇頁	菊布装	二・〇〇	芭蕉の書簡を集め三百二十二通に涉つて校訂に依つて芭蕉の人格を知る必要がある。	友善書堂
芭蕉俳句研究	沼波、太田、阿部、安倍、小宮、和辻、幸田	四八〇頁	菊布装	二・五〇	芭蕉の藝術の價値が個々の人の主觀的印象以上の者であることを示すことによつて力強く此價値の核心に襲迫してゐる。	岩波書店

芭蕉俳句新釋	半田良平	四〇〇頁	菊布装	三・五〇	俳聖芭蕉の佳句秀句三百餘を抄出し語義大意を詳釋した上その藝術的價値を縦横に評價した。好著芭蕉俳句全集紀行日記集及年譜を添した。	紅玉堂
芭蕉俳句全集	半田良平	七〇〇頁	菊紙装	〇・三五	既刊芭蕉俳句新釋中の芭蕉俳句全集を普及版として奉仕的廉價で頒つ。季題に別ち、作の年代を附してあるから斯道の好伴侶である。	同
芭蕉俳句定本	勝峯晋風	三八〇頁	菊布装	二・一五	芭蕉の句を一々考證して之を年代順に列べた引等も研究家のために貴い参考資料である。	古今書院
芭蕉七部集定本	勝峯晋風	五四〇頁	菊布装	二・二七	七部集の俳諧は、萬葉以後の日本の詩歌の關所である。此關所を通る詩歌の旅人の爲に案内記ともなるやう編纂したるが本書である。	岩波書店
芭蕉論	野口米次郎	一四二頁	菊布装	〇・五〇	芭蕉の俳句は、芭蕉の俳句界の巨匠である。本書は著者多年の苦心蒐集に係る真個の芭蕉全集で、難語には一々註解まで施してある。	第一書房
芭蕉句集講義	虚子規鳴雪	一〇〇頁	菊布装	三・一八	芭蕉は一代の俳句すべて二千句の一句一句を八年有半の長日月に涉つて辯難研究した。もの俳句に志す者には大参考書の一である。	友善書堂
芭蕉全集	頼原退藏	一〇〇頁	菊布装	五・一五	芭蕉は芭蕉と共に我が俳句界の巨匠である。全集で、難語には一々註解まで施してある。	有朋堂
芭蕉村全集	藤村重治	三三〇頁	菊布装	二・一〇	或時は深く門を閉じて孤獨の寂寥の中に生き或は清らかな愛を求めて飄然と旅に漂ふた。其孤獨其愛の中からは産れた芭蕉の藝術を見よ。	聚英閣
芭蕉その他	岡野知十	二七〇頁	菊布装	一・二〇	新俳壇の泰斗たる著者が明治の俳壇復興期に記したる舊稿の主として俳諧史傳に關する物のみを集めたるもの天明期の俳人傳を盡す。	郊外社
芭蕉の日抄	幸田露伴	三〇〇頁	菊布装	二・三〇	芭蕉七部集の内「冬の日」を採つて註釋を加へたるもの現代日本に此著者を措いて他に其適任者を見出すこと難からむ註の適確信すべし。	岩波書店



模範俳句と文章	中内蝶二	一・八〇	一年三百六十五日に配合された俳句と文章正句である。青少年への好著。	日本書院
湯島法樂	岡野知十	一・〇〇	明治俳壇に新々派の旗幟を翻した俳壇を先覺者たる著者の主として俳句に關する著者の好伴侶めたるもの故連句を學ばんとする者の好伴侶である。本書は俳文家の妙味溢る、紀行文を集録したもので旅行趣味の最上品なる書。	郊外社
涼味俳味	萩原井泉水	一・五〇	井泉水氏は俳文に一見識を有する新しい作家である。本書は俳文家の妙味溢る、紀行文を集録したもので旅行趣味の最上品なる書。	日本書院
川柳				
誹風柳樽通釋 編初	武笠山椒	三・〇〇	柳樽第一編の川柳全部を平押しに研究説明しに取るやうに分る事となつたのである。	有朋堂
誹風柳樽通釋 編二	武笠山椒	三・〇〇	本書は柳樽第二編全句の研究で、著者の輕妙な筆致と詳細な研究とは益々その光輝を増してゐる。川柳研究味讀の絶好伴侶。	同
古川流評釋 (情本位)	中野三九	一・五〇	江戸趣味の研究は古吉原を忘れては無く古吉原の研究は川流を措ては無い江戸文化の關熟期を知り人情の機微を味ふ川流子の皮肉は是	山海堂
鳴呼日本未來記	樋口麗陽	一・五〇	三百年後の日本は如何に成行きつゝあるか、世界の巨眼ある。著者が現時の腐敗情落せる日本を見て憤慨のあまり成れる大著。	日本書院
愛に生きる人々	岡延右衛門	一・五〇	黒島のカトリック王国を中心として起つた事件、南國特有の奇妙なる風習を背景として強烈なる戀愛と苛酷なる宗教制度との苦闘史。	厚生閣

小説

愛は鞭つ	平田正三郎	二・五〇	海軍軍醫大尉としての若き著者が情熱のほかに熱烈なる沸立てる血潮の高鳴を。	日本書院
哀戀日記	伊津野直譯	一・八〇	戀は哀しい、でも湧き立つおもひは抑へ難い。オナーナカラブか兩者相撲つこころに人生の悲劇が生れる。譯文流麗註的確。	改造社
蒼ざめた童貞狂	齋藤秀雄	一・五〇	著者は青年詩人である時代の風潮躍如たり圖書はリノ版多敷を挿入し詩畫共に生動せしむ装幀も亦新装面を開拓せり内容外観共に斬新	長隆舎
赤穂義士	小林鶯里	一・三〇	赤穂義士事件の發端より顛末まで、其れに四十七士の各傳を詳かにし、最も通俗的に叙述し此千古の美譽を永遠に傳へんとするもの。	文藝社
新らしい笑話の泉	松野綠水	一・八〇	ごんないがやうな話を集めたのが本書である。ごんないがやうな話を集めたのが本書である。ごんないがやうな話を集めたのが本書である。	紅玉堂
新しき命	野上彌生子	一・三〇	著者自身の最も愛着せる五つの作品を集めたもので盛り上り溢れる泉の水の如き母性愛の遊りである。此の清麗な藝術境に浸れ。	岩波書店
創作阿難	有門茂	一・八〇	釋迦の若き弟子阿難の戀愛生活を主題とし、その愛慾の世界を露骨に描寫したものである。筆致熱烈にして奔放、深刻面を掩はしめる。	甲子社書房
雨蛙	志賀直哉	二・五〇	雨蛙の死等。○冬の子供三題○廿一代一面○偶感○轉生	改造社
あめりか物語	永井荷風	一・八〇	異色ある名作集として荷風氏の名聲を確定せしめたるもの、米國を舞臺にして創作と紀行と感想と一莖の芳草の如く匂つて居る。	博文館

小説

嵐の跡	大橋青波	四六判 函入美装	二・四〇	二・二〇	飽く、こなき虚榮心と恐しき情慾の前に何物もない富豪の令嬢の淫逸放奔なる戀愛描寫に巧み無産階級との闘争を織込み波瀾萬丈。	講談社
ある女の生涯	島崎藤村	新装紙装 一五〇頁装	〇・五〇	〇・四〇	『藤村パンフレット』第一巻。一婦人の死に材をとりつて具さに人生の惨苦を描けるもの。附録の『貧しき理學士』と共に、氏の力作である。	同
伸び仕度	島崎藤村	中判紙装 一四四頁装	〇・五〇	〇・四〇	少女より處女に移る間の心と肉の變化を描いて深刻な極めたる、眞に稀有の佳作、外に『熱海土産』『飯倉たより』の二篇が添へてある。	新潮社
三人	島崎藤村	新装紙装 二六六頁装	〇・五〇	〇・四〇	大なる時代の悩みを小さき胸に憐む三人の處女を極めた。外に『子に送くる手紙』等二篇。	同
破戒	島崎藤村	新装背布 三五〇頁装	一・〇三	〇・八〇	我が邦の近代文學中、最初に現はれた長篇で種々の點に於いて新藝術の芽生を示した作。明治文學史上最も重要な位置を占める。	同
春	島崎藤村	新装背布 三二〇頁装	一・〇五	〇・八〇	『文學界』の若き詩人の群れと其の清新にして芳醇なる雰圍氣の中に、著者自身の若き日の夢を叙せるもの。戀と涙と、憧憬と苦悶と。	同
多情佛心(全二册)	里見弴	四六特装 前四六頁 後四六頁	二・五〇	二・二〇	作者が畢生の心血を傾け、縦横の大手腕を振つた稀有の一大戀愛小説であつて、生きて動く現下の世相はさながらに看る事を得よう。	同
桐畑	里見弴	新装四六判 三七〇頁装	二・〇〇	一・〇〇	二人の親しき友が、若き新妻を中心とせる凄じき愛慾の争闘を主題とし、深刻の筆を以て驚くべき變態戀愛の委曲を盡せる名作である。	同
満潮	里見弴	新装四六判 三一二頁装	一・〇八	〇・八〇	人情の機微を知りつくす青年作家と、敏感な激刺した近代的女性の戀物語で、爛熟期にある作者が時代の雰圍氣を活寫した傑作。	同
凡夫愛	里見弴	新装四六判 四九三頁装	二・五〇	二・二〇	かの大震災を背景とし、姦通を主題とし、男女愛慾の葛藤を展開して心ゆくばかり精到を極めた描寫は、まさに天衣無縫の觀がある。	同

おせつかい	里見弴	新装四六判 二九五頁装	一・八〇	二・〇〇	作者と、後進の一青年作家と、美しく若き女子との三角關係を描けるものにして、作者の弟子と藝術とは、此の篇に於いて結晶される。	新潮社
夜の光	志賀直哉	新装四六判 三五〇頁装	一・〇三	〇・八〇	無比の名作にして長篇『和解』の外「好人物の夫婦」『佐々木の場合』『正義派』等十四篇。各篇皆眞に不朽の名作にして、又光輝ある短篇集。	同
神と人との間	谷崎潤一郎	四六布装 三〇六頁装	二・〇〇	二・〇〇	文壇の巨星谷崎氏が久し振りの長篇で、一種不可思議なる三角關係を取扱ひ愛慾の深淵に人間心理の機微を探れる最も異色ある力作。	同
黒髪	近松秋江	新装特装 二五八頁装	一・五〇	一・〇〇	一人の女の爲に苦み、悶え、嘆き、あらゆる苦行を重ねた赤裸々な描寫で深刻無比の作である。谷崎潤一郎氏の激稱した長序を添へた。	同
AとBの話	谷崎潤一郎	四六布装 三九〇頁装	二・〇〇	二・〇〇	惡の奉仕者たるAと善の支持者たるBとの終りなき争闘を描いて人間心理の奥底を發ける作。外に映畫劇『月の囁き』以下八篇を掲げる。	同
白鳥傑作集	正宗白鳥	新装布装 五七〇頁装	二・八〇	二・二〇	文壇の轉變から超越して、恒星の如く不斷の光輝を放ちつゝある白鳥氏の傑作集である。全五卷の豫定。既に第三卷まで公にした。	同
白路	吉田絃二郎	新装紙装 四三〇頁装	一・八〇	二・〇〇	某學校教師と其妻の傷まじき同棲生活を材とし、人間愛慾の悩みを主題として哀趣脈々の筆を行なう。作者の特色の濃かな長篇である。	同
無限	吉田絃二郎	四六紙装 五一〇頁装	二・二〇	二・二〇	作者が渾身の力を傾注した雄篇。三人の兄弟を捉へ、彼等が生活の破産者たるに至るの終始を描いて、人間愛の哀しみを叙べた。	同
砂に描く	吉田絃二郎	新装紙装 四〇四頁装	一・八〇	二・〇〇	百枚に餘る力作『光り地にありや』を始めとし『壁』『草枯れ』『生れざりし子』等合せて十一篇。氏の藝術の驚くべき魅力を見よ。	同
人間苦	吉田絃二郎	四六紙装 二一〇頁装	一・〇〇	〇・六〇	人間生活の苦難を描いて世の哀れなる男女の爲に泣きつゝ、しづかに運命を觀じて人生の歸趣を思ふ。若き人々の愛誦最も盛んである。	同

大地の涯	光落日	破船 (全三冊)	和靈	學生時代	家	微風	山寒し	彼の結婚と其後	
吉田絃二郎	吉田絃二郎	久米正雄	久米正雄	久米正雄	島崎藤村	島崎藤村	吉田絃二郎	武者小路實篤	
四六紙裝	新四六紙裝	四六紙裝	新四六紙裝	四六紙裝	新四六紙裝	新四六紙裝	新四六紙裝	新四六紙裝	
三五〇頁送	四一〇頁送	四四〇頁送	四四〇頁送	三一〇頁送	五〇〇頁送	三五〇頁送	四二二頁送	四五〇頁送	
一・七〇〇	一・八〇〇	二・五〇〇	二・〇〇〇	一・四二〇	一・八〇〇	一・六〇〇	一・八〇〇	二・〇〇〇	
キリストの生涯を描ける大作『大地の涯』を巻頭として『初恋の頃』以下九篇を収めた。何れも憐める者傷ける者の好同伴であらう。	『大地の涯』についで創作集。山上の小屋、神の子以下八篇。いづれも虐げられ苦しめらるる者の爲めに満眼の涙を注げる物語である。	文豪夏目漱石の娘冬子と若い作家小野、小野の友人杉浦との戀の三角關係を主題として小野の失戀の苦悶を描ける高名の大傑作である。	作者の數多くの失戀物語も、此一作にさしめを刺したる長篇『和靈』を初め、父の自殺を主題とする自叙傳小説『不肖の子』其他十五篇。	學生々活に題材をさされるもので、『鐵拳制裁』『求婚者の話』『愛書』『受驗者の手記』等すべて十數篇。若き人の興味最も多き讀物である。	曾て明治文壇に於ける最大の産物如何を問うた時、文壇の諸家は齊しく『家』を以て答へた。此の作こそは眞に不朽の名品であらう。	作者の自叙傳で百頁を超ゆる長篇『幼き日』をはじめ、『出發』『足袋』『岩石の間』『燈火』『突貫』等、傑作十篇を収めた。(百穂氏挿畫數葉)	著者が三十幾年の充實し緊張せる半生涯を、著者一流の世にも稀なる正直さを以て、赤裸々に描ける自叙傳で、稀有の名著である。	一茶の晩年を描ける『山寒し』他七篇と、劇作家としての新境地を示す史劇『燕』二篇を収む心境愈々透徹せる氏の面目躍如たり。	作者自身の結婚に材をさされる眞摯熱切の戀物語である『世間知らず』と、その後の生活を如實に描ける『彼が三十の時』の二長篇の集。
同	同	同	同	同	同	同	同	同	

死言	カインの末裔	迷路	暗夜行路	愛府	嘆きの市	冷火	痴人の愛	眞珠夫人	
有島武郎	有島武郎	有島武郎	志賀直哉	泉鏡花	久米正雄	久米正雄	久米正雄	菊池寛	
四六紙裝	四六紙裝	四六紙裝	四六紙裝	新四六紙裝	四六紙裝	四六紙裝	四六紙裝	新四六紙裝	
一六〇頁送	一五〇頁送	二二〇頁送	四〇〇頁送	三九二頁送	五五〇頁送	五〇〇頁送	三六〇頁送	三三〇頁送	
〇・八六〇	〇・八六〇	〇・〇六〇	二・一五〇	二・〇〇〇	二・一五〇	二・〇〇〇	一・一五〇	一・一七〇	
有島武郎氏の作中、屢々劇にも演ぜられ最も高名なる『死』其の前後『死』をはじめ『死』の題材となせる名篇を収めて一巻としたものである。	悲憤にして沈痛なる戀の物語であつて、作者の最も力を籠められた長篇小説である。殉情の人有島氏の面目は、此裡に看取されよう。	作者の手腕を文壇の一般に認めしめた最も意匠深き作品である。外に『實驗室』『凱旋』及び『クララの出家』等の傑くれた短篇がある。	『宣言』と共に作者の最も苦心された長篇小説である。肉の呻きと靈の喘ぎに悶ゆる男子と妖艶淫蕩なる一夫人の情生活の記録である。	祖父と母との不倫の關係に生を得た、憂鬱な敏感な一青年を主人公として其暗い運命の影におのゝき辿り憫む人生の行路を描ける傑作。	『鴉狩』以下十一名篇を収めた其の近業集。艶術的藝術の中に誘ひ入れずには置かない。	美にして賢なる一令嬢が其の境遇の激變より第四階級意識に眼ざめて、生活苦の煉獄に投ずるの行路を描く。附録『空華』の名作がある。	文壇人氣第一の作者が始めて試みた探偵小説である。邦文學の一新境地。意外に重ぬる事件の展開とゆゑ興味多き變化を見よ。	作者が嘗て失戀の苦しみ材とせるもの過半、即ち此題目を選ばれた所以であらう。『失戀者の聖書』の名の下に愛讀されてゐる。	父の仇の某富豪に嫁して、遂に其の純潔を許さず、夫をして闕死せしめ、後世を呪ひ人を弄ぶ妖婦として更生せる近代的女性を描く。
新潮社	同	同	同	同	同	同	同	同	

菊池寛傑作集	菊池 寛	新装布装 五二〇頁送	二・五〇	處女作『思を返す話』以下『蘭學事始』『入れ札』等及ぶ、すべて十六篇、現下文壇の第一者菊池氏の全作風は、一眸の下に看取される。	同	新潮社
心の王国	菊池 寛	四六特装 三一〇頁送	一・五〇	作者の文名をして一時に高からしめた『忠直』も呼ぶべき『父歸へる』以下脚本三篇を収めた。	同	同
黄雀風	芥川龍之助	四六特装 三〇四頁送	二・三〇	一塊の土、絲女覚え書、不思議な島、おしの少年等すべて十六篇。装幀例によつて極美金の玉の作を盛るにふさはしき特装本である。	同	同
羅生門(刷縮)	芥川龍之助	新装紙装 二〇〇頁送	〇・九〇	著者が第一集で、其の出世作は此の中に在る。羅生門、鼻、猿、孤獨地獄、運、手巾、虱、酒蟲、煙管、貉、忠義、芋粥等の諸名篇。	同	同
傀儡師(刷縮)	芥川龍之助	新装紙装 二六〇頁送	一・〇〇	羅生門に次ぐ作者の第二集。『戯作三昧』『地獄變』以下十一篇を収めた。何れも寶玉の光輝を古金襴の色彩を具へた氣品高き作品。	同	同
夜來の花(刷縮)	芥川龍之助	新装紙装 五〇〇頁送	一・三〇	『黒衣聖母』『南京の基督』『山崎』『秋山園』『奇怪なる再會』等すべて十五名篇を収めた。	同	同
美人	佐藤春夫	新装特装 二四〇頁送	一・五〇	『ふと街頭に見たる一人の美くしい少女を中心とする』作者一流のあやしき心算を展開せる長篇。	同	同
玉簪花	佐藤春夫	新装特装 二一〇頁送	〇・五〇	支那の小説を、わが短篇に翻し來つて、藝術的價值高き作品となす。或は、哀婉にして悲涼、怪奇にして幽玄。或は、哀婉にして悲涼。	同	同
田園の憂鬱	佐藤春夫	新装布装 二二〇頁送	一・五〇	村居一年、靜かに田園の自然に親しみ、具る長篇小説で、寔に著者の出世作である。	同	同
都會の憂鬱	佐藤春夫	新装布装 二七〇頁送	一・七〇	都會生活の幾情景を描ける中に、作者のなやましい生活感と、ほのかなる夢見心地とを托した。名篇『田園の憂鬱』の姉妹巻である。	同	同

南方紀行	佐藤春夫	新装布装 二四〇頁送	一・八〇	臺灣厦門漳州等の紀行である。華麗で而も頹廢的な南方の自然と風物とは詩のやうな節奏と繪のやうな色彩とで紙上に展べられてゐる。	同	新潮社
若き日の悩み	藤森成吉	新装紙装 三〇〇頁送	一・二〇	若き人の憧憬ふかき伊豆の大島を背景として多感の青年と島乙女との戀を中心とし、若き日に起る種々の悩みと云ふ悩みを描いた。	同	同
煩悩	藤森成吉	四六紙装 二七〇頁送	一・三〇	悲痛なる戀のなやみを描いた最も深刻なる長篇小説。世に公にするやモデル問題起つて、連りに作者を苦しめたことがあつた。	同	同
若き日	加能作次郎	四六紙装 五五〇頁送	二・三〇	一人の青年が性的悩みの幾多の女性と結んで次ぎ／＼に起り來る性的事件を描き去り描き來れるもの。眞に稀有の大戀愛小説である。	同	同
傷ける群	加能作次郎	四六布装 四八〇頁送	二・三〇	東京山の手の花柳街に近く亂淫の生活の中に置かれたる節操なき娘と二人の青年との間に生ぜる戀の葛藤を描ける濃艶嬌媚の作。	同	同
幸福へ	加能作次郎	新装紙装 六二〇頁送	二・五〇	『若き日』の作者が更に現代生活の諸相を雄大の規模に綜合し人間愛の葛藤を深刻の描寫に曲盡せるもの。實に一千枚の長篇である。	同	同
小夜子	加能作次郎	新装紙装 二四〇頁送	一・〇〇	若く美しき文學志望の女性が、文學と性的誘惑との間に迷ひて一歩々々墮落の淵に陥り遂に娼婦の群れに投ずるに至るの徑路を描いた作。	同	同
地上(全四冊)	島田清次郎	四六紙装 四六〇頁送	六・九〇	第一部『地に潜むもの』價一・三〇 第二部『地に叛くもの』價一・六〇 第三部『靜かなる暴風』價二・〇〇 第四部『燃ゆる大地』價二・〇〇。	同	同
性に眼覚める頃	室生犀星	四六紙装 三五四頁送	一・五〇	年少、はじめて性に眼ざめ行く頃の作者の生ち行きの記で、一つの靈と一つの肉體との育ち行き眼ざめ行く途を描いた、氏の出世作。	同	同
極光	江馬 修	四六布装 五一〇頁送	二・五〇	目ざめたる若き女性、主義者、藝術家など幾多の新人の、生存の悩み、戀愛の悲痛、あやしき運命の曲折を通じて現代生活の苦悶を描く。	同	同



輪	薄明のもとに	憂鬱なる河	黙示する人	望郷	夏樹	輪廻	白鬼	結婚期	歡樂の門	
田中純	今野賢三	佐々木千之	中村能二	池谷信三郎	江馬修	森田草平	三上於菟吉	谷崎精二	谷崎精二	
四六頁装送	三二頁装送	三六頁装送	二九頁装送	五二頁装送	三二頁装送	六二頁装送	五二頁装送	四六頁装送	三九六頁装送	
一〇七〇	一〇五〇	一〇八〇	一〇五〇	一〇五〇	一〇四〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇三〇	一〇八〇	
高名なる中年の一文藝者、それが崇拜者な る一婦人との、愛慾の悶えと悩みを死によつ て解決した、悲痛にして深刻なる物語である。	陰鬱な北國の海岸町を背景として、戀の悲劇 階級の闘争を描いて現代の活劇を展開した。 主観の深刻な描寫の清新、既に定評がある。	東北の自然を背景とし、一少年の性に眼覺め 世に眼覺めゆく経路を、作者は最近擡頭せる新人 主観を以て描く。作者は最近擡頭せる新人	米大陸に流浪せる不幸なる少年が憧懐の祖國 の土を踏み得ず死に死ぬと云ふ悲痛なる物語。	菊池、久米、里見の三氏の選で一等に入選し た新小説であるが、その清純、新鮮なる題 材、描寫は實に藝術的氣品に富める名篇だ。	痛女主人公として、藝術家の生活と戀愛小説 痛なる相剋を描ける、作者會心の作である。	激刺たる近代的女性の典型たる女優夏樹を 女主人公として、藝術家の生活と戀愛小説 痛なる相剋を描ける、作者會心の作である。	世界に文學に類例を絶せざる題材を取扱へる奇 作が三箇年の苦心に成る千枚の大傑作。	無比の美貌と絶倫の才氣を備へた青年が、多 くの婦女を翻弄する委曲を描いたもので、多 くの書に於て激烈な非難を受けた程である。	美しき藝妓と純潔なる處女等を主要人物とし て、具に結婚期の歡びと悩みを主要人物とし	近代的女性の典型とも云ふ可き、人妻に いて、現代の時代相を髣髴せしめた長篇。
同	同	同	同	同	同	同	同	同	新潮社	

獨歩叢書	源氏物語情話	近松情話	西鶴情話	修禪寺物語	八犬傳物語	太閤記物語	源平物語	水滸傳物語	近松名作集
國木田獨歩	吉井勇	岡本綺堂	長田幹彦	岡本綺堂	大町桂月	大町桂月	大町桂月	大町桂月	近松秋江
菊牛紙装送	菊牛特裝送	菊牛特裝送	菊牛特裝送	菊牛特裝送	菊牛特裝送	菊牛特裝送	菊牛特裝送	菊牛特裝送	菊牛布裝送
一〇八〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇九〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇二〇
(1)武蔵野及び渚。(2)獨歩集。(3)獨歩書簡 (4)運命。(5)濤聲。(6)第二獨歩集。(7)青 年時代。(8)戀愛時代。(9)詩及び小品集。	原作は五十四帖の大冊、極めて浩翰である上 に、耳遠き古語の現代難きを以て、吉井氏を 煩はし、四百枚の現代的文章に書き改めた。	近松の世話淨瑠璃中の傑作を、小説風に書き 改めたもの。悲しい戀、美しくい戀のさまざ まは、此作者の匂ひ高き彩筆に再現された。	西鶴好色本中の雙壁たる「好色一代女」好色 の眞情話、艶治豊麗を極めた好色物語。	「修禪寺物語」番町皿屋敷と鳥邊山心中。綺 堂氏の作中最も多く上演せらるる右の三作を 興味多き小説の體に書き改めたものである。	原作を十分の一に縮め、桂月一流の流麗暢達 る八犬傳は斯様の面目を以て新に現はれた。	豊太閤の一生を叙して古今無比の好讀物と稱 せらるる、「太閤記」を桂月一流の名文章に書き 改め、現代讀書界の要求を満たしたものだ。	「源平盛衰記」平家物語」につき、其の内容情 事を取捨按排し、別に此一卷を作る。戀と戦 と無常と相錯綜して波瀾限りなき物語である。	水滸傳は支那小説の代表作として知られて るもの。今桂月一流の快文に書き改めて、何 人も興味を以て容易に讀み得るものとした。	世話と時代とを通じて代表的傑作を選び、註 解を施し校正を嚴にし、且つ「近松の印象」な る長論文を添へて大近松の面目を明にした。
新潮社	同	同	同	同	同	同	同	同	同

平和の日 (佛蘭西) だより	戦時に際會して	ボヴリイ夫人	ギルヘルムマイステル	神々の死	赤い部屋	神々の復活	赤と黒	居酒屋	
島崎藤村	島崎藤村	フロオベル	ゲエ	メレジュコフ	阿部次郎	メレジュコフ	スタンダール	木村幹	
新装特装 一九六頁送	新装特装 二七八頁送	新装特装 六〇〇頁送	新装特装 六〇〇頁送	新装特装 六二〇頁送	新装特装 五四〇頁送	新装特装 六三〇頁送	新装特装 五八〇頁送	新装特装 七六〇頁送	
一・二〇	一・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	三・〇〇	
歐洲大亂前の巴里の印象記であつて、スケッチあり見聞記あり散文詩の如きものあり。抒情に富み興味豊かな此の印象記は作者の心をとめた創作として讀まれてゐる。	これは大亂勃發當時巴里の見聞録であつて最も特色に富み興味豊かな此の印象記は作者の心をこめた創作として讀まれてゐる。	ボヴリイ夫人がやる方なき愛慾の備より墮落の深淵に陥るの徑路を描く。近代小説の經典とも云ふ可き世界藝術界の至寶である。	獨逸の國寶と稱せらるゝ世界稀有の傑作小説に身をたくすの情景を描けるものである。	作者は露國文壇の耆宿。其の作中最も聞ゆるは『神々の死』『神々の復活』『反基督』の三部作である。	此の大文豪が自家の經歷を經て、當時の世相を緯て、天才に特有する絶對的誠實を以て人間生活の虚偽を剔出して刺さるる作。	文藝復興期の大立物レオナルド、ダヴィンチを描き、此天才の精神生活を解剖して、科學と宗教、愛と愛との二元の調和を暗示した大作。	絶世の美貌と豐滿比ひなき肉體と極度の淫靡性を有する名優ナナの大膽にして華麗なる情生涯を描ける世界最高名の大傑作である。	僧服に身を包んで其心に抱く黒き世界の欲望、人妻の戀に身を灼き盡くす赤き世界の間に立つて苦悶する若き天才の生活の記録。	酒場を背景として飲酒と淫色とに耽ける獸人の群を描くと共に、絶世の淫婦たるナナの春の眼ざめを叙す『ナナ』と共に最高名の作。
同	同	同	同	同	同	同	同	同	

戦争と平和 (全四册)	モイプラー	美貌の友	従妹ベツト	ポンペイ最後の日	女中の子	痴人の告白	不和・孤獨	地獄・傳説	魂の發展史
トルストイ	福永	モオパッサン	バルザック	リットン	福田久道	三井光彌	伊藤武雄	秦吉	秦吉
新装特装 各三・五〇	新装特装 二・五〇	新装特装 二・五〇	新装特装 二・五〇	新装特装 三・〇〇	新装特装 三・五〇	新装特装 三・〇〇	新装特装 三・〇〇	新装特装 二・八〇	新装特装 二・〇〇
二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	三・〇〇	三・五〇	三・〇〇	三・〇〇	二・八〇	二・〇〇
トルストイが畢生の心血を凝せる其の代表作であり、その量に於て其の質に於て世界文學中まことに第一に數へらるゝ大作雄篇である。	現代女流作家の第一人者の作。純潔な、敏感な情熱的の少女を主人公として其哀婉な口オマンタの中に作者の戀の體驗が見られる。	放縱の限りを盡せる性的生活の間に着々として歩み占め、遂に富と權勢とに傲る勝者となる経路を描ける佛蘭西の「一代男」である。	嫉妬の精、復讐の權化なる一女性の他を呪ひ家の想像力は、此篇に於て最も奔放を極む。	震災小説として世界第一の傑作、淫靡驕奢の都ポンペイが噴火震災によつて地下に埋没せる慘禍を背景とした一大戀愛小説である。	著者が『自叙傳小説』の第一巻である。幼き一記の魂の眞剣な死物狂ひな火花を散らす戦の記録で、恐ろしき迄に眞剣な小説である。	「その屍を柩に横へる前に先づ之を洗ひ清める」の覺悟を以て、不幸なる最初の結婚と破婚とを材とし深刻に魂の煉獄を描ける自叙傳。	再度の結婚と破婚とを材とし、その希望を憧憬と祈禱とを破破せる、世界的大作である。	幾度の危機を勇敢に凌ぎ來た此の不幸なる天才が遂に達着した、最後の而して最大の死か狂かの危機に於ける深刻凄慘たる體驗記録。	身が迫る生活の壓迫、常に心を動搖させて止まない哲學的不安、戀で萌え來る戀愛の間に終始した若きストリンドベルク魂の發展史
新潮社	同	同	同	同	同	同	同	同	同





はつ恋	ツルゲエネフ全集第三編	生田春月	菊半布装 三八〇頁送	一・三〇八〇	可憐哀切の戀を描いた『はつ恋』の外、沈痛凄婉なる『クララミ・リツチ』及び『フアウスト』を添へた。三篇三様の特色ある戀物語である。	新潮社
その前夜	ツルゲエネフ全集第四編	田中純	菊半布装 三七〇頁送	一・三〇八〇	剣に杖いて故國の難に赴かうとする志士インサロフを愛人として、火の如き戀を高く理想にあざなへる少女ナタアシヤの面目を見よ。	同
煙	ツルゲエネフ全集第五編	大貫晶川	菊半布装 三七二頁送	一・三〇八〇	哀婉にして悲痛、一讀何人も涙なき能はざらいて其の戀物語、殊に女性を描寫は、本篇に於ける。	同
父と子	ツルゲエネフ全集第六編	谷崎精二	菊半布装 四二二頁送	一・三〇八〇	作者の作中、最も廣く讀まれ、又最も深く世が本篇の主人公に始まつたのでも知られよう。	同
ブーニンとパブリン	ツルゲエネフ全集第七編	布施延純	菊半布装 三六八頁送	一・三〇八〇	『ブーニンとパブリン』、『よけい』者の日記『ミシヤ』、『バシシコフ』の四篇、作者の特色の最もよく現はれた傑作短篇の集である。	同
處女	ツルゲエネフ全集第八編	田中純	菊半布装 五三三頁送	一・一八〇〇	作者が最後の長篇で、此の大作家が人として又藝術家としての頂點を標するもの。世界を通じて屈指の大作である今更云ふ迄もない。	同
春の波	ツルゲエネフ全集第九編	生田春月	菊半布装 三七五頁送	一・三〇八〇	濃麗花の如き戀物語のうち、當時動亂期の露西亞の思想界を髣髴せしめたもので、作者の爛熟時代に於ける長篇中第一の作である。	同
貴族の家	ツルゲエネフ全集第十編	布施延雄	菊半布装 三七〇頁送	一・三〇八〇	新舊兩時代に於ける犠牲者の悲しき運命と、若草の萌え出づる新しき時代の纏れを哀切限りなき戀物語を親筆として織出せる名篇。	同
隣人	チエホフ全集第一編	秋庭俊彦	菊半布装 三五〇頁送	一・二〇八〇	大文豪林立する露國文壇に立つて、寥寥たる短篇を以て、尙ほよく一流の名を縦にするチエホフの全集。第一編には小品七篇を収めた。	同
六號室	チエホフ全集第二編	廣津和郎	菊半布装 三二〇頁送	一・二〇八〇	『六號室』れむい、顔『醫者の妻』『接吻』をばじ鮮やかな短篇九篇を収めて此の作者の特色の最もよく現はれた傑作短篇の集である。	同

祝宴	チエホフ全集第四編	秋庭俊彦	菊半布装 三二四頁送	一・二〇八〇	『祝宴』以下五篇、中に『我が生活』は、二百頁の長篇で、露國一地方の生活を語るに共に放縱なる男女の幾多の物語を挿んで居る。	新潮社
三年間	チエホフ全集第五編	秋庭俊彦	菊半布装 三三四頁送	一・二〇六〇	チエホフ作中の長篇である。夢想的なる一青年が、事業に破れ戀に破れて、幻滅を重ね行く徑路を描いて、智識階級の没落を語れる作	同
妻	チエホフ全集第六編	中村白葉	菊半布装 三三二頁送	一・二〇六〇	夫婦關係の深刻なる觀察を試みたる『妻』、作者には珍らしくも探偵小説的興味に富める『瑞典マツチ』の外、『藥劑師の妻』等十一篇。	同
女主人	チエホフ全集第七編	秋庭俊彦	菊半布装 三三四頁送	一・二〇八〇	『女主人』『アリアドナ』以下主として女性を主人公とせる短篇を集めた。中にも『可愛い女』の如きはトルストイの激稱した名篇である。	同
燈火	チエホフ全集第八編	秋庭俊彦	中判布装 三〇八頁送	一・二〇八〇	『燈火』『黒法師』『貞操』『唄うたひ』『父親』等凡て八篇。何れも味ひ深いスケッチであり、人間に對する作者の慈愛の温かさに涙ぐまれる作	同
匿名氏の話	チエホフ全集第九編	秋庭俊彦	菊半布装 三三〇頁送	一・二〇八〇	革命兒を主人公とし恐怖時代の露西亞を活寫した『匿名氏の話』、晩年の爛熟期に於ける名篇『許嫁』の外、『紅い靴下』『途上』等六篇を収む	同
六號室	チエホフ全集第二編	廣津和郎	菊半布装 三二〇頁送	一・二〇八〇	『六號室』れむい、顔『醫者の妻』『接吻』をばじ鮮やかな短篇九篇を収めて此の作者の特色の最もよく現はれた傑作短篇の集である。	同
若きエルテルの悲しみ	エルテル叢書第一編	ゲエ豊吉	菊半布装 二二三頁送	一・〇八〇〇	若きエルテルが、美しき、されど既に人妻なるロッツテを戀ひて悲しみに胸やぶれ、自ら死する迄のなやみを叙せる世界的一大名篇。	同
海の嘆き	エルテル叢書第二編	サンピエル	菊半布装 二二五頁送	一・〇八〇〇	戀愛文學のセリスたる『エルテル叢書』第二編。純潔の美少年ホルと可憐の美少女ギルジニイとの哀れにも悲しき戀の物語である。	同
戀と死	エルテル叢書第三編	後藤末雄	菊半布装 二二五頁送	一・〇八〇〇	原名を『トリスタンとイゾルテ』と云ふ。麗麗目もあやなる色彩と烈しき情熱の旋律とを浮べた世界無二の戀物語として知られてゐる。	同



人は何つてよ 生きて生くるか	光あ るうち	光の中 に歩め	ジャン・クリストフ	レ・ミゼラブル	サイラス・マアナー	暗い花	モオパッサン選集	椿姫	サアニン	最後の 一線								
トルストイ 昇階夢 一四九頁 紙装 送	トルストイ 阿部次郎 二〇六頁 特裝 送	トルストイ 阿部次郎 二〇六頁 特裝 送	ロマン 豊島與志雄 全四冊 特裝 送	ユゴー 豊島與志雄 七〇〇頁 特裝 送	エリオット 飯田敏雄 三四二頁 新裝 送	ゴルス 木蘇穀 四四二頁 新裝 送	モオパッサン 平野威馬雄 四六四頁 新裝 送	ジュ 福永 三五六頁 新裝 送	アル 中島清 六五六頁 菊半 送	アル 長岡義夫 四三二頁 新裝 送								
●七 〇六	●五 〇四	●五 〇四	●二 〇五	●二 〇五	●一 〇七	●一 〇八	●一 〇八	●一 〇八	●二 〇〇	●一 〇八								
杜翁の民話中、最も高名なる物語。此の老文中に最も明快に語らるゝを見るであらう。	初代基督教に關する見解を最も平明に簡潔に描き、感情を以て美しく描けるもので、中に杜翁の結婚観、戀愛觀等が痛切に窺はれる。	ジャンクリストフなる一英雄兒を主人公とし、其の奇なる奮闘の生涯の裡に、作者が眞勇主義の大精神を寓せる、現下世界第一の雄篇。	小説と云ふも、全篇を貫くものは作者が濟生愛民の大精神で、人道主義の大理想である。トルストイは、天下第一等の書と激稱した。	作者は英國の閨秀作家で近代文學の重鎮。英國の片田舎の自然を背景とし、一少女の聖愛を中心として牧歌的情熱を漲らしたものだ。	一青年彫刻家の、或は人妻との、或は處女との、春の日のほのかなる戀、夏の日の激しき言、秋の日はかなき日の種々相を描ける作。二十名篇を収む。多くは此の作者独自の大膽なる態度を以て、男女愛慾の世界を描けるもの、巻末には「絶筆ル・ホルラ」あり。	「ナナ」と同じく女優を主人公として其の放縱なる戀愛生活を描き、やがて哀しき運命に陥るの徑路、また髪髻「ナナ」を想はしめる。	肉の福音を高唱して、大膽に性慾生活を描いて憚るところなきの點、古今東西に其の類例がない。描寫亦繊細靈活、稀有の名篇である。	「サアニン」の作者の作。肉慾描寫の大膽、奔放、露骨なるは、寧ろ「サアニン」を凌ぐ。共に、藝術的價値また極めて高き傑作である。	埃及の女王の燦爛たる戀語り。ナイルの河の月明の夜に、銀の棹、紫の帆、絶世の美人を載せた船中の物語は何と云ふ趣深きことだらう。	深刻なる近代人の苦悶を背景として、極端なる性慾の衝動を描く、兩性の間に横はる人間の暗黒面は、極めて大膽精細に寫し出された。	世に斯くまで濃艶を極め、豊麗を極め、哀婉を極めた戀物語はあるまい。溢る、迄にロマンの甘味を漲らせた所、他に類例がない。	清純の處女が獸的な男子の蹂躪する所を、り、其の一生の幸福を破るの徑路を描いて飽く迄追實。云ふまでもなく世界的大名篇の一。	小説家にして詩人なるレニエの全作十數卷の中、最大の傑作で、華麗な巴里社會を背景として燃ゆるが如き戀愛を描く。譯精嚴を極む。	一家族の三代に亘る性慾生活の記録で、その描寫の露骨と深刻とに瞠目せざるを得ない。而も新時代の精神の趨く途を暗示せるの作。	提げて審判の廷に立たんとするの覺悟を以て、晩年に至る迄一毫掩ふ所なく示してある。	「懺悔録」の繪卷である。痛ましき迄に神經過敏で、偉大なる魂を有する大天才の、辛辣深痛なる苦悶と孤獨の寂しさを述べたもの。	明治大正の文壇を通じて、歴史的意義ある名作を網羅する叢書。第一編は、獨歩作中の粹を集め、附録に「欺かざるの記」を収めた。	作者の出世作として文壇を變動せしもの、既に百數十版に達し需要尙ほ急である。明治大正を通じて斯くの如く歡迎された作はない。
新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社								

クレオパトラの一夜	死の勝利	サフオ	女の一生	燃え上る青春	虹	懺悔録	獨歩者の夢想	牛肉と馬鈴薯	坊ちゃん
ゴ 久米正雄 二二二頁 特裝 送	ダン 生田長江 五二二頁 新裝 送	武 下オテエ 三〇〇頁 菊半 送	モ 廣津和郎 三七六頁 菊半 送	レ 堀口大學 四八〇頁 特裝 送	ロ 宮島新三 八五〇頁 特裝 送	ル 生田長江 四六九頁 菊半 送	ル 新城和 二四〇頁 菊半 送	國 木田獨歩 一六〇頁 菊半 送	夏 目漱石 一六〇頁 菊半 送
●六 〇六	●一 〇八	●一 〇八	●一 〇三	●二 〇〇	●三 〇〇	●一 〇〇	●九 〇六	●五 〇六	●五 〇四
埃及の女王の燦爛たる戀語り。ナイルの河の月明の夜に、銀の棹、紫の帆、絶世の美人を載せた船中の物語は何と云ふ趣深きことだらう。	深刻なる近代人の苦悶を背景として、極端なる性慾の衝動を描く、兩性の間に横はる人間の暗黒面は、極めて大膽精細に寫し出された。	世に斯くまで濃艶を極め、豊麗を極め、哀婉を極めた戀物語はあるまい。溢る、迄にロマンの甘味を漲らせた所、他に類例がない。	清純の處女が獸的な男子の蹂躪する所を、り、其の一生の幸福を破るの徑路を描いて飽く迄追實。云ふまでもなく世界的大名篇の一。	小説家にして詩人なるレニエの全作十數卷の中、最大の傑作で、華麗な巴里社會を背景として燃ゆるが如き戀愛を描く。譯精嚴を極む。	一家族の三代に亘る性慾生活の記録で、その描寫の露骨と深刻とに瞠目せざるを得ない。而も新時代の精神の趨く途を暗示せるの作。	提げて審判の廷に立たんとするの覺悟を以て、晩年に至る迄一毫掩ふ所なく示してある。	「懺悔録」の繪卷である。痛ましき迄に神經過敏で、偉大なる魂を有する大天才の、辛辣深痛なる苦悶と孤獨の寂しさを述べたもの。	明治大正の文壇を通じて、歴史的意義ある名作を網羅する叢書。第一編は、獨歩作中の粹を集め、附録に「欺かざるの記」を収めた。	作者の出世作として文壇を變動せしもの、既に百數十版に達し需要尙ほ急である。明治大正を通じて斯くの如く歡迎された作はない。
新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社

蒲	透	春	我	爛	平	高	何	今	耽
代表的名作選集第三篇	代表的名作選集第四篇	代表的名作選集第五篇 (全二冊)	代表的名作選集第七篇 袖の	代表的名作選集第八篇	代表的名作選集第九篇	代表的名作選集第十篇	代表的名作選集第十一篇	代表的名作選集第十二篇	代表的名作選集第十三篇
團	集	集	記	札	凡	聖	へ	中	溺
田山花袋	北村透谷	島崎藤村	樋口一葉	徳田秋聲	二葉亭四迷	泉鏡花	正宗白鳥	廣津柳浪	岩野泡鳴
菊半布装 一四〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一五〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一五〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價
〇五五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五
わが明治の文壇に自然主義の勃興を記念すべき歴史的名著である。その描ける戀愛事件は萬人的に知る所で、ここに書く迄もあるまい。	透谷は明治新文壇の先驅者で、我が邦に於ける近代主義の第一人者である。茲に其の散文詩、評論及び彼を代表す可きものを選集した。	『破戒』と並んで、藤村氏の代表作である。のみならず、まさに明治文壇の至寶たる書。これを前後の二編に分つて本選集に収めた。	『わが袖の記』は楊牛が多恨の詩人たる一面を語るもの。『たけくらべ』は明治文壇無二の名作である。こゝには、事々しく云ふまでもない。	淫蕩なる一紳士を中心として、紛糾錯綜此の作者ならで筆を向け難き性慾生活を描ける名編。夙に日本の『ヘルミア』と稱された。	少年の夢を描き、性慾の悩みを描き、功名の技巧の絶倫を以て稱された代表作である。	深山の奥、月明の夜、美女あり、美僧あり、極め、胸を極めた。作者の代表作である。	明治の末年、我が青年界に瀰漫せる虚無思想、高名なる出世作であり又代表作の一である。白鳥氏の懐疑思想は此篇に具象されてゐる。	謂ゆる深刻小説を以て明治の文壇に一期を劃した柳浪氏の代表作。戀を失つた一婦が心にもあらぬ男と情死するの徑路を描いたもの。	此書出でて『耽溺』の語、忽ち都鄙の流行語となつた。それほゞ此書は廣く讀まれたので、まことに泡鳴氏を不朽ならしめる作である。
新潮社	同	同	同	同	同	同	同	同	同

戀	別	は	お	俳	煤	花	旅	物	ふ
代表的名作選集第十五篇	代表的名作選集第十六篇	代表的名作選集第十七篇	代表的名作選集第十八篇	代表的名作選集第十九篇	代表的名作選集第二十篇 (全二冊)	代表的名作選集第二十二篇	代表的名作選集第二十四篇	代表的名作選集第二十五篇	代表的名作選集第二十六篇
め	妻	姿	殺	師	煙	枕	者	言	と
小栗風葉	近松秋江	小杉天外	谷崎潤一郎	高濱虚子	森田草平	正岡子規	長田幹彦	小川未明	川上眉山
菊半布装 一四〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一八〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一七〇頁送價	菊半布装 一六〇頁送價	菊半布装 一五〇頁送價
〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五
中年の一文學者と美しき女學生との、南国の春に交さるゝ戀を描いたもので、艶麗にして豊潤を極めた作。田山花袋氏の長序がある。	作者が牛生の惨憺たる苦痛の實際経験を如實に寫せる、生々しき實感を有つた作。男女愛情の赤裸々の姿を描ける斯くの如きはない。	文壇に於て最も早くゾラの自然主義に共鳴した小杉氏が、その最初に發表した作であつて當時の文壇を聳動せしめた歴史的名篇である。	爛熟し類廢せる江戸末期の時勢を背景とし、美觀無比の妖婦が恐るべき戀の経緯を描ける。飽く迄も美しく、飽く迄も凄婉。	俳諧師十風夫婦の悲惨なる生涯を描いて、著者自身の青年時代を點綴し、興味深い作品である。明治文學史上意味深き重要な作品である。	此中に描かれた戀の事實は、世の視聽を動かした此の生死を賭せる戀を描いたのである。	明治新文壇の先驅者たり俳句の革命家たる子規の各方面に亘つて其代表作を収めたもの。	北海の曠野にさすらふ旅役者の群を描けるも、の荒涼たる自然のうち、凋落の人生を點じて哀切を極めた、此の作者の出世作である。	白熱の主観と強烈の色彩を以て、當年の文壇に無二の作風を稱せられし未明氏の最も代表的なものである。附録に『タリヤ』がある。	硯友社中の俊秀として、才華、紅葉を凌ぐと稱された眉山の傑作で、文の清麗と情の激越とを以て當年の文壇を聳動せしめたもの。
新潮社	同	同	同	同	同	同	同	同	同

代表的名作選集第廿七篇	代表的名作選集第廿八篇	代表的名作選集第廿九篇	代表的名作選集第卅一篇	代表的名作選集第卅二篇	代表的名作選集第卅三篇	代表的名作選集第卅四篇	代表的名作選集第卅五篇	代表的名作選集第卅六篇	
體の皮	女作者	南小泉	少年	木選	運命の丘	和	末	善心悪	
上小劍	田村俊子	眞山青果	中村星湖	石川啄木	島村抱月	志賀直哉	久保田萬太郎	里見弴	
菊半布装 一六〇頁送	菊半布装 一五〇頁送	菊半布装 一六〇頁送	菊半布装 一五〇頁送	菊半布装 一六〇頁送	菊半布装 一五〇頁送	菊半布装 一六〇頁送	菊半布装 一六〇頁送	菊半布装 一七〇頁送	
〇五五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	〇四五	
夫に去られた商家の女房を描けるもので、一 作「忍」小劍氏の名を高からしめた傑作であつ て、名匠の腕の牙を示した眞の名篇である。	明治文壇に於いて一葉と共に女流作家の雙壁 と稱せらるる、田村女史の傑作たる「女作者」 「壓迫」「炮烙の刑」等を収めて一巻となした。	自然主義旺盛の當時、文壇を震駭せしめたも の。東北の一寒村を背景とし、無習蠻野の土 民の不徳亂倫の生活を描いて眞に迫れる作。	作者の處女作で又その出世作である。希望に 燃ゆる二人の少年の運命を美しき筆を以て描 けるところ、ツルゲルネフの作の俤がある。	二十八年の短生涯に不朽の足跡を我が文壇に 残せる薄倅の天才石川啄木の歌の大部分と詩 及び小説とを収めた。何れも不朽の作である。	逝ける抱月氏を記念するもので、その熱血を 傾注せる脚本をはじめ、一世を動かした高名 なる論文及び流麗なる小品の粹を集めた。	妄りに書かず、書けば必ず名作を出す此作者 の作中最も傑出せるもので、殊にその取材の 深刻なる爲め、發表當時盛んに喧傳された。	大東京の繁華の裏に滅びゆく江戸の名残を尋 ねて哀愁限りなきの作となした。名匠苦心の 餘になつたもので此の作者の代表作である。	作者が其の文壇的地位を確立せしめた出世作 である。「善心悪心」の外、無雙の神品を以て稱 された「毒草」「父親」の二大名篇を収めた。	菊池氏の「時代もの」の中につき世評最も喧し く、作者亦自信ある「俊寛」、忠直卿行状記、恩 讐の彼方、及び船醫の立場の四篇を収めた。
同	同	同	同	同	同	同	同	同	

代表的名作選集第卅七篇	代表的名作選集第卅八篇	代表的名作選集第卅九篇	代表的名作選集第四〇篇	代表的名作選集第四十一篇	代表的名作選集第四十二篇	代表的名作選集第四十三篇	代表的名作選集第四十四篇	代表的名作選集第四十五篇	
將軍	涓滴	泉谷	蝙蝠の如く	子をわづらひ	或兵卒の記録	暗夜	いたづら小僧日記(巻合)	いたづらもの	
芥川龍之介	森鷗外	有島武郎	有島生馬	葛西善藏	細田民樹	古屋芳雄	佐々木邦	村上浪六	
菊半布装 一六〇頁送	菊半布装 一七〇頁送	菊半布装 一五八頁送	菊半布装 二五〇頁送	菊半布装 一五四頁送	菊半布装 四四八頁送	菊半布装 三六〇頁送	菊半布装 三四〇頁送	菊半布装 六〇〇頁送	
〇四五	〇四五	〇四五	〇五五	〇五五	〇五五	〇五五	〇五五	〇五五	
乃木將軍をモデルとして其の典型的武人に作 者一流の鋭利な批評を加へた「將軍」。盗人、 人妻との心理の機微を描ける「藪の中」等。	明治四十年代の初期、彼が創作精神の最も盛 んであつた時期に於て、矢張り早くに公にした 短篇の一聯で「杯」「花子」以下十四篇。	高渾華麗の作風、而も字々に情熱を孕んで眞 氣直に人を撃つ「生れ出る惱み」の外「小さき 者へ」「ドモ又の死」を添ふ。いづれも高名の作 者へ「ドモ又の死」を添ふ。いづれも高名の作	「蝙蝠の如く」は伊太利に於ける一日本青年の 熾烈な愛慾の生活に、美しき南歐の風景を配 せるもの、絢爛にして沈鬱なる作者の代表作。	藝術道の苦行者たる氏が全作中より最もよく 其特色を示せる不朽の名作「子をわづらひ」 人風呂「馬糞石」等八篇。眞に東方藝術の粹。	〇人營の日〇最初の頃〇多忙な初年兵〇餓飢 道〇ひさつ〇飯盒〇鹿〇高原の廠舎〇愛馬菊 水〇外五篇。	私は全力を出した、疲れ切つた、そしてやは り寂しい然し永い間の悩みをかくも誠實に表 現し得た歎びは深い。著者感想の一節。	天下の奇書として大評判の本書。天來の奇想 は意表に出で諸讀の内に皮肉を含み馬鹿氣た 理窟の裏に教訓蓄へ、誰が讀んでも面白い本。	著者がいたづらものを書いたわ自叙傳と云 ふものやたら他人に罪をきせるは是も又著者 がいたづらものにあらざるか。	生田長江氏吉野作造博士をはじめ、文壇並に 一般讀書界に最大級の言葉で推賞されたる 近來無比の長篇創作、思想は高邁、描寫は清鮮
新潮社	同	同	同	同	改造社	岩波書店	弘學館	明文館	

刷一葉全集	樋口一葉	三三三頁装	三・八〇	舊刊一葉全集前後二巻を縮刷して一篇に收め及筆蹟四葉を巻頭に挿入して完全な一期した。小照	博文館
幕末史 糸の亂	前田曙山	四六判入優美装	二・二〇	世を擧げて討幕佐幕の擾亂。其時函館の五稜廓に於ける豪快なる一丈夫の千辛萬苦の物語其間に熱烈なる戀と流血の争闘とを織りなす	講談社
犬 附島守	中 勘助	一八〇頁装	一・二八	印度に題材を取り性慾の泥沼の醜さをまざまざと描きつゝその泥沼の中に在つて而も泥に染まなない一女性の魂の美を描き出した力作	岩波書店
イブとその子達	小林鶯里	四六判ホボリン装	二・〇〇	各時代を通じて女性の性質、女の魅力、女性の心理を歴史的に、イブ以後の女性の鍵に就きて解剖を試みたるもの、女性研究の鍵に	文藝社
浮世情話	熊谷春草	三二〇頁装	一・〇〇	生きたこの社會に捲き起つたあらゆる階級間にある情話の最も興味ある對話的に綴りたるもの、春秋の讀みものには最も適當せる書	日本書院
動き行く墓場	岩橋武夫	二八〇頁装	二・二八	初戀の甘い夢が覺め切らぬ中に恐ろしい常闇が主人公の世界を包む。懷疑と絶望の中に再び戀と詩に生かんとした若い盲詩人の懺悔録	警醒社書店
生れざりせば	沖野岩三郎	五六〇頁装	二・一五	多情で涙もろい父、冷靜で總てを笑つて解決して行く母、父母の兩極端な性質を遺傳された主人公の數奇な運命を中心に興味ある創作	大阪屋號
運命の秋	吉田絃二郎	三二六頁装	二・〇〇	○西郷吉之助○寒日○人間を悲しむ○篇の中○故郷の町○花梨の下。	改造社
運命の舟	宮原晃一郎	四六判布装	二・一八	運命の必至を強く感じてゐる印度人の悲劇を表面した小説。主人公ラメシユとヘムナリニの火の如き戀愛が運命の手にどう弄れるか。	出版協會
映畫十二講	武田 晃	四二〇頁装	二・一八	映畫の總部門に亘つて理論と實際を説ける日本最初の映畫教科書にして映畫界に志す人々にとつて絶好指針である附録映畫用語辭典。	素人社

嬰 兒 殺 し	山本有三	五〇八頁装	二・〇〇	津村教授○嬰兒殺し○生命の冠○女親○坂崎出羽守。	改造社
江戶艶説蟻地獄	大佛次郎	三八四頁装	一・〇八	蒐むる長短十二篇、悉く波瀾、重疊哀切極まりなき人情の葛藤を新しき筆に描き出し、作中人物の喜怒哀樂讀者をして興に感ぜしむ。	博文館
江戶時代笑話選	和田萬吉	二九〇頁装	一・〇〇	江戸時代生鮮の笑話をもつて、生地をまよて轉載されたのが本書だ。珍本類の蔵書家として知られた著者自慢の珍書。	日本書院
改工ミール	三浦關造	四六判	二・一八	「自然に還れ」てフルツソオの獅子吼を骨子としエミール及びソフキに假託せる少年處女の教育法及び其原則を細かに訴へ記したる者	誠文堂
縁 談 窠	里 見 淳	四三八頁装	二・三〇	氏獨特の世話にくだけた筆で描き出した十數篇の小説の集みである。再讀三讀猶盡きぬ滾々たる興味と潤ひと意味に満ちたる書。	改造社
艶 魔 地 獄	橋 外 男	四〇〇頁装	二・〇〇	一名或る死刑囚のグリンブスと名づけられた其猛烈なるかは當局の巨眼に睨まれたる書。	日本書院
お洒落狂女	本田美禪	各篇四六判	一・八〇	瀾熱せる江戸文化の桃源に咲き誇れる艶麗花を欺くはかりの女性を中心に豪勇俠戀愛等全三巻に亘る波瀾萬丈の大歴史小説。	講談社
鬼火の踊り	田沼利男	二四四頁装	一・一八	葡萄香る佛國の田園を背景として村乙女と若き農夫の清新純朴なる戀を描く佛國文豪の大傑作	改造社
音楽家の死	妹尾詔夫	四六判	一・〇〇	奇怪なる三音楽家の死！紐育の樂壇を背景にして辣腕なる銀行家と花の如き少女と明敏なる醫師と。事件は如何に解決されるか？	金剛社
怪 異 草 紙	畑 耕 一	三五〇頁装	二・〇〇	氏独自の凄惨たる筆による怪異傑作集である戯曲「直助権兵衛」浴泉奇談「敷原檢校」其他小説隨筆等數篇の興味ある讀物である。	大阪屋號

愛に魅する	水守龜之助	四〇頁	二・五〇	巧に抱擁し愛の復活を以て終る長篇力作なり	大阪屋號
諧謔世界小話	和田萬吉	五〇頁	一・八〇	久しく大學圖書館長であつた著者が英米佛獨等の笑府類から抄出したもので全く世界的名著と云つてよい。全篇六百十七話あり。	日本書院
悔恨	福田稔	六七〇頁	二・五〇	日本書院主たる福田氏が過去四十餘年のあまつに苦しみかりし悔恨の事實を追想のあまり成つた長篇小説で既に好評三十五版を重ねてゐる	同
怪紳士	ルブラン	三〇〇頁	〇・八五	強盗紳士ルパンの出現は、日本讀書界の一番ルパンであつた。シヤロックホルムズの奇智と	紅玉堂
海神丸其他	野上彌生子	二四〇頁	二・三〇	○海神丸○多津子○所有等	改造社
科学の奇蹟	堀口大學	二四〇頁	一・三〇		第一書房
哀しき父	葛西善藏	三四頁	一・九〇	○不良兒○仲間○西○本來の面目○春○惡夢○父の歸郷○埋葬そのほか○千人風呂○M氏	改造社
かなしき女王	松村みれ子	二九〇頁	一・八〇		第一書房
悲みの極み	沖野岩三郎	四六頁	二・五〇	少壯敘論を中心に強い信仰に生きる女戀愛至上主義の女美しい二女性に纏る哀切悲痛なる經緯を描き深刻に人生を凝視する戀愛記録。	大日本會
金が敵	平井晚村	四七〇頁	二・〇〇	この一篇は抱腹絶倒させる以外に人生觀の或易趣向は千變萬化であるを保證して置く著者	三芳屋

花瓶	上司小劍	三五〇頁	一・八〇	女學校の卒業式に於ける波瀾を發端として若き一女性の愛に目覺め行く徑路を描破し盡せる傑作。詩趣と興味と交錯せる長篇。	博文館
神は眠れり	青木惠次郎	三九〇頁	一・八〇	世の中の凡ては暗黒である。善行あるものに必ず善果があり惡いものに必ず惡果がある。さば云はれぬ眞に今正に神は眠つてゐる。	日本書院
搦み蜘蛛	江見水陰	四六頁	二・五〇	家庭教師となつた可憐の女性奇しき運命さ之を廻る貴公子。變態性慾漢、毒婦等を配し妖艶怪奇宛ら搦み蜘蛛の如きローマンズ。	講談社
奇巖城	ルブラン	三五〇頁	一・〇〇	奇巖城に寶が澤山ある。永らく藏されてゐるこの寶には誰一人手がつかれなかつた處、ルブラン立ち一學生現れ互に競ふ勝利は何れか	紅玉堂
君は燃えたり火の如く	奥野他見男	四六頁	二・〇〇	愛せる二人は嬉しかつた、彼等は書らば夕た……天下の他見男さんの傑作集。	講談社
極みなき愛を語る	唐澤健作	四〇〇頁	一・八〇	行文流麗にして事件は複雑な極め熱烈人を動かしむ其切なる物語。	日本書院
聊齋志異	柴田天馬	四一〇頁	三・〇〇		第一書房
希臘神話及北歐神話	中島孤島	三五〇頁	二・二〇	泰西文藝の源泉たる希臘神話及北歐神話を面白く平易に書き流し多數の畫を挿み文學家庭の讀物とせるもの。	富山房
近世劍客傳	本山荻舟	四六〇頁	二・〇〇	爛熟しきつた徳川文明が正に凋落せんとするさきの學國騷然たる間に伍して東西に馳駈せし幾多の志士劍客の壯烈なる傳記である。	報知新聞出版部
小説 ぐうたら道中記	佐々木邦	四〇〇頁	一・八〇	諧謔文學の泰斗佐々木氏の傑作で無職のぐうたら兵衛が各地の人情風俗名所を行脚し抱腹絶倒な失敗を演じ其諷刺と諧謔は天下一品。	弘文社

クオレ愛と學校	小九番館	漱石虞美人草後編	幕末鞍馬天狗	黒谷夜話	啓吉物語	小説結婚難	結婚の契約	創作結婚魔	小説結婚禮讚
三浦修吾	長田幹彦	三四郎	大佛次郎	中里介山	菊池寛	仁科春彦	新城和一	小林鶯里	武林無想庵
四六判送價 三〇八〇	三六〇頁送價 一〇五八〇	四二〇頁送價 一〇六八〇	三八〇頁送價 一〇八八〇	二二〇頁送價 一〇五八〇	四六九頁送價 二〇二〇	四六九頁送價 二〇二〇	四六九頁送價 二〇二〇	四六九頁送價 二〇二〇	三八六頁送價 二〇三〇〇
純潔無垢なる小學兒童の日記に擬した物語で、罪惡も暗影もない、蓋し絶好無二の家庭讀物。	文壇の寵兒幹彦氏が始めて執筆せる探偵小説。一波は萬波を生んで局面の變化と人物の出没と應接に暇なき大活躍を紙上に試みる。	漱石先生の傑作虞美人草をあのまゝにして、おのれは惜しいといふので其あさを漱石一流の輕快皮肉な筆で書いたもの最も面白い。	幕末の京都、江戸を舞臺に勤王佐幕の争鬪を背景とし「鞍馬天狗」の名乗る快男子の活劇を叙す、規模雄大、構想絶妙、描寫麗麗。	熊谷が鎌倉を走る事に始まり奇警なる強盜眞撃なる求道者頑蕩なる遊女生活等を寫し兼て盛衰流轉の世相と浄土佛教の眞髓を暗示す。文壇の雄菊池氏の自傳とも出世作とも見るべき短篇集若き氏が如何に才氣に富み力強きかを盛る絶好書。	春彦氏の傑作結婚難と母親難の二編を収む。描き一人娘に言ひ寄る數多の求婚者の心理を影に男女兩性の辛辣な争鬪が續けられる寫實さ解剖の極をつくした傑作附録又彼の代表作「青春の血溢るゝ若人の是非」も一讀すべきもの。結婚魔を始めとして、數篇の短篇を集めたり、何れも享樂の生活に生きる者の記録。規模の廣大は古今に絶し人間の性慾を赤裸々巻に取扱つたものゾラのナナ以上に面白く一讀卷を捲ふ不能。				
誠文堂	博文館	日本書院	博文館	磯部甲陽堂	改造社	日實業社	東京堂	文藝社	改造社

現代の藝術と未來の藝術	正義士元祿快擧錄	戀愛戀に死なむ	戀のサツフオ	戀の歐羅巴	工場	工場	高野の義人	紅葉全集	黄金の三角
村山知義	福本日南	岡本靈華	アルホンズ	北村新一	堀口大學	細井和喜藏	片田江全雄	尾崎紅葉	松村博三
二六〇頁送價 二〇一八〇	二〇〇頁送價 二〇三〇〇	八〇六頁送價 一〇四二〇	二〇五頁送價 〇〇八五	三四〇頁送價 二〇二五〇	四二七頁送價 二〇〇〇	四二七頁送價 二〇〇〇	三二〇頁送價 一〇一八〇	各九〇頁送價 一〇一八〇	四六〇頁送價 一〇〇八〇
内容はアレキサンダア、アキペンコ、ハブロ、ヒカリ、カンダンスキの劇及び劇論カンダンスキの詩過ぎ行し表現派其三點を納む。考證精確探討詳密行文清麗情趣無盡一讀真相を見るが如し古來義士傳多きも本著の右に出る物無きは猶亦義士に優る義士無きが如し。	命短かし戀せよ乙女、赤き唇あせむ間に……これこそ女學生泉洋子がほい笑める最後の昏に愛唱した歌であつた。情熱迸る戀愛の記録。	世界的名作たる、ドウアのサツフオの新譯博したる世界名著叢書の第三篇なり。	○暴虐な資本家無智なる女工煉瓦壁の裡の戦標すべき奴隷生活は著者の體驗と蠟筆により如實に描出す。	○温情主義、工場法の美しき面皮を剥き取つて奴隷苦に忍従する女工の血みざるな生活。人間賣買を題材とした社會勞動小説の極致。	五修越ゆれば高野の御領。高野御領には毒水ござる。毒が流れて薙へ落ちて。二萬四千石血の涙……	明治文壇に巨影を投じて萬人を酔はした樓心彫骨の名作品は文學史上の國寶である。此全六卷約六千頁の全集は永久の存在を示す。	佛貨十億萬法の行衛？世の耳目から遠ざかつてゐたルパンが俠勇の血押へ難く挺身危地に赴く時が来た。見よ！金の三角上の舞踏。		
長隆舎	啓成社	三芳屋	紅玉堂	第一書房	改造社	聚英閣	磯部甲陽堂	博文館	金剛社



小説	潮	黒	行乞	湖上	樹間	此世	金色	渾	西鶴
徳富健次郎	佐藤吉郎	夏目漱石	宮崎安右衛門	幡谷正雄	古屋芳雄	高瀬毅	アラン・ポウ	沖野岩三郎	岡部美二
三六〇頁	六四六頁	四五〇頁	五〇八頁	四六八頁	二〇〇頁	四六六頁	二四六頁	三三〇頁	六〇〇頁
送	送	送	送	送	送	送	送	送	送
一・五〇	二・八〇	一・五〇	二・五〇	一・八〇	一・五〇	二・〇〇	一・〇〇	一・八〇	五・五〇
一・八〇	一・八〇	一・六〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	二・〇〇	一・〇〇	一・八〇	二・八〇
藝術から云へば著者が「不如歸」思ひ出の記に小説筆の深意を以て書いた。著者の作品中特殊の地位を占めるもの。八年間米墨兩國に亘つて放浪したる著者が白人の暴虐に對する憤激の情抑え難く雄渾の筆を以て書き上げた凄麗極りなき大ロマン。	「心は我文壇に於て全然先生一人の馳聘の委せられたる純心理解剖の作品。利己主義の醜態を描く如斯痛切鮮明なる恐らく他にならむ著者が病弱の身を抱きながら各地に數寄極まる行乞生活の十年を、謙虛な心をもつて書いたものである。	全歐米に亘り白熱的愛誦せられた本書は、茲に完譯を得て上梓せらる。一書を繕きて絶世の佳人に纏はる美はじきロマンを思はせよ。	死といふつめたくおごりたる實に遭遇する稀である。附録として論文「余の藝術感」を添精細なる科學的立場より世の終末を鮮明に描出せる特殊の文學。譯文亦些の滯滞なく原文の俤を傳ふ。	悪魔派の鬼才・アラン・ポウが神秘なる物語三つを収めた譯筆の靈妙は今更言ふを俟たない。父なき子信次は祖父の愛に育まれた、信次の世界は目まぐるしい推移と變遷と無反省な人達の生活と其社會を描寫した大作である。	本書は從來流布の類書と全く趣きを異にして第一段に語義、第二段に原文、第三段に國譯の三段式とせる一大特色を有する無類の良書。	人間のこの世に生きてゐる間は、どうしても其ありゆる問題に酒と戀と女が中心である。天民式の面白き事實談を小説に仕込めたるもの。	眞田三代の事蹟を興味深く描き、殊に幸村の科學的智謀と徳あり勇ある活躍ぶりは讀者をして一息の餘裕をも與へぬ大雄編である。	「美と悪魔」の権化、性の覺法使、醜惡目をそむけしむる彼の性的生活中にも一掬の清浄さがあつた。當世女讀むべからざるの書はこれ妖艶なる人魚の如き一女性を拉し來りて變轉構想の大、描寫の妙、神技に庶幾し。	アルセーヌ・ルパンの名は、既に有名なものである。佛蘭西の強盜紳士ルパンは、本書の謎を如何に解決してゆくか。
警醒社書店	東北書房	岩波書店	磯部甲陽堂	交關社	岩波書店	改造社	金剛社	大阪屋號	廣文堂

小説	酒と戀と女	眞田の智謀	澤村田之助	眞田の智謀	三十	虐げられた笑	上	川上三吉	倉橋幸藏	黒田健次
猪股平三郎	小林篤里	矢田挿雲	谷崎潤一郎	松村博三	生方敏郎	村上浪六	村上浪六	村上浪六	村上浪六	村上浪六
三二〇頁	四六六頁	四六六頁	三二〇頁	三〇〇頁	四六六頁	四三〇頁	四三〇頁	四三〇頁	四三〇頁	四三〇頁
送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送
一・〇〇	一・三〇	一・五〇	一・〇〇	一・〇〇	二・〇〇	二・〇〇	二・〇〇	二・〇〇	二・〇〇	二・〇〇
一・八〇	一・〇〇	一・六〇	一・八〇	一・八〇	二・〇〇	二・〇〇	二・〇〇	二・〇〇	二・〇〇	二・〇〇
日本書院	文藝社	報知新聞出版部	改造社	紅玉堂	日實業社	至誠堂	同	同	同	同

浪六全集 刷縮 元祿四十七士	浪六全集 刷縮 當世五人男	浪六全集 刷縮 人間學	浪六全集 刷縮 八軒長屋全三冊	浪六全集 刷縮 罵倒錄・放言錄	浪六全集 刷縮 無遠慮	浪六全集 刷縮 吉田雄藏・花車	浪六全集 刷縮 仍如件	浪六全集 刷縮 死刑宣告	長篇小説 死線を越えて上巻
村上浪六	村上浪六	村上浪六	村上浪六	村上浪六	村上浪六	村上浪六	村上浪六	萩原恭次郎	賀川豊彦
袖珍函入 七二六頁	袖珍函入 五二二頁	袖珍函入 四七六頁	袖珍函入 五二三頁	袖珍函入 六三三頁	袖珍函入 五二三頁	袖珍函入 五〇一頁	袖珍函入 四一七頁	菊判紙装 二〇〇頁	翼判上装 五〇一頁
送價 二〇三〇	送價 二〇〇〇	送價 二〇〇〇	送價 二〇〇〇	送價 二〇三〇	送價 二〇〇〇	送價 二〇〇〇	送價 二〇〇〇	送價 一〇八〇	送價 二〇八〇
勅使下向より筆を起し殿中刃傷内匠頭の最後 亦穂一黨の苦心吉良家討入に至るまでの顛末 さその外傳を附したる史實と興味との結晶	浪六先生の傑作中の傑作として讀書界を熱狂 せしめたるもの、構想奇抜にして痛快にして 興味津津たる小説である	文豪浪六先生の人世哲學より割出されたる活 人間道の活學問にして精氣激刺、奇警なる文 章は人の肺腑をえぐつてその刺戟をうながす 讀書界を風靡したる不朽の名著にして八軒長 屋に住ぶ浮世の敗殘者の生活を描出す、奇抜 の裡に深刻なる人世の裏面を知る名著なり	人のいはんとしていひ得ざることを遠慮會 釋なく鏡き筆鋒を以て罵倒し、放言したるが 本書である。いかにその痛快なることよ	階級はプロに屬すれど、心はブルも及ばぬ痛 快兒が、富豪杉浦の邸宅を白眼にして無遠慮 なる活躍をなす一流の社會小説なり	「當世五人男」中の一人の活躍詳傳に加へて興 味津津たる「花車巻」しなだため」の二篇あり	浪六先生一流の歴史小説、高野山の苛辣なる 振舞に敢然と立ちたる義人が、血涙をこぼり て正義の爲に活躍する悲壯の長篇なり	詩壇の驍將としての氏の第一詩集強張せる脈 々々の近代人生活の縮圖異常なる紙面構成ニグ オ同人四十葉の挿畫の奇拔壓倒的偉觀である	我國第一の暫行きを示せる有名なる賀川氏の 自叙傳的小説。此三巻は世界各國に翻譯され た高名の書籍	氏の貧民窟教化實淫窟教化がいかに熱烈であ ることは我國の全民衆の承認する所。勞働記 録の聖書
至誠堂	同	同	同	同	同	同	同	長隆舎	改造社

長篇小説 死線を越えて中巻 太陽を射るもの	灰の中 芽む	時代相	時代相	時代相	時御前	沈む夕陽	脂粉の顔	清水次郎長	釋迦の生涯と思想
賀川豊彦	村上浪六	村上浪六	村上浪六	村上浪六	福田琴月	長田幹彦	藤村千代	矢田挿雲	小林鶯里
翼判上装 四九四頁	四六判 四〇〇頁	翼判洋装 四〇〇頁	翼判特装 各三〇頁	翼判特装 各三〇頁	四六判 四〇〇頁	四六判 四〇〇頁	翼判上装 三五二頁	四六判 六〇〇頁	翼判函入 三五〇頁
送價 二〇八〇	送價 二〇〇〇	送價 二〇〇〇	送價 二〇六〇	送價 二〇六〇	送價 二〇五〇	送價 二〇五〇	送價 二〇三〇	送價 二〇〇〇	送價 一〇五〇
震災前後に氏が神の如く活躍せるさまは本書 を讀むもの、誰でも涙なしでは讀み得ぬこ ろである	本書は「時代相」の續篇なれど、彼の大震災を 背景とせるもの、當時の凄惨限りなき光景を 描き悲喜こももとの幾場面を展開す	時代相は今日の社會に於けるあらゆる人間の 内外表裏を描き出せるもの、浪六先生本書を 以て執筆の最後とする納めの傑作小説	時代相は今日の社會の人物をさらへて内外表 裏を曝け出せしもの、多少お氣の者あれど著者 これが最後の執筆として世間への憎まれ納め	平家没落の詩的時代を背景に美の化身たる靜 と武の権化たる義経、男性美女性美の象徴た る二人の戀を中心とする静の全面目を描き盡す	虚榮と希望に燃えたる若くは二女性が憧憬の 都に出て職業婦人となつたが、あはれ誘惑の毒 牙によつて其純潔を蹂躪する、人生の哀史	〇人間の意欲〇追憶の父〇東京と云ふところ 〇巻の雑音〇脂粉の類等新人の力作を集む	〇本の意欲〇追憶の父〇東京と云ふところ 〇巻の雑音〇脂粉の類等新人の力作を集む	本書に於て著者は本當の人間を描き男の中の が挿雲の次郎長には更に肉と皮がある	釋迦の全生涯を平易に述べ不知不識の間に偉 大なる思想を感得するやう誕生より入滅迄を偉 描いたる通俗釋迦一代記は本書を嚆矢とす
改造社	至誠堂	同	明文館	同	雄大辯會本	同	改造社	報知新聞 出版部	文藝社

酒落本註釋	山崎 麓	三〇頁	二・八〇	江戸文學の粹、酒落本の傑作十一篇に明解流暢な評註を施したものの、江戸花柳及俗間の言語風俗を語る。江戸軟派及國文研究者の伴侶	武蔵野書院
沙羅の花	芥川龍之介	四七頁	二・八〇	○羅生門○奉教人の死○きりこぼる上人傳○或日の大石蔵之助○南京の基督○秋山圖等	改造社
祝福	古屋芳雄	三七〇頁	一・八〇	現實と云ふものは一部理想派作家の考ふるが如く爾く容易に超越し得る者でもなくして其者でもない斯る信念の下に書れし快心の作	岩波書店
十五少年絶島探險	葛原 鹵	四七四頁	一・〇〇	全篇飽く事を知らぬ興味を犯すべからざる自然の教訓に満ち、少年諸君に推薦すべき讀物としてあらゆる長所を備へてゐる	博文館
主よ御許に近づかん	橋 外 男	四〇〇頁	二・〇〇	橋外男氏の太陽の沈みゆく時全三巻は非常の好評を以て迎えられた。其後二年始めて成りたるもの本書である。其熱烈な文體味ふべし	日本書院
家庭小説 公子	若松賤子	二二六頁	一・〇〇	海外の小説にして本書ほど深く其教化と興味とを邦人に與へたるものなかるべし、殊に好評を以て既に天下の折紙附となれるもの	博文館
肉薄園よ 情郷禪	平井堤 六	三六〇頁	三・八〇	本書は未だ嘗て譯されし事のない支那の情事秘話であつて、仲々手に入難い珍本である。換言せば戀愛の百科辭典情道の聖典である。	甲子社書房
小説家志願	石丸 梧 平	三三〇頁	一・八〇	小説家を志願する青年を中心に生んとする人の研究ともいへる一大創作	大阪屋號
小説作法	田山 花 袋	九〇頁	〇・五〇	『巨匠の言葉』コレハ最も端的な本書の評言であらう。小説創作の態度と用意を自己の経験に出發して全的に述べられたものである	松陽堂
人猿タアザン	天岡 虎 雄	三二二頁	一・〇〇	文明人のいかにも名流の子が未開の蠻地に於て人猿の發展全く人の意表に出づ	博文館

神曲地獄界	竹友 藻 風	四六頁	二・四〇	伊太利原書の外、佛英の兩國語譯を參照して全文を韻文譯せしもの、譯文流麗明快、著者は詩聖ダンテ譯者は詩人英文學者	文献書院
人生見物	大泉 黒 石	四六頁	一・五〇	著者の放浪物語なり。黒石氏の社會觀人生觀は本書に依て窺ふべし。世すでに定評ある著者に就ては茲に謂ふの要なし	紅玉堂
人生詩人フラウニング	帆 足 理 一 郎	四六〇頁	二・八〇	多年英詩研究に没頭せる著者が此詩聖の崇拜者として彼の評傳を綴り其の傑作『ヒバ過ぎ行く』以下十數篇の名詩を譯出せるもの也	新生堂
新選谷崎潤一郎集	谷崎潤一郎	二二〇頁	五・五〇	○神童○美○惡魔○續惡魔○あくび○前科者○異端者の悲しみ○人面痘等外數十篇	改造社
新夫婦日記	佐々木 邦	三五〇頁	二・一〇	上品にして面白い事天下一品は佐々木氏の諧謔小説である。本書は新婚の若夫婦の新生活を獨得の輕妙洒脫な筆で描いた諧謔文學傑作	弘文社
現代語水滸傳	蒲原 春 夫	全一冊	三・三〇	水滸傳の面白さを知らぬが難解な文章體に現代語で判り易く書いた青年子女の必讀書	興文社
直裁壽々	志賀 直 哉	四二二頁	二・五〇	○小僧の神様○正義派の謙作の追憶○母の死と新らしい母○城ヶ崎にて○眞鶴○和解等の十數篇	改造社
下女の婚	小宮 豊 隆	五九二頁	二・七〇	本書は著者の自傳的長篇也。深刻な内容を簡勁な技巧に表現する所味ひ學ぶべき多くの者を持つてゐる。譯筆亦精刻明快	岩波書店
結	龜尾 英 四 郎	五〇〇頁	二・三〇	現代病的弊弊のたゞ中にある結婚生活の異りたる二十の立場を選んで赤裸々なる解剖によつて其の禍根を突きしもの	同
自然主義的戯曲	小宮 豊 隆	三六四頁	二・一〇	近代文學中の特異の光を持つ戯曲として傳へらるべき著者の自然主義的戯曲『父与令嬢ユリー与友だち』の三篇を譯す	同

島	或魂の發展	ダマスクスへ	痴人の告白	聖戰	青銅の基督	世界奇談文庫	復活	縮世間學	千古の奇蹟	
ストリントベルク全集	ストリントベルク全集	ストリントベルク全集	ストリントベルク全集				世界名著叢書第二	アルセーヌ・ルバン		
草間平作	和辻哲郎	茅野庸々	和辻哲郎	バンヤン	長與善郎	牧綠人	トルストイ	村上浪六	松村博三	
三〇〇頁	四二〇頁	四六〇頁	五五〇頁	四〇〇頁	三六六頁	各一〇〇頁	二〇〇頁	三〇〇頁	三五〇頁	
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	
難解、晦澀、陰慘なる彼の著作中の異例とすべし、美しき多島海の自然とその島々に住む人々の生活を描寫せる神品。	本書は著者が廿四歳より卅八歳に至る迄の自らの魂の開展を厳正に分析叙述しようとする試みたるもの譯筆亦原著書の持つ暗示簡潔也。	一人の人間の魂の戦に於て人間其者の姿人生つて其の意義を啓き示す事は此の書の意圖であつて其の此の作は最も近代的な形姿で實現す「或魂の發展」で物語つた同じ時代を戀愛生活の方面から物語つた者。世の婦人解放論者は特に一讀せられたい。	バンヤン晩年の成熟せる宗教經驗と聖書の事件を根柢として天を翔ける想像力、精妙なる比喩を以て基督教中心の靈肉の衝突を描く。	○青銅の基督 ○陸奥直次郎 ○シスカの一夜 ○Cの話。	1 西洋の犯罪物語 2 珍らしい海棲動物 3 空中旅行記 4 西洋の怪談 5 行きつまつた讀物 文藝の粹として歡迎絶大なる物語の寶庫。	カチューシャで一般的に知られて来たトルストイの作復活を、解り易く平明に書いたもの、復活の精髓を知るには、唯一の本である。	本書は實に氏一流の處世觀である。辛辣なる諷刺と皮肉、痛快極る筆の走り、今更贅言する迄もない。一讀骨を刺すものがある。	三十の棺桶島に於て不可解な謎として解釋せざりし事件も本書によつてすべて氷解されてゆく、快男子ルバンの飛躍を見よ!		
岩波書店	同	同	同	警醒社書店	改造社	健文社	紅玉堂	大阪屋號	紅玉堂	

戰爭と平和	先代萩の真相	ゼンダ城の虜	曾我兄弟	則天武后	(ゾラ) 陥落	漱石 傑作	大楠公	小説 第二の接吻	第二の隠者の運命
トルストイ	田邊實明	宮田峰一譯	小林鷺里	柳原燐子	渡邊俊夫	三四郎	小林鷺里	菊地寛	武者小路實篤
各七〇頁	五〇二頁	四六〇頁	三五〇頁	二四六頁	三一〇頁	四五〇頁	四六〇頁	三九六頁	三九〇頁
二〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	二〇〇	二〇〇
トルストイの名著「戰爭と平和」の改訂譯。日本のもの數種ある中に敢て刊行する所以は、これを以て日本譯の定本と信するが故也。	舊傳と稱し實録と謂ふも時に真相を逸したる傳説に留まることあり本書また此種の破邪顯正を敢てしたる伊達騷動の快記録。	英文學中稀に觀る興味深いメロドラマ、姫臣美姫兒の躍如として紙面に活動する所に波瀾重疊讀者をして巻を措かじめぬもの。	可憐なる曾我兄弟が幼少より十八年間、父の仇を報ぜんとしての苦心は本書中に詳かた、一讀涙を催さずには居られぬ傑作である。	題材を支那に採りて權力と戀とにまつはる女性の心理を深刻に描寫せるもの文章亦華麗香高き藝術品。	佛國の都パリが普佛戰爭の結果に包圍され茲に老若男女が争ふて都を去ると共に佛軍も次第に退却し其の退却中の物語が骨子。	吾輩は猫であるの猫はかめの中で死にかつたその猫が三四郎氏の漱石文によつて復活した實に面白い愉快な文章だ讀み給ひ。	大楠公一代の偉業を史實的通俗的に筆を進め一般家庭に向つて此日本魂の具體化する建武の大忠臣を偲ばせんとするもの。	接吻すれば萬事休し接吻されば萬事休す。本書は最初の接吻の筆を起し第二の接吻に筆を本欄く、其の間の戀の葛藤を描ける神品。	武者小路氏の創作中尤も力の遺入つた傑作と稱せらるべきものだとして尤も考へさせられる大作。
岩波書店	博文館	健文社	文藝社	改造社	日本書院	同	文藝社	改造社	同





探偵傑作叢書(34)	探偵傑作叢書(35)	探偵傑作叢書(36)	探偵傑作叢書(37)	探偵傑作叢書(38)	探偵傑作叢書(39)	探偵傑作叢書(40)	探偵事實奇譚	探偵十種	神曲 (煉獄篇)
妹尾詔夫	小酒井不木	淺野玄齋	延原謙	フレミング	ル・キユイ	ウエルズ	筑波四郎	筑波四郎	中山昌樹
三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	四六判送	四六判送	五八〇頁送
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇
描想の妙、素封の奇、讀者をして必ず最後に至り驚歎の聲を放たしむるヒーストンの珠玉の作品。	斯界の權威小酒井博士が近代探偵小説界の最大傑作と認め感興に乗じて自ら翻譯の筆を執られたる空前の收獲!	英文壇に独自の地を占むるオルチー夫人の歴史的小説、奇智と變装により變幻出沒を極むる灰色の男は誰!	突然英文壇に出現して第二のドイルと騒がれたるクリスチー女史が珠玉の如き名篇、情味ある純探偵小説として近來稀有の傑作。	巴里とポストンと倫敦に惹起せる類型の殺人事件と名探偵の大苦心秘録、興味津々、一度巻を開けば閉ぢることが出ない愉快な著。	青年ケンポールの捲込まれた渦中から一代の妖婦の秘密を探り當る痛快極まる青年の娯樂書、探偵趣味研究として本叢書は斯界の王。	奇々怪々な両蔵の黒百合の謎、高僧は暗示を語り、不思議の人物「壹號」は事件の發展から終りまで運命の糸のからくりを物語る。	鋭敏なる觀察眼と科學的見解により著者が心血を凝らす探偵物語二十餘篇を蒐む、強盜殺人詐欺等何れも凄麗怪奇を極む。	ヒーストル大強盜定吉、色仕掛の枕さがし等奇々怪々兇行慘劇を極め世人の心膽を寒からしめた探偵事實物語を集む。	神曲はダンテの最大作品たると共に世界最高傑作也。人類一切の作品は神曲の前に跪伏す地獄篇は三篇中最深刻最上の藝術也。
博文館	同	同	同	同	同	同	講談社	同	新生堂

探偵傑作叢書(34)	探偵傑作叢書(35)	探偵傑作叢書(36)	探偵傑作叢書(37)	探偵傑作叢書(38)	探偵傑作叢書(39)	探偵傑作叢書(40)	探偵事實奇譚	探偵十種	神曲 (煉獄篇)
妹尾詔夫	小酒井不木	淺野玄齋	延原謙	フレミング	ル・キユイ	ウエルズ	筑波四郎	筑波四郎	中山昌樹
三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	四六判送	四六判送	五八〇頁送
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇
描想の妙、素封の奇、讀者をして必ず最後に至り驚歎の聲を放たしむるヒーストンの珠玉の作品。	斯界の權威小酒井博士が近代探偵小説界の最大傑作と認め感興に乗じて自ら翻譯の筆を執られたる空前の收獲!	英文壇に独自の地を占むるオルチー夫人の歴史的小説、奇智と變装により變幻出沒を極むる灰色の男は誰!	突然英文壇に出現して第二のドイルと騒がれたるクリスチー女史が珠玉の如き名篇、情味ある純探偵小説として近來稀有の傑作。	巴里とポストンと倫敦に惹起せる類型の殺人事件と名探偵の大苦心秘録、興味津々、一度巻を開けば閉ぢることが出ない愉快な著。	青年ケンポールの捲込まれた渦中から一代の妖婦の秘密を探り當る痛快極まる青年の娯樂書、探偵趣味研究として本叢書は斯界の王。	奇々怪々な両蔵の黒百合の謎、高僧は暗示を語り、不思議の人物「壹號」は事件の發展から終りまで運命の糸のからくりを物語る。	鋭敏なる觀察眼と科學的見解により著者が心血を凝らす探偵物語二十餘篇を蒐む、強盜殺人詐欺等何れも凄麗怪奇を極む。	ヒーストル大強盜定吉、色仕掛の枕さがし等奇々怪々兇行慘劇を極め世人の心膽を寒からしめた探偵事實物語を集む。	神曲はダンテの最大作品たると共に世界最高傑作也。人類一切の作品は神曲の前に跪伏す地獄篇は三篇中最深刻最上の藝術也。
博文館	同	同	同	同	同	同	講談社	同	新生堂

探偵傑作叢書(34)	探偵傑作叢書(35)	探偵傑作叢書(36)	探偵傑作叢書(37)	探偵傑作叢書(38)	探偵傑作叢書(39)	探偵傑作叢書(40)	探偵事實奇譚	探偵十種	神曲 (煉獄篇)
妹尾詔夫	小酒井不木	淺野玄齋	延原謙	フレミング	ル・キユイ	ウエルズ	筑波四郎	筑波四郎	中山昌樹
三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	四六判送	四六判送	五八〇頁送
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇
描想の妙、素封の奇、讀者をして必ず最後に至り驚歎の聲を放たしむるヒーストンの珠玉の作品。	斯界の權威小酒井博士が近代探偵小説界の最大傑作と認め感興に乗じて自ら翻譯の筆を執られたる空前の收獲!	英文壇に独自の地を占むるオルチー夫人の歴史的小説、奇智と變装により變幻出沒を極むる灰色の男は誰!	突然英文壇に出現して第二のドイルと騒がれたるクリスチー女史が珠玉の如き名篇、情味ある純探偵小説として近來稀有の傑作。	巴里とポストンと倫敦に惹起せる類型の殺人事件と名探偵の大苦心秘録、興味津々、一度巻を開けば閉ぢることが出ない愉快な著。	青年ケンポールの捲込まれた渦中から一代の妖婦の秘密を探り當る痛快極まる青年の娯樂書、探偵趣味研究として本叢書は斯界の王。	奇々怪々な両蔵の黒百合の謎、高僧は暗示を語り、不思議の人物「壹號」は事件の發展から終りまで運命の糸のからくりを物語る。	鋭敏なる觀察眼と科學的見解により著者が心血を凝らす探偵物語二十餘篇を蒐む、強盜殺人詐欺等何れも凄麗怪奇を極む。	ヒーストル大強盜定吉、色仕掛の枕さがし等奇々怪々兇行慘劇を極め世人の心膽を寒からしめた探偵事實物語を集む。	神曲はダンテの最大作品たると共に世界最高傑作也。人類一切の作品は神曲の前に跪伏す地獄篇は三篇中最深刻最上の藝術也。
博文館	同	同	同	同	同	同	講談社	同	新生堂

探偵傑作叢書(34)	探偵傑作叢書(35)	探偵傑作叢書(36)	探偵傑作叢書(37)	探偵傑作叢書(38)	探偵傑作叢書(39)	探偵傑作叢書(40)	探偵事實奇譚	探偵十種	神曲 (煉獄篇)
妹尾詔夫	小酒井不木	淺野玄齋	延原謙	フレミング	ル・キユイ	ウエルズ	筑波四郎	筑波四郎	中山昌樹
三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	三〇〇頁送	四六判送	四六判送	五八〇頁送
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇
描想の妙、素封の奇、讀者をして必ず最後に至り驚歎の聲を放たしむるヒーストンの珠玉の作品。	斯界の權威小酒井博士が近代探偵小説界の最大傑作と認め感興に乗じて自ら翻譯の筆を執られたる空前の收獲!	英文壇に独自の地を占むるオルチー夫人の歴史的小説、奇智と變装により變幻出沒を極むる灰色の男は誰!	突然英文壇に出現して第二のドイルと騒がれたるクリスチー女史が珠玉の如き名篇、情味ある純探偵小説として近來稀有の傑作。	巴里とポストンと倫敦に惹起せる類型の殺人事件と名探偵の大苦心秘録、興味津々、一度巻を開けば閉ぢることが出ない愉快な著。	青年ケンポールの捲込まれた渦中から一代の妖婦の秘密を探り當る痛快極まる青年の娯樂書、探偵趣味研究として本叢書は斯界の王。	奇々怪々な両蔵の黒百合の謎、高僧は暗示を語り、不思議の人物「壹號」は事件の發展から終りまで運命の糸のからくりを物語る。	鋭敏なる觀察眼と科學的見解により著者が心血を凝らす探偵物語二十餘篇を蒐む、強盜殺人詐欺等何れも凄麗怪奇を極む。	ヒーストル大強盜定吉、色仕掛の枕さがし等奇々怪々兇行慘劇を極め世人の心膽を寒からしめた探偵事實物語を集む。	神曲はダンテの最大作品たると共に世界最高傑作也。人類一切の作品は神曲の前に跪伏す地獄篇は三篇中最深刻最上の藝術也。
博文館	同	同	同	同	同	同	講談社	同	新生堂

地を嗣ぐ者	古屋芳雄	四六頁	美装	一五八〇	『あらゆる物の永遠はたゞ悲哀を知る謙讓な心の中に於てのみ感ぜられる』云ふ作者の信念のこゝに書かれしもの。	岩波書店
近松傑作集	小林鶯里	四六頁	美装	〇六〇	日本の産んだ唯一の藝術家近松の傑作を選び、正確な校訂を施し、作意を尊重して最もよみ易き現代文に書き改めしもの。	文藝社
近松傑作集 第一編	小林鶯里	四六頁	美装	〇六〇	近松死して既に二百年の今日、彼が残した作品の非常な稱賛せられるのは、誰しも認むる所。本書は近松の傑作中の傑作として知られたるもの。	同
心中天の網島	小林鶯里	四六頁	美装	〇六〇	この世の名残り、世も名残りとは曾根崎心中道行きの始めである。近松傑作中の傑作、何人も本書を讀まれることをすすむ。	同
近松傑作集 第二編	小林鶯里	四六頁	美装	〇六〇	近松の作品に對しては今更云爲するまでもなし。本書は傑作集の三編として發行したるもの。文藝愛好家の一讀に價ひするもの。	同
會根崎心中	小林鶯里	四六頁	美装	〇六〇	マソヒズムの代表作として世界的の名作。最近創作壇の第一人者。	改造社
津國女夫池	小林鶯里	四六頁	美装	〇六〇	孝心深い著者が父を失つて悲嘆にくる、純情のあらはれ、一讀嘔唏流涕す。蓋し此作者の最も意をこめた長篇である。	同
痴人の愛	谷崎潤一郎	三九八頁	美装	二〇〇	西班牙の闘牛士の生活を描く彼等がいかに社交界に於て、そしてその生活のいかに華やかなるかを見よ。	同
父と	吉田絃二郎	三一八頁	美装	二九〇	純真な美少女が初恋の陶酔に筆を起し、義士の微妙な交錯を寫し遂に紅涙滔々たる一大悲劇を演出する迄の人間社會の種々相を描く	同
血と砂	鈴木厚	三五八頁	美装	二六〇	少年少女の生活記録、面白い、茶目子の活躍振り、着想の奇抜滑稽、ハイカラで軽快で各家庭に笑話の種となつた本書。挿繪百余个入	同
千鳥ヶ淵	渡邊霞亭	四六頁	美装	二〇〇	繁榮の唐朝を背景として怪女傑則天武后の一生を描き、其の周圍の佳人倭人義士を經緯として織り出されたる血の如き歴史小説である	同
茶目子の日記	森田みれ子	二三四頁	美装	一五八〇	▲危く發賣禁止を免る!! 白熱何物をも灼き盡さずんば已まざる著者が大獅子吼は遂に數行の訂正の止むなきに至る	同

女誠扇綺譚	佐藤春夫	四六頁	美装	一〇〇	第一書房
女禍傳	猪狩史山	四〇六頁	美装	二五〇	大阪屋號
長篇超神の創生	藤本辰雄	五〇〇頁	美装	二五〇	同
朕が作戦	樋口麗陽	三〇〇頁	美装	〇八〇	日本書院
諸諸小説正續合卷	佐々木邦	五七〇頁	美装	二五〇	弘學館
珍太郎日記	村山知義	一〇六頁	紙装	〇〇〇	長隆舎
燕の書	生田葵	三六八頁	洋装	一八〇	博文館
長篇罪の扉	生田葵	三六八頁	洋装	一八〇	同
全デカメロン	梅原北明	一四〇〇頁	洋装	一八〇	朝香屋書店
天と地との間	山田幸三郎	四六八頁	洋装	二五〇	岩波書店
幕末天狗騷動記	大佛次郎	三七四頁	洋装	一八〇	博文館



天路歷程	パンヤン	菊二〇頁	送價 二・五〇	二・六〇	ベットのフォード半獄に幽囚中のパンヤンが、「信仰によつて義せらるる」その宗教経験を中心として「基督者の生涯を描いた」大古典文學希臘の傳説に材を取りしトリロギイ、シルレゲルのワレンシタイン、ヘツベルのニーベルンゲンと共に三大悲劇の一つである。	岩波書店
金羊皮	グリップル ルツエル 相良守蜂譯	四六判 四七二頁	送價 二・三〇	一・八〇	「此の劇出て、百五十年、之に比肩すべき喜劇を見ず」はハイネマンの讃辭。シルレルも又激賞措かざりしもの也。	同
世襲山林監督	ルードウイヒ 關奏祐譯	四六判 二四四頁	送價 一・六〇	一・八〇	正直な人間が正直故に人を傷ひ、己れを滅せる悲劇。外界に絶ちて悠々藝術の三昧境に生活せるルードウイヒの傑作。	同
獨逸文學叢書(3)	ゲル 久一男 譯	四六判 六〇二頁	送價 二・八〇	二・七〇	フアウストと共に詩聖ゲーテの最も透徹せる自己告白である。人としてのゲーテの内面的生活の最も切實なる表現である。	同
獨逸文學叢書(4)	上 卷					同
彌次東海道中膝栗毛	十返舎一九	四六判 四八〇頁	送價 〇・七〇	〇・八〇	大江戸を始め東海道五十三次驛鈴響しく當時の情景を巧に寫した天才一九が傑作滑稽の親玉膝栗毛は彌次サン北サンの名で殊に著しい	松陽堂
彌次東海道中膝栗毛	十返舎一九	四六判 四八二頁	送價 〇・七〇	〇・六〇	何が可笑い面白いと申せられこそは滑稽の草分戯作の親玉十返舎一九が筆の妙ナア彌次さん之を讀れへ人は共に滑稽を語るに足すだ	三芳屋
東京へ	藤森成吉	四六判 三七〇頁	送價 二・三〇	二・〇〇	○東京へ○無心○少年の群○脱走者○若き修道者○山湖等社會意識を明にせる絶品。	改造社
徳川家康	小林鶯里	四六判 四八〇頁	送價 一・五〇	一・〇〇	關ヶ原の戦より大阪陣の大勝にて豊臣家を滅亡し天下の實權を掌握し江戸三百年の泰平を築く迄の隠謀實策は悉く本書中に描出す。	文藝社
獨歩全集	國木田獨歩	四六判 四〇〇頁	送價 三・八〇	一・八〇	獨歩は明治文壇に見る天才、時代に先んじて文壇覺醒の第一聲を擧げた、其全作品を通じて眞摯清新の氣魄が強く讀者の心を搏つ。	博文館

どぜう地獄	岡本一平	四六判 四六美裝	送價 二・〇〇	〇・八〇	皮肉警拔なる名文古今獨歩の漫畫を以て天下に鳴る一平畫伯の自叙的漫畫小説、深刻なる諷刺と諧謔漫畫と漫文と相俟つて天下無比	雄大 辯會本
豊臣秀吉	小林鶯里	四六判 四八〇頁	送價 一・五〇	一・〇〇	日本一の英雄たる豊太閤一代の事蹟は本書に依つて詳かである、創業より明智柴田北條の討伐、天下の覇主となり朝鮮役迄今見る如し	文藝社
奴隸	細井和喜藏	四六判 四六四頁	送價 二・〇〇	二・〇〇	本書は「工場」の前篇であつて奴隸が成長するまで如何に社會惡と闘つたかその環境の息づまるやう壓迫を氏一流の快筆に寫したものの。	改造社
アンケルト ムスケルト 奴隸トム	永代美知代	四六判 六〇〇頁	送價 三・〇〇	一・八〇	かよわき一婦人の手になつた本書により遂にアメリカ南北戦争を惹起し米國をして奴隸解放を斷行せしむるに至りたる尊き人道の書!	誠文堂
どんぐり山	沖野岩三郎	四六判 二一〇頁	送價 一・二〇	〇・六〇	人間の造つた道徳習慣、法律が人間以外の猿の眼にごんなに滑稽に見へるであらうか? 小説でも童話でもない。面白い人間研究である	大阪屋號
改直輔の夢	里見 肇	四六判 二七四頁	送價 一・五〇	二・〇〇	○甘酒○直輔の夢等最近氏の代表作を集む。名人の名作といふ感じが横溢す。	改造社
泣虫寺の夜話	岡本一平	四六判 二一八頁	送價 一・八〇	一・八〇	和尚の説法は人並外れてゐる。泣き方に諷刺は不思議がある。爛徳利を備へて身の上話、口は笑ひ度思へど眼に涙のにじむ趣味ある小説	磯部甲陽堂
なすな戀	坪内士行	四六判 三二〇頁	送價 一・六〇	〇・八〇	士行氏平生の自叙傳とも見るべきもの郷國と海外に別れて嗶つ兩人の偽りなき熱情飾らぬ痴愚人に迫る魅力を持つ。	博文館
謎の快男子	松村博三	四六判 二一〇頁	送價 一・〇〇	〇・八〇	日光の作品、結婚の指環以下三編の探偵小説を収む。謎の快男子、アルセーヌ・ルパンが出没自在奇智縦横の大飛躍を見よ!	金剛社
波のうへへ	長田幹彦	四六判 布裝函入	送價 二・三〇	二・二〇	著者が苦心懊惱幾年を費した傑作。有ゆる人妓と某飛行將校との奇しく傷つき戀愛を描く	雄大 辯會本

浪六名作選集	村上浪六	四六判 函クロース入	送價 二・三〇〇	明治大正文壇に超然たる浪六氏が過去數十年間に物されたる無量幾千篇の作品中より自ら選べる會心の作のみを集む。眞に不朽の名著。	雄大 辯日 會本
惱み笑ふ	藤森成吉	二九六頁 裝入	送價 一・三〇〇	「青ちやん」以下のユーモア作品を収む。ユーモアの中に著者の人類に對する涙組ましい深い愛が窺はれる。文壇に好評噴々たり。	改 造 社
肉の榮光	窪田十一	四六六頁 裝入	送價 一・四〇〇	歌拾小町と謳はれた妖艶なる一美女が虚榮と戀愛と情慾の甘泉に身を浸した。關れた生活を寫せる世界的名作。	雄大 辯日 會本
蓮	本山荻舟	四〇〇頁 裝入	送價 二・〇〇〇	宗門以外の著者が宗門以外の一般讀者を對象として述べたるもの記事の公平なること既に専門家中に定評あり。是非一讀あれ。	出 報 知 新 聞 部
蓮	村上浪六	二八〇頁 裝入	送價 二・三〇〇	日蓮上人は六百年以前の厄灰物に非ずいかなる時代にも無上道の慰安にして起死回生の強健劑なり。	明 文 館
新田義貞	小林鶯里	四六六頁 裝入	送價 一・三〇〇	尊氏の逆心より南北兩朝の間斷なき争闘、義貞奮戦の情況は今見るやうに詳かに、筆致は詩的情調に富み、健全なる讀物である。	文 藝 社
二人の獨り者	近松秋江	三一二頁 裝入	送價 二・〇〇〇	愛慾を描くに纏綿の名筆を有せる氏が最長篇力作男ばかりの生活は寂しいが又別種の趣がある。	改 造 社
日本小説集	文藝家協會	五〇〇頁 裝入	送價 二・〇〇〇	毎年一回刊行し、其前年に於ける各作家の代表作を集めて一巻とする年刊小説集である。苟くも藝術を口にする人々の必携すべき書。	新 潮 社
現代小説選集	高崎、有島、片上、長谷川	四六六頁 裝入	送價 三・一八〇	島崎、正宗、有島、里見、菊池、芥川、久米、佐藤、宇野の諸氏をはじめ現下小説壇の代表作家三十三氏の傑作集で、空前の大巻である。	同
女人群像	中村武羅夫	四六六頁 裝入	送價 二・五〇〇	純眞なる一女性を中心し各種の婦人問題、職業婦人に纏る世相の裏面を描き、讀書子に異常な衝動を與へた長篇戀愛小説。	雄大 辯日 會本

人間なるが故に	沖野岩三郎	二二〇頁 裝入	送價 一・〇〇〇	異なる魂の結合それが即結婚である其處には永遠に渉る性の争闘が秘められてある本書を未知の世界に入らんとする若き人々に薦む。	大 阪 屋 號
人間味	村上浪六	三二二頁 裝入	送價 二・一〇〇	著者一流のすつばねき三萬部を賣り盡して尙足らぬ程賣れる實に明治大正年間を通じて人間味の賣行を以つてレコードとす。	明 文 館
人肉の市	窪田十一	四六六頁 裝入	送價 一・六〇〇	全世界を通じ數千萬の讀者を有する原名『廿世紀の恥辱白き女奴隷』一度本邦に於て出版されるや九百三十四版を重ねし空前の大快著	雄大 辯日 會本
ネ口	青芳勝久	四八〇頁 裝入	送價 二・〇〇〇	羅馬宮殿の淫樂、全部の焔燒、闘牛場の大虐殺等暴君ネロの積惡はフィルム如く展開し呪の都大羅馬の終末を描ける歴史文學。	厚 生 閣
農夫喜兵衛の死	中西伊之助	二九八頁 裝入	送價 一・一七〇	小農喜兵衛の伴は滿洲で戦死し娘は賣れて朝社に行き彼は地主に虐られて水に溺れた現代社會の縮圖。	改 造 社
馬鹿野郎	村上浪六	三五〇頁 裝入	送價 一・〇〇〇	寝るより外に藝能のない馬鹿野郎が馬鹿野郎手ばなす事出來ぬ實に天下の奇書。	明 文 館
白馬城	杉村楚人	三三五頁 裝入	送價 二・一五〇	楚人冠先生独自の文章を以てせる物語數篇を収む。殊に「時子」の一篇は先生の出世作として喧傳せられたるもの。興味無限の名著。	至 誠 堂
薄命のチユード	トマス・ハーディ	七〇八頁 裝入	送價 三・二四〇	結婚と靈肉闘争社會組織の缺陷と現代の學風代表小説。	改 造 社
白路を見つめて	沖野岩三郎	三五〇頁 裝入	送價 一・一八〇	踏みぢられた初戀と華やかなステイチを捨て、けらるゝ誘惑の良き其葛藤と波瀾を描く。	大 阪 屋 號
芭蕉	吉田絃二郎	二四六頁 裝入	送價 一・一八〇	○芭蕉○草原○或る中學教師○二人と彼○生れ來る者を集む。就中芭蕉は好評高し。	改 造 社

八軒長屋前後	村上浪六	各四冊 送價各三・一〇	多年の浮世貧乏馴れて向上だの進歩だの云々た浪六先生苦心の快著さわこのこと。	明文館
初戀より懺悔まで	齋藤紅蘭	洋装 三二〇頁 送價一・二〇	ラソールの戀物語ミユツセ戀物語この五大物語は本書の眞價値如何は熱烈血の如きか。	日本書院
佗しすぎ	佐藤春夫	装 二七六頁 送價一・六〇	美文家として名聲高き著者の名作、傷々しき戀の記録、詞は花の如く想は星の如く藝術味豊かなる作品。	改造社
薔薇の小徑	城しづか	装 二一〇頁 送價一・二〇	本書は城しづか女史の艶麗なる筆に成れる少て絶好のもの。	寶文館
春の流	佐藤紅緑	装 口繪挿入 送價二・五〇	貧しい田舎寺に生立つた青年畫家と富豪の令嬢とが若葉芽ぐむ多摩川の畔に醸された清く美しき戀のロマンス、純真なる戀愛情緒。	講談社
春の悶え	奥野他見男	装 上 三六〇頁 送價九・五〇	輕快な筆で知られた奥野他見男氏が、直接談判娘見たさに或大學生、異國人と彼女、災難道子さんと、悲しき戲等面白い事受合。	日本書院
ホルムスの思ひ出	藤原時三郎	装 三二〇頁 送價一・〇〇	メモリスオパシヤロツクホルムスの全譯であつて、理智明快なホルムスが幾多の事件に處して大膽好妙に解決してゆく、痛快な讀物。	紅玉堂
ゼンダ城の虜	松村博三譯	装 二六〇頁 送價一・〇〇	センダの城に虜となつてゐる一國の王と、王に似た一青年が王を救出す計畫を立てる物語。最近日本映畫界に人氣を成したものの原本。	同
幡隨院長兵衛	幡長會	装 四〇〇頁 送價二・五〇	低級俗惡な講談本は全く別物で眞に男らしである氣江戸つ子氣象を十二分に發揮した力作。	二松堂
番町夜講	泉鏡花	装 三二〇頁 送價二・〇〇	「肩かしの露」夫人利生記「假宅話」きんふり「外二篇」。	改造社

悲劇群 盜	堀田正次	装 四六 送價一・一八	シレルの述作で後世の獨逸文藝の芽生えが最初に開いた花であつて文學史家の珍重する一種の古典としての莊重さを帯びた者である。	古今書院
滑稽集 ビツクリ函	松山思水	装 四六 送價一・二〇	この本を讀む諸君が「これは僕の事ぢやないか」とビツクリするからビツクリ函である。	日實本社
一つの時代	犬養健	装 三六六頁 送價二・五〇	〇愚かな父〇眼白〇初夏〇弱い生徒〇冬の出來事〇姉弟と新聞配達〇二人兄弟〇願夜。	改造社
人の垢	村上浪六	装 三三〇頁 送價一・〇〇	人の垢は湯に入りて落せざ文章の垢は何れもあつて落すや其秘傳巻中に羅如たり速に御一讀ありてうなづかれよ。	明文館
創作一人と千三百人	平澤計七	装 二九〇頁 送價一・三〇	温潤玉の如き著者が日本の勞動運動の陣頭に立つて敬天愛人の至情と常に國家主義を高調とし神と正義と秩序と平和とを讃仰したる遺教。	昭文堂
フアピオラ	ワイズマン	装 四二〇頁 送價二・三〇	初期基督教徒の迫害を背景に純情の乙女が神に目醒め、恐じき虐殺裡に如何に信仰を保持するかの描いた。聖書に次ぐ宗教文學である。	厚生閣
復讐 前後篇	前田曙山	装 前後篇共 送價各二・〇〇	デュマの傑作「モントクリスト」に立脚して作れる玄妙奇策の物語。詐欺、貧乏、純愛等の交錯、實に大衆文藝の一大傑作である。	講談社
富士に立つ影	白井喬二	装 四六 送價二・五〇	「大衆文藝」なる言葉は實に著者の創始にかゝる。而も著者が三年に亘りて執筆した本書にてよく始めて大衆文藝の旗幟を鮮明にした。	報知新聞出版部
縮二葉亭全集	長谷川四迷	装 三〇〇頁 送價各二・四〇	志士の文人として露西亞文學紹介の先驅者として二葉亭を記念する金字塔は此三巻にあり第一巻は創作集、第二、三巻を翻譯集とす。	博文館
新編ふらんす物語	永井荷風	装 五五八頁 送價一・八〇	「あめりか物語」の姉妹篇に見るべく荷風氏の最も多く愛着の憶を寄せた巴里生活の歡樂と哀愁とが美酒の如く盛られてゐる。	同

文明病患者	武林無想庵 四〇六頁装 送價 二・三〇〇	紅椿	佐藤紅緑 優美装幀入 送價 二・五〇〇	へほ胡瓜	岡本一平 美判函入装 送價 二・〇〇〇	譯ポ―傑作集	勝田孝興 三判上装 送價 二・五〇〇	法城を護る人々	松岡讓 三判六冊 送價 七・五〇〇	豊太閤	村上浪六 縮冊形 送價 二・〇〇〇	漱石坊ちゃんの其後	三四郎 三判美装 送價 一・八〇〇	星は亂れ飛ぶ	沖野岩三郎 三判美装 送價 一・八〇〇	没落の世界	コナンドイル 新東信譯 二判假装 送價 一・〇〇〇	マツク愛犬物語	少年少女 讀物研究會 一判函入 送價 一・二〇〇
○續結婚禮議○アナルキスタの夢○混沌○日記より○めでとります○遊女くりじす○文明病患者等		漱石後の漱石まで激賞された一面又漫畫家の生活に寫せる一大人生觀である。	數奇の運命に翻弄さるゝ美少女が華族の若様はせ或は切なる恩愛の惱みを寫せる戀愛小説	偽らざる戀愛記録とも見られる一面又漫畫家の生活を寫せる一大人生觀である。	アメリカが生んだ大文豪アランポの著作中黒猫外數篇翻譯し一々明細なる註釋を加へた	村上浪六先生の豊太閤傳は正確にして又よく研究せしもの歴史の参考として一般讀物として實に類書中より傑出せしものなり	漱石子の坊ちゃん云へば有名な本だがあの坊ちゃんをあの儘にしておけぬので漱石文の三四郎子があそび受けて書いたのが本書。	社會主義者の父ミクリスチヤンの母との間に育まれた歌劇女優の生きんとする悩みと其周圍を描寫せる活事實小説。	アマゾン河の流域前人未踏の境に博士等は驚くべき原始世界を発見した聞け怪鳥の羽音巨獸の咆哮ドイル一流の異彩ある科學小説。	荒唐無稽な少年讀物、徒に涙を誘ふ少女讀物と撰を異にした英吉利の片田舎の綠色濃い農場に生れた番犬の思ひ出話。									
改造社	講談社	雄大辯會本	南郊社	第一書房	明文館	日本書院	大阪屋號	金剛社	寶文館										

窓展く	佐藤春夫 三判上装 送價 二・〇〇〇	魔の女	夏山益樹 四判入 送價 一・七〇〇	亂れ焼刃	本島美禪 裝幀優美 送價 一・〇〇〇	亂れ焼刃	夏目漱石 小型布装 送價 一・五〇〇	南十字星は輝く	佐藤吉郎 三判洋装 送價 一・五〇〇	源九郎義經	中村孝也 美判函入 送價 二・八〇〇	認文部省 定都に憧れて	天野藤男 一判洋装 送價 一・〇〇〇	ミルトン失樂園(上)	帆足理一郎 五判布装 送價 三・〇〇〇	無名の英雄と失敗の英雄	村上浪六 三判特装 送價 二・六〇〇			
○賣笑婦マリ○窓展く○時計のいたづら○秋立つ○FOU(おれもさう思ふ)		覺か人か、妖艶怪奇を極めし一代の魔女、其總ては謎である。如何なる名探偵も其真相を掴み得なかつた稀代の妖婦の一生を描く。	走馬燈の如き變幻出沒、事件は事件を生み、戀愛あり、嫉妬あり、計略あり、美人あり、金殿玉樓山塞古城人生時代の流轉を描出す。	類廢糜亂の極にありし田沼時代を背景に世に悲壯な仇討と熱烈な戀愛を描く會心の力作。	運命の内奥に潜みたる愛と憎みの矛盾に觀ん。生存の所縁を究めて人性の本然に迫る。	内地篇、メキシコ篇、アメリカ篇の三篇を蒐め、爽快なる開拓者の意氣と、嚴肅なる宗教的氣分の溢る、小説。新興帝國の植民文學。	千古の神將にして又希世の天才たる義經の波瀾萬疊の全生涯を叙す。義經は果して成吉思汗? 著者一流の麗筆はこの真相を闡明す。	文部省で青年團處女會文庫に認定せられた動寫眞の爲に描ける教訓的小説である都に憧れた一少女と都の裏面を巧に描寫せる悲小説	盲詩人が人間苦の極致に生み出せる此書は彼があらゆる學殖を傾けて彼の信仰を樂園と謳ひ地獄を描たる眞に萬代不朽の名著である。	歴史的にして又教訓的讀みもの參考資料となる斯くの如く多方面に才能ある著者は又他に類を見ず速に御一讀を乞ふ。										
改造社	講談社	博文館	講談社	講談社	岩波書店	東北書房	雄大辯會本	文展堂	新生堂	明文館										

村に襲ふ波	加藤一夫	二〇頁	美装	一・三〇	一人の富豪と多数の村民との間に絡り纏れ合つた唾み合ひ資本と努力、弱者と強者の闘争、何人も涙なくしては讀まれぬ社會相である。	大阪屋號	
暗	夏目漱石	九七三頁	小型布装	二・三〇	先生最後の絶筆且無二の長篇又恐く最上の傑作に極れり。先生が後生に寄與せし最高遺産。	岩波書店	
アーサー王物語	名作叢書第一編(マロリー原作)	刊行會編輯部	四六頁	洋装函入	一・八〇	神授の英雄王アーサー。俠勇無雙の圓卓騎士花の如き中世の乙女。西洋武士道の理想を謳つた大傳説を全部に涉つて紹介した物語。	刊行會
シエクスピア物語	名作叢書第二編(クキラ・クウチ原著)	刊行會編輯部	四六頁	洋装函入	一・八〇	ラムの物語に漏れた大沙翁の史劇中特に名聲ある雄篇を英文壇の巨擘が編述した物語。收むる所「コリオレナス」「シーザー」「ジョン王」	同
ウイルヘルム・テル物語	名作叢書第三編(シルレル原作)	刊行會編輯部	四六頁	洋装函入	一・八〇	塊太利の壓制下に泣いた瑞西が如何にして今日の大如き地上の樂園となつたかを密に物語る大シルレルの戯曲を全部忠實に編述した物語。	同
レミゼラブル物語	名作叢書第四編(ユーゴー原作)	刊行會編輯部	四六頁	洋装函入	一・六〇	出獄囚ジャン・バルジャンの聖き一生は全人類が涙の感激を以て讀むべき物語。此世界的大至寶を我第二國民の前に最初に紹介した長書	同
海の勇者	名作叢書第五編(ユーゴー原作)	秦野楊吉	四六頁	洋装函入	一・五〇	三部作をなす文豪晩年の雄作。風波荒ぶ英佛海峽に海を闘ふ天才青年の姿を描いた物語。	同
當世書生氣質	明治文學名著全集(一)	坪内逍遙	四〇頁	上装	二・五〇	本書は云ふまでもなく明治文學隨一の名篇で全部初版本により卅八圖を添ふ。挿繪は	東京堂
小説神髓	明治文學名著全集(三)	坪内逍遙	二〇〇頁	上装	一・三〇	明治新興文學の基礎をなした眞にエポック・メエキングの藝術論として絶大なる史的價値を有する名篇である。正確なる解題附録あり	同
島衛月白浪	明治文學名著全集(四)	河竹默阿彌	二五〇頁	上装	一・三〇	默阿彌自ら「一世一代」と銘打つた代表作で時に「散切物」隨一の名篇である。明治開化の風俗世態を描いて面白い長篇解説添ふ。	同

死刑前の六時間	ユイゴ	二五〇頁	上装	一・三〇	明治文壇にユーゴの移植者として盛名ある思軒の名譯「クラウド」「死刑前の六時間」「探偵ゆいへる」の三篇を長篇解題を收む。	東京堂
厄年	加能作次郎	三五二頁	布装	一・八〇	東北の一海岸に生れ乃木將軍に身を寄せ日露の役には金鶏勳章を握りながらも失意失戀、遂に自殺した陸軍歩兵中尉の遺稿である。	博文館
小説寄生木	徳富健次郎	一四六頁	一〇頁	三五〇	海賊か？豪傑か？八幡大菩薩の旗を長風に翻し、輕舟を漕ぎ、八幡大菩薩の如く、支那沿岸を脅した變幻出沒極りなき倭寇物語	大辯會
八幡船	笹川臨風	四六頁	洋装	一・二〇	著者の謂ゆる古栗毛に踏破した内外の山川を説くに併句を挿んで感興を添ふ。一面旅行用の好範として特色ある紀行文集。	博文館
山から海	巖谷小波	三二〇頁	袖珍布装	二・三〇	亂淫放蕩な姉妹、貞淑な妹、この性格の離反した時代相、肉慾生活の破綻等を描いて深刻。	講談社
闇の森心中	潮山長三	四六頁	入極美装	二・〇〇	「夢見る女」其の他文篇は名篇中の絶對的名篇にして譯筆は翻譯文藝學の權威矢口氏の流麗纖細なる能く原作の神韻を髣髴せしめて餘あり	早稲田
夢見る女	矢口ア	四六頁	上装	二・〇〇	毒婦型の女性を活躍せしめた息の詰まるやうな小説集、興味本位に脚色の妙を極めた作品として讀み始めたらきつと讀み通さざる。	博文館
妖女魔女	江見水蔭	三五四頁	上装	一・六〇	眉目秀麗の美少年を中心に純眞な處女、妖艶な貴婦人との戀愛葛藤と可成烈しい肉慾の描寫がある。文壇人の間に問題を惹起した小説	大辯會
夜の潮	中村武羅夫	二七〇頁	美装	二・七〇	如何にすれば人生の樂園の扉を開き得るか。平凡な氣の弱い一男性をして此の扉を叩かしむる赤裸々な人間哀史。	同
樂園の扉	佐藤紅綠	二二〇頁	美装	二・二〇		同

落花狼藉	村上浪六	三三五頁	送價	一〇三〇	軟い春の風に、はらりと散る花は又面白い面白い中に言ふに言はれぬ凄ささ冷ささ深さがある。本書は腸を抉る様な傑作短篇小説集	淡海堂
小ラゴラの出家	道簇泰誠	四六六頁	送價	一八〇〇	寺院生活の真相を題材とし坊主の息子である主人公が凡ゆる運命に翻弄せられ、血みどろな人間苦の中から神を求めた嚴肅敬虔の記録	警醒社書店
裸體の人間	村上浪六	四三〇頁	送價	二〇五〇	あまり外観を飾り立てた世の中に總ての粧飾を剥ぎ取りし赤裸々の人間が出ました。	明文館
縮緑雨全集	齋藤緑雨	八八〇頁	送價	二五〇〇	緑雨の文壇に於ける地位は獨特無二のものである。辛辣の警句、洗練の行文、覺えず案を打たしめる。小説隨筆がこゝに纏められた。	博文館
リリユリ	高村光太郎	四六六頁	送價	一五〇〇	ロランの傀儡劇の翻譯でロランが瑞西に亡命的の生活をしてみたり頃迄に書た一切の論文や公開状のエッセンスを象徴的に現はした	古今書院
レ井スといレエン	ボオル・モオラン 堀口大學譯	二五〇頁	送價	二〇〇〇		第一書房
戀愛病患者	菊池寛	二七六頁	送價	一五〇〇	○信康母子○浦の苦屋○ある記録○微苦笑○丸橋忠彌○戀愛病患者○頸縊り上人○	改造社
煉獄の火	加藤武雄	四二〇頁	送價	二五〇〇	戀に傷けられた若い女の魂は哀れ痛ましい。戀して酬ひられず戀されて戀し得ざる女を描き何れも著者独自の戀愛觀の新境を語る。	大阪屋號
六號室	渡邊霞亭	美判函入装	送價	二五〇〇	情死せんとして生き残つた男の深刻な告白を主として熱烈な肉の懺悔を寫す、『千鳥ヶ淵』と共に家庭小説壇の奇才たる著者畢生作	講談社
我子の思ひ出	村田勳	三六〇頁	送價	二五〇〇	我子を失つて悲哀に沈む古今の六十有餘の名士文學者、宗教家、教育家等が心の底から迸る熱涙を墨にすつてものした追憶の詩文集	警醒社書店

早稻田文藝大觀小説集	長谷川天溪 正宗白鳥 片上伸	四六六頁	送價	二〇〇〇	正宗、須藤、長田、宇野、加能、三上、小川、石丸、吉田、の九氏の小説集にして何れも各自選の自信あるもの、みを撰びたる寶玉集である。	日實業社
私は生きてゐる	沖野岩三郎	四六六頁	送價	二〇〇〇	暗い地獄のやうな天地に生ひ立つた一自然兒はふさした事から此の世の光を見た。彼は苦しみながら尚且つ生きて行かうとしてゐる	大阪屋號
新しき笑と教訓 ワツハッハ	岩井貞麿	四六六頁	送價	二〇〇〇	○賜台覽○内容○日の出の靴下○秩父宮御精○乃木將軍のあくび○菊の御紋○もさへの號令	九段書房
笑ひきれぬ話	畑耕一	四六六頁	送價	二〇〇〇	短篇小説十三篇戯曲三篇を収めてある。「指」 「幸福」戯曲「道化清十郎」「姐己」何れも清新なユーモアに富んだ面白い讀物である。	大阪屋號
滑稽集 笑の爆弾	松山思水	四六六頁	送價	二〇〇〇	收むるところ二十五篇の短篇滑稽小説の外に一篇の長篇滑稽小説よりなる。一度びこの爆弾に見舞はれたら誰れでもすぐ笑殺される	日實業社
ワンワン物語	佐藤紅緑	四二四頁	送價	一〇八〇	犬の世界より觀察せる人間生活と世相を描寫せる小説、諧謔と諷刺の味ひを豊富に貯へたる絶好の讀物。	博文館
戯曲 愛すればこそ	谷崎潤一郎	二八二頁	送價	一六〇〇	○愛すればこそ○永遠の偶像○彼女の夫○或る調書の一節等藝術品として我國第一の賣行を示す。	改造社
戯曲 愛憎篇	長田秀雄	二六六頁	送價	一六〇〇	○石山開城記○父の別荘	同
戯曲 愛なき人々	谷崎潤一郎	三四四頁	送價	二〇〇〇	○本牧夜話○お國と五平○白狐の湯○愛なき人々。	同

戯曲	鳴呼蓮如	太宰衛門	四六判	一七〇	偉人蓮如の眞傳に取材し其の波瀾の生涯を脚色せるもの。暗夜の眞葛原より高尾城の没落まで六幕十四場。	文獻書院
戯曲	尼僧の懺悔	メーターリンク 宮崎小八郎譯	一五二頁	一〇二〇	青い鳥の著者として有名なメーターリンクの宗教劇三幕もの。猶太人の宗教劇作家として知られたケネディの作。百卒長の懺悔一幕もの。	同行社
戯曲	ある心の影	正宗白鳥	二八六頁	一六八〇	○ある心の影○人生の幸福○影法師○秘密○白壁の五篇。人生の幸福は氏の大方作。	改造社
喜劇と 喜劇	アンポンタン	松山思水	四六判 上三〇頁	一〇二〇	一度見たらごんなに六ヶ敷い顔をしてゐる人でも、腹の底から笑がこみ上げて来て、アハハハと笑はずにあられない面白い本です。	日實業社
歌	はぬ人	倉田百三	一七六頁	一五八〇	予は寂莫無限なる塚の如き人生の内、眞珠の如き誠實な死を肯ふ愛を見出して、是を露よりのしげき涙をもつて描いた。(著者)	岩波書店
映畫脚本の作り方		仲木貞一	二五〇頁	一五〇〇	映畫界の權威たる著者が映畫脚本を作る人々のために映畫の組織より脚本の作り方に就て何人にも分り易く説いた映畫脚本作法書。	弘文社
悲劇	エミリア・ガロツティ	野村行一譯	四六判 美裝函入 一九〇頁	一三〇〇	獨逸文學の先覺者レツシングの圓熟期に屬する貴重作品であり劇のテクニックより觀て眞に軌範的作品として推賞されてゐる者である。	岩波書店
文藝及思想講習叢書	演劇概論・脚本作法	小山内薫 中村吉藏	一〇〇頁	〇五〇	劇と脚本を個々に各構成がその要素をキビキビと明快に説き盡して殊に讀者には兩者の相對的立場が一層ハッキリと味解さるであらう。	松陽堂
折れた翼		吉田泰治	四六判 假裝送	一八〇	常に孤獨、嚴しき内面的生活を送る魂は深きニイチエ的精神の悲しみ憂鬱をもつて此作に反照す。魂の苦悶を描きし靈魂的作品也。	岩波書店
江戸影芝居十八番		アマチュエーヤ 試演會	三三餘頁	〇五〇	江戸藝術滅び行に歌舞伎劇の盛行を喜ぶ編者がアマチュエーヤ劇研究家參考として南北黙阿彌李風綺堂有三外諸名家名劇文の一章を集む。	河内書店

戯曲	桔梗の朝露	渡邊庸三	中洋	一八〇	明智光秀の前半生を戯曲化するもの。明落城より朝倉義景悲劇的終焉に欄筆せり歌舞伎の改造に専心研究せる著者の俤を窺ふ可し。	弘道館
戯曲の創作と構想		藤井眞澄	三三〇頁	二〇五〇	本書は戯曲作法の秘術を要點として本質創造形式歴史其構成と技巧と實際に就て古今の名戯曲を解剖した最も新しき戯曲の作り方。	弘文社
劇藝術及び演劇の原理	戯曲の本質	島村民藏	四六判 函入洋布	二五〇	本書はアリストテレスよりブリュネチエールまで綜合して演劇及び戯曲の原理作法を説く。	東京堂
岸田國士戯曲集		岸田國士	四六判 二六〇頁	一六二〇	釋迦を解するこの深き著者之を劇中の主人公に拉し來りてその全人格を躍動せしむ。靈妙の建筆何人かその追隨を許さんや。	第一書房
戯曲	苦悶の釋迦	手島文倉	四六判 三〇〇頁	二二〇〇	本書は詩人自身の血腫き人間の記録としてヘッセルの作物の中にあつても最も獨異なる地位を占むべきものである。譯亦贊を要せず。	文獻書院
悲劇	ゲノフェーファ	ヘッセル 吹田順助譯	三〇〇頁	一八〇	有名な羅馬皇帝有教者ジュリアンの波瀾に富んだ史蹟に基づいて書いたもので希臘思想をキリスト教との葛藤を描いた全三部の雄篇。	岩波書店
皇帝とガラリヤ人		イアセン 島村民藏譯	四六判 函入洋布	二八〇	「祝祭曲」は清純な戀愛のロマンスや信仰の奇蹟を書き、「小劇場曲」は音樂の樂譜に倣つて第一曲第二曲と呼はれてゐる。何れも名篇。	東京堂
ストリングベルク全集	祝祭曲と小劇場曲	楠山正雄	四六判 六三〇頁	一五〇〇	最近出版界の最大の收穫と稱せらる、ストリングベルク全集の中の一巻。本篇は表現主義の先驅をなせるもので戯曲中の最大長篇である。	新潮社
ストリングベルク全集	ダマスクスへ	楠山正雄	四六判 六三〇頁	一五〇〇	近代劇の經典たる「父親」及び「なかよ同志」の二部作と、近代劇の特色たる一幕物の模範選集と稱する、「十一」の「一幕物」を収めた。	同
ストリングベルク全集	自然主義劇と一幕物	楠山正雄	四六判 七一〇頁	一五〇〇		同

シヨウ一幕物全集 チエホフ全集第三篇 「外三篇」	近代劇選集	シング戯曲全集	戯曲集 グレゴリー夫人	泰西戯曲選集第一篇 ロミオとジュリエット	泰西戯曲選集第二篇 青い鳥	泰西戯曲選集第三篇 人形の家	泰西戯曲選集第四篇 ハムレット	泰西戯曲選集第五篇 シラノ、ベルジユラック
市川又彦譯 新装紙装 五二二頁 送價 二・五〇	楠山正雄 菊半布装 各七〇頁 送價 二・八〇	松村みれ子 四〇二頁 送價 二・〇〇	近藤孝太郎 四〇〇頁 送價 二・〇〇	シエクス ビエヤ 菊半特装 一九四頁 送價 〇・九〇	マアテル リンク 菊半特装 九八頁 送價 〇・九〇	イアセン 菊半特装 一九六頁 送價 〇・九〇	シエクス ピア 菊半特装 二七四頁 送價 〇・九〇	ロス タン 菊半特装 二二四頁 送價 〇・九〇
馬盗人、運命の人、男は女の夫にどう嘯つたか、以下一幕物の全部を網羅した。何れも社会改造の大精神を笑諷の裡に定せるもの。	第一沈鐘、心願の國以下八篇 近代劇の重要な第二サロメ、地獄以下六篇 作品の最正譯第三幽霊、ユリエ嬢以下六篇 内容最も豊富	愛蘭劇の代表作家シングの全集。譯者松村夫人は、語學の造詣と才藻の富麗と藝術的感覚の繊細を以て、譯壇の最高に位置する人。	グレゴリー夫人は近代愛蘭の戯曲家中、女性にして第一流の才を示せる人。情味繊細、飽く迄機智的で飽く迄真摯。眞に稀有の名作家沙翁の代表作として天下恐らく此の書を知らぬはなからう。眞に名劇中の名劇。久米氏が自由なる現代語によつて新に譯出された。	象徴童話劇の作者としての大演劇であり、世界的思想と技巧とを擴大した大演劇であり、世界的思想の名脚本であること、云ふまでもない。	「人形の家」出で、世界劇壇の一大轉回期を作つた中村氏は人にも知るイアセン通、本譯は新劇に心ある人の必讀書なる事勿論である。	「ロミオとジュリエット」と共に沙翁作中最高名なるもの。同じく久米氏が平明にして洗練された現代語によつて、こゝに譯出された。	フランスに於ける近代新ロマンチックの代表劇。遊蕩の場面を縦横に描いて日本の「助六」と一味共通する。細字版二百七十頁の長篇。	
同	同	同	同	同	同	同	同	同

地霊	ソクラテス	悪魔の弟子	ユウ、デイト	朝から夜中まで	モンナ・ヴンナ	オセロ	マレエヌ姫	未能力者の仲間	飢渴
ウエアキント 楠山正雄譯 菊半特装 一九四頁 送價 〇・九〇	ストリン ドベルク 菊半特装 一九二頁 送價 〇・九〇	市川又彦譯 菊半特装 一九八頁 送價 〇・九〇	ヘツベル 清譯 菊半特装 二〇二頁 送價 〇・九〇	カイセル 北村喜八譯 菊半特装 二〇〇頁 送價 〇・九〇	メエテル リンク 菊半特装 二二〇頁 送價 〇・九〇	シエクス ピア 菊半特装 二〇〇頁 送價 〇・九〇	マアテル リンク 菊半特装 二二二頁 送價 〇・九〇	武者小路實篤 新装紙装 二五〇頁 送價 〇・六〇	長田秀雄 新装紙装 二二〇頁 送價 〇・六〇
本書の女主人公は性慾の人格化されたものである。無邪氣に悪魔的な女の形をなせる性慾が一切の男性との戦を描ける戯曲である。	上代西歐文明の祖アテンの興亡を題材とする一幕二十場の戯曲。ソクラテス、プラトベ以下の人物の生涯思想人格等如實に描かれた。	昨年倫敦のガリツク座で、半年間うち續けただけに、興味の豊かなことは云ふ迄もない。	美貌の花の如きユウデイトが、其の純潔の處女性を以て、命を賭け、操を賭けて、揮つて市民の急を救ふの深刻なる悲壯劇。	表現派の代表作。これは救ひを求めて彷徨する人間の永遠に巡禮する者の魂の苦惱と哀訴である。見よ主題の深刻、技巧の警拔なるを珠の如き裸身を以て、命を賭け、操を賭けてひきこり敵營を訪ふ美人のロマンチックな物語である。附録として「闖入者」の一篇を添ふ。	主題は比較的卑近なる家庭の些事に關し、その結構は曲折緩急を極めた、沙翁傑作中の傑作。明暢なる現代語に譯せるものである。	「白耳義の沙翁」まで稱せられしもので、哀切凄婉なる戀の世界を展開せる稀有の傑作。	人間愛の精神を高調せる名脚本で、句々珠玉の如き對話から成る。外に「桃色の女」AとBと或日の事と母親の心配等の五篇ある。	女をめぐる兄弟の性的争闘をからみ、戦争によつて不具となる者の慘しき生活を描写。附録に「氣分劇「櫻死」及び「大雪の夜」等	
新潮社	同	同	同	同	同	同	同	同	同



現代脚本叢書第二篇 <b>法成寺物語</b>	現代脚本叢書第四篇 <b>髑髏舞</b>	現代脚本叢書第五篇 <b>阪崎出羽守</b>	現代脚本叢書第六篇 <b>雨空</b>	現代脚本叢書第七篇 <b>秦の始皇</b>	現代脚本叢書第八篇 <b>七年の後</b>	現代脚本叢書第九篇 <b>第一の世界</b>	現代脚本叢書第十篇 <b>茅の屋根</b>	現代脚本叢書第十一篇 <b>次郎吉懺悔</b>	現代脚本叢書第十二篇 <b>牡丹燈籠</b>
谷崎潤一郎	吉井勇	山本有三	久保田萬太郎	灰野庄平	近藤經一	小山内薫	菊池寛	鈴木泉三郎	長田秀雄
新興紙装 二二〇頁送	新興紙装 二二〇頁送	新興紙装 二五〇頁送	新興紙装 二四〇頁送	新興紙装 二二〇頁送	新興紙装 二二〇頁送	新興紙装 二二〇頁送	新興紙装 二五〇頁送	新興紙装 二二〇頁送	新興紙装 二一〇頁送
一〇〇六〇	一〇〇六〇	一〇〇六〇	一〇〇六〇	一〇〇六〇	一〇〇六〇	一〇〇六〇	一〇〇六〇	一〇〇六〇	一〇〇六〇
天才藝術家と若き僧と美しくしき姫との三者を主人公として戀と宗教と藝術との相剋を描ける大作。附録『十五夜物語』『秋の海邊』等。	陰惨なる顛狂院の病室で、人間の魂を作る機械を發明したと云ふ狂人の夢想を描いた作。添ふるに『葡萄棚』と『小しん』と『馬』と『犬』等。	大阪落城の際、千姫を烈炎のうちに救うた命懸けの功名が却つて失戀の苦惱を呼び、自ら殺すに至るの悲劇。外に『嬰兒殺し』等三篇。	『雨空』『灯取蟲』『雪』『四月盡』等。昔ながらの傳統に生くる市井人の、つ、まじやかに悲しき生活を描いて、情景躍動する名篇の集。	曠世の英主秦の始皇が、絶大の権力意志を執つて超人の生活を夢みながら、人間的感情の反噬に悩むの悲劇。附録に名作數篇ある。	七年の自分と棄て、奔れる女が歸つて来る舊歡新愁交々至る間に男女の微妙な心理の動きを描いた五幕物。外に『夜の一場』外四篇。	作者の體驗を材として簡素な手法の中に、深刻複雑な心理を活現した名作である。別に、『新緑』『俊寛』『ベテスタの池』等六篇を添へた。	現下劇壇の第一人者たる菊池氏の新集。茅の屋根、支那の心持、岩見重太郎、ある兄弟、海の勇者、暴徒の子等の名作九篇を集めた。	市井の一盗兒を捉へて、微妙にして深刻なる心理の發展を描ける名篇。屢々上演された。附録には『二人の未亡人』或る時代』以下數篇。	凄婉の情話『牡丹燈籠』を材として、其の悲戀に近代人の心理を活かせる四幕の長篇。外に『力作』『栗山大膳』『千姫の最後』等の二篇がある。
新潮社	同	同	同	同	同	同	同	同	同

現代脚本叢書第十三篇 <b>最初の奇蹟</b>	現代脚本叢書第十四篇 <b>投げ棄てられた指輪</b>	現代脚本叢書第十五篇 <b>生命の冠</b>	日本戯曲集(大正十年版)	三浦製絲場主	安政小唄	人生の幸福	そこの妹	大佛開眼	現代脚本叢書第十六篇 <b>一日の平和</b>
藤井眞澄	金子洋文	山本有三	劇作家協會	久米正雄	久米正雄	正宗白鳥	武者小路實篤	長田秀雄	正宗白鳥
新興紙装 二二〇頁送	新興紙装 二二〇頁送	新興紙装 二二〇頁送	判別紙装 四五頁送	菊牛特装 一七六頁送	新興特装 二六六頁送	新興紙装 二三四頁送	菊牛布装 一六〇頁送	新興特装 二二〇頁送	新興紙装 二四〇頁送
一〇〇六〇	一〇〇六〇	一〇〇六〇	二〇〇〇	〇七五	一五〇〇	一〇二〇	〇五五	一〇二〇	一〇〇六〇
謂ゆるプロレタリア文藝の先驅者たる藤井氏なる情熱に深刻なる社會觀を托せる作である。『科學食料會社』『最初の奇蹟』等七篇。熾烈な情熱の三角關係を取扱つたものとして最も異色ある『指輪』をはじめ『狐』『村の慈善會』『洗濯屋』と詩人等すべて六篇を収めた。	好誦感むべき商人と、飽くまで正しきを守る事業家の對照に、現代文明の一面を抉り示せる深刻の社會劇。附録に『津村教授』がある。	年刊戯曲集の第二巻である。大正十四年度に於ける十五作家の代表脚本を集め其の他重なる作品梗概を附した。	若き理想家の工場主と勇敢なる戰士たる職工とを對して優しく美しき工女とを主要人物として労働問題の悲劇を描いたものである。	安政の大地震を背景として、數奇にして悲痛なる戀の姿を描ける名篇。兄と弟が一人の女を争ふ『歸去來』外數篇を収めた新集である。	日本の劇界に始めて見たる劃期的名作として噴々噴々としたもの。外に『農村六月の出来事』『隣家の夫婦』等、すべて五篇を収めた。	長篇戯曲。一たび之を發表するや、氏の非難者さへも感嘆の聲を放たすにはあられなかつた程の、エホツク、メイキング作である。	聖武の朝、燦然たる奈良朝文化を背景とし、天才、美人、高僧等を配して神佛の葛藤、藤橘の争闘、戀愛の衝突を描ける大力作である。	天才白鳥の名を謳はれた氏の傑作『一日の平和』を、一最後の女と雲の彼方』等、皆從來の戯曲の定型を逸脱した名作のみである。	
新潮社	同	同	同	同	同	同	同	同	同

日本戯曲集(大正十五年版)	文藝家協會	四六〇頁送	二〇〇	毎年一回刊行し其前年に於ける各作家の代表作を集めて一巻にする年刊戯曲集である。一九二五年の創刊にかゝり新に第二輯出た。	新潮社
心ごころ	久保田萬太郎	四三二頁送	二〇〇	「心ごころ」舊友以下凡て七篇。何れも人情の機微を描いて、静かにして而も奥深き情景を展開し、獨得の情趣は全巻に横溢してある。	同
三浦製絲場主	久米正雄	一七六頁送	〇七五	若き理想家の工場主と勇敢なる戦士たる職工とを展覧して優しく美しき工女とを主要人物として労働問題の悲劇を描いたものである。	同
安政小唄	久米正雄	二六六頁送	一五〇	安政の大地震を背景として、數奇にして悲痛なる戀の姿を描ける名篇。兄と弟が一人の女を争ふ「歸去來」外數篇を収めた新集である。	同
人生の幸福	正宗白鳥	二三四頁送	〇二〇	日本の劇界に始めて見たる劃期的名作として噴々談笑されたもの。外に「農村六月の出来事」「隣家の夫婦」等、すべて五篇を収めた。	同
平將門	眞山青果	一九二頁送	〇〇〇	文壇の諸家が筆を揃へて近來絶無の傑作と推稱せるもの。雄大な規模に於て複雑なる主題に於て現下劇壇の無二の力作とである。	同
叛逆時代の將門	眞山青果	二一〇頁送	〇八〇	梟雄興世王を副として、一個善良の魂を時世の亂に激せられ、心ならずも王を偽宮に稱する平將門の性格悲劇を描ける稀有の名戯曲。	同
同志の人々	山本有三	二八二頁送	一八〇	維新史中の高名なる悲劇を舞臺に活かした傑作。外に「熊谷蓮生坊」「海彦山彦」「指鬘縁起」女中の病氣、本尊、其他の諸名篇がある。	同
時の氏神	菊池寛	二三四頁送	〇八〇	菊池氏が最近の脚本集。氏自ら最も自信ありと云ふ時の氏神を始め、眞似、浦の苦屋、震災餘譚、丸橋忠彌、夫婦、石橋山の七篇を収めた。	同
小さき世界	武者小路實篤	五二〇頁送	二〇〇	「武者小路選集」第一篇で、脚本集である。二つの心、或日の一休、わしも知らない、廿八歳の耶蘇、罪なき罪、三和尚等を収めた。	同

生きんとする者	武者小路實篤	新装布装	二〇〇	「武者小路選集」の第二篇。ある家庭、四人、野島先生の夢、清盛と佛御前、日本武尊、四人、兒殺戯中の一小出来事等の戯曲を収めた。	新潮社
或る青年の夢	武者小路實篤	新装布装	二〇〇	人類愛の高唱に救世の大願を籠め、全世界に向つて力強く叫べる作。既に支那、英吉利等に譯された。附録に一幕物八篇を添へた。	同
運命と人々	武者小路實篤	新装特装	二〇〇	圓熟せる作者の最近の戯曲集にして、奔放激潮の表現を以て氏の人生觀を寓した「人間萬歳堂」たる大史劇「楠正成」の他九篇を収む。	同
桃源にて	武者小路實篤	新装布装	二〇〇	稀有の名作「桃源にて」を始め、張男の最後の日、一日の素盞鳴尊、佛陀と孫悟空等の戯曲八篇、外に氏獨特の小説小品十篇を収めた。	同
童話劇三篇	武者小路實篤	新装特装	二〇〇	「かちく山」「花咲爺」「地蔵と鬼」の三篇。トリストイの民話にも比すべき作である。岸田劉生氏が心をこめられた挿畫數十面を添へた。	同
藤十郎の戀	菊池寛	一八〇頁送	〇八五	元祿の名優藤十郎が人妻の愛を玩び之を死に致せる悲劇。外に父歸へる奇蹟屋上の狂人敵仇以上等を収めたる作者の戯曲選集。	同
新魔王	藤井眞澄	新装紙装	一五〇	「新魔王」を始め、窟窟を出で、及び孤獨の底の日蓮等、特色鮮かな諸名篇を収めた。	同
項羽と劉邦	長與善郎	四六倍特装	四〇〇	金甲の英雄、霓裳の美姫、史上高名の人物を操つて功名の争と戀愛の悶えを描ける力作。新たに河野通勢氏によつて挿畫本を公にした。	同
その妹	武者小路實篤	一六〇頁送	〇四五	長篇戯曲。一たび之を發表するや、氏の非難者さへも感嘆の聲を放たすにはあられなかつた程の、エホツク、メイキンが作である。	同
出家とその弟子	倉田百三	四六判装	一五〇	此戯曲は身に徹して人生の悲哀を痛感せる作者が親鸞上人を主人公にして具體的に全人格的に自己の内的生活を表白したるものなり。	岩波書店

死の舞踏	ストリンドベリイ 四六判 山本有三 四六判	二・七〇	東京堂
集標立つ道	倉田百三 三〇八頁 三〇八頁	二・一〇	岩波書店
近松の自由戀愛の復活	三田村篤魚 二六六頁 二六六頁	二・二〇	崇文堂
セキスピア劇二十篇	鹽見エツサー 四六〇頁 四五〇頁	二・四〇	文献書院
大西利夫脚本集	大西利夫 一四九頁 一四九頁	一・五〇	同
近松戯曲研究	加藤順三 二八〇頁 二八〇頁	二・〇〇	同
近松劇物語	加藤順三 二〇〇頁 二〇〇頁	一・六〇	同
近松世話物十種選	宮澤義則 六〇〇頁 六〇〇頁	四・五〇	同
近松名作選	關根正直 三二〇頁 三二〇頁	一・五〇	明治書院
父の心配	倉田百三 二七〇頁 二七〇頁	一・五〇	岩波書店

長生新浦島	坪内逍遙 一六五頁 一六五頁	二・二〇	日實業社
トルストイ戯曲全集	米川正夫 七四〇頁 七四〇頁	三・二〇	岩波書店
春の目ざめ	野上豊一郎 二七〇頁 二七〇頁	一・六〇	同
百姓一揆	高橋季暉 二五八頁 二五八頁	一・六〇	昭文堂
ブリタニキユス	内藤 潤 四三〇頁 四三〇頁	二・〇〇	第一書房
松蟲鈴蟲	長尾和彦 二二五頁 二二五頁	一・五〇	森江書店
幻の部屋	北村壽夫 二七〇頁 二七〇頁	一・六〇	改造社
ミスサラサムソン	野村行一 四一五頁 四一五頁	一・三〇	岩波書店
見果てぬ夢	古屋芳雄 四一〇頁 四一〇頁	一・〇〇	同
阿彌世話物の研究	吉見廣勝 一八〇頁 一八〇頁	一・〇〇	文献書院

「長生新浦島」は回春泉の試験、或る富豪の夢の三部を収む、いづれも博士の日本舞踊劇に對する革命的使命を負ひし作品である。

本書は杜翁の劇作を悉く一篇に網羅した我邦最初の出版であり、翻譯亦其人を得て數多き譯書中の最高權威たるを信づ。

現代の觀客に強い衝動を與へる丈の内容と表で、世に藝術的價値はしばらくおき、此の意味だけから言へば、近來稀に見る作品。都新聞評。

「長生新浦島」は回春泉の試験、或る富豪の夢の三部を収む、いづれも博士の日本舞踊劇に對する革命的使命を負ひし作品である。

本書は杜翁の劇作を悉く一篇に網羅した我邦最初の出版であり、翻譯亦其人を得て數多き譯書中の最高權威たるを信づ。

現代の觀客に強い衝動を與へる丈の内容と表で、世に藝術的價値はしばらくおき、此の意味だけから言へば、近來稀に見る作品。都新聞評。

「長生新浦島」は回春泉の試験、或る富豪の夢の三部を収む、いづれも博士の日本舞踊劇に對する革命的使命を負ひし作品である。

本書は杜翁の劇作を悉く一篇に網羅した我邦最初の出版であり、翻譯亦其人を得て數多き譯書中の最高權威たるを信づ。

現代の觀客に強い衝動を與へる丈の内容と表で、世に藝術的價値はしばらくおき、此の意味だけから言へば、近來稀に見る作品。都新聞評。

「長生新浦島」は回春泉の試験、或る富豪の夢の三部を収む、いづれも博士の日本舞踊劇に對する革命的使命を負ひし作品である。

本書は杜翁の劇作を悉く一篇に網羅した我邦最初の出版であり、翻譯亦其人を得て數多き譯書中の最高權威たるを信づ。

現代の觀客に強い衝動を與へる丈の内容と表で、世に藝術的價値はしばらくおき、此の意味だけから言へば、近來稀に見る作品。都新聞評。

戯雪を凌ぎて	池田碧汀	四六判 洋装函入 三〇〇頁	送價 二〇〇八〇	著者は日清生命會社の社長である。生命保險 ちを骨子とする社會劇にして、發行されるや直 ちに異狀の反響を文壇に投げしものである。	日實 本業 社之
--------	------	---------------------	-------------	---	----------------

講談

新赤穂義士	吉田奈良丸	三四六判 三四〇頁	送價 〇六〇	敵を欺むく遊興に大石が言ふに言はれぬ若る しきは吉田の奈良丸が名節に茲に蒐めて十二席 三代目虎丸師匠が家傳とあつて得意の讀物語 切れる小氣味よきソックリ速記した講演本。	三 芳 屋
梅ヶ香 安中草三郎	鼈甲齋虎丸	四四六判 四〇〇頁	送價 〇七〇	「石川翁の山居」檜柴の茶入「役の三味」遠 州屋嘉兵衛「一寸待て」魂百石「入道虎徹」 の七編を収む。清新にして趣味に富む好讀物。	同
民育 石川翁山居	天野雄彦	三三六判 二〇六頁	送價 〇七五	一休禪師の奇行蜀山人の狂歌一體全體ドツチ 聴いて御覽其人は必ず云ふ「ドツチも面白い」	中央報徳會
頓智 一休と蜀山	無漏道人	三三六判 三三二頁	送價 〇六〇	重友得意の稻妻お玉と題されし探偵奇譚毒婦 お玉が身の成行これ浪花節の浪花節たる讀物	三 芳 屋
探偵 稻妻お玉	木村重友	二四六判 二〇二頁	送價 〇四〇	乃木將軍・俠妓幾松・軍神橋中佐外五題。	同
武士道精華義烈百傑 樂燕講演集	東家樂燕	菊半載 二五四頁	送價 〇三〇	長篇講談の百三篇として毒婦霞のお千代出づ に驚くべし。	同
霞のお千代	神田伯山	四四六判 五〇〇頁	送價 〇六八	寛永年間於ける武蔵、卜傳、柳生文子、又 右衛門等の大家傑が奉納試合、御前試合、道 場破り等血濡き肉踊る最高潮の場面を描く。	博 文 館
寛永武術競べ	大河内翠山	四四六判 函入	送價 二〇〇		講 談 社

上州 國定忠治	東家扇遊	四六六判	送價 〇五〇	長脇差の一大頭目國定忠次とばさんな人であ つた併し彼の遂に國を賣つて悲痛な最期を遂げ た併し後の人は彼の徳を慕つて祀つて居る。	三 芳 屋
武勇 条の平内	雨柳子	四六六判	送價 〇六〇	幡隨院長兵衛を義の弟に荒木又右衛門を一步 繁昌の石の稗條の平内これ其の一代記。	同
巨界 雲の一節	桃中軒雲入道	袖珍形 一八〇頁	送價 〇四〇	一聲の張り亂れ三ツに廻すを雲一流の名節 むさする。曰く一節三流れ、今其演題の粹を蒐 む。音讀むも知らず會得して節に入の妙あり	同
講談 日本外史	今三餘	全判美裝 各八〇頁	送價 二五〇	頼山陽の日本外史を只モウ興味に誘はれ我を 作したるもので實に空前の好讀物である。	興 文 社
滑稽 浪花節	東家樂遊	菊半載 二五〇頁	送價 〇三〇	又蔵初陣〇三方日出鯛〇大鹽飄屋政談〇木村 〇眞柄の太郎太刀〇孝女お貞〇源内智恵袋外	三 芳 屋
鞍馬 御用盜異聞	大佛次郎	四六八頁	送價 〇八〇	〇熱狂的歡迎を受たる「鞍馬天狗」の續篇〇 りなき凄烈なる殺陣の描寫、讀者の血を湧す	博 文 館
快西 郷南洲	東家扇遊	四六六判 三〇四頁	送價 〇五〇	櫻雲臺に威風堂々大西郷は何をか語る見よ今 以て大いに語るイザ語らうとてこの書なる	三 芳 屋
最明寺時頼漫遊記	寶井馬琴	四六六判 五〇〇頁	送價 〇六八	時頼施政の始めより後事を藤綱に託して諸國 を漫遊し忠臣孝子を擧げ横道に懲らして北條家 を盤石の固きに置く極めて變化に富む物語。	博 文 館
實說 怪談集	妖怪研究会	四六六判 四七〇頁	送價 〇二〇	昔から實際にあつた怪談を集めたのが本書 である。秋の夜長には一種の趣味ある讀物。	日 本 書 院
民育 島の一蝶	天野雄彦	三六六判 一七二頁	送價 〇七五	「女著さ白女」義齋明神「川底の錢」島の一蝶 を「氏郷さ左馬九」無筆の右筆「葛飾北齋」の七編 を収む。在來講談の低調卑俗を捨て趣味横溢	中央報徳會

赤穂義士銘々傳	赤穂義士外傳	赤穂義士	海賊赤穂	探偵十八番	新派浪花節	新作仇討全集	修養新話	社會講談選集	
昇龍齋貞丈	斯波南叟	桃川如燕	猫遊軒伯知	東家樂遊	雲井北斗	直木三十三	井口丑二	白柳秀湖	
五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	二四六頁判送價	三四六頁判送價	全五〇六頁判送價各三三〇	四六六頁判送價	四六六頁判送價	
〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇五〇	〇六〇	〇二〇	〇七〇	二二〇	
佐竹侯海賢を斬りたるに端を發し覺醒美婦お百の體に宿りて崇り成さんとする既に奇、世に葛の葉と稱し芝居で演ずるが即ち本書なり。外に天慶の亂強賊袴垂頼光四天王怪賊鬼童丸など諸種の傳を附す。	義士本傳に對せる名にして小山田庄左衛門の變心淺野家不吉の前兆天野屋利兵衛の義心なご興味頗る多し本傳と併せ讀むべきもの。	復讐の遠因より義士の苦心本懐成就義士の墓碑成名の努力は殆んど此一卷に盡せり。	武家を厭ふて海賊となり御用船を襲ふ事度々遂に刺客黒船重右衛門の手を命を殞す一は舊怨亡靈となりて二代目團十郎に祟る怪談。	宮に買一は梅の熱海に浪子と武男は返子の月に「己が罪」其他幾席其名作を一流の節に語れり。	菊池寛氏曰く、「立廻りは直木に於て始めて文藝的描寫を得たり」と、作者獨特の筆の牙へ、紙上に響く劍戟の音、大衆文壇第一の讀物。	報徳教の眞髓を平易通俗に何人にも解し易く説きたるもの、處世修養上の好指針たるものあらん。	此を指導啓發す。全篇珠玉の如く文字は輝く民衆を支配して民衆の前に盲目である從來の講談を革命し、民衆支配の勢力を驅つてよく此を指導啓發す。全篇珠玉の如く文字は輝く	同	同
同	同	同	博文館	同	三芳屋	興文社	中央報徳會	大鏡閣	

赤穂義士銘々傳	赤穂義士外傳	赤穂義士	海賊赤穂	探偵十八番	新派浪花節	新作仇討全集	修養新話	社會講談選集
昇龍齋貞丈	斯波南叟	桃川如燕	猫遊軒伯知	東家樂遊	雲井北斗	直木三十三	井口丑二	白柳秀湖
五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	二四六頁判送價	三四六頁判送價	全五〇六頁判送價各三三〇	四六六頁判送價	四六六頁判送價
〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇五〇	〇六〇	〇二〇	〇七〇	二二〇
佐竹侯海賢を斬りたるに端を發し覺醒美婦お百の體に宿りて崇り成さんとする既に奇、世に葛の葉と稱し芝居で演ずるが即ち本書なり。外に天慶の亂強賊袴垂頼光四天王怪賊鬼童丸など諸種の傳を附す。	義士本傳に對せる名にして小山田庄左衛門の變心淺野家不吉の前兆天野屋利兵衛の義心なご興味頗る多し本傳と併せ讀むべきもの。	復讐の遠因より義士の苦心本懐成就義士の墓碑成名の努力は殆んど此一卷に盡せり。	武家を厭ふて海賊となり御用船を襲ふ事度々遂に刺客黒船重右衛門の手を命を殞す一は舊怨亡靈となりて二代目團十郎に祟る怪談。	宮に買一は梅の熱海に浪子と武男は返子の月に「己が罪」其他幾席其名作を一流の節に語れり。	菊池寛氏曰く、「立廻りは直木に於て始めて文藝的描寫を得たり」と、作者獨特の筆の牙へ、紙上に響く劍戟の音、大衆文壇第一の讀物。	報徳教の眞髓を平易通俗に何人にも解し易く説きたるもの、處世修養上の好指針たるものあらん。	此を指導啓發す。全篇珠玉の如く文字は輝く民衆を支配して民衆の前に盲目である從來の講談を革命し、民衆支配の勢力を驅つてよく此を指導啓發す。全篇珠玉の如く文字は輝く	同
同	同	同	博文館	同	三芳屋	興文社	中央報徳會	大鏡閣

赤穂義士銘々傳	赤穂義士外傳	赤穂義士	海賊赤穂	探偵十八番	新派浪花節	新作仇討全集	修養新話	社會講談選集
昇龍齋貞丈	斯波南叟	桃川如燕	猫遊軒伯知	東家樂遊	雲井北斗	直木三十三	井口丑二	白柳秀湖
五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	二四六頁判送價	三四六頁判送價	全五〇六頁判送價各三三〇	四六六頁判送價	四六六頁判送價
〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇五〇	〇六〇	〇二〇	〇七〇	二二〇
佐竹侯海賢を斬りたるに端を發し覺醒美婦お百の體に宿りて崇り成さんとする既に奇、世に葛の葉と稱し芝居で演ずるが即ち本書なり。外に天慶の亂強賊袴垂頼光四天王怪賊鬼童丸など諸種の傳を附す。	義士本傳に對せる名にして小山田庄左衛門の變心淺野家不吉の前兆天野屋利兵衛の義心なご興味頗る多し本傳と併せ讀むべきもの。	復讐の遠因より義士の苦心本懐成就義士の墓碑成名の努力は殆んど此一卷に盡せり。	武家を厭ふて海賊となり御用船を襲ふ事度々遂に刺客黒船重右衛門の手を命を殞す一は舊怨亡靈となりて二代目團十郎に祟る怪談。	宮に買一は梅の熱海に浪子と武男は返子の月に「己が罪」其他幾席其名作を一流の節に語れり。	菊池寛氏曰く、「立廻りは直木に於て始めて文藝的描寫を得たり」と、作者獨特の筆の牙へ、紙上に響く劍戟の音、大衆文壇第一の讀物。	報徳教の眞髓を平易通俗に何人にも解し易く説きたるもの、處世修養上の好指針たるものあらん。	此を指導啓發す。全篇珠玉の如く文字は輝く民衆を支配して民衆の前に盲目である從來の講談を革命し、民衆支配の勢力を驅つてよく此を指導啓發す。全篇珠玉の如く文字は輝く	同
同	同	同	博文館	同	三芳屋	興文社	中央報徳會	大鏡閣

長篇講談 大久保彦左衛門	長篇講談 大鹽平八郎	長篇講談 大前田英五郎	長篇講談 河内山宗俊	長篇講談 加賀騷動	長篇講談 加藤清正	長篇講談 蒲生三勇士	長篇講談 寛永御前試合	
葦々齋桃葉	寶井琴窓	桃川桂玉	桃川燕國	悟道軒圓玉	桃川燕玉	揚名舎桃李	寶井馬琴	
五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	
〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	
登城勝手大老席に坐すれば大老格老中席なれば老中格二百諸大名を畏怖せしめた彼は眞に徳川家名譽の臣傳記の面白さも無理はない。兩編共縁談上より種々の波瀾を生み悪漢出沒して災禍續出遂に大岡名奉行の裁斷を受くる云ふ事實談。	奉行の因循に激して窮民救助の義旗を擧げ浪華の地を砲火の巻きた大鹽一代記配下の傳も詳叙して一讀巻を掩ふ能はざらむ。	二十五歳の時俠客久宮の丈入を斬つて旅から郷八十一歳で廻國中大親分となり四十二歳で歸郷八十一歳で没する珍らしい經歷談。	櫻月夜に猫覺の踊るあれば蟲の夜燈籠を提げて立つつ亡霊あり一は猫塚に祀られ一は濡佛となりて残る兩編の骨子既に奇面白き事無論。	奇智か曲者大奥坊主の名に隠れて大名を騙り賭場を荒し町家を強請る惡計百出筋が絡んで遊女の情話兄弟分の惡事など紙上に躍動す。	お家騷動も數あるが太守二代變死は珍らしいお家横領を企つる物語り。	金ヶ崎の初陣より大小數百度の戰場を往來し武功擧げて數へ難く遂に明國迄武名を輝かす士氣振作の好讀物。	村上大助安井綱五郎筒井小源太の三士諸國を遍歴し後に雲州堀尾家の動亂を鎮め實父義父及び妻の仇討を遂げ英名を顯はした武勇談。	寛永御前試合は講談中の呼び物全國の名人達人吹上庭上に於て幻々妙々の競技を爲す讀めば机邊風を生じ措けば枕上聲あるもの。
博文館	同	同	同	同	同	同	同	

長篇講談 寛永三馬術	長篇講談 關東七人男	長篇講談 紀伊屋五左衛門	長篇講談 木下藤吉郎	長篇講談 國定忠次	長篇講談 桑平内	長篇講談 栗山大膳	長篇講談 毛谷村六助	長篇講談 小金井小次郎		
神田伯山	悟道軒圓玉	阪本富岳	揚名舎桃李	西尾麟慶	小金井芦洲	一龍齋貞山	桃川桂玉	小金井芦洲		
五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價		
〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八		
曲木平九郎筑紫市兵衛向井藏人三名馬術名譽軍に梅を獻する條なご息をもつかせぬ。	天保年間の男達赤城の丈五郎、大前田英五郎、關口彌五郎等關東十人男と世話物として有名な浪華七人男。何れも俠を競ふ豪快な長篇。	關八州に泣く兒も黙ると云はれた俠客赤尾村林藏の生涯及び其頃の頭領分七人の傳を配す文化文政間の實話。	一代百萬の巨富を積んだ文左衛門の手腕國禁を犯して外船と交易日本一の長者となり五兵衛の豪放優劣何れ、正に長講談中の大讀物。	幼時の奇智頓才から信長後井長政との縁組迄一人猿而郎の出世術人を以て啞然たらしむ。	親孝行の忠次が思はぬ仇討より名を知られ後關八州の俠客を威壓す生涯總べて血の雨。	然關八州の俠客を威壓す生涯總べて血の雨。	元和寛永の大剛桑平内の物語編中美人あり仇討あり怪物あり惡漢あり是れを縫ふて剛強平内の一一代を物語る處波瀾重疊。	主家の惡人を除きて其身は南部に貶謫されたるも眞に後世誠忠の龜鑑天下三陪臣一人たる彼の孤忠は本編を一貫して讀む者を泣かす。	武術の修行仇討の助太刀から豊公御前三十六番相撲に戦死する迄面白く講演せるもの。	武州小金井の大俠小次郎の傳で度胸國定忠次をも驚かしたる程の利け者江戸名代の俠客新門辰五郎と義兄弟となり俠名を擧ぐる逸話。
博文館	同	同	同	同	同	同	同	同		

後藤義勇傳	長篇講談	悟道軒圓玉	五四〇六頁判送價	〇六八	江戸に道場を開きて名聲を揚げ後百姓一揆に加はりて流竄され放免後諸國を廻遊遂に故郷に丸籠にて門人を取立つ経歴を讀み盡す。	博文館
佐倉宗九助郎	長篇講談	桃川實寶	五四〇六頁判送價	〇六八	宗五郎と九助は東西義民の好一對何れも領民塗炭の苦を救ふて末世迄も其名を輝かす本書兩者辛苦の状歴々泣かざる人幾人かある。	同
櫻田血染雪	長篇講談	桃川燕玉	五四〇六頁判送價	〇六八	落花紛々雪粉々浪士櫻田の一擧は壯烈無比本落葉の次第を明にせり。	同
里見八犬傳	長篇講談	猫遊軒伯知	五四〇六頁判送價	〇六八	南總の太守里見義實の家臣八士の忠節物語足利氏の中年より末年へかけての出來事にて本書は八士東國に出會する迄の事蹟を述ぶ。	同
眞田三代記	長篇講談	桃川燕玉	五四〇六頁判送價	〇六八	智謀三代幸村傾運の大坂に入城して豊臣の天殘りて鐵壁灰燼に歸す一巻是れ智勇の書。	同
佐野鹿又十平郎	長篇講談	昇龍齋貞丈	五四〇六頁判送價	〇六八	兩者共幾度か死生の境を往來して主人の仇を報い一は刺客として聲名高く一は畫師として影筆神に通ず後世の龜鑑一讀三嘆。	同
忍術猿飛佐助	長篇講談	神田伯麟	五四〇六頁判送價	〇六八	忍術を以て眞田の家臣となり或は諸國を廻遊に種々の功名を現はす近時流行の讀物。	同
三家三勇士	長篇講談	悟道軒圓玉	五四〇六頁判送價	〇六八	紀州の和佐大八郎尾州の星野勘左衛門水戸の名聲を揚ぐる云ふ天和貞享時代の奇談。	同
鹽原多助	長篇講談	小金井芦洲	五四〇六頁判送價	〇六八	青錢六本文を持つて江戸に出で二十年間に巨富を積み本所に過ぎたものは二つ津輕大名炭屋鹽原と唄はれた立志成功談。	同
近世清水次郎長	長篇講談	寶井琴窓	五四〇六頁判送價	〇六八	彼れ一代の間敵となりて死せる者三百人而も又助けられたる者幾人なるかを知らず晩年開墾に従事縣令より賞せらる俠客傳中の珍。	同

石川五右衛門也	長篇講談	桃川燕玉	五四〇六頁判送價	〇六八	何れも日本四大賊の一人名を知らざる人なく妖術を知らざる人なし二者の経歴何れか興味ある偽善の徒反て愧死するものあらん。	博文館
筑紫白縫物語	長篇講談	桃川燕玉	五四〇六頁判送價	〇六八	筑紫の名家龍造寺家黒田と戦ふて滅亡し姫白縫妖術を以て再興を圖れるも計略を挫かれ山塞に自刃す妖姫意表の跳躍他に見ざる書。	同
大岡政談	長篇講談	邑井貞吉	五四〇六頁判送價	〇六八	一は旗本の美名に隠れて強盜殺人種々の悪事を働き一は主人への報恩より貧の盗みを働く一は斬罪一は無罪善惡兩面を寫せる物語。	同
鈴木主水	長篇講談	斯波南叟	五四〇六頁判送價	〇六八	父横死を遂げて復仇の爲め廻國中恩師の娘を娶り其後諸種の波瀾を重ねて妻お糸は藝者となり遊女となり末に奇遇して本懐を遂ぐ。	同
勢力富五郎	長篇講談	悟道軒圓玉	五四〇六頁判送價	〇六八	下總笹川の俠客繁藏を助け飯岡の助五郎と多年賭場を争ひ天保十二年の大喧嘩となり遂に山塞に最後を遂ぐ世に天保水滸傳と題す。	同
成田利生記	長篇講談	寶井琴窓	五四〇六頁判送價	〇六八	一は人氣相撲千田川の奥州仇討擧太鼓に干生で怪力を授かり北地松前に横溢一は觀音の利	同
仙石騷動	長篇講談	田邊南龍	五四〇六頁判送價	〇六八	一族仙石左京非望を起してお家を亂し事顯はれて鼻首されたるも仙石家又騷擾の罪にて滅	同
相馬誠忠錄	長篇講談	阪本富岳	五四〇六頁判送價	〇六八	津輕家檜山横領より五度津輕侯に危害を加へて素志成らず刑場の露と消えたるも中途志を繼ぐ者ありて遂に南部領に戻る忠烈。	同
太閤	長篇講談	揚名舎桃李	五四〇六頁判送價	〇六八	太閤天下統一の事から大奥の榮華秀次の亂行朝鮮征伐並に薨去に到る迄詳細講演太閤記中最も興味深きは本編なり。	同
長篇講談	大丸屋騷動	斯波南叟	五四〇六頁判送價	〇六八	大丸屋彦右衛門下村家相續の因由より計らず先代切腹の悪劔手に入り鍋島家役人を殺傷するに到る次第を述ぶ。	同

伊達騷動	田宮坊太郎	塚原ト傳	村天 井一長 庵坊	復天 下茶屋	妖天 人お駒	大福 徳川家齊	徳川 家光	徳川 家康	徳川 吉宗
長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談
錦城齋貞玉	悟道軒圓玉	寶井馬琴	桃川燕玉	悟道軒圓玉	神田伯山	田邊南龍	斯波南叟	一龍齋貞山	寶井馬琴
五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價
〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八
伊達兵部顯智原田甲斐と謀りて宗家横領を企て遂に天下の評定所に於て曲直を争ふ七十萬石の浮沈に關する大講讀むべく味ふべし。	戀の遺恨にて父は非業に死し子息坊太郎成育て後柳生飛騨守に師事して剣道を勵み丸龜に於て首尾好く復讐す仇討として著名なるもの。	日本一の武藝者と呼ばれた塚原小太郎の幼時より遂にト傳流を創りて山間に隠遁する迄の物語堂々五十一席演者得意の大長講。	一は御落胤と稱して堂々江戸表へ乗込み、一は巧に罪を轉嫁して無辜を泣かむ。共に大岡奉行の二大調べ。	孝子林源次郎が秀頼公母子住吉參詣の途次仇討をなす其後大阪へ入城種々の功名を現はしたるから一方大阪諸將の傳記をも記す。	妖艶三度大名の側室となり家臣と共謀悪事をなす最後紀州家の奥を亂して孝子の刃に命を殞す妖婦お駒の怪腕讀んで驚風を生ず。	家齊大奥に美人を集める事から水野美濃守の奢り増長其他露艦來寇遠山名奉行の傳記など當時起りし事件の真相を講讀す。	世嗣の争ひより老女老臣を操つり將軍宣下上洛運中君父の仇として車三丸の狙撃となり其妻は又間者となりて大奥を騒がす物語。	軍神信玄を海道一の弓取りと嘆稱せしめた家康の生涯中最も興味深き部分を講讀し前出長講中重復せる處は筋を換えて閲讀に供せり。	吉宗公のお乗出し神原騷動護持院ケ原及小菅殿の仇討田沼父子の専横其他吉宗公治世中に於ける事件は小大となく網羅せり。
博文館	同	同	同	同	同	同	同	同	同

戸田新八郎	豊臣 秀吉	明和 永井源三郎	日蓮 記	宮本 二刀の譽	日本 左衛門	甲賀 忍術の勇士	鼠小僧次郎吉	野狐 三次	野晒 勘三郎
長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談	長篇講談
千代田錦鏡	揚名舎桃李	悟道軒圓玉	斯波南叟	悟道軒圓玉	伊藤蕪尾	悟道軒圓玉	小金井芦洲	寶井琴窓	揚名舎桃李
五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價	五四〇六判送價
〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八
元和三勇士の戸田新八郎、石川紋綱、田宮左金吾傳、仇討あり義俠あり戀愛あり眞劍試合あり武者修行海賊退治など變化多い讀物。	本篇には明智一族の滅亡より信長大法會の焼山出陣迄記す。	源三郎の生立より主人姉弟の仇討を助け其身は又計らす敵の身となつて遂に阿武隈河原の露と消ゆると云ふ人情義理纏綿せる奇談。	法華經の一卷永く後世の闇を照らして救世の使命を全うす偉人日蓮上人は眞に我國の至寶演者南叟師畢世の講演面白事無類なり。	上卷には宮本武蔵父子下卷には宮本勘解由父子の傳を揚ぐ、父子二對四人の傳記變化多くして興深し。	芝居でする白浪五人男の傳記其頭目たる日本左衛門は浪人から長脇差の群に入り千人の子分を率ゐて領主に抗敵した興味深い物語。	兩勇士の變幻極りなき生涯は壯烈無比甲賀は後徳川家に仕へて大功を樹て淺香は車丹波守と穴戸城に落命す兩者其忍術競は興味津々好んで大名屋敷を襲ひ強きを挫き弱きを扶く幕末無類の義賊獄門の刑に處せられたるも墓前今に香華絶えず。善惡兩面を寫せるもの。	大工磯五郎夫婦親音へ祈願して拾ひ上げたは野狐三次主家の難儀を救ふ事幾度後浪華に父を探れて大家の娘に懸想する奇話奇談續出。	毒婦般若のお作の奸計から種々の事件を生み長者安田屋の退轉末子勘三郎の俠客志望は是れに終はりて姦通義俠等波瀾を重ねる物語り。	
博文館	同	同	同	同	同	同	同	同	同



長篇講談 羽柴筑前守	長篇講談 旗本五人男	長篇講談 榛名の梅ヶ香	長篇講談 怪談 番町皿屋敷	長篇講談 幡隨院長兵衛	長篇講談 福島 山島 騷動	長篇講談 斑鳩平次	長篇講談 古市十人斬	長篇講談 名實 細川血達摩	長篇講談 堀部安兵衛
場名舎桃李	場名舎桃李	松林伯知	悟道軒圓玉	場名舎桃李	昇龍齋貞丈	斯波南叟	米山求女	猫遊軒伯知	桃川燕玉
五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價
〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八
秀吉の機略は筑前守時代に於て最も其技能を發揮せり本編は信長淺井長政との見参より天下統一の素地を作れる山崎合戦迄を収む。	江戸本所の旗本五人が放蕩に身を持ち崩し騙取強盗殺人と惡事の限りを盡し甚敷者は非人の娘を妻とす泰平塵下の墮落一讀竦然。	安中宗三義侠の物語で主人の罪を掩ふて入牢し破牢後轉々して種々の奇談を生む舊主の生涯は又奇縁薄命一卷涙に満てる讀物。	芝居に稗史に最も人口に膾炙せる番町皿屋敷の實傳、故師伯圓得意の讀物を演者が口寫を受けて面白く講演せるもの。	男の中の男と云ふべき長兵衛の素性が旗本の軋轢遂に水野の屋敷に最期を遂ぐる迄描出す附録比翼塚は嬌艶無比の讀物。	前編は正則の亂行家斯絶並に舊臣再興に努力する苦心談、後編は毒婦お筆の方家臣と共謀お家横領を企つる云ふ筋。	加藤十勇士の一人たる斑鳩平兵衛子息兄弟の武勇録にして中にも平次は剛力宛無双山塞を陥れ仇討の助太刀をなす等變化多い物語。	戀の意氣地が嫉妬となり遂に人を害め其身も又死す伊勢音頭戀の寢刀として今に傳はる此一編人情の奇微讀むべく慎むべし。	村正の一劍轉々して種々殺傷の祟を爲し此間孝子仇討の苦心を語る演者一流の讀物義人焼死して名畫を救出する條なき眼前に髣髴す。	堀部安兵衛赤穂義士中の花形である本編は彼れの生立より吉原邸討入迄餘人の講演せざる事實を精探して真相を傳ふるに努めた。
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

長篇講談 光秀旅日記	長篇講談 水戸黃門漫遊記	長篇講談 宮本武藏後日の仇討	長篇講談 明君道中記	長篇講談 柳生旅日記	長篇講談 柳川庄八	長篇講談 柳澤騷動	長篇講談 松山奇談 蜂八 須賀八 狸	長篇講談 山中鹿之助	長篇講談 山本勘助
斯波南叟	場名舎桃李	邑井貞吉	猫遊軒伯知	一龍齋貞山	小金井芦洲	悟道軒圓玉	桃川燕玉	小金井芦洲	斯波南叟
五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價	五四六頁判送價
〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八
光秀廿歳明智城を退散して全國を周遊し仔細仕ふる彼の氣魄早く、既に當時に於て見る。光園公一老爺に自分を包み東北東海道を漫遊して諸大名の施政治蹟を探る道中滑稽百出助さん格さんの活躍一讀夜の更くるを知らず。	後の宮本さいいつて、武藏の子孫に關する武勇飾慶の濱の仇討あたり實に手に汗を握らしむ。	父家光の猾策に死して徳川家の扶持を受くるの限りを盡して長崎で風月を樂む物語。	柳生十兵衛家光の命を受け諸大名の機密を探る爲め九州に下る道中劍士續出するも勝つ者なき巡遊九年西國要害圖を奉る苦心談。	年廿三歳郷里仙臺を亡命して諸國を横行し十年筑後の柳川にて舊友に會ひ意見に従ふて故國に美事の最期を遂げた士道の龜鑑。	柳澤榮華物語りとも云ふべきものにして美人を薦めては昇祿し頓才を以て加増さる吉保侯の才智非凡又一面徳川大奥の活歴史。	覽性の猫何んの崇りかなす變化の狸何んの怪異をかなす阿波と松山に起れる奇談面白い事請合敢へて内容を説くに及ばず。	中國の名家尼子の家を再興せんさ三度日本國中を遍歴して山中鹿之助の一生より尼子十勇士の活躍を描出す永祿天正年間の一大奇聞。	本邦の孔明と諺はれた彼の幼時から諸國廻遊も遂に甲州に赴きて武田家に仕ふる迄講演せるもの花も實もある勘助前半生の面目躍如。	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

長篇講談 由井正雪	長篇講談 客夕立勘五郎	長篇講談 祐天吉松	長篇講談 祐天上人	長篇講談 お岩 稲谷 荷利 生記談	長篇講談 雷電爲右衛門	十返舎 一 九 東海道中膝栗毛	かはり もの 頓智くらべ	召集合 一品 浪花節十八番	
悟道軒圓玉	神田伯山	神田伯山	寶井琴窓	悟道軒圓玉	昇龍齋貞丈	辰己老人	悟道軒圓玉	東家小雀	
五四〇〇	五四〇〇	五四〇〇	五四〇〇	五四〇〇	五四〇〇	三四〇〇	三四〇〇	一七六六	
送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	
〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇六八	〇五〇	〇五〇	〇四五	
或由巡禮さなり或は非人さ零落し苦心敵の行 衛を連れて遂に濱川御成先に於て仇討本懐を 遂ぐ山本仲尾の如きは眞に貞婦の龜鑑	江戶時代任俠を誇れるもの許多而かも後世に 名を傳ふるもの幾人かある義俠無比の好漢勘 五郎の實傳は蓋し俠客傳中を潤歩するもの	吉松の素性より敵役たるお旦那半次間々田の 健次立花屋金五郎の放蕩無頼を記し吉松の仇 討並に四人の處刑にて終る天保弘化の實談	祐天出家得道の難行から幾多の死難を解脱せ 附録品川問答は法華浄土の大宗論	一は夫の不實より狂死して種々の祟りを爲し しめお岩稲荷の利生に依つて夫の冤罪を免れ しめお岩稲荷の利生に依つて夫の冤罪を免れ しめお岩稲荷の利生に依つて夫の冤罪を免れ	雷電を中心として當時の重なる力士傳を叙し 十六年間に大關を張り通せるも而かも横綱たる を得ざりし理由をも附す	返舎一九が實地を踏んだ滑稽百出の旅日記。十 面白の面白くないのは是れ彌次喜多の種明し 編者が餘程な奇人變物である然れば目の寄る 處へ玉、妙の寄る處へ變、へ、へ、へんの編 と云はざるを得ず、敢て口上でもあるまい	召集合(若丸)安中草三郎(虎丸)小松嵐(樂遊) 正宗孝子傳(雲入道)乃木將軍の血涙(奈良丸) 名探偵村松武夫(樂燕)強盜土官(恭爲)外武席	軍人といはれた乃木將軍が學生の力を盡して 戦つたのが南山である而してその戦ひが生 んだ一つの哀話は如何に聞く人の胸を打つか 演題)將軍の生立丸龜聯隊包圍の誠・西南 戦争錦旗の一節・將軍の結婚・爾靈山の血涙・ 將軍旅日記・那須野の閑居・殉死外五席	江戶で噂の花川戸、幡隨院長兵衛は音に響 いた大親分、其男の中の男振を活躍させる者 は、浪界に男ありと浪花亭峰吉の名節!名調 子機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋 彼後藤の大勇は天下に隠れなく、大阪の役、 し機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋 彼後藤の大勇は天下に隠れなく、大阪の役、 し機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋

召集合 南山血染聯隊旗	乃木將軍誠忠錄	伯山俠客傳	俠幡隨院長兵衛	後藤右衛門 武勇傳	怪 牡丹燈籠	松井兩雄傳	水戸黃門諸國漫遊	講談名作集	講談精選
東家小雀	吉田奈良丸	神田伯山	浪花亭峯吉	昇龍齋貞丈	三遊亭圓喬	昇龍齋貞丈	桃川實	文藝社	文藝社
一七六六	二四六六	三四〇〇	二四六六	五四〇〇	三四〇〇	五四〇〇	四四六六	四〇〇〇	四〇〇〇
送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價
〇四五	〇六〇	〇六〇	〇五〇	〇六八	〇五〇	〇六八	〇七〇	〇二〇	〇二〇
或は巡禮さなり或は非人さ零落し苦心敵の行 衛を連れて遂に濱川御成先に於て仇討本懐を 遂ぐ山本仲尾の如きは眞に貞婦の龜鑑	軍人といはれた乃木將軍が學生の力を盡して 戦つたのが南山である而してその戦ひが生 んだ一つの哀話は如何に聞く人の胸を打つか 演題)將軍の生立丸龜聯隊包圍の誠・西南 戦争錦旗の一節・將軍の結婚・爾靈山の血涙・ 將軍旅日記・那須野の閑居・殉死外五席	江戶で噂の花川戸、幡隨院長兵衛は音に響 いた大親分、其男の中の男振を活躍させる者 は、浪界に男ありと浪花亭峰吉の名節!名調 子機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋 彼後藤の大勇は天下に隠れなく、大阪の役、 し機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋 彼後藤の大勇は天下に隠れなく、大阪の役、 し機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋	江戶で噂の花川戸、幡隨院長兵衛は音に響 いた大親分、其男の中の男振を活躍させる者 は、浪界に男ありと浪花亭峰吉の名節!名調 子機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋 彼後藤の大勇は天下に隠れなく、大阪の役、 し機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋 彼後藤の大勇は天下に隠れなく、大阪の役、 し機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋	江戶で噂の花川戸、幡隨院長兵衛は音に響 いた大親分、其男の中の男振を活躍させる者 は、浪界に男ありと浪花亭峰吉の名節!名調 子機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋 彼後藤の大勇は天下に隠れなく、大阪の役、 し機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋 彼後藤の大勇は天下に隠れなく、大阪の役、 し機上の誇なるべし。一篇、任俠武勇の書、蓋	新三郎はお露を見てから如何に忘れやうとし ても忘れられない。毎夜お露は燈籠を灯して は新三郎を訪れた。それが意外な死霊さば 戀の紛糾より松井市兵衛同藩の高橋監物を斬 り監物の弟は兄の仇を討ちて市兵衛を討つ一件 衛の弟は又兄の仇を討ちて市兵衛を討つ一件 何でもない旅の老翁は凡ならぬ水戸光圀公で ある悪を懲らし善を立て笑うて楽しい諸國漫 遊の裡に正しい浮世の視察演者親切な案内者 講談に改善を加へ大衆文藝として一般の讀物 としたるもの。従來の講談物の比に非ず、學 校家庭の大歓迎	講談名作集の姉妹篇にして内容を精選し學校 家庭の講話資料は好適のもの、上品にして六 ヶしくなく、大衆の興味を主としたるもの	講談精選	講談精選	講談精選

民衆 歴史趣味の講談	文藝社	菊牛判 函入美装送	一三〇 〇六〇	講談本といへば低級なものとのみ解してゐた 社會に向つては本書は内容と表装とに一大改 革を加へ講談の新生面を開いたものである。	文藝社
---------------	-----	--------------	------------	--	-----

名人落語 圓遊と小さん	圓遊と小さん	判洋装 三四〇頁送	〇六五	初代鼻の圓遊と貳代目小さんの落語集である 圓遊が高座のおかし味小さんが立て板に水の 流辯共に今は此本の中から御機嫌を取り結ぶ	松陽堂
柳家小さん十八番 附小さん身の上噺	柳家小さん	判洋装 四四四頁送	〇七〇	小さんの妙味。今更に言ふまでもありません い。其得意といふ得意を免めた此落語集面白 い。お可笑い今更言ふまでもありません	三芳屋
廊下 小せん十八番	柳家小せん	判洋装 三四三頁送	〇七〇	天才小せんが警句百出舌端火を吐くが如き口 調で廊下の光景を描き出すところ面白くて 讀ますには居られぬと云ふもの。言はぬが花	同
三遊柳名人落語	落語研究会	判洋装 三四六頁送	〇六五	三遊派柳派の名人十餘名が最も得意の落語を 面白くかき講演したものがごんな鹿爪らし い人でも笑はずには居られない	日本書院
名人落語俱樂部	圓朝・圓生 眞打	判洋装 三三〇頁送	〇六五	名人三遊亭圓朝を始め圓生今輔遊三新朝圓喬 等名人眞打の折紙附を讀物として速記したも の人情美と人生のおかし味落語に若くは無い	松陽堂
三遊名人落語十八番	今村次郎	判洋装 四五〇頁送	〇八五	本書は名人落語全集の姉妹篇にして該書に集 録せざる義太夫語り、嘘つき彌次郎等二十八 番各々現代名人大家の講演なり。	いろは書房
三遊名人落語全集	今村次郎	判洋装 四五〇頁送	〇八五	滑稽の生粹！愉快の親玉！各名人大家の競演 一に抱腹絶倒！！一家團樂の重鎮たり。	同
柳家小さん落語集	三代目小さん	判洋装 三二〇頁送	〇六五	落語と云へば小さんを聯想する程現代に於け る名人第一人者は柳家小さん氏である人情の 機微を穿つ涙の中に腹の皮を燃らせるこの本	松陽堂

國語

柳家小さん落語全集	柳家小さん	判洋装 四五〇頁送	〇八五	斯界の重鎮三代目柳家小さん師の全集にして 一讀口演の妙味顯らされ巻を閉じるひまなく 小さん其人を寄席に聞く趣きあり。	いろは書房
柳家三人集	柳家小せん つばめ小三治	判洋装 三二二頁送	〇六五	(演題)〇七福神〇うざんや〇芝居の穴〇王子 越の狐〇芝居〇出来心〇夏ざる〇素人易者〇引 越の夢〇菊蕪問答〇開帳の雪隠〇外八演題。	三芳屋
名人落語大會	圓朝 圓遊	判洋装 四八〇頁送	〇八〇	落語俱樂部の全部と圓遊と小さんの前半を合 本したもの演題すべて二十七内容は既に定評 あるもの家庭の誤樂として第一に推奨したい	松陽堂
國語 韻文の鑑賞的取扱	宮川菊芳	判洋装 四六判送	二七〇	國語讀本十二卷にあげられた一切の韻文の味 はせ方を深く文藝に徹した心境から、しかも 兒童の力に即して詳述したものである。	目黒書店
力 書取及文法學び方 考へ方解き方	塚本哲三	判洋装 三四〇頁送	〇八〇	高等學校の書取文法問題を標準として、誤り 易き漢字及文法のあらゆる場合に亘つて、詳説 す書取文法の問題は本書一巻に盡されてゐる	研究社
國語 假名遣一覽	光風館編輯所	折表 送價	〇一五	假名遣の複雑にして多岐に亘り誤謬に陥り易 きは誰人も経験する所本表は此の缺陷を補足 して國語字音の要諦を明確ならしめた。	光風館
近世文問題及解答	大塚龍夫	判洋装 四二〇頁送	〇九〇	近世文即ち徳川時代の文學中、二十五名著か ら高校入學試験に課せらるべき價値ある文章 を厳選解説したもの。本書愛讀者は合格確實	廣文堂
敬語法の研究	山田孝雄	判洋装 四三〇頁送	〇八〇	本書は山田先生の多年の研究を發表せるもの にして國語、候文、普通文の三種について敬 語の用法を詳叙せり。	寶文館
現代中世 國文の解き方	金築新藏	判洋装 五〇餘頁送	〇八〇	現代中世上代の國文及國文法中最重四百餘題 を著者多年の経験により他に類例無最新 式解釋を施さる「比類無二段式對照組み方」	弘導閣

現代の國語	日下部重太郎	三六六頁	送價	二〇〇	遠く國語の由來を叙し明治來實際上に於ける變遷の跡を明かにしたものである。我國語の研究應用を具體的に説述してある。	大日本圖書會社
現代文解釋新講座	鳥越保太	四五〇頁	送價	一八〇	中等教育の任にある著者が多年の経験と蘊蓄を傾け難解なる現代文の解釋法を懇切丁寧な遺感なく説明せる受験界の要求に副ふ良書。	教文書院
現代文解釋の要領	千代延尙壽	三〇〇頁	送價	一〇六	亂雑極りない現代文章道の鳥瞰的研究と云ふべき受験生好箇の参考書。引例の豊富註の的確に斯種類書中の白眉として推す。	健文社
現代文解釋法	塚本哲三	四三〇頁	送價	一〇六	現代文がこの頃盛に試験に出る、而も現代文の解釋の態度は非常に誤らるゝ者、苟も眞に現代文を知らんとする者は必ず本書に就け。	有朋堂
現代文解釋法	木村武一郎	四四〇頁	送價	一八〇	精細の解釋法を述べ實力の根底知識を授け三百分の十の文章に大意通解を施し懇切丁寧な模範文を加へ容易に會得の出来る様にしたり	淺見文林堂
現代文解釋法	大塚龍夫	三七六頁	送價	一七〇	明治大正の名家の自著及現行の中學校教科書が語句模範文の根本から徹底的に了解せしめる。	集成社
現代文模範解釋法	石田文四郎	四一〇頁	送價	一七〇	本書は現代文の専門研究なる著者が多年の経験と蘊蓄とを傾倒し達意簡明なる文章により最も懇切丁寧な説いたものである。	二松堂
現代文問題及解答	大塚龍夫	三七六頁	送價	一七〇	明治大正の現代作家の中から色々な特色を有する名文二百五十を厳選意義解釋を施し更に大意把握題百種及各高校問題を蒐集附説す。	廣文堂
語原類解	松村任三	四五三頁	送價	三〇八	言語學者としての松村氏は既に世界的であるが、本書を甫め以下三著者は、悉く日本一國の私有所すべき著書でない。	丸善
語源彙	松村任三	二二三頁	送價	五〇八		同

字音假名遣と羅馬字書方	松村任三	五〇四頁	送價	一〇四		丸善
漢字和音	松村任三	一三〇頁	送價	一五八		同
國語		七二二頁	送價	二〇八	昔から左國史漢といふ語があるそれは國語に重要な書た。戦國策と相俟つて支那戰國の國語の混乱は文化の汚點であり、思想の發達に阻礙する國語の統一醇化は先づ音聲の基礎に立つべきである。斯學の權威佐久間博士の著中學校國語各教科書参考書から適切なる試験問題七百題を精選して模範的解釋を施したるもの。各種試験問題の大半は本書から出る。	有朋堂
國語アクセント講話	佐久間鼎	三〇〇頁	送價	二〇二	國語の内面を研究して國語を文藝にまで國語教育は人間教育である。高潮してゐる。茲に進む迄を如何にするべきかの問題を討究してゐる。本書は國語の常識上の手引草としたい。希望から之を公にするに至つたのである。國語の教科書をひもくするにあたり先づ本書を見よ。	六合館
國語國文の常識	松野又五郎	三〇〇頁	送價	一〇〇	高等學校専門學校入學準備と中學生の自習書の爲に著者が十數年間直接教授上経験し得た所を基礎とし編纂された最も卓絶せる良書。	廣文館
國語常識解釋及正解	藤井金吾	五九〇頁	送價	一八〇	本書は小學讀本を基調として國語に關する有ゆる事項を綜合詳解したもので實地教授者又は文檢受験者に至極有益な良書である。	寶文館
國語綜説	蓮實長	五〇〇頁	送價	一五八	大正十年年度までの入試國語問題を集め、一々模範的正解が與へてある。激甚な入試突破の武器として必ず一本を持つべきものである。	有朋堂
國語問題解釋	塚本哲三	四六五頁	送價	一〇三		有朋堂

最新 傾向 根柢とな 國文解釋法	鹽田荒次郎	五四六頁	送價 一・六〇	最近の傾向に基き最も新しき根柢となる入試問題を網羅し之に大意、通釋、語義、注意等を懇説したるもの内容充實して廉價なる良書。	太陽堂
國文解釋の要領	千代延尙壽	四六頁	送價 二・〇〇	最も要領を得たる國文の解釋法は如何受驗生に到る迄主要な文章に就き詳細な註釋を加ふに斯界の最高權威である。荷も國文の第一義に徹せんせば必ず本書に就くべきである。	文献書院
國文解釋法	塚本哲三	五五四頁	送價 一・五〇	國文の新鮮なるものを集め之に頭註を加へて習學の便となり教科用として用ひらる。	有朋堂
國文提要	永井一孝和	裝送價	〇・六一	國文五十八名著中の名篇を、一篇毎に、大意、語義、通義、注意、附言の題目で、懇切に解説したる受驗者無二の寶典。續刷三十三版。	大日本圖書會社
最新國文の解釋	佐藤正徳	五八八頁	送價 一・六〇	國文解釋上特にまぎらはしきところ、誤用され易き個所、所謂急所といふべきところを、文法本位に詳説したるものである。	山海堂
國文法を基礎とした國文の解釋法	矢田部實三	二八〇頁	送價 一・六〇	受驗の國文を徹底的に研究したるもので類書中にて全く完備したるものである。巻末に百三十頁に亘る完全なる根柢語彙集が附いて居る。	文献書院
改訂國文の學考へ方と方	塚本哲三	三二七頁	送價 一・三〇	現代に使用する實用漢字及び常用漢字の能率や統計や字體や音義やを根本的に研究したる趣味と實益に富む國民必讀の好書なり。	青野書店
實用漢字の根本研究	日下部重太郎	二八六頁	送價 二・〇〇	國語解釋の實力を養ふには中古文近古文擬古文の解釋力を養ふに以て秘訣とする。本書は徳川以前の諸書につき其要所を詳解したるもの。	大日本圖書會社
新撰國文詳解	荒瀬邦介	三三六頁	送價 上二・八〇 下二・六〇	本書は國語の本質、國語の變遷及國語の音韻並に文字方言等に就て解説し更に國語國字の實際問題に解れたる良書である。普く世人必讀。	文献書院
小さい國語學	安藤正次	中布裝函入判 二二二頁	送價 一・八〇		廣文堂

藝術活動としての綴方原理	佐久田昌教 四元直孝	四二四頁	送價 各二・五〇	綴方を論じたる書多しと雖も、藝術活動として見たる原理を詳述せる點に於て本書は實に斯界最初の試みと云ふべき名著である。	寶文館
綴方指導の組織と實際	飯田恒作	四六六頁	送價 三・〇〇	綴方を指導するに當つては合理的な組織の下に進まなくてはならぬとの見地より幾多の實例を基として徹底的に述べてある。	目黒書店
兒童生活に即したる綴方と其鑑賞	千葉春雄	四六六頁	送價 二・〇〇	生活即文を主張する著者の文業建設の基圖と拓かうまつてある文の味ひ方を公にせるもの。	同
生活綴方の教育	田中豐太郎	四〇〇頁	送價 二・八〇	兒童の聲をき、乍ら人間教育の道を考へ國語とめたるものである。	同
完答式國語自習書	木山淳一	四〇〇頁	送價 一・九〇	各課にわたり入學試験問題を參考として最も適切な問題に模範的な解釋を加へ更に學習指導案と學習資料とを擧げた理想的な自習書。	受験研究社
完答式國語模範自習書	木山淳一	四〇〇頁	送價 一・九〇	東京一中松野先生が自己の學生が入學の榮冠を得る國文の解釋法を一冊學生に紹介された近來の快著數ヶ月間に版を重ねてある。	同
受驗者答案式國文解釋法	松野又五郎	四〇〇頁	送價 二・〇〇	口語法の重要な事は云ふまでもない。本書は其知識を小學教育に於て習得せんとしたるの國語試験問題中現代文解釋が案外不成績であり勝ちである。著者この點に留意し各專門學校に於て詳細に語釋通釋を施す。	同
日本口語法	鶴田常吉	二七九頁	送價 一・二〇	口語法の重要な事は云ふまでもない。本書は其知識を小學教育に於て習得せんとしたるの國語試験問題中現代文解釋が案外不成績であり勝ちである。著者この點に留意し各專門學校に於て詳細に語釋通釋を施す。	南郊社
現代文問題解釋法	荒瀬邦介	三三六頁	送價 一・〇八	國語試験問題中現代文解釋が案外不成績であり勝ちである。著者この點に留意し各專門學校に於て詳細に語釋通釋を施す。	文献書院
讀方學習の心理	平田華藏	三五〇頁	送價 二・二〇	學習研究の權威平田學士が其蘊蓄を傾倒せる著述にして説く所凡て學的根據あり且讀方學習指導の重要な問題を網羅して餘すなし。	モナス

讀方教育體系	丸山林平	五菊〇〇頁判送價四・一〇八	讀方教育を各方面から觀察研究した上その全 般に亘つて系統的に抱負經驗を詳述したも のである。	目黒書店
漢文				
晏氏春秋新序	漢文叢書	天金總布二〇五〇頁送價二・〇八〇	晏氏春秋は戰國齊の晏平仲の行事を集録した 史實を彙集したもので、共に一讀に値する。 永く中等學校及專門學校に教鞭を執れる著者が 現行中等各漢文教科書中から殆ど百發百中の 試験問題七百題を拔萃し模範的解釋を施す。	有朋堂
漢文解釋虎の巻	教科參考 受験準備	安達大壽計 四三〇頁裝價一・〇四八	漢文の名著から目抜きの問題を集めて之を懇 切に解釋し、眞個漢文の實力を涵養し得べか らしめた權威的述作である。	受験書院
漢文解釋法		塚本哲三 有朋堂 五三五頁裝價一・〇五八	漢文の名著から目抜きの問題を集めて之を懇 切に解釋し、眞個漢文の實力を涵養し得べか らしめた權威的述作である。	有朋堂
漢文語法の講義 白文の練習		徳重仲次郎 呉判布裝 五一五頁裝價二・一九〇	高等學校入學受験者のために作りたるもの、 本書によつて練習して置けば必ず入學が出來 る。文檢の受験者にも亦絶好の伴侶である。	中興館
最も要領を 得た研究の漢文詳説		清水芳徳 呉判布裝 送價二・〇二〇	最近十年間の官公立高等學校の試験問題を から學習にも準備にも理想的な參考書である 漢文を初めて學ぶ人が、その第一歩からいつ まり根柢づけける爲めに、さうしても一度は讀 まねばならぬ書これ程解り易い書は他にない 高等諸學校の受験者の爲めに無二の參考書た らしむべく著者多年の經驗に基き親切叮嚀に 編纂せり。	研究へ 社方
漢文初步學び方考へ方	受驗 補習	塚本哲三 四六六頁判 三五〇頁判 送價一・〇〇〇	漢文を初めて學ぶ人が、その第一歩からいつ まり根柢づけける爲めに、さうしても一度は讀 まねばならぬ書これ程解り易い書は他にない 高等諸學校の受験者の爲めに無二の參考書た らしむべく著者多年の經驗に基き親切叮嚀に 編纂せり。	研究へ 社方
漢文精解		新教育會 呉判洋裝 二六〇頁裝 送價〇・九八〇	高等諸學校の入試問題を系統的に編纂し解釋 備考、注意の各欄に分てり、受験各位は本書 に依り登龍門の榮華を擲はるべし。	盛林堂
漢文析義	高等專門諸學校 入學試験問題	金丸市八 呉判洋裝 五二〇頁裝 送價一・八八〇	高等諸學校の入試問題を系統的に編纂し解釋 備考、注意の各欄に分てり、受験各位は本書 に依り登龍門の榮華を擲はるべし。	盛林堂

漢文選釋	淺田四郎	洋裝四六六頁 六〇〇頁 送價三・五〇〇	本書は專門學校程度を受験者の參考研鑽に資 する爲に編纂せり試験問題練習問題格言故事 熟語等細大こなく懇切叮嚀に解釋せる良著也 漢學界の書宿三島、服部、高瀬三博士監修の 下に久保天隨氏の校訂せるもの論語孟子を初 めとして古文眞寶に終る漢文學の積聚なり。	弘道館
校漢文叢書	久保天隨	菊判布裝 各二〇〇頁 送價各三・二四〇	本書は著者が東西の文學を講究し其文法を比 較研究して新に漢文の文法を組織し之を應用 して漢文の讀方を講明せし空前の名著なり。	博文館
漢文速成	新樂金橋	菊判金ホ 一〇九頁 送價一・二〇八	漢籍四十四種七百二十餘卷を收め、本邦唯一 の漢文大叢書で漢文註釋全書漢文珍本叢書の 冠冕である。(内容見本進呈)	山海堂
漢文大系	當代碩學	裝二〇〇頁 送價各六・二七〇	漢籍四十四種七百二十餘卷を收め、本邦唯一 の漢文大叢書で漢文註釋全書漢文珍本叢書の 冠冕である。(内容見本進呈)	富山房
最新漢文の解釋	佐藤正範	呉判洋裝 四九二頁 送價一・〇六〇	漢文五十二名著中の名篇を、一篇毎に、大旨、 讀方、語義、通義、注意、附言の題目で、懇 切に解釋した受験者の寶典。續刷二十六版。	山海堂
訂改漢文の學考へ方と解	塚本哲三	四六六頁判 三八〇頁判 送價一・〇三〇	受験的漢文を徹底的に研究したもので類書中 にて全く完備したものである斯學の準備とし て本書を理解すれば充分である。	青野書店
最も漢文の解き方	金築新藏	四六六頁判 裝四〇〇頁 送價一・一八〇	著者多年の經驗により最も親切に叮嚀に問題 の撰擇と最新式解釋法に努力されたるもの。 「比類なき三段式對照組み方」により習得に便し	弘導閣
入學試験漢文問題解釋	塚本哲三	文庫型 四六一頁 送價一・〇三八〇	大正十年までの入試漢文問題を網羅して之に 模範的解答を示し更に色々な注意を與へてあ る受験者の必讀すべき良著である。	有朋堂
高等專門諸學校入學試験漢文問題集	金丸市八	呉判並裝 二五〇頁 送價一・一六〇	本書は大正元年より大正十五年間の高等學校 及專門學校の問題全部を網羅せり。本書出版 以來御採用ありし全國中等學校二百九十三校	盛林堂
獨近古史談講義	久大保天隨	菊判和裝 一九〇頁 送價一・一九〇	返り點句讀と共に棒讀假名を附し初學の徒を して尤も讀み易からしむ。	文陽堂

漢文叢書 古詩源	漢文叢書 古文眞寶楚辭	漢文叢書 五名著漢文鈔	漢文叢書 最近根柢 <small>とな</small> 漢文解釋法	漢文叢書 茶根譚詳解講義	漢文叢書 史記自一卷至六卷	漢文叢書 十八史略	漢文叢書 十八史略抄本	漢文叢書 春秋左氏傳上下	漢文叢書 醉古堂劍掃茶根譚
友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛
天七布四頁裝金送價二〇五八〇	天七布四頁裝金送價二〇五八〇	天七布四頁裝金送價二〇五八〇	天七布四頁裝金送價二〇五八〇	天七布四頁裝金送價二〇五八〇	天七布四頁裝金送價二〇五八〇	天七布四頁裝金送價二〇五八〇	天七布四頁裝金送價二〇五八〇	天七布四頁裝金送價二〇五八〇	天七布四頁裝金送價二〇五八〇
古詩の類集として本書位完備したものには他にない、これを楚辭古文眞寶と併せ讀めば支那の古代詩は殆んど悉した事になる。	古文眞寶前集と楚辭とは支那の古代文學を知らるに於て得がたい珍籍である。苟もその一翳を味はんとする人は必ず本書に就け。	言志録、十八史略、小學、文章軌範、孟子中の漢文名篇を鈔録し、高等諸學校入學準備書無比の定評を得、問題適中の奇蹟書である。	最近の傾向に基き最も新しき根柢なる入試問題を網羅し之に大意、通釋、語義、注意等を懸説したるもの他と比較して特長を知られよ。	これまでの註釋書の殆んど云ふに足るものなきを以て著者は博覧の學を傾けて説き、講説は平易明白、而も周匝親切。	史記の全部——列傳だけでなく本紀も世家も残らず遺入つてゐてそれが對譯になつて居り註までである。眞に萬人必備の六卷である。	支那の上古から近古までの史實を簡潔に書いた書として本書は東洋史の一權威になつてゐる。この位日本人に親しみのある本はない。	年次によりて時代の興亡を明にし十八史時代を通過して名高き故事又は人口に膾炙せる言語等を擧げたり。	春秋は五經の一、左傳は史筆の上乗、東洋史の眞諦を知り東洋文學の精華を味ふ意味に於て本書は亦讀書子の逸すべからざるものだ。	語録と警句集としてこの二書位面白いものせられる。而も醉古堂劍掃の如き殊に難解と稱せられる。本書は之れを詳註して餘蘊がない。
有朋堂	有朋堂	山海堂	太陽堂	金刺芳流堂	有朋堂	有朋堂	大書會社	有朋堂	有朋堂

漢文叢書 世說新語	漢文叢書 說苑	漢文叢書 先哲叢談	漢文叢書 戰國策	新譯漢文叢書 續文章軌範	漢文叢書 唐詩選、三體詩	漢文叢書 唐詩選詳解講義	漢文叢書 唐宋八大家文上下	漢文叢書 日本外史上下	新譯漢文叢書 文章軌範
友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛	友田宜剛
天七布三頁裝金送價二〇五八〇	天七布三頁裝金送價二〇五八〇	天七布三頁裝金送價二〇五八〇	天七布三頁裝金送價二〇五八〇	天七布三頁裝金送價二〇五八〇	天七布三頁裝金送價二〇五八〇	天七布三頁裝金送價二〇五八〇	天七布三頁裝金送價二〇五八〇	天七布三頁裝金送價二〇五八〇	天七布三頁裝金送價二〇五八〇
支那歴史の面白い話を集めたもので殊に彼の飄逸な清談者流の面目を寫し得て餘蘊なき點に於て本書は支那文學中其類を見ぬものだ。	劉向の代表的述作で、史實あり、逸話あり、教訓あり、古支那の眞面目が一卷の中に躍如とじてゐる。	徳川時代の儒學の大家を集めて其の傳記逸語を詳説したるもので、文亦其妙を極めたものさ稱せられてゐる。	策士縱横、ほんごに目覺しい支那戰國の狀況がまさしく、漢文の嫌ひな人もきつと好になる章は無い、漢文の嫌ひな人もきつと好になる	正文文章軌範と共に漢文學修者必讀の書、正篇と共に類書中最も完備せる編著なり。	唐詩選三體詩、それは更めて説明する迄もな支那の詩はこの二書で代表されてゐる。	唐詩の妙趣を初學者にも咀嚼し得るやう平易明快に説き、また和譯をも添へてある。此の種の書物は多いが本書は群星中の明月である。	唐宋八家は支那文章家中の代表者である。その各家の作品を味ふ事は同時に吾々の作文力を涵養する所以にもなる。	外史は山陽の心血である、日本外史は正に日本民族の誇りすべき史書である。漢文といふ意味を離れても是非熟讀翫味すべきものだ。	文章軌範は作文の典範として後學の逸すべからざる書、本書はこれを譯し、原文と對揚し註釋を加へて後進を導くところ頗る親切。
有朋堂	有朋堂	有朋堂	有朋堂	至誠堂	有朋堂	金刺芳流堂	有朋堂	同	至誠堂

漢文叢書 文章軌範、東萊博議	佐藤正範	天 七〇八頁 金	送價 二・五〇	文章軌範はその選文の嚴正に於て推されてゐる東萊博議は左傳の史實を論評したものである論理の條理整然たることを以て知られてゐる和漢十二名著中の漢文名篇を、教訓、史談、歴史、紀行、文章の五類に分ち、高等諸學校入學準備の絶好教科書、問題適中の奇蹟書。	有朋堂
漢文叢書 名著漢文選	佐藤正範	菊判和裝 一七八頁	送價 〇・六八	道家、儒教、墨家、法家、陰陽、農家、の諸方面に涉る學者の思想を輯録評論した本書は正に諸家思想の大觀だといへる。	山海堂
呂氏春秋		有朋堂文庫型天金布裝	送價 二・五〇		有朋堂
教科書					
十六夜日記講本	光風館編輯所	菊判洋裝	價 ・二七	大正五年一月初版發行 檢定を要せず	光風館
益軒文鈔	光風館編輯所	菊判洋裝	價 ・四八	大正五年一月卅一日再版發行 大正五年二月一日文部省檢定	同
化學新教科書	農學博士 吉村清尙	洋裝菊判	送價 一・五〇 〇・八〇	博士多年の研究を經驗に基き化學教授に一 新紀元を劃し茲に本書を編著せり數多の特長 中實驗實習を主眼とせるは大に異彩を放てり	弘道館
花月草紙鈔	光風館編輯部	菊判洋裝	價 ・四三	大正五年五月十日再版發行 大正五年五月十一日文部省檢定	光風館
漢文新編	文學博士 鹽谷温	菊判和裝 全五册	送價 三・六一 二・四	本書は博士多年苦心の結果にして内容形式共 に具り殊に全部清朝を用ひたるは大英斷、 本書一たび出でて他の類書啞然色を失へり。	弘道館
漢文教科書	文學博士 中村久四郎	菊判洋裝 全四册	送價 四・三	大正十四年二月廿五日八版發行 大正十四年三月十二日文部省檢定	光風館

中漢文教科書	文學博士 井上哲次郎	菊判和裝 全五册	送價 四・三 三・六	大正六年一月廿八日四版發行 大正六年一月卅一日文部省檢定	光風館
子女漢文教科書	文學博士 兒島獻吉郎	菊判和裝 全四册	送價 三・九 二・五 一・四	大正三年一月十日再版發行 大正三年一月十二日文部省檢定	同
近古史談鈔本	兒島獻吉郎	菊判洋裝	價 ・四六	大正八年五月五日再版發行 大正八年五月十三日文部省檢定	同
近古文新鈔上下	吉田彌平	菊判洋裝 全二册	價上 ・六一 下 ・六〇	大正十四年一月八日再版發行 大正十四年一月十五日文部省檢定	同
近世文新鈔	吉田彌平	菊判洋裝	價 ・六六	大正十四年一月八日再版發行 大正十四年一月十五日文部省檢定	同
言志錄鈔本	光風館編輯所	菊判洋裝	價 ・四一	大正十年十月廿日再版發行 大正十年十一月二日文部省檢定	同
現代書鑒	山口彦總	抄本 全三册	各 ・三七	大正十四年十一月十五日新版發行	同
現代文鑒	光風館編輯所	菊判洋裝 全二册	價上 ・六六 下 ・六八	大正十四年二月廿三日再版發行 大正十四年三月三日文部省檢定	同
現代文新鈔	吉田彌平	菊判洋裝 全五册	各 ・六六 ・六五 ・六三 ・六二 ・六一 ・六〇	大正十四年十二月十日四版發行	同
現代文讀本	今井彦三郎	菊判上裝 二〇〇頁	送價 一・〇〇	現代文讀本として最も新しき材料を最も理想 的に編纂したのが本書である。新刊以來各中 等學校は續々參考書教科用書として採用す。	日本書院



孝經忠經教本	兒島獻吉郎 菊判洋裝 價 二四	大正五年五月八日再版發行	光風館
文部省新制定 公民教科書	土屋瓦 全三冊 價各 〇五八	大正五年五月十五日文部省檢定	寶文館
師範 國語漢文教科書 第二部用	吉田彌平 菊判和裝 價 六八	大正六年三月一日四版發行	光風館
實業 國語教科書	保科孝一 菊判洋裝 全八冊 價 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、各七、五、六、一	大正十年二月廿八日五版發行	同
師範 國語教科書は	垣内重松三 各十冊	大正十二年二月十八日廿一版發行	文學社
師範 國文教科書 本科用	吉田彌平 菊判洋裝 全六冊 價 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、各七、五、六、一	大正十三年一月七日文部省檢定	光風館
師範 國文教科書 第二部用	吉田彌平 菊判洋裝 價 一〇〇	大正十四年二月十八日再版發行	同
中國文教科書	吉田彌平 菊判洋裝 全十冊 價 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、各七、五、六、一	大正十五年二月六日十七版發行	同
實業 國文讀本	高野辰之 菊判洋裝 全十冊 價 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、各七、五、六、一	大正十四年一月廿八日初版發行	同
子女 國文讀本	高野辰之 菊判洋裝 全十冊 價 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、各七、五、六、一	大正十二年十二月廿四日再版發行	同

古今文選	光風館編輯所 菊判洋裝 價 八〇	大正七年一月十日再版發行	光風館
史記鈔本	兒島獻吉郎 菊判洋裝 價 四四	大正五年四月廿一日再版發行	同
實業 教養	山本良吉 菊判洋裝 價 二、三、二、一、八	大正五年五月十日文部省檢定	弘道館
實業 公民教科書 都市用	高木武 菊判洋裝 全上下卷 價 一、三、〇	大正十四年二月十八日新版發行	同
實業 公民教科書 農村用	高木武 菊判洋裝 全上下卷 價 一、〇、五	大正十四年二月十八日新版發行	同
實業 書鑒 上・中・下	山口彦 折三冊 本價上・中・下 各三七	大正十四年二月十八日新版發行	光風館
師範 國文 第一部用	吉田彌平 菊判洋裝 全一〇冊 價 一、七、五、六、九、各六、八、七、五	大正十四年十月卅日新版發行	同
十八史略鈔本	兒島獻吉郎 菊判洋裝 價 五四	大正五年四月廿日再版發行	同
小學鈔本	兒島獻吉郎 菊判洋裝 價 三九	大正五年五月廿二日文部省檢定	同
青年 書翰文讀本	小山左文二 菊判洋裝 價 〇六〇	大正七年十月八日再版發行	同
西脇吳石 菊判洋裝 價 〇四〇	大正七年十月廿二日文部省檢定	松邑三松堂	

女子書翰文讀本	小山左文二 菊判洋裝 二〇頁 送價 〇・六四〇	讀本態に編纂せられ女流團體等の實習用に適し、加ふるに吳石先生の習字兼用の文章を數多採録せる故、隨時開いて運筆の稽古も出来る	松邑三松堂
國本常山紀談	上田萬年和 裝 送價 〇・四三〇	常山紀談中意義あり趣味ある名文を抄録す教科用又は家庭自習の讀み本として適良なり。	大日本圖書會社
常山記談鈔本	光風館編輯所 菊判洋裝 價 ・四八	大正六年一月廿一日再版發行	光風館
新書鑒	山口彦總 全折二冊本 第一、二學 價各・三六	大正十一年一月廿五日再版發行	同
新撰書鑒	玉木愛石 全折三冊本 上・下・中 價各・三九	大正七年二月廿八日再版發行	同
訂新撰中等修身書	文學博士 井上哲次郎 全折五冊 送價 二・〇三	兩博士渾身の心血を凝がれ時代の進運に適應せる本書を完成す改訂補修多くの特長を供へ一新紀元を劃せる他に比類なき良教科書なり	弘道館
神皇正統記鈔本	佐藤正範 菊判洋裝 價 ・六五	大正八年二月十日再版發行	光風館
新編書鑒	日高秩父 全折三冊本 上・下・中 價各・三九	大正八年一月五日再版發行	同
新編書鑒	日高秩父 全折二冊本 第一、二學 價各・三七	大正十一年十月十五日初版發行	同
正修新編論孟抄	漢文學部會和 裝 送價 〇・五一	論孟二書中修身齊家に適切なるものを抄録す	大日本圖書會社

大正實業新讀本	新教育研究會 和裝四冊 各一八〇頁 送價 〇・四五	都會の青年に適應する資料を集めて商工業に從事する青年の趣味的指導的讀本たる資格を充實したる良教科である。	三共出版社
正修大正處女新讀本 卷上	天野藤男 菊判和裝 一三六頁 送價 〇・六五	本書は將來主婦となる處女にそのゆくべき目標を示し健全温雅なる婦徳を涵養せむとする目的で著されたもので、す震災後芳賀博士の懇切な修正を経て内容を一新して出でました處女會婦女會女子補習學校の教科書として御採用あらんことをお薦め致します。	大倉書店
正修大正處女新讀本 卷下	天野藤男 菊判和裝 一三四頁 送價 〇・六五	郡村の青年に適應する資料を集め且つ趣味を喚起し徳性を涵養し合せて思想の向上を計るべく著者多年苦心の結晶である。	同
大正青年新讀本	新教育研究會 和裝四冊 各一八〇頁 送價 〇・四五	桂月先生が天下の青年を指導せし其の功績は偉大なるものである。本書青年の修養を骨子とし最も秩序的に編纂されたる名著。	三共出版社
大正青年讀本	大町桂月 菊判假裝 三五〇頁 送價 〇・八〇	大正六年十一月二十八日再版發行	日本書院
太平記鈔本	吉田彌平 菊判洋裝 價 ・五一	大正六年十一月三十日文部省檢定	光風館
大正補習讀本	大町桂月 菊判二冊 三六〇頁 送價 ・九五	補習讀本として最も模範的に編纂され今や多數の學校や青年團其他の參考讀本として續々採用せらる。亦名著。	日本書院
中等公民教科書	池岡直孝 菊判洋裝 送價 ・八五	公民教育研究の權威たる著者が普選の今日舊式の修身法經に飽足らず中等學生上級用として苦心力作せる本邦最初的好著歡迎湧が如し	弘道館
女子書鑒	阪正臣 全折五冊本 上級用 各・三九	大正十年一月廿八日四版發行、大正十年二月四日文部省檢定、上級用大正十二年一月五日再版發行、大正十二年一月十八日文部省檢定	光風館
女子の教養	山本真吉 全折五冊本 送價 二・二〇	最近女子の身心も著しく進歩せる結果社會現象の複雑なるにつれて修身科も大に面目を改むる要あり本書は即新時代に適應せる經典也	弘道館

公民町村格	繁田武平	四六判 二八三頁送	一・五〇 一・一五	著者豐岡に町長たる二十餘年、治績克く譽り 郷人悉く悦服す。事天聽に達し藍綬褒章を授 けらる乃ち之が記念に著者の體験を説ける者	中央報徳會
徒然草鈔本	光風館編輯所	菊判洋裝價	・四八	大正五年五月二十八日三版發行 大正五年九月八日文部省檢定	光風館
類徒然草讀本	諸星寅一	菊判洋裝價	・四八	大正十一年三月二十五日再版發行 大正十一年三月三十一日文部省檢定	同
唐宋八大家文鈔本	兒島獻吉郎	菊判洋裝 全一册價	・四四	大正七年十一月五日再版發行 大正七年十一月十二日文部省檢定	同
日本外史鈔本	兒島獻吉郎	菊判洋裝價	・三七	大正五年一月二十五日再版發行 大正五年一月二十六日文部省檢定	同
小學校 農業科實習 補習學校 中心主義教授法	千葉敬止	菊判布裝價 四〇〇頁送	二・五〇 一・二〇	農業科のあらゆる實習の指導法を詳述し、實 習指導法に就て解決を與へ、家庭農業の指導 學校園の經營法、一坪農業實施の一般も示す	興文社
正文文章軌範鈔本	兒島獻吉郎	菊判洋裝價	・四六	大正七年十月四日再版發行 大正七年十二月十六日文部省檢定	光風館
平家物語鈔本	吉田彌平	菊判洋裝價	・五一	大正八年一月五日再版發行 大正八年一月十七日文部省檢定	同
保元平治物語鈔本	吉田彌平	菊判洋裝價	・五四	大正八年一月十七日再版發行 大正八年一月十七日文部省檢定	同
方丈記讀本	佐藤正範	菊判洋裝價	・二四	大正十四年六月十日再版發行 大正十四年六月十八日文部省檢定	同

文典

增鏡鈔本	吉田彌平	菊判洋裝價	・五四	大正六年五月二十五日再版發行 大正六年五月三十日文部省檢定	光風館
本居宣長文鈔	光風館編輯所	菊判洋裝	・七〇	大正十四年三月二十日再版發行 大正十四年三月二十三日文部省檢定	同
義經記鈔	光風館編輯所	菊判洋裝價	・四八	大正六年十二月十三日再版發行 大正六年十二月十五日文部省檢定	同
論孟鈔本	兒島獻吉郎	菊判洋裝價	・四八	大正五年四月二十八日再版發行 大正五年五月二十二日文部省檢定	同
歌で覚える國文法	千代延尙壽	長判紙裝 二五〇頁送	一・〇〇 〇・六〇	難しい國文法を不知不識の間に妙なる口吻を 以て暗記せしむる様著者が凡ゆる苦心を閲し て編じた名參考書。暗記は本書によりてこそ。	健文社
問答式 學生の國文法	荒瀬邦介	三六判 二二〇頁送	一・八〇 一・二〇	學生の最も至難とする文法を演繹的に詳説し 入學試験問題を掲げて受験生に便す。在來の 文法書とは遙にその趣を異にす。	文獻書院
國文法綱要	吉田彌平 小山左文二	菊判洋裝價	・七八	大正十四年三月四日再版發行 大正十四年三月七日文部省檢定	光風館
最新研究 國文法の要領	佐藤正範	三六判 八〇頁送	三・三五 〇・四五	國文法の全部を系統的に、意義、種類、練習 正誤法、國文解釋法、學習の効力の題目で實 用的に目瞭然に説いた。續刷十三版。	山海堂
實用文法正誤法	明治書院編輯部	四六判 二四〇頁送	一・〇〇 〇・八〇	應用を主とし實用的見地から國文法の誤易き 所を指摘して詳説したもので學生の復習用受 験準備用として絶好の參考書である。	明治書院

大正女子日本文法	保科孝一	菊判洋装	・九〇	大正十四年十二月一日六版發行 大正十四年十二月八日文部省檢定	光風館
中等漢文典	新樂金橋	菊判和装	一〇〇〇	本書は斯學の權威たる佐久新樂兩氏の力作にして近來稀に見る良著也發行やがて江湖君子の歡迎湧くが如く國漢文教授上唯一の指針也	弘道館
明日本文典	光風館編輯所	菊判洋装	・七五	大正十三年一月廿日六版發行	光風館
師範日本文典	小山左文二	菊判洋装	・九二	大正六年二月八日再版發行	同
中日本文典	吉田彌平	菊判洋装	上各・四九	大正六年二月九日文部省檢定	同
標準日本文法	松下大三郎	菊判特装	五・五〇	大正十二年十月十四日七版發行 大正十二年十一月十六日文部省檢定	紀元社
現代模範作文	鈴木周作	菊判洋装	二・五〇	本書は作文辭典の姉妹篇として殊に編著せり語格文章論將又修辭學等の上より現代文を批判解剖し且日夕誦讀すべき文範を多く網羅す	弘道館
現代模範作文	八波則吉	菊判洋装	一・八二	本書は高等學校學生の逸品優作を添削し更に門學校生の必須の良書也興味津々湧くが如し	同
高等女子新作文	五十嵐力	菊判洋装	三・八〇	文名高い著者の考案に成る新書にして眞に作削の捷徑である黒赤の二度刷りにして文章添削の跡を明かにした如きは本書の特色である	大日本圖書會社

作文講話及文範	文學博士 杉谷代矢	一三〇頁	二・八〇	富山房
書翰文講話及文範	文學博士 杉谷代矢	一〇〇頁	二・七〇	同
作文辭典	鈴木周作	三五〇頁	二・三〇	弘道館
新作文辭典	森下松衛	七〇〇頁	一・五〇	明治書院
改訂 作文學び方考へ方 解き方	塚本哲三	四六〇頁	一・三〇	研究社
趣味の現代文	吉田辰次	四二〇頁	一・二〇	博進堂
文章講習叢書 叙事抒情文作法	中村星湖	六〇〇頁	三・三五	松陽堂
小説の作り方	徳田秋聲	二一八頁	七・〇〇	新潮社
作歌練習法	全子薫園	四六四頁	六・〇〇	同
明治文學早わかり	小林愛川	四六三頁	五・四〇	同

文學新語小辭典	文章の作り方	現代童謡講話	新描寫辭典	中學作文講話	最新中學作文の要領と文例	女子口語新書簡文	現代女子作文	文章講話及文範
生田長江	金子蕭園	西條八十	相馬御風	佐々政一	大槻古村	佐伯常麿	金子彦二郎	宮崎晴美
四六紙裝	四六紙裝	新裝特裝	三列布裝	三列布裝	四六紙裝	四列洋裝	四列洋裝	四列洋裝
二二〇頁送	一四〇頁送	一九〇頁送	四一〇頁送	三〇五頁送	三七〇頁送	四五〇頁送	全四冊	五七〇頁送
五〇四	五〇四	二〇〇	九〇六	九〇〇	一〇〇四	一五〇二	八八七	二二〇
文學の圖書雜誌等に散見する文字上の新語は、勿論日本文中に混用する外國語まで悉く網羅して明快適切な新解釋を加へた掌中辭典。	「誰でもわかる」と題目の上で冠してある通り、極めて平易に極めて懇切に、新らしい文章の作り方を類例なき新用意を以て説いた。童謡界の第一人者の「新しき童謡の作り方」である。童謡とは何ぞ、童謡の種類と作法童謡の製作と其目的等。詳細に作法を教へた。	最新の用意に成れる「新々文章辭典」東西諸名家の名句を網羅し、精細に分類して、小説小品その他作文の際、自由に検索せしめる。	作文に關する作法指導と之が練達の秘訣を懇切に説いたもので、中等學生の作文練習上無二の良参考書である。	務めて容易な文辭を用ひて説明し且つ文例適得るにして一讀、時宜に適し再讀、名作家たり得る作文書は即ち是れ。	女子の書簡文は類書甚だ少なく完全に著述された好書に乏しきを慨し本書成る實に現代式に實際の必要を根柢とせし寶典である。	大正十四年一月十八日新版發行 檢定 不要	文章入門第一の書全編極めて平易懇切に説かれ眞心の實寫！思想の流出！組織の用意等情味溢る篤學な著者に親しく眞面の想ひがある。	現代文章の粹を分類按排して其一般的講話と其文例を示し最も多方面に涉りて模範文範の標準を作る文章を取扱ふ羅針盤。
新潮社	同	同	同	明治書院	西東社	日本書院	光風館	日本書院

書簡文

明治大正時代文範	文章作法	應用新しい實用書簡	祝賀新しい禮式書翰	口語新書簡文	口語體書簡文	軍人新書翰	高等女子書翰文
岡田正美	島村抱月	三並健作	秋山五村	佐伯常麿	小林鶯里	秋山五村	市川源三
三六〇頁判	四一六頁判	四一六頁判	二七七頁判	四五〇頁判	四一六頁判	二六六頁判	二六三頁判
一三六	三三五	一八〇	〇七六	一五二	一〇〇	〇七六	〇七六
現代作文の模範を示し現代の知識を得しめんためたり其巧妙なる者は電文を掲げたり。	論文！即ち智的文章の思想表現の態度を用意に就て著者一流の簡潔明快の筆致をもつて講述指導せる殆んど類書を絶つての好著である。	三並氏は國文學に造詣深き新進文學士、本書は氏が苦心研究の結晶にして、實用書簡手引書の權威である。	新しい禮式書翰は、どう書くか作法を説き文例を示すこと、叮嚀周到に其儘取つて實際の用にも宛てられる。	男子用口語書簡文の模範著書として推薦するあらゆる方面の作例を示し其の心得を説き懇切丁寧一般書簡文の眞髓を説く。	口語體の使用は現代社會の急務である。著者は夙に十數年前口語體書簡文を宣傳したることあり、本書は新しく現代的に叙べしもの。	口語體の使用は現代社會の急務である。著者は夙に十數年前口語體書簡文を宣傳したることあり、本書は新しく現代的に叙べしもの。	口語體の使用は現代社會の急務である。著者は夙に十數年前口語體書簡文を宣傳したることあり、本書は新しく現代的に叙べしもの。
大日本圖書會社	松陽堂	實業社	文陽堂	日本書院	文藝社	文陽堂	同

文章講習叢書 <b>書簡文作法</b>	水野葉舟 一四〇頁裝 送價 ●六五	文章學會 四八〇頁裝 送價 ●六八〇	小林鶯里 美四六裝 送價 ●一五八〇	湯川大三郎 三五〇頁裝 送價 ●〇八〇	今井柏浦 七八〇頁裝 送價 ●一八〇〇	湯川大三郎 二七六頁裝 送價 ●〇八〇	内海月杖 四四〇頁裝 送價 ●一五二〇	和田盛慈 四〇六頁裝 送價 ●一五八〇	内山幻堂 四五八頁裝 送價 ●一五〇〇
手紙一本でその人の人格がわかる自己に偽りなくして達意の文を作り得る事が書簡文の妙である極意である其用心得を説く懇切周到の内容を十七部門に分けて一千題の作例と中欄に日用辭典と演説を上欄に類別章句を掲げ活書翰作上に多くの資料を盛つたすく役立つ活書翰	今日教育は多方面に大なる缺陷を有するこゝろは喋々を要せず。本書は日常生活の全般に亘つてあらゆる場合の書簡文範を集めた物。	同一文題に對しての文例を二つも三つも挙げ電報文例、包の上書、諸證書、届書式がある。	最も新しく最も便利な手紙文の活辭典として書かんすに値すれば本誌一冊の熱讀にて足る。	手紙やハガキの書き方について痒い處に手の届くやうに説明してありますから實際的だす。	口語體女子手紙として確に整つた著書の一用文はない。そこに忠實な先生の文には代作や引	最も親切な顧問ならしめ應用自在に候文を網羅し同意味で異つた語句を挿用すれば如何なる初心者でも達意の文を立ごころに創作さる	書翰文に關する全般の知識に此一書の中に盡されたる観あり、初學者にも亦絶好の参考書となり其進歩を促すに力あるべし。	現代日本に於て日常用ゐられつゝある外來語を五十音順に集め、其意味、應用、出所等を一々丁寧に解説したるもの。	新らしく日本語同様に日常用ひられつゝある外來語を始め俗語、通俗、陰語、から昔の言葉で新しい意味を付けられたものを集む。
松陽堂	同	文藝社	磯部甲陽堂	博文館	博文館	日本書院	日本書院	日本書院	同

辭典

新らしい外來語の字引	田中孝一郎 三六判總 三五〇頁 送價 ●一五〇〇	大増補 新らしい言葉の字引	植原嘉路香 三五〇頁 送價 ●一五〇〇	新らしい主義學說の字引	勝屋英造 三五〇頁 送價 ●一五〇〇	新しい文章辭典	日本文章會 六三〇頁 送價 ●一五〇〇	すぐ引ける いろは字引	日語研究會 四四〇頁 送價 ●〇八〇	常用漢字 いろは新辭典	國語研究會 四八〇頁 送價 ●〇六〇	新いろは引節用辭典	桂月、天隨、淳軒 二三五頁 送價 ●〇六〇	増補 倭訓栞	谷川清、林博士、井上小杉、桑家漢語鈔	漢字のかぎ	若林旭郎 三二〇頁 送價 ●〇六〇	漢譯日本辭典	難波常雄 六二〇頁 送價 ●一〇八〇	
現代日本に於て日常用ゐられつゝある外來語を五十音順に集め、其意味、應用、出所等を一々丁寧に解説したるもの。	新らしく日本語同様に日常用ひられつゝある外來語を始め俗語、通俗、陰語、から昔の言葉で新しい意味を付けられたものを集む。	新思想に關する主義學說を初め、政治、法律、經濟、社會、哲學、心理、倫理、教育、宗教、自然科學の總てに亘る主義學說の解説である。	あらゆる文章作法を巻頭に載録しあらゆる文章例を百數十項に分ち排列して其索引に便し更に小説作法迄を叙述せし名辭典。	本書は六號活字三段組にて日用必須の漢字三萬四千二百字を選定し解釋を簡明に而も正確に尙巻尾に書簡用語を附して至便せり。	いろはさへ讀める人なら自由自在に活用出来る。讀書に、談話に、作文に、手紙書く時に座右缺く可からざる日用辭典である。	最も引き易き辭典、すぐ役に立つ辭典として多年廣く世に行はる、語數頗る豊富しかもイロハ順によりて立ち所に要語を得る。	我が名物訓話に於ける最大語彙にして言語の根原を知らんとするには本書を措きて他に其書なし尙更に上欄に本書と同數の増補をなす	一般教科の學習能率を増進する爲漢字を假名編纂せるもので引下げることを標準として考案	爲中華民國學生學日語日文者蒐輯普通所用語言二萬三千五百一十而一漢譯之古語鄙語不要緊者則缺如言排列一田五十音圖之順序依	近藤出版部	博文館	磯部甲陽堂	博文館	三共出版社	日本書院	同	同	同	同	日本書院

珍漢和辭典	漢和新辭海	言海大形	言海中形	言海縮刷	諺語大辭典	最新現代語の字引	活用現代新語辭典	廣辭林			
塚本哲三	服部宇之吉	大槻文彦	大槻文彦	大槻文彦	藤井乙男	文友社	紅玉堂編輯部	金澤庄三郎			
理想ホケ 九〇餘頁	三判洋裝 二一〇頁	二判洋裝 二〇〇頁	二判洋裝 二〇〇頁	二判洋裝 二〇〇頁	一判洋裝 二〇〇頁	三判布裝 四一六頁	紙半裝 二〇〇餘頁	最新形 一八〇頁			
送價 一〇二〇	送價 二一五〇	送價 二〇〇〇	送價 二〇〇〇	送價 二〇〇〇	送價 二〇〇〇	送價 一〇二〇	送價 一〇〇〇	送價 四二七〇			
單字一万五千七百、熟語二万以上を収めて、 容は決して世の所謂大辭典に遜らないが、其内 日常必須文字五万句を音引訓引索引の索引を 挿入して字源を附し平易輕便なる漢和辭書を 發音語別語原語釋出典の五種に亘りて國語の 解説を卷頭の語法指南亦實に文典の祖である 言海が我國辭典の基礎を作り國語研究上に一 大光明を與へた事は今更贅言を要すべきでな い。が書名登録をした事も確に一大權威である 言海の普及を計る爲に縮刷を發行したのは廿 年前の事であるが實に「長書の生命は永遠也」 て印刷の鮮明と定價の至廉さを誇り居る 諺語を中心として異名隱語歌語俳語等を網羅 した學界唯一の大辭典であつて、卷末には意 義用法上の一大分類索引も附してある。 現代語、殊に新語は悉く網羅して平易簡潔な 説明を施したのであるから愉快に求めること の語を知得せられる。新人の好伴侶である 現時用ひらるゝ處の新らしき言葉は全部輯め たり。日々の新紙に散見する新らしい言葉だ けでも可也の數である。それらも皆輯てある 金澤博士が刻苦二十年の心血を傾けて大成せ られた我國最新最大の内容を有する國語辭書 音通りの假名遣で引くやうに出來てゐる。 諸官公立學校の入学試験に於て國語漢文の 問題を基礎としあらゆる熟語及成句を網羅し て其意義を解釋し更に其出典をも示したり。	一冊で五十音引でも、いろは引でも、劃引で も自由自在に全國多數學校指定辭書たるも當然 學生諸君は勿論一般人士必備の辭典。 二十六字のローマ字を知つておれば、假名遣 の煩もなく立所に所要の語を探し出すことが 出來てその上英語には英譯がある理想的辭書 語數七萬、正に言海の二倍に相當して、遺憾の ないやうに編まれてゐる。 漢字の整理、熟語の精選、解釋の明快、引方 の便利、難讀地名姓氏の便覽、制限漢字の引 出方、以上の特長を有する學生必備の辭典。 大正聖代の一大名著萬古不易の寶典である内 容の豊富なるに語數三萬五千餘種類に亘る。 比を見ず實に語數三萬五千餘種類に亘る。 有らゆる故事成語を網羅して之に親切な解釋 を加へたものから初學者にも便利である。 手紙や文章を草する時に一寸忘れた文字が天 地時侯人事言語物名の五大部門の索引によつ て容易に何人にも引出せるのが本書の特色。 著者廿有餘年間全幅の心血を竭盡せられたる 著者結晶にして、從來の漢和字典の誤謬・謬 解・俗説等を一洗して毫髮も遺憾なからしむ 縮刷字源は内容裁裁索引等と全然同一で、 數字音索引、字訓索引等と増加して頁 數を減じ總頁數二千六百頁としたのみである 手紙の文句とそれを書くべき草書の字體と、 その二つを最も便利に實際的に奉めて編纂し た實用字典である。	尙 文 堂	三 省 堂	紅 玉 堂	文 友 社	有 朋 堂	同	同	六 合 館	淺 見 文 林 堂	有 朋 堂

新國語漢文大辭典	てりく字國語辭典	珍國語辭典	國民字典	新故事熟語大辭典	増故事成語大辭典	座右新辭典	字源【漢和字典】	縮字源	實用用語草書字典	
小山左文二	文學博士 上田万年	塚本哲三	日下部重太郎	池田四郎次郎	簡野道明	武田町櫻桃月	簡野道明	簡野道明	國道祐之	
四六判 二〇三頁	一三五頁 裝	九〇餘頁 型	三〇〇頁 裝	三〇〇頁 裝	三〇〇頁 裝	二〇〇頁 裝	二〇〇頁 裝	二〇〇頁 裝	四〇〇頁 裝	
送價 四〇〇	送價 二二〇	送價 一〇〇	送價 一〇〇	送價 一〇〇	送價 一〇〇	送價 一〇〇	送價 一〇〇	送價 一〇〇	送價 一〇〇	
一冊で五十音引でも、いろは引でも、劃引で も自由自在に全國多數學校指定辭書たるも當然 學生諸君は勿論一般人士必備の辭典。 二十六字のローマ字を知つておれば、假名遣 の煩もなく立所に所要の語を探し出すことが 出來てその上英語には英譯がある理想的辭書 語數七萬、正に言海の二倍に相當して、遺憾の ないやうに編まれてゐる。 漢字の整理、熟語の精選、解釋の明快、引方 の便利、難讀地名姓氏の便覽、制限漢字の引 出方、以上の特長を有する學生必備の辭典。 大正聖代の一大名著萬古不易の寶典である内 容の豊富なるに語數三萬五千餘種類に亘る。 比を見ず實に語數三萬五千餘種類に亘る。 有らゆる故事成語を網羅して之に親切な解釋 を加へたものから初學者にも便利である。 手紙や文章を草する時に一寸忘れた文字が天 地時侯人事言語物名の五大部門の索引によつ て容易に何人にも引出せるのが本書の特色。 著者廿有餘年間全幅の心血を竭盡せられたる 著者結晶にして、從來の漢和字典の誤謬・謬 解・俗説等を一洗して毫髮も遺憾なからしむ 縮刷字源は内容裁裁索引等と全然同一で、 數字音索引、字訓索引等と増加して頁 數を減じ總頁數二千六百頁としたのみである 手紙の文句とそれを書くべき草書の字體と、 その二つを最も便利に實際的に奉めて編纂し た實用字典である。	松 邑 三 松 堂	富 山 房	有 朋 堂	大 日 本 書 會 社	寶 文 館	明 治 書 院	辰 文 館	北 辰 館	同	有 朋 堂

袖珍實用文字便覽	最新袖珍	塚本哲三	三〇〇頁	送價	〇四二〇	言葉が分つてゐてもその文字が分らぬ、さうして困つた時一寸本書を開けばどんな字でもすぐ分る。眞の意味の文字便覧である。	有朋堂
新辭典	文學博士	芳賀矢一	三三〇頁	送價	三二七〇	本書は獨特の仕組を以て成り語首及漢字の二等網羅し語數十萬言固有名詞辭典を附せり。	大倉書店
社交用語の字引	袖珍型	鈴木一意	四四六頁	送價	一〇七〇	新語のみに偏せず、故事熟語、通語までも網羅し、其の解説が非常に面白い。読んで興味あつた。	日實業社
詳解漢和字典	袖珍型	服部字氣之吉	四六〇頁	送價	三三六〇	萬人向の現代的實用漢和字典として類書中の絶對權威書、最新式音訓索引、草字便覧を附して萬全を期しました。〔内容見本進呈〕	富山房
商法熟語新辭典	袖珍型	高橋徳太郎	三〇〇頁	送價	一五〇〇	初學者に商法中の熟語に付き大體の概念を與へる爲め、商法の法文順に且五十音順に配列し、その平易に説明を加ふ事業家必携の良書	大阪屋號
詳解漢和新辭典	袖珍型	塚田芳孝一	八六〇頁	送價	一〇〇〇	最も新しい編著、最も美しい装幀、最も豊富なる内容、而して最も美しい価格、眞に機能的出版として世人轟々として讚許す。	健文社
本位常用漢字新辭典	袖珍型	菅野十郎	五二二頁	送價	〇一五〇	文部省所定の漢字のあらゆる用ひ方を示してある。其の内容は新聞社協定補足文字が添へてある。其の内容は新聞社協定補足文字が添へてある。	小學館
引常用漢字草書辭典	袖珍型	岸蘆風	一〇四頁	送價	〇五〇〇	文部省國語調査會の査定字一九六一字及其略字を示すと同時に草書のくすし方を知らす頗る便利坐右必備の辭典なり。	三輪書店
所定常用漢字のくづ	袖珍型	齊藤春村	二二〇頁	送價	〇六〇〇	千九百有餘の常用漢字を楷行草の三體に書き分け、いろは五十音で必要な字がすぐ見出せる。一冊で字くづしと字引を兼ねた實用字典。	松陽堂
常用漢字の字引	袖珍型	三省堂編輯所	二九〇頁	送價	〇五〇〇	文部省で定めた常用漢字千九百六十一字の字引。漢字制限が實行期に入つた今日、何人も本書を日常生活から手離すことは出来ない。	三省堂

辭林	新特形	金澤庄三郎	四〇〇頁	送價	三二八〇	最近二十年間を通じて國語辭書界に覇を唱へて來た引きよ、見よ、わがかりよい辭書。	三省堂
清園諄辭集	菊判和入	久保嘉鄰	四〇〇頁	送價	三二五〇	明治大正の神職界を通じて祝詞作製に妙を得たる清園久保嘉鄰翁の筆意其數實に數百篇本集は其の優秀なるを蒐め同學後進の士の範例	會通社
新假名遣と常用漢字の字引	袖珍型	三並健作	六五三頁	送價	二〇〇〇	今日の日本語は餘り複雑に過ぎる寧ろ亂雑である。本書は文部省案に則つた新假名遣と常用漢字の使用法を説明したものである。	日實業社
現代新語辭典	袖珍型	小林鶯里	布袖裝	送價	一〇二〇	現代流行の新語を一々解説を施したもの、日常の本書によつて新知識を得、時代におくれぬやう心がくるが現代人最善の急務である。	文藝社
フツク新語日用辭典	袖珍型	秋山五村	三四四頁	送價	一〇〇〇	羅雑約六千所謂新語として日常用ひられ、新羅雑約六千所謂新語として日常用ひられ、新羅雑約六千所謂新語として日常用ひられ、新	文陽堂
フツク新語日用辭典	袖珍型	秋山五村	三四四頁	送價	一〇〇〇	收むる語凡六千新造語外來語流行語を網羅し得せしむる目的を以て作られたり。	同
中學新辭典	袖珍型	文學博士 藤村作	六〇〇頁	送價	一〇九〇	現代の國語、新造語、外來語等、いやしくも寶の辭典にして活用は頗る容易なり。	至誠堂
訂正新聞語辭典	袖珍型	竹内猷郎	三九〇頁	送價	一〇二〇	政治外交財政經濟法律文藝上の專門語を始め新造語外來語運動語無線その他電氣用語などを鮮明に其型は小さけれど分量に於ては優	竹内書店
新譯漢和辭典	袖珍型	濱野知三郎	一〇二〇頁	送價	一〇五〇	本書は最新の鑄造活字を用いたれば印刷最も鮮明なり其型は小さけれど分量に於ては優	六合館
増新譯漢和大辭典	袖珍型	濱野知三郎	三〇〇頁	送價	二一五〇	前書は編纂上周到の注意を拂ひ康熙字典の誤謬をも指摘改訂したので世の信用を博したが本書は其縮刷で印刷鮮明定價至廉が誇である。	同





三體千字文	小野鷺堂	和四六長形 一三〇頁裝	送價 一〇六〇	小野鷺堂先生が名筆を揮ひ、千字文を楷行、草の三體に書きわけたるもの習字書中出道の出来ばえと稱せらる。	博文館
三體千字文	小野鷺堂	唐紙刷装 和装	送價 一〇二〇	鷺堂先生の書は天下の公評があるが本書は最其得意の筆を揮はれたる者で千字文を楷行草の三體に書き分けられた絶好の習字手本である	六合館
草行三體千字文	村田海石	菊判和装 九六頁装	送價 〇六五〇	類書はたくさんあるが本書位丁寧な千字文の読み方、意味までも説いてあるものはない筆者は海石氏。今更喋々説明するまでもない	淡海堂
三體千字文	西脇吳石	菊判和装 一三〇頁装	送價 〇〇六〇	國定小學校書き方手本筆者たる吳石先生の書は其の圓熟、流麗なる既に定評のある處、習ひ易くして實用に適す。敢て江湖に推す。	松邑三松堂
習字 實用書翰文	小山左文二 西脇吳石	菊判和装 一三〇頁装	送價 〇〇八〇	實用に適した文、實用に適した書、この二つを兼ねた良書で商業學校補習學校の教科書としてよく小書店員の獨修用には最もよい。	同
實用ペン楷書帖	黒柳勳	折本美装 菊判半装	送價 〇〇六〇	一般的ペン楷書手本として理想的のもの。	大阪屋號
實用ペン行書帖	黒柳勳	折本美装 菊判半装	送價 〇〇六〇	一般的ペン行書手本として最も適當なるもの。	同
實用ペン習字帖	黒柳勳	折本美装 菊判半装	送價 〇〇五〇	商業學校實用學校用教科書として各學校に採用せられてゐます。一般向ペン字練習帳として好評あるものであります。	同
實用ペン習字練習帖	西脇吳石	菊判洋装 全六冊	送價 〇二二〇	ペン習字の必要なるものはや喋々を要しない本書は全國各中學校女學校で續々採用されて居る。獨修にも固より適して居る。	松邑三松堂
實用ペン草書帖	黒柳勳	折本美装 菊判半装	送價 〇〇六〇	一般的ペン草書手本として最も理想的のもの。	大阪屋號

毛筆 習字之捷徑	山佐伯彦 山口常磨	折手本 一三六頁	送價 〇九六八	毛筆硬筆共に現代の大家山口半峯先生の揮毫に成れるものにして大中小細字楷行草假名和歌に至る迄優美遒健の靈筆各頁に躍如たり。	文書堂
習字之捷徑	岡崎萬月	牛紙 七〇餘頁	送價 〇一七八	基礎點畫を詳細に説明せられ其變化と用例を示し更に文字の結構法を講述して楷書と行書との細字手本を添えられて他に類例なき手本	日用書房
習字 商業書翰文	相澤春洋	西洋 四六列装	送價 〇〇六〇	會社店員諸君に必ずしも取引上の通信文を悉く網羅した從來にない徹底した商業文である本書を練習せば通信取引の上達は請合である	辰文館
少女手紙の文	中村春堂	和菊 装判	送價 〇〇五五	少女方のお手紙を口語候文の二體に書き解し難い文字は上欄へ細楷で譯してあります文章の練習と中細文字が同時に習ふ事が出来ます	同
少年手紙の文	中村春堂	和菊 装判	送價 〇〇五五	少年諸君の手紙を口語候文の二體に解り易く示し文章中の解し難い文字は上欄へ細楷で譯し巻頭尾に手紙實物と端書封書の書式を添ふ	同
常用漢字三體習字帖	北大路魯卿	半紙 三四頁	送價 〇一七二	前文相兼田閣下保科孝一先生の序にもある通り最も現代式にペン字に應用出来る理想的習字書。今回名譽ある天覽台覽になる。	日本書院
眞行草字鑑	前田黙鳳	菊判 五五頁	送價 〇一八〇	書道界の第一人者黙鳳先生が實用文字一萬五千餘字を選び眞行草の三體に別ち各書法を示す全部肉筆寫眞凸版に縮寫せる空前の名著。	二松堂
訂新撰筆のしをり	小野鷺堂	菊判紙装 各五〇頁	送價 〇〇三八	新撰筆のしをりを増訂し、同じく學校用家庭用として、習字及作文の練習に適す。	博文館
新撰筆のしをり	小野鷺堂	菊判紙装 各五〇頁	送價 〇〇三八	女學校用の教科書として、また家庭の作文及び習字用として恰好の書、筆者は書道の名家たる小野鷺堂先生。	同
新緑のたより	令女號編輯部	菊判布装	送價 〇一五〇	少女ペン習字第三輯で美しい装幀に毎輯熱狂的歡迎をうけて居ます。ロマンチックなネタは一篇の哀話小説とも見られます讀解添附	寶文館

鈴蘭のたより	吉屋信子	一五〇頁	送價	一・五八〇	吉屋女史が麗麗なる筆に成れる書翰集に添ふるにペン書き習字帖を別冊として合せ一巻としたるもの、少女の絶好讀物として推奨す。	寶文館
青年手紙文	相澤春洋	四六判	送價	〇・五五	青年諸君の手紙文を最も習ひよくペン字にて書きたるもの文章は口語文にて巻尾に活字體にて全文の讀み方を添へた青年用良書である。	辰文館
青年補習用文	中村春堂	和菊	送價	〇・六〇	現代青年に必須する手紙數十文を附随する字句及び時令用語の實用文字數頁を添へた模範習字手本地方青年會夜學校等の好教科書	同
正しきペン字の手本	黒柳 勳	一〇一頁	送價	〇・九〇	ペン字にはペン字にふさはしい書法が生れればならぬ、ペン字の權威である筆者の書法はあらゆる人々に向く最もよいものである。	大阪屋號
女子書翰文	相澤春洋	四六判	送價	〇・六五	婦女子として奥床しい明治大正の名媛が實際に往復した文章を採りて一文毎に手本を對照に活字の讀み方を添へた代表的ペン字練習書	辰文館
女子消息文範	小山左文二 脇吳石	一〇二頁	送價	〇・八〇	東京府第三高等女學校に書方教授を擔任する東石先生の書は優雅にして最も女子の習字に適す小山先生の編纂又日常文例を網羅す。	松邑三松堂
女子書道の手引	岡崎、萬月	八〇頁	送價	一・六〇	大きく習つて小さく用ひる主義に基他の習字本と趣を異にし上巻楷行草假名他實用文字を收め下巻手紙用語と書式が一通示されてある	日用書房
女子新撰習字帖	佐伯常磨 山口彦總書	全五冊	送價	一・九九	現代書道大家山口氏の優美麗麗なる筆に成れるもの大中小楷行草假名和歌色紙短冊に至る迄婦女に必要な一切を網羅したる書鑑なり	文書堂
女子手紙と文範	青木歌子	二八頁	送價	一・三〇	現代の女子に適した手紙の本がないのを憂ひる青木先生がその模範書體及手紙、文範を示せるペン習字兼用の良書。	廣文堂
女子手紙の文	相澤春洋	四六判	送價	〇・五五	婦女子に必要な日常文を撰びペン字と共に作文練習も同時に出来る書、レタペーパーの實例いろはの書き方全文の譯を巻尾に添へてある	辰文館

新女子手習帖	野村正宗	折本和裝	送價	〇・四三	教科用と家庭用を兼ねしむる爲に材料を豊富に古人の筆蹟碑帖類を擧げて和漢の書道が同性を表する藝術なることを理解せしむ。	大日本圖書會社
女子日用文	三輪田眞砂子 中村春堂	和菊	送價	〇・六五	婦女子が日々の玉章を最もふさわしく眞砂子したの撰文を行草體の優雅な筆致によつて示したる家庭で獨習せらるるには無二の書。	辰文館
女子文のしをり	小山左文二 脇吳石	一〇二頁	送價	〇・八五	表装から優雅な美本で机上に置いて興おこらば隨時習字もよく誰れそれへの便りかと思ふ時は開いて文例を参考とするがよい。	松邑三松堂
女子ペン習字帖	黒柳 勳	折本雅裝	送價	〇・五五	女子のペン習字教科書として適當なる内容を具備せる點に於て當代第一なり。	大阪屋號
女子補習用文	中村春堂	和菊	送價	〇・六〇	日々の往復文を習ひ易く書きいれるは變體及び女子に必要な色紙短冊詠草結納目錄の書式を添へた懇切な書地方補習女學校に使用せらるる	辰文館
手紙の文	小野鷺堂	半紙判	送價	〇・八〇	文例を多く擧ぐることにそれが盡く習字用の模範的の手紙がかけるやうになる。	博文館
手紙手ほとき	中村春堂	和菊	送價	〇・六〇	男女共用の日常文を部門別に各數文掲げ尙請取送状他手紙に必要な事々習ひ易く揮毫したる文字文章が共に上達する初學者用良書である	辰文館
手紙手ほとき	相澤春洋	四六判	送價	〇・六〇	祝賀弔問招待見舞問合贈與注文依頼誘引貸借の各文例及び自他稱呼寒暖の語例送り状請取證等をペン字にて示した練習手本である。	同
女子文かきぶり	小野鷺堂	半紙判	送價	〇・八〇	四季折々の往復文に上達するのみならず鷺堂先生の筆法に練熟して立派な書き手となるには日常本書に親しむに限るべし。	博文館
ペン漢字のくづし方	室高孝哉	三洋	送價	〇・八五	毛筆の時代は去りペン字の世と變たペン字の巧拙はその人の人格を偲ばしむる場合がある本書は實用を骨子としたれば練習簡易なり。	網島書店

字典を兼ねたるペン三體常用漢字	黒柳 勳	四五六頁	送價	一八〇	文部省國語調査會に於て査定せられし常用漢字の索引を附し、習字帖と字典との兼用である。	大阪屋號
ペン三體千字文	黒柳 勳	折本雅裝	送價	七〇	千字文をペンを以て三體に書き示されたるもの新時代の習字帖として最も適當なり。	同
ペン三體日用文字	黒柳 勳	折本雅裝	送價	九四	楷書に草書に行書に何れも著者の圓熟せる筆法は一般的ペン字練習帖として理想的のものなり。	同
ペン子規紅葉漱石書翰	黒柳 勳	興判美裝	送價	九〇	尾崎紅葉、正岡子規、夏目漱石の三文豪の書翰に取り著者獨意の麗筆を以て文豪の風采を彷彿せしむる趣味と練習を兼ねたるもの。	同
中等教育ペン習字帖	黒柳 勳	折本雅裝	送價	四八	文部省の檢定済にして廣く全國の中學校商業學校等に教科書として採用せられつゝあるもの内容の完璧又贅言せず。	同
ペン書翰文習字帖	黒柳 勳	折本雅裝	送價	六四	ペン字界の權威黒柳氏が特に書翰文のみに編纂揮毫せられたるもの、文章の絢麗さ共に好模範なり。	同
ペン商用文習字帖	室高岳堂	折本雅裝	送價	六五	ペン習字帖と商用作文の練習を兼ねたるもので類書の追隨を許さぬ模範的習字帖である。	同
ボケペン習字帖 上・中・下 (附備忘録)	齋藤梅雄	特裝三冊判 各三五頁	送價各	五〇	實務家諸氏が常にボケツトに忍ばせ隨時練習するに最も適す裏面は全部備忘録兼用なれば一冊二様の便が得られる上楷書中行書下草書書は通信文詩歌抒情文等を楷行草篆隸假名英刺畫人物畫風景畫スケッチ等に妙技を揮ふ。	松邑三松堂
ペン習字とペン畫 (趣味と實用とを兼ねたる)	佐藤隆一	興判布裝 一五頁	送價	六〇	書は通信文詩歌抒情文等を楷行草篆隸假名英刺畫人物畫風景畫スケッチ等に妙技を揮ふ。	文書堂
ペン習字の意義及教授法練習法	黒柳 勳	興判布裝 三四〇頁	送價	二五八	ペン習字の根本的意義より教授法練習法に到る詳細を説明し鮮麗なる手本をも添へたれば教授上の好参考書なり。	大阪屋號

ペン書法早わかり	相澤春洋	洋四六裝判	送價	六〇	ペン字の書法を會得して練習せらるるよう楷行草の運筆を示し各手本名詩數葉を添へ終りに假名の練習を現代文藝大家の名文にて教ふ。	辰文館
國語讀本準據ペン書練習帖	水戸部寅松	美菊裝判	價五年 四〇五	各二年 二〇〇	各學年讀本の進度に伴ひて鉛筆ペン書を以つて細字練習を目的とするもので讀本にある漢字假名全部を網羅してある。	目黒書店
ペン字練習帖	黒柳 勳	判	送各價	二〇	楷行草の各種各様に書き示されたる手本と練習欄を添へたる極めて便利なる練習帖なり。	大阪屋號
ペン數字練習帖	大阪屋號	菊判	送價	二五	數字の練習は比較的等閑に附せられておますが正確と迅速とを要するだけに正しい練習方法が必要であります。	同
ペン手紙と葉書の書き方	黒柳 勳	興判布裝	送價	三〇	ペン字界の先覺者たる氏が独自の麗筆に依り手紙と葉書の書き方を示したるもの。家庭常識書として座右に備ふべきもの。	同
ペンレターペーパー帖	黒柳 勳	菊判書翰 紙色刷	送價	九〇	ペンレターの各種各様を百餘種に書き示したるもの。著者の麗筆は艶麗なる色彩圖案印刷と相俟つて實に美事なものです。	同
毛筆ペン統合習字教科書 (文部省檢定済)	黒柳 勳	動折本雅裝	價(上) 四九 價(下) 六三 送價 四〇	四	毛筆とペンとを統合して其調和に腐心しペン習字として独自の境地を開拓し各學校への教科書として最も適當なる内容を具備す。	同
模範ペン習字手本	吉成象	外菊半截型	送價	三五	著者獨特の筆致を以て各種各様の書體を以て書き示されたるペン習字手本である。	同
模範ペン習字	佐藤隆一	九折〇手本	送價	四〇	本書は毛筆書で一家を成し而かもペン字では天才的技能を有する筆者の揮毫である能くペンの特質を捉へて何人にも習ひよく字體優美	文書堂

演説



ラヂオ講演集

東京放送局 三六頁送 一〇〇六〇

放送されたラヂオ講演を何等かの形式で保存した云ふ熱心から生れたもの多岐多趣味なる事はラヂオ聴取者の熟知する所

博文館

ラヂオ講演集

東京放送局 三〇〇頁送 一〇〇六〇

公民教育又は成人教育の一端ともなる内容豊富の講演集一回限りのラヂオ講演を後刻再び聴かんことを欲する人聴き損れた人の満足と與ふ

同

外國語 歐文書

萬國音標文字

市河三喜 一〇一頁送 一〇二〇

外國語の發音が萬國音標文字に俟つ事は已に世界の趨勢である本書は此れを親切に説明したるの外國語に英語研究者好箇の良師友

光風館

英吉利語

Ainu Fire-Side Stories 英アイヌ圍爐裏物語

J. Batchelor 一〇四頁送 一〇二〇

著者が教え與たるアイヌの記述したる物語の翻譯なり一讀如何に神秘なるかを知られよ

教文館

アチーヴメント講義

増田藤之助 三〇〇頁送 一〇二〇

原文・譯解・註釋・例題・英文和文試驗問題「本講義の特色」一、譯語譯文妥當。二、文章の構造・語句の配列・省略法等説明詳細

文明書院

ハイ姉の日記

澤村寅二郎 四六頁送 一〇八〇

「姉の日記」月下の人影二篇、何れも三角的戀愛の悲劇を描ける名篇、譯文は原文に不即不離の名文、註釋も周密を極める

研究社

誤り易き語句の研究

鈴木芳松 三〇〇頁送 一〇四〇

多年受験生に接觸を保つ著者が誤り易き語句を指摘して解説し確固たる英文和譯力を培はんとするもので受験生必携の好参考書である

尙文堂

英和 劇譯 アンデルセンお伽噺

山崎貞 二八〇頁送 一〇二〇

世界の童話界の大關ともいふべきアンデルセンのお伽噺の中から最も傑作とされて居るものを撰び上品な譯文と親切な註釋を附したるもの

北星堂

英偉人の偉業

高杉榮次郎 二〇六頁送 一〇四〇

米國の偉人リンカン及ローズベルトに關する興味ある記事を集めて以て高等學校並に専門學校の英語教科書として最適なるものとせり

大倉書店

英近代英文學大家選集

鈴木紀一郎 二二二頁送 一〇六〇

文學の五大大家ラム、クインセイ、サツカレに就て論評し且註釋を加ふ高等英文教科書也

同

現代學生英文叢書 イソップ物語

六〇餘頁送 一〇四〇

有名なイソップ物語中の粹を抜き正確詳細な脚註を加へ挿畫と共に愉快に讀み易からしめたる。二三年級以上の副讀本に適當である

有朋堂

英米慣用語比較 壹千語集

R. H. Stanley 三五頁送 一〇三〇

英米兩國の慣用語をABCの順序に配列比較せるものにて英語研究者の單語使用上好参考資料に適當

ジャパンプ出版部

高等用 イングリッシュ、エコノミー

三九二頁送 一〇五〇

學生が讀誦するに從ひ、英國國民が日常茶飯の實地の反響を宛らに聞くの感がある

丸善

中學校用及イソップ物語 エコー

一七九頁送 一〇九〇

從來の讀本が餘りに文學的で日常會話の實習に適しないのを補ふ爲著者はされたもの從つて取材斬新興味横溢知らず知らず上達して來る英國婦人が日常の談話に如何なる言葉を用ふるか、其應對の模様はどんな風であるか、斯ういふ會話の實際を詳細する

同

女子用 イングリッシュ、エコノミー

一三〇頁送 一〇四〇

本書の價値は英語界一般の風を認知せらるる、所、本社其の要を抜き採り中學上級用の英語補助讀本として刊行せり

三共出版社

エヴリマン、ア、キング

一三〇頁送 一〇四〇

現代學生英文叢書

同

英國童話

六〇餘頁送 一〇二〇

「現代英文叢書」の第拾篇であり載する所の物語「ウイデンニト」出世譚「天までさよく豆の木」シンデレラ物語は皆有名なもの

有朋堂

最新英語アクセント

小野圭次郎 四六頁送 一〇二五

荷もアクセントに關するこゝは悉く之を簡明に且つ讀者の心理状態に全然合致する様排列説明してある

山海堂

高等 英語各科講義集成	小山桂一郎	四六〇頁判送	二〇二〇	唯一の師友である。本書は、受験者によつて	日實本業社
英和 英語修辭學講義	増田藤之助	三〇〇頁判送	二〇一〇	の統一無二の長参考書である。専門學校受験	興文社
別學年 英語新カード	英語研究記者	金罫容器用紙型靴各七〇枚	二二二〇	現行リダガ八〇餘種の全單語を包含し文例亦	研究社
新式 英語單語カード	廣島高師附屬中學校英語研究會	小形箱入一〇五〇頁	二二〇〇	以上採用されてゐる英語讀本から各學年一千	受験研究社
英語熟語カード	早稲田校	箱三分一入	二一八〇	早稲田の諸先生協力の結晶で各種學校の入学	文明書院
英語獨習カード	中村八郎	袖珍型一八三頁	一〇〇六〇	中學二三年程度の基礎的知識を充分理解せし	日實本業社
初級英語獨修新書	石川辰之助	二〇〇頁	一〇〇〇	一つも英語を知らぬ人に專近なそして日常必	有朋堂
英語の發音とアクセントの研究	峯尾忠藏	最新形一〇〇頁	〇〇八〇	英語を學ぶ人の是非心得て居なければならぬ	高岡本店
英語標準問題解答	栗原基	中判洋装二四六頁	一五〇六〇	本書は高等學校英語試験問題と全く同一形式	廣文堂

英語便覽	長井氏辰	袖珍型二〇八頁	二〇八〇	讀書作文或は日記に際し不覺に生ずる疑問の	研究社
英語漫文漫畫の研究	相良佐	袖珍型二六〇頁	一〇一八〇	歐米の奇抜な漫畫を採り和譯を附し、日本の	文行社
最近入學試験英語問題集	小野圭次郎	合本四〇〇頁	一〇二五〇	最近の問題を集録せしめ、その分類は著	山海堂
英語論文集 (ノート附)	源馬治郎	二四七頁	一〇一八〇	氏の作中より現存のチエスタインに至る十九	丸善
受験英語アクセント讀方研究	宮田峯一	トボケツ型一〇〇餘頁	〇〇五二〇	受験生の須ゆべき英語知識の全般を手際よく	健文社
ウエーバーの英語壹萬暗誦法	渡邊彰平	三六六頁	〇〇五四〇	記憶活動の心理的考察より出發して秩序よく	文書堂
新英語繪單語	リツブマン	四倍洋装本文五頁	〇〇四三〇	本書は岡倉由三郎先生の校訂を経たるもの英	大日本圖書會社
花あり英語面白クラブ	森濱五郎	三六六頁	〇〇六二五	童謡狂歌シヤレ謎皮肉滑稽文等多種多趣	ジャパンプ出版部
すぐわかる英語會話	本多孝一	四六八頁	〇〇五四〇	小學リダガにある、文章の殆んど全部應用し	小、學館
中英自修書	乙骨五郎	菊判上装各二〇〇頁	〇〇六〇	三冊を通じて中學卒業程度に達するやう編纂	博文館

必英學生 英語單語基礎	櫻井 役	三〇〇頁 布裝 送價 一〇・三八〇	最近入試問題數十を、その中に在る單語の中心として、同根の語彙を作り、これに語原的の説明をなし、別に主要熟語集を添へたもの。	受験研究社
英語學び方眞髓 歩初	佐藤 正治	三六〇頁 判本 送價 一〇・〇八〇	二ヶ月に亘つてラヂオの英語講話をせる佐藤先生が、これから英語を學ぶ人のために骨を折らず、面白く覚えられ、やう書かれたるもの。	モナス
英詩鑑賞	齊藤 勇	四六冊 布裝 送價 各三〇・〇〇	ミルトン以降現代に至る英詩の未だ我國の紹介されざる逸品廿八篇を描いて、評論註釋を加へ、別に譯文を添へたる名著。	研究社
英詩の珠玉	山縣 五十雄	四六冊 裝 送價 〇・八四〇	英文學の眞髓を云ふべき英詩の珠玉をあつめて、我英學界の書宿山縣先生親しく註を施したるもの。高等程度の教科書として絶好。	研究社
英字新聞の研究	花園 兼定	三〇〇頁 布裝 送價 一〇・五八〇	著者が多年英字新聞記者生活より得たる経験により、英字新聞に關する一般智識を普及せんがため、最も親切に面白く著述されたもの。	北星堂
英單語のロマンス	久野 朔郎	四六冊 布裝 送價 二〇・〇〇	日常英語約一千を、拉し來つて各語原を相互の交渉を縱横し、英語の研究には勿論、單に興味的讀物として、巻を蔽ふを惜まじむ。	研究社
エ、トリップ、 ツ、アメリカ	ジョン、 アイルズ	四〇〇頁 洋裝 送價 二〇・〇八〇	横濱組育間の路程を舞臺とする二人の旅行記。風俗を知り洗練せる會話を實習せしむ。	丸善
初等英語 獨修自在 ABCから	初等英學會	二七八頁 布裝 送價 〇・六四五	ABCより英習字發音文法會話等英語全般に渡り懇切丁寧に解説し、一讀英語の奧儀に達し、其利用自由自在にして、初學者の好伴侶なり。	三輪書店
初等 英語 ABCの読み方から	山崎 貞	三六〇頁 布裝 送價 一〇・五八〇	少し英語を知らぬものが英語のイロハから一通りの英語を讀み書き出来るやうに最も親切な説明を加へたものである。	北星堂
英文お伽文學選集	植木 孝之助	四六冊 判本 送價 各二〇・〇〇	第一篇「こんく狐物語」第二篇青ひげさん外七篇第三篇黄金の梯子外數篇以下續刊。	文献書院

受験 英文 解釋	櫻井 役	二〇〇頁 布裝 送價 一〇・二六〇	入試問題について出所を明かにし、之に註釋を施し、又主として出所を同じくする練習問題を添へ、尙成句五百を選んで、研究資料としてある。	受験研究社
英文解釋實力問題講義	泉 一夫	六〇〇頁 洋裝 送價 二〇・三八〇	本書は英語受驗者のために實力問題を厳選し、適切な解説を施したものであつて、受驗準備實力養成には眞に本書に據る外なし。必讀あれ。	廣文堂
スピン 英文學 詳解	岡村 愛藏	一〇〇頁 判本 送價 四〇・二〇〇	原文の次に註解、次に邦文の譯を附したる全英文學研究者の必讀すべき珍寶なり。	興文社
英文文學名著選	幡谷 正雄	各一〇〇頁 洋裝 送價 各〇・五二〇	一、バイロンのシモン、四人二ボウの赤死病の假面、三、ラムのハムレット、四、ラムの燒豚の起源、五、シニングの海へ乗り行く者等以下名篇續刊。	健文社
英文構成法	濱林 生之助	三五六頁 判本 送價 一〇・三六〇	我國英學生の通弊を指摘し、日英語法の差異を説いて、純然たる英文の構成法を説く、副教科書として、全國各學校の愛讀を受けつゝある。	同
英文三家庭譚	村井 知至	二〇〇頁 洋裝 送價 一〇・五八〇	フアラーの目的は、文體流麗且如何にも會話が巧妙で、俗語の使用法を知るに最適なる爲。	丸善
Everybody's Pocket Library 英文叢書	ジャムス社	二五頁 洋裝 送價 〇・二〇〇	全英文の演説、論文、傳記、文學等一冊一題を主として、高級英語研究者向に編輯せるものにて、教材として好評噴々たり。	ジャムス社 出版部
問題 英文讀解法	田中 鏡	三七五頁 有朋堂 送價 一〇・八八〇	本書は過去十數年間の入試問題に、加ふるに現行讀本及び各方面大家の論說、著者中より其精華を萃めたるものである。	有朋堂
英文日記の書き方	今井 信之	二一五頁 布裝 送價 一〇・〇六〇	本誌一冊讀めば、目に見えて英文日記に熟達するだらう。一ヶ月間の變化に、富む作例と註解とを讀むだけでも、興味深い。	博文館
英文はがきの書き方	今井 信之	三〇〇頁 菊牛 送價 一〇・〇四〇	文例多方面に亘りて、數百篇に及び、誰でも自由に英文で葉書を認め得るやう、上達の秘訣を説いてある。繪葉書の文例も頗る輕快。	同



分類 英文問題選及譯	栗原美可基	四六〇頁	一・六〇〇	英文和譯練習用として肝要なる慣用語五十種を選び用法を解説し、多数の例題とその解答を添ふ。模範的参考書。	文 献 書 院
英文和譯物語叢書(1)	松浦政泰	八三三頁	〇・七〇六	豪膽なチーガス少年が名工の作品と生死を共にする覚悟で流轉しつつ、ついに國王に見出され、著名なる美術家となる。	文 陽 堂
英文和譯物語叢書(2)	松浦政泰	九九頁	〇・七〇六	一家そろつて絶海の孤島に漂流し、あらゆる冒險をなすついにその島を占領する物語は一言一句快絶の極。	同
英文和譯物語叢書(3)	秋元正四	八七頁	〇・七〇六	大戦亂は如何に轉回しつつ、行くか野獸の大争闘は開かれた王女はいづれへ事件は迷宮より迷宮に。	同
英文和譯物語叢書(4)	松浦政泰	七九頁	〇・七〇六	本書は可憐の少女、菊の香、義理の櫛、三編を収め附録として、貞女の鑑、を載す。	同
英文和譯物語叢書(5)	松浦政泰	一一一頁	〇・七〇六	吾輩は猿である、人間共のウヨウヨ居る世の中へ引出されて来た、いま／＼しい事だ腹いせにごんな悪戯をしてやろうか。	同
英文和譯物語叢書(6)	松浦政泰	一〇七頁	〇・七〇六	日本のお話、を初め獨逸や印度のお話扱はフタルクマン、亞弗利加、グリム、支那等の代表的のお伽噺を網羅す。	同
英文和譯物語叢書(7)	山縣五十雄	九一頁	〇・七〇六	驢馬の自叙傳で教訓もあれば滑稽もあり英文讀本の三の巻を讀む方ならば誰にでも樂に讀む事が出来ます。	同
英文和譯物語叢書(8)	山縣五十雄	九三頁	〇・七〇六	ユーモア一な寸鐵の語句は此英文小話にあふれて居ます。	同
英文和譯物語叢書(9)	松浦政泰	九三頁	〇・七〇六	古代より十九世紀末に致る英雄の物語であつて現代の吾等に何を暗示して居るか。	同

英文和譯物語叢書(10)	松浦政泰	一〇八頁	〇・七〇六	小人國や大人國の漫遊記は、面白いものとして定評があります。	文 陽 堂
現代學生英文叢書					
お伽の庭					有 朋 堂
英和對照 面白い童話	森濱五郎	六一頁	〇・四〇〇	「狐と袋」「狼と仔山羊」「北風の惡戯」「片足の雞」などの面白い話を、初歩の學生のため、ほんまにやさしく綴りてあり挿畫も毎頁にある。	同
研究 カード式参考書 Colloquial Japanese	研究社編輯部	金銀附函 入各葉 抜差自在	〇・四〇〇	中等學科の全内容を一握化する最も且つ最新確の教科書。文章平明懇切、索引・復習問題豊富、精密なる多数の圖版を挿入す。	研 究 社
英文會話の日本語	R. Lunge	六〇〇頁	七・五〇四	外人の日本語研究書としての良書なるも又邦人が外國語の研究書としてても可なるべし外人に邦語を教ゆるに本書あるを記憶せられよ。	教 文 館
受験 書取と單語の研究	大倉本澄	四六頁	〇・五〇六	單語知識の缺陷より生ずる書取・英語和譯の失敗を濟はる爲に、特別發音の文字を初め多数の單語を擧げて的確なる記憶に資す。	研 究 社
ヘア 影	平田禿木	四六頁	〇・二〇六	瀟洒たる海水浴場は浪漫的なる人妻の戀を描き、輕き氣分に生るの神祕を寓せる短篇。禿木先生の名譯は自在無礙、註釋も周到を極む。	同
英活用 五千句	勝俣銓吉郎	有朋堂 三三〇頁	〇・二〇六	或名詞を動かせざる爲めに使ふべき動詞が分れば割合に樂に正しい英文が書ける。本書は其點に向つて與へられた最初の最善の試である。	有 朋 堂
Home Problem Cook Book	教文館	一四一頁	一・二二〇	外人が日本内地生産の材料を以つて調理の出來る西洋料理法なり、平易なる英文にて簡單明瞭に記述されたる萬人必要の書たり。	教 文 館
家庭西洋料理法					
工業英語讀本	小野千代太	四六八頁	〇・六〇六	工業技術者たらんとする者に缺く可からざるは英語なるが本書は獨學者及補習學校用教科書に好適の書にして各地實業校に定評あり。	工 業 日 本 學 會

慣用英語熟達自在	勝田孝興	中判洋装 一六八頁送	一・三〇 二・二〇	普通辭典にて解し得ざる英米國語、方言、俗語、略語を蒐集し其の綴字、發音、語義、用法、用例等を一々實例に就いて詳細解説す。	廣文堂
對註 近代英文學叢書	濱林生之助	判洋装 一五〇頁送	各二・〇〇 〇・〇〇	一、ギンギン魚二、ハアアイ戀無情三、ロンドンワ、ジ、ウ、スチ、ブ、ン見果てぬ夢等々。	健文社
近代の英文學	福原麟太郎	總布裝 四六六頁送	一・〇八 〇・八〇	グイクトリア王朝の文學を該博なる學殖と流麗なる行文を以て廿五章に互り縦横評論し、別に近代文學隨筆の篇を添ふ。	研究社
英クリスマスカロール	市河三喜	一四六頁 送價	一・九〇 〇・六〇	大學の講義の際の注意や學生の質問を土臺とし難語難句や文法イデオムより英國の風俗習慣に到る迄英文で説明したものを添ふ。	岩波書店
英和 グリムお伽噺	山崎 貞	三二八頁 送價	一・二〇 〇・六〇	獨逸人グリムのお伽噺は世界各國で翻譯され世界中の少年少女の伴侶とされて居ります。之に流麗なる譯文と親切な註を添へたもの。	北星堂
今日の英語と米語	富田義介	總布裝 四六六頁送	二・五〇 一・二〇	英學生乃至渡米者を常に困惑せしむる米語を縱横研究し數多の疑問を徹底解決した我國最初の名著。附録「米語字彙」五千語。	研究社
英和 憲法ハンフレット	森濱五郎	判洋装 二一頁送	〇・二〇 〇・二〇	大日本帝國憲法を英譯したるものにて詳註親切なり原文と英譯文とを對照併讀せば法の眞髓を會得する。こゝに層層明確且つ容易なるべし。	研究社
小泉八雲書翰集	市河三喜	總布裝 四三〇頁送	三・五〇 一・二〇	文豪ラフカディオ、ヘルン先生の書翰及び未發表の遺稿の結集にて世界文學に貴重なる新貢獻を成せる出版界の驚異である。	研究社
How to Pray in Japanese 古今祈禱集	H.V. S. Peake	判洋装 一四八頁送	一・〇〇 〇・六〇	基督教信者必要の實用祈禱集にして最も平易明快なる英和兩文を以つて祈禱に讚美歌の索引を付したり。	教文館
重要 五千字記憶法	勝田孝興	三六新形 五〇〇頁送	二・〇〇 〇・八〇	英語單語を解りよく覚えよく叮嚀に説明し且つ應用自在ならしむため練習欄を設け總ての單語を急速に根強く打込む理想的の覚え方書	興文社

誤り誤譯と正譯	山川作治郎	三五頁 送價	五・〇〇 二・〇〇	英語學習上困難な語法に習熟するやう數多の學生が陥る誤譯二五〇題に就き誤譯の理由を正しき英譯を示した英作文の良參考書。	文明社
英 金 色 夜 叉	アーサー ロイド	四六六頁 送價	二・四〇 一・八〇	在留外人中第一の名文家と稱せられ博士によつて英譯されしもの此不朽の名著が如何に妙味を移植し得しかが閱讀あらむことを乞ふ。	誠文堂
英 根 柢 一 萬 語	勝俣銓吉郎	有朋堂 三三四頁送	一・二〇 〇・六〇	英語の單語をその意味用法上から類集して正しい發音と代表譯を指示したものでこれだけけの力がつけばどんな英文でも樂に讀めよう。	有朋堂
英 根 柢 三 千 句	勝俣銓吉郎	有朋堂 二七七頁送	一・二〇 〇・六〇	英文和譯の基礎根柢たるべき句を集めて應用自在ならしめたものである。根柢がなくては正解は出來ぬ。是非理解記憶すべき書だ。	同
受驗 根本的單語の研究	宮田峯一	ボケツ 一〇〇餘頁送	〇・五〇 〇・二〇	受驗生の英語を中心として單語の研究をさげ指導をなす所眞に我が宮田氏の著あるのみ。	健文社
最近英文學研究	平田禿木	總布裝 四六六頁送	二・五〇 〇・八〇	最近英文壇の諸名家を拉し來り備に關歴作風を紹介し自傳隨筆小説戯曲等の代表的文例を掲げ譯註を施せる宛たる鳥瞰圖。	研究社
菜 根 譚 英 譯	磯邊彌一郎	有朋堂 三三四頁送	二・〇〇 〇・八〇	趣味の教訓書として他にその比を見ざる菜根譚の原文和譯文を各頁に對照させたもの。著者は日本英文界の最高權威である。	有朋堂
一日 趣味の英語	栗原 基	新形ク 二五八頁送	一・五〇 〇・八〇	本書は何人も日々愛誦すべき珠玉の詞藻座右味讀すべき佳文三百六十六章を蒐集し一ヶ年三百六十五日に配して註釋し口釋した良書。	廣文堂
英 商 業 之 智 識	岡田 市 治	判假裝 二四餘頁送	一・四〇 〇・八〇	廣汎な商業知識を最も簡約平明に英文を以て講述したもので商業の本義と形式貨繁實買銀行保險貿易海商電信暗號株式等の諸項を收む。	丸 善
ジャパン タイムス 小タイムス 合本	ジャパン タイムス 社	菊倍 裝卷三	一・七〇 〇・四〇	月刊ジャパンタイムス小タイムス一ヶ年分を合本となしたるもの巻一、二まであります。(中學生向)	ジャパン タイムス 社 出版部

初等英語自修書	英語研究會	判上裝	送價	●五〇 ●六〇	ABCより、普通一ばんの英語を獨習せんとする人の爲に本書をすゝむ。	文陽堂
最新初等英語獨習書	堀西徹	判布裝	送價	三〇〇 一八〇	中學三年修業までの英語を現在行はれてゐる教科書を材料として發音でも文法、讀書、作文、總てが獨習し得るやう分り易くなつてゐる。	金刺芳流堂
小學リター研究	本多孝一	四六判八取洋裝	送價	●五〇 ●四〇	小學生諸君は是によつて復習豫習をなさつたら先生から褒められる位きつこよく覺へる。學生は勿論のこと一般初學者の好參考書である。	小學館
新アラビヤ夜話	飯田敏雄	判洋裝	送價	二〇〇 一〇〇	かの有名な英文家スティーブソンの原作ニユイアラビヤナイトの翻譯であつて自殺俱樂部部外六篇の全譯である。高等學校の參考書。	日本書院
新工業英語讀本	東京高等工業學校英語科	四六判各頁	送價	●七〇 ●六〇 ●五〇	本書は東京高等工業學校英語科教員一同の嚴密なる内容調査上教授材料を蒐集し編纂せられたるものにして各地工業學校に定評あり。	大日本工業學會
新聞英語の讀み方と書き方	増田藤之助	洋裝通計	送價	●三〇 ●二〇	全五巻を通じ最も普通に使用される單語六千餘を收めて居る之を細究して縱横に驅使すれば何人も會話に講讀に自在なる事が出来る。	丸善
スケットブック	北野吉内	五〇〇頁裝	送價	二〇〇 一〇〇	一冊にして克く時事英文辭典、和文英譯研究英文法參考書の三者を兼ね全巻を貫く目新しき編輯法と相俟つて一讀現代英語に親まじむ。	北星堂
ストーリーズ	アミシス	判假裝	送價	●四八 ●六八	アンゲイングの名著である「航海」「リッツヴァー」に詳細な註解を加へてある。	有朋堂
ストーリーズ・フロム	カスパートン	判假裝	送價	●五一 ●六一	清新で教育的な小説も興味横溢したクオレ物語り位中等程度の學生教科書として佳なるものは餘り見當らないと云はれて居る。	丸善
青年の精神	現代學生英文叢書	判美裝	送價	●四〇 ●二〇	最近世上の問題を多く取扱つてゐる。簡明雄健な筆致高雅穩健な所説まことに少年訓練に於てのみならず、英文研究の絶好材料である。	有朋堂
世界の都市	現代學生英文叢書	判美裝	送價	●四〇 ●二〇	シンガポール、ローサンヌル地方など最近世界の視線を集めた都市の地理歴史を簡明に誌したるもの受験生上級生の必讀文。	同
世界八十日旅行	F. Muller	判紙裝	送價	●一五〇 ●一〇〇	佛文の英譯にして實用英語を趣味と科學の兩面より學修し得る英語教科書として推奨す。	出版文部館
セルフ・ヘルプ講義	増田藤之助	判布裝	送價	●一〇〇 ●八〇	原文・譯解・註釋・例題・英文和文試驗問題「本講義の特色」一、譯語譯文妥當。二、文章の構造、語句の配列、省略法等説明詳細。	文明書院
戦後の英國	現代學生英文叢書	判美裝	送價	●四〇 ●二〇	「現代學生英文叢書」の第一編戦後の英國の事情を知るばかりでなく、行文平易簡明で書取和文英譯の材料にもなる英學生の必讀書。	有朋堂
ナショナル第四讀本研究	熊本謙二郎	判布裝	送價	●一〇〇 ●八〇	本書は無味乾燥なリダから文學作品に入る唯一の關門で英學生の一の經典である。嚴密なる譯註を施し上下二巻に全文を收めた。	尙文堂
泰西の笑話	石橋秋水	判美裝	送價	●五〇 ●二〇	湧き出る様なヒューマラスな上品なアイロニーに富む英米の小咄笑話を集めて詳しい註解を暢達な譯文を附したるもの。英學生必讀の書。	健文社
ジャパン大タイムス合本	ジャパンタイムス社	判倍裝	價	●一七〇	月刊ジャパンタイムス大タイムス一ケ年分を合本さしたるもの近刊卷二(高級生向)	ジャパンタイムス社出版部

タイムズ英語讀本	山崎宗直	六判通計 六七〇頁	價一巻一・八〇 二巻二・五〇 三巻三・六〇	最近五年間に亘るロンドンタイムズ重要記事の抜萃で現代流行の標準英語に親めるのみならず英國の日常生活に最もよく通曉出来る	丸善
ステイヴ 島	市河三喜	四六判 總布裝送	價二・五〇 一・〇〇	海賊小説の白眉「トレジニア・アイランド」の原文に、市河博士が嚴密周到なる註釋を附したる書、原著鑑賞の最好資料である。	研究社
英語速暗記法	本多孝一	二九五頁裝送	價一・二〇 〇・六〇	著者が正則英語學校、海城中學校にて親しく受驗生に教授せられたるもの、重要單語全部を最も迅速、容易に暗記せしむ。	松邑三松堂
チーキル・アンド・ハイド	チナイブン 市河三喜	一六四頁裝送	價一・八〇 一・六〇	高等學校程度教科書として英文學代表的作品、中文章美内容面白く熟語慣用句に富み學生の熟讀研究に値する者を選び市河氏の註を附す	岩波書店
From the Earth to the Moon & Back	F. Muller.	一三四頁裝送	價〇・三〇 〇・六〇	佛文の英譯にして近代實用英語會話を非常なる興味を以て科學的に習得しうる最良の教科書として推奨す。	出版文部館
英語速暗記法	本多孝一	二九二頁裝送	價一・二〇 〇・六〇	好評單語暗記姉妹編、熟語に徹底的解剖を試みオグロース、テイヤミーの如き迄詳細に解説し先づ眞理を會得せしめ適切な文例を掲ぐ	松邑三松堂
英語聽講と自修	佐川春水	四〇餘頁裝送	價一・八〇 一・八〇	「聽講篇」にて基礎知識を培ひ、之を活用して「自修篇」を樂しみ乍ら征服せしむ。受驗生は勿論英學生の絶好参考書である。	尙文堂
原註文 テーヌの伊太利紀行	大宰施門	四六判 布裝送	價一・二〇 一・二〇	かの有名なテーヌの伊太利紀行の最もよい所を原文にて擧げそれを著者の名譯を以つてし次に解説を付す挿入の寫眞十數また珍しい物	坂本書店
英文天壤無窮	里見岸雄	五八頁裝送	價一・〇〇 〇・四〇	田中智學先生の原著を里見氏の英譯せるもの、原著者の日本國體論はすでに多くの共鳴者あり外國人への理想的此の上なき進物なり。	誠志堂書店
獨逸語自修書	水野繁太郎	四三〇頁 前編三〇頁 後編三〇頁	價各二・五〇 〇・八〇	獨逸語のほんこの第一歩から誰にでも勝に落ちるやうに懇切に明確に説明したもので、これなら誰かに獨逸語の自修が出来る。	有朋堂

藤十郎の戀そのほか	菊池寛 グレンシヨ	一六〇頁裝送	價二・〇〇 一・〇〇	收むるもの藤十郎の戀、父歸る、奇蹟、屋上の狂人敵討以上で原作者の心血と英譯者の努力文情の融合と筆致の呼應實に天下無類である	北星堂
トルストイ短篇講義	南日恒太郎 吹田佳三	三〇〇頁裝送	價一・〇〇 〇・八〇	文豪トルストイの小篇を集めたもの、各篇趣味津津とて人を啓發せしめ、行文直截簡明譯文の妙また之に劣らず其上註まで附たもの	同
ナショナル第二讀本解釋	山崎貞	三〇〇余頁裝送	價一・七〇 〇・八〇	本書の講義振は噛んで含めるやうに詳しく、辛く處へ手の届くやうに親切な説明をいたし、ので、眞に獨修者の虎の巻であります。	同
輸入ナショナルリーダー 第一獨習	初等英學會	二八〇頁裝送	價〇・六五 〇・四	本書は英和兩語を對照し邦語には語の順序を示すに番號を附し獨習者をして原本の必要なる應用語を挿入し會話の活用法を示せり。	三輪書店
廿世紀論文集	島文次郎	六三二頁裝送	價各二・四〇 〇・八〇	高等學校専門學校の英文教科書として編せられたるもの現代英國作家の名代を收め英散文の最高典型を示し且つ新思潮を味得せしむ。	丸善
英日本基督教年鑑	教文館	八〇〇頁裝送	價三・〇〇 一・八〇	日本朝鮮臺灣に於ける基督教事業一切の報告及記事を網羅して餘す所なき内地に於ける外人事業を知らむとする者に奨む。	出版文部館
Thinking in Japanese 日本語の追憶	J. S. Kennard	一三〇頁裝送	價一・二〇 〇・二〇	主として日本語を習得したる者が其發音調子流暢を欠いて居る外人のために編纂されたる日本語教師必讀書たり。	同
英文日本風俗及起原研究	W.H. Erskine.	二二六頁裝送	價三・五〇 一・八〇	外人が日本人の風俗習慣の起原及其價值に關して著述せる書多少あれ共眞に邦人と交り長く此地に在住して其眞髓を記述せる者本書也	同
英文日本文明 其意義と實現	里見岸雄	二三八頁裝送	價六・〇〇 一・二〇	日本佛教發達の極地たる日蓮大聖人の宗教を英文にて記せる苦心の作。著者里見氏が歐洲にありし時英國にて出版せる永遠の名著なり	誠志堂書店
英文日本理想主義の發見	里見岸雄	一七八頁裝送	價六・〇〇 一・二〇	世界に示すべき日本特有の思想文明を遺憾なく論述せる名著なり横文字を讀む人々よすべからく此の書の如き權威あるものを讀み給へ	同

現代學生英文叢書 ハーン傑作集	増田藤之助 日高只一	三六判 三〇〇頁 送	一・二〇 〇・八〇	「停車場にて」人形の墓「耳無し芳」などへ ルンの傑作に詳しく註釋を施してある。流麗 な哀切な文章は深く我等の心を惹きつける。 原文・譯解・註釋・例題・英文和文試験問題(本 講義の特色)一、譯語譯文妥當二、文章の構 造・語句の配列、省略法等説明詳細。	有朋堂
バイオグラヒカル・ ストーリーズ講義	増田藤之助 日高只一	三六判 三〇〇頁 送	一・二〇 〇・八〇	原文・譯解・註釋・例題・英文和文試験問題(本 講義の特色)一、譯語譯文妥當二、文章の構 造・語句の配列、省略法等説明詳細。	文明書院
全ハウス・オヴ・ コブウエブズ	牧井邦男	四六判 六〇〇頁 送	二・五〇 一・八〇	ギツシンの短編集を全譯したもので原文一 頁をそのまゝ一頁に採録しその裏に懇切流麗 な譯文を附した英文學生必讀の自學自修良書 「如何にして希望を達すべきか」の譯註書であ る。或は科學的に或は通俗的に精神一到すれ ば吾人の希望するもの至難に非ずと説く。	廣文堂
マニハウ・ツ・ゲット講義	清水起正	三六判 四〇〇頁 送	一・五〇 〇・八〇	「如何にして希望を達すべきか」の譯註書であ る。或は科學的に或は通俗的に精神一到すれ ば吾人の希望するもの至難に非ずと説く。	北星堂
ハウ・ツウ・ゲットの註解	高橋 貞一	三六判 二九〇頁 送	一・五〇 〇・六〇	「如何にして希望を達すべきか」の譯註書であ る。或は科學的に或は通俗的に精神一到すれ ば吾人の希望するもの至難に非ずと説く。	北星堂
英文學に 現れたる花の研究	石川林四郎	菊布裝 二九〇頁 送	四・〇〇 〇・四〇	英文學鑑賞に缺く可からざる花卉十五種に就 き、原色版十六葉を挿み、語源・形態・象 徴・文獻等を八方詳述せる絢爛たる美書。象	研究社
ハムレット・アノド・ シエクスピヤ	齋藤 勇	四六判 一四〇頁 送	〇・七〇 〇・四〇	中學の高級や高等學校の語學教科書がもつこ と云ふ見地から編纂せるものでなければならぬ 益を讀者に與へ殊にインストラクシヨンの語 句に豊富である英語研究者の必讀書。	山海堂
ピース・エンド・ハツピネス講義	清水起正	三六判 三〇〇頁 送	一・二〇 〇・八〇	益を讀者に與へ殊にインストラクシヨンの語 句に豊富である英語研究者の必讀書。	北星堂
悲劇オセロ	菅野徳助	菊布裝 四〇〇頁 送	一・五〇 〇・八〇	本書は日本に於ける沙翁研究に一時期を劃す べき名著で各頁原文譯文評註の三段に配列し 語學文學演劇の三面から遺憾なく研究した。	有朋堂

英和英國 對譯喜劇 一幕物三種	宮森麻太郎	三六判 二二七頁 送	〇・五五 〇・四五	英國劇界の明星ハウトン、ジョンズ、スウ ロ三家の傑作各一篇を収め、流麗輕妙な譯文 と詳細緻密な註解とを附した。	有朋堂
ファイフティ・フエイマス・ ストウリス解釋	山崎 貞	三六判 四〇〇頁 送	一・五〇 〇・六〇	原書は我國に於て廣く教科書として用ゐられ のさされてゐます。之に譯註を添へたもの。	北星堂
フォネテイク の理論と練習	百瀬音市	四六判 一四〇頁 送	一・〇〇 〇・八〇	本書は目下英語教授界を風靡しつつある萬國 音標文字の最初の智識者、實際の練習を授 けるために編纂されたもの。	文献書院
復式英語會話	メドレ 村井知至	三六判 三七六頁 送	一・六〇 〇・八〇	獨學用の英語大會話篇、全篇を通じて各話題 に必ず二種の同意句を示して應用の自在を與 へたるは本書の特色で「復式」の名ある所以。	博文館
英不如歸	鹽谷 榮	四六判 三〇〇頁 送	二・〇〇 一・八〇	薄命の佳人「浪さん」の名によつて日本の津々 浦々に迄謳はれしこの名著は此英譯によつて 今や世界各國人にも謳はるゝに到れり。	誠文堂
プツシング講義	南日恒太郎 蟻川行道	三六判 五〇〇頁 送	一・五〇 〇・八〇	「プツシング」の名著「勇往邁進論」を懇切丁寧に講 義したものであつて、英語研究者の好伴侶と して將又青年修養上の一大秘書たるもの。	北星堂
プツシング・ツ・ザ・ フロント講義	増田藤之助 日高只一	三六判 三〇〇頁 送	一・二〇 〇・八〇	原文・譯解・註釋・例題・英文和文試験問題(本 講義の特色)一、譯語譯文妥當二、文章の構 造・語句の配列、省略法等説明詳細。	文明書院
プレジヤス・オヴ・ ライフ講義	清水起正 吹田佳三	三六判 三〇〇頁 送	一・三〇 〇・八〇	英國近代の名士エイペリ卿の名著「人生の快 樂」の譯註書である。英語を學ぶもの、必ず 熟讀玩味すべき良書である。	北星堂
ヘルプス論文集	丸 善	四六判 二七〇頁 送	〇・五〇 〇・四〇	ヘルプの文藻が十九世紀英文壇の異彩であつ たのはラスキンが稱讃惜かなかつた所本書は 彼の名作中最も含蓄的な十五章を萃いた。	丸 善
英坊つちやん	毛利八十太郎	四六判 二七〇頁 送	一・六〇 〇・五〇	一世の文豪夏目先生が數多い創作中一般に最 も愛讀せらるゝ「坊ちやん」は此流暢なる譯文 によつて廣く外人にも愛讀せられたる。	誠文堂

英文法	然	益本重雄	四六判	一八〇〇	京都知恩院所藏國寶法然上人行狀繪圖の英譯	出版
受方句讀法の根柢	益本重雄	四六判	一七〇〇	養の指南、英史、比較宗教學研究資料、信仰修	出版	
ホーム・リーダー	田中 饒	一〇四頁	〇八〇	新時代の少年少女が外國語學習の第一歩を樂	有朋堂	
Pit-Dwellers in Hokkaido	J. Batchelor	四七頁	〇六〇	地名を研究する者第一に著者が北海道	出版	
北海道穴居民族	J. Batchelor	四七頁	〇六〇	施したる地理歴史家の必讀書なり。	出版	
マイ・イングリッシュ・フレンド	エフ、エッチ	八三頁	〇四〇	年若き日本人が倫敦に上陸し舊知の英人の案	丸善	
ルズ盲 人 國	濱林生之助	四六判	〇〇八	現英文壇の巨匠ウエルズ各特色を代表せる	研究	
やさしい英語のお伽噺 (秋春)	山 崎 貞	各三〇頁	〇五八	釋を添へたる英文學研究の名著	北星	
やさしい英語のお伽噺 (現代學生英文叢書)	山 崎 貞	各三〇頁	〇五八	初等英語の爲めに「慾深御犬」ガリヴァ旅	有朋	
ユース・オブ・ライフ	三共出版社	一六〇頁	〇七四	中學校上級の英語用讀物として、は世既に定評	三共	
ユース・オブ・ライフ講義	清水起正	四二〇頁	〇八〇	その思想の確健行文の流暢なるは言はずもあ	北星	

模範新譯	模範	吉田 潔	新形上装	〇六八	譯文洗練原文の風韻迄直寫し之れに精註を加	弘學
ユース・オブ・ライフ	模範	吉田 潔	四八六頁	〇六八	へ文の構造より英語の癖に至る迄其用法を説	弘學
ユースフル・クエツシヨ	ステイブ	菊判洋装	一五八頁	〇五八	全章問答體の模範文よりなり外國の風俗習慣	丸善
ユースフル・クエツシヨ	ステイブ	菊判洋装	一五八頁	〇五八	禮儀其他一般的有益な題材について一々面白	丸善
ユニオン第四講義	清水起正	三〇餘頁	〇五八	中學四五年の教科書として有名なもの、それ	北星	
模範 ユニオン第四讀本	長澤英一郎	四六判	〇七八	本リリダに入試問題の語彙、且つ極めて健實	研究	
文輸出貿易之研究	英國商業	一〇〇餘頁	〇六八	英國製造家が英國商業雜誌に寄せた輸出貿易	丸善	
ユニヴァサル 要處正解 自一	鈴木熊太郎	三六頁	〇六〇	各章の初めに單語次に本文の各節に就て其要	櫻木	
ユニヴァサル 要處正解 自四	鈴木熊太郎	三六頁	〇六〇	處を摘出して正解し註欄に模範文の文法的説明を	櫻木	
ユニヴァサル 要處正解 自五	鈴木熊太郎	三六頁	〇六〇	施し章末に熟語總覽を附す學生絶好の参考書	櫻木	
ニユークラウ 要處正解 自一	鈴木熊太郎	三六頁	〇六〇	施し章末に熟語總覽を附す學生絶好の参考書	同	
ニユークラウ 要處正解 自二	鈴木熊太郎	三六頁	〇六〇	施し章末に熟語總覽を附す學生絶好の参考書	同	
ニユークラウ 要處正解 自三	鈴木熊太郎	三六頁	〇六〇	施し章末に熟語總覽を附す學生絶好の参考書	同	
ニユークラウ 要處正解 自四	鈴木熊太郎	三六頁	〇六〇	施し章末に熟語總覽を附す學生絶好の参考書	同	
ニユークラウ 要處正解 自五	鈴木熊太郎	三六頁	〇六〇	施し章末に熟語總覽を附す學生絶好の参考書	同	
ラスキン名文集	岡本清逸	四六判	〇六〇	渾然たる経験から教材に最も適した教育論社	丸善	
American Idioms and Slang	芝染太郎	一六五頁	〇〇二	アメリカ氣分を知らんとするものは先づ米國	ジャ	
俚語と俗語	芝染太郎	一六五頁	〇〇二	すに於て道行く人の俚語俗語を知らざる可から	出版	
英語のローマ字より	初等英學會	三九四頁	〇四〇	表題の如くローマ字より懇切に説明なし自然	三輪	
英語のローマ字より	初等英學會	三九四頁	〇四〇	話には英語、日本語、ローマ字と三様に併記す	書店	

浪漫的英詩集	源馬治郎	判洋裝 一八三頁送	一・七〇	「菓の牛」黄金卵「小さな家」などロシアの童話は珍らしく必ずしも學生の興味を惹くであらう。二三年の英學生には樂に讀める挿畫も多い。	丸善
現代英文學生叢書 ロシア繪嘶	J. Jones H.V.S. Peck	判美裝 六〇餘頁送	〇・四〇	漢字六千語に假名羅馬字を付し英譯を付記す。日本語研究の外人に必要なり。雖も又邦人讀譯者にも必譯書たり。	有朋堂
6000 Chinese Character 英文六千字典	勝俣銓吉郎	判美裝 一〇四頁送	一・八五	本書は和文英譯自修書の姉妹篇にして、美文論文、小説、實用文等多方面に亘る長短百四十篇を選び名家の手に成る英譯文を集めたり。	有朋堂
和英名家譯例集	新津米造	判布裝 二二五頁送	一・二〇	英國近代文豪ハワード、キツプリング、ギツシズ、コンラッド、ペンネットの傑作を集めたもの。	北星堂
British Short Stories	Lafcardio Hearn	判布裝 三一五頁送	一・五〇	文字もて繪を描く人々ヘルンの世評の眞偽を檢せんとする人や、興味ある叙景及び紀行に關する美文を味はんとするものは一讀すべし。	同
Lands and Seas	Miford	判布裝 二二〇頁送	一・二〇	東大文學部に於ける講義であつて先生の高弟田部氏によつて事實の註を添へたものである。	同
Life and Literature	Lafcardio Hearn	判布裝 二七〇頁送	一・二〇	英國の田舎生活を麗しい美文でもつて書いてあつて、卷末には詳しい註を附したものである。	同
Our Village	Lafcardio Hearn	判布裝 三〇〇頁送	一・七〇	世界の美文がなしたる東大文學部に於ける一大名著として推獎して憚らない。	同
Poets and Poems	Lafcardio Hearn	判布裝 三〇〇頁送	一・三〇	ヘルンの全著作中の代表作三十章撰び事實の筆を味ふ事の出来る世界的の一大名著である。	同
Stories and Sketches	武信芳太郎	判洋裝 一〇〇〇頁送	一・五〇	英文日本年鑑、新裝第廿二版。従来の四六判を菊判に擴げ包擁の範圍を擴張した。銀行會社になつてならぬもの。	丸善

英文和譯

The Century Readers	文學博士 市河三喜	菊判洋裝 全五册	一・九七	大正十四年四月七日四版發行	光風館
The Japan Year Book	武信芳太郎	菊判洋裝 一〇〇〇頁送	一・五〇	大正十四年四月九日文部省檢定	丸善
英文和譯					
新英文解釋研究	山崎 貞	判布裝 四六六頁送	一・八〇	學生が自ら記憶せざるを得ざる獨創の形式約三百を巧妙に分類配列し、短時間内に英文解釋の捷路を授くる。受験準備の絶好著。	研究社
英文解釋公式カード	英文研究會	一〇〇枚送	〇・六五	受験生として必ず記憶し置くべき重要なフレーズをアルファベチカルに配列し註釋と例題を附し更に裏面にその譯文を示す。	文献書院
英文解釋法	南日恒太郎	判美裝 二七六頁送	〇・八〇	この位永い生命を持続して英語界に行はれてゐる書物は恐らく他に一つもあらず。その一事が本書の凡ての價値を證して餘りある。	有朋堂
英文解釋法	稻津水穂	判布裝 四二〇頁送	一・四〇	入學試験問題には吃度試験官の知らんと欲する急所がある。能く誤解され易い所もある。著者は材料を十數年間の試験問題に採れり。	文献書院
英文解釋模範	傳法久太郎	判美裝 二五〇頁送	一・二〇	過去二十箇年間の入學試験問題を精選解釋したる唯一の参考書なり。	興文社
英文解釋練習カード	深澤由次郎	美引附 三三〇葉送	一・二〇	現行リード八十種及最近廿年の入試問題に材を取り全部を清新簡潔最も記憶に便なる短文に變じて別に練習問題を添へたる編著。	研究社
最新英文の解釋	小野圭次郎	判布裝 四〇〇頁送	一・三〇	年々激烈なる入學難に苦しむ學生諸君の有る力な味方となり首尾よく凱歌を高唱せしむるさ云ふ自信の下に著述せられたる近代の快著	山海堂

徹底 せる 英文和譯研究	内藤三介 藤道三 益田三 坂本三 入學試験問題 と語句本位	二四六頁 送價一〇二〇六	新らしい研究と新しい内容は兼ね備へた よく受験英語のシステムを研究し、本書一冊 著者は中學校の教職にあり、校訂者は大學の 學生を指導す、相待ちて本書生る。受験用書 として真に優良の書である。	健 文 社
英文和譯 カード	稲津水穂	三〇〇頁 送價一〇八〇〇	最近十七ヶ年間に於ける官公私立各專門學校 の入學試験問題より選擇し、單語の外に熟語 慣用句を含むところ、本書の價値あり。	慶 文 堂
英文和譯の根柢	森輝久	二五〇頁 送價一〇二〇〇	本書は著者が多年直接教授上に於て経験し得 た所を基礎とし編纂され、高等學校專門學校 入學準備書であり、中學生には最適の自習書。	廣 文 館
英文和譯法	南日恒太郎	四九三頁 送價一〇五〇八〇	本書は英文解釋法より、程度を引下げ、更 に説明を平易懇切にしたもので、今日の受験 用としてこれに十分餘りある程である。	有 朋 堂
學生の英文解釋	植松博士	三六〇頁 送價一〇二〇〇	真のカード式學び方に立脚して、英文和譯の ほんまに正しき學び方、正しき考へ方、正し き解き方を詳細に説いてある。	研 究 方 社
最近の根柢とな る英文解釋法	三省堂編輯所	三六〇頁 送價一〇二〇〇	中學生女學生受験生諸君が必ず持たねばなら ぬ最良の参考書として多年學界に喧傳せられ てゐる三省堂學生「叢書」の一つ。	三 省 堂
新英文和譯の考へ方	佐藤正治	三四〇頁 送價一〇七〇〇	最近の傾向を究め、最も新しい根柢 となる入試問題を網羅して著者獨特の解釋を なせるもの、直ちにそれを解答となし得べし	太 陽 堂
笑ひながら 覚えられる 中等英文和譯	山崎貞	四四〇頁 送價一〇五〇八〇	優秀な問題數百題を撰び模範解答を與へたも の、先づ例題を擧げ、語句の解釋構文の分解等 の豫備智識を與へ最後に譯文を示した。	北 星 堂
和文英譯	宮田峯一 金井半三郎	二〇〇頁 送價一〇〇〇六〇	徒らに數の多きを誇らず、ひたすら受験英語の 實力達成の絶好指導書として奨む。	健 文 社

和文英譯

最近の根柢となる 和文英譯法	佐藤正治	三三八〇頁 送價一〇七〇〇	最近の傾向を示す良問題を網羅して著者獨特 の解釋をなせるもの、それを以つて受験生は 直ちに答案となし得べし、類書中近來の名著 代表的の入試問題を擧げ次に「考へ方」の項に於 て必要なる語句と類似の語句との異同を説く	太 陽 堂
新和文英譯の考へ方	山崎貞	四四〇頁 送價一〇五〇八〇	英文文に當り學生が東せんか西せんかに當惑 する如き難處急處を、例文に就き一々指示し て、應用を自在ならしむる名著。	北 星 堂
新和文英譯の根柢	鈴木芳松	四四〇頁 送價一〇五〇八〇	既刊大好評を博せる單語急速暗記法、熟語急 速暗記法の姉妹篇なり。英文文の試験によく 出る重要語句の急速暗記法。	研 究 社
和文重要語句急速暗記法	本多孝一	三三〇頁 送價一〇二〇〇	商大教授内藤先生が受験學生に親切に丁寧 に説明された名著で、約一千頁讀み易く覺え易 く、本書一部は精讀は一切の類書の讀破に勝る	松 邑 三 松 堂
受験者 答案式和文英譯粹	内藤三介	六〇〇頁 送價三〇五〇〇	文法的應用力無き學生の爲重要構文百公式を 掲げ、單語の不足には別冊分類語彙を附し、 更に練習題一千を課する親切の受験書。	慶 文 堂
新和文英譯研究	山崎貞	四六〇頁 送價一〇八〇〇	受験英語中の難關和文英譯につき、該博な知 識と造詣を傾倒しつくして成せる参考書。一 讀明解直に和文英譯の骨法を會得し得。	研 究 社
徹底せる 和文英譯研究	榊原彌	四八〇頁 送價一〇〇〇〇	第一篇で學校別に過去の入試問題を掲げて和 文英譯の方法を教へ第二篇では諸種の項目別 で講義がしてあつて、總てが受験者に最適。	健 文 社
受験者 和文英譯講義	堀西英四郎	四六〇頁 送價一〇〇〇〇		金 刺 芳 流 堂



和文英譯自修書	勝俣銓吉郎	英判美裝各 七五〇頁送	一・七五〇	本書は中學卒業前後の學力ある者にして、所謂受驗的でないにほんに役に立つ美文を、く力で養はせるやうに工夫した良著である。	有朋堂
和文英譯熟語カード	稻津水穂	語一〇〇頁送	一・一五〇	前書の姉妹篇にして共に受驗生諸君の熱狂的歓迎を浴びつゝあり。	文献書院
和文英譯と英文法	鈴木芳松	英判布裝 三〇〇頁送	一・〇二〇	全體を品詞別にし品詞毎に入試問題を主とし、た代表的問題數十種を盛り一文毎に其文法的急所を捉へ之に解答と應用問題を附したるもの。	北星堂
入試問題 和文英譯の研究	清水起正	英判布裝 四四〇頁送	一・〇五〇	過去廿有四年間に亘る官立學校入試問題一千有餘を集め親切なる註と正確なる解答を與へ、たもの、過去の問題のれらひ所を知る良書。	同
増訂 和文英譯法	南日恒太郎	英判美裝 二七九頁送	一・〇八〇	和文英譯のほんこの要訣に徹した權威的述作であつて、努力して本書一巻を完全にやれば入試問題などは楽々こなすことがつくづく様になる。	有朋堂
英 作 文					
中 英語商業通信	中島鉄造	菊判洋裝 六八三頁送	五・五〇〇	改訂増補した本書は全的に書改められ日進月歩の世界的商業界に活用し得べき極めて清新な商用文を教ゆ。	丸善
英作文教室筆記	南石福二郎	四六〇頁送	一・一六〇	著者多年の教授經驗の結晶にして、教室筆記と命名せる所以なり。中學上級生及受驗生の寶玉的參考書。	文献書院
英作文新研究	増田綱	四六〇頁送	一・一八〇	本書は英文の構成和文英譯自由作文につき夫々編を設けて懇切なる説明豊富なる例題正確なる範例により學生一般の練習に容易にする。	早稲田社
中英作文精解 二年用	英語研究會	洋裝美判 二〇〇餘頁送	一・〇〇〇	中學一二年程度で、一番重要な英作文(和文英譯)の要訣を示すのが本書です。初學者の爲に骨の折れない様に判り易く解釋してある。	光世館

訂改 英作文の研究	元田作之進	英判布裝 三一二頁送	一・〇四〇	學生の英文に和英を帯びる弊を一掃する爲に新考案を以て編まれた英作文の研究書例文を多く集めたことも其特色である。	博文館
英作文の先生	花園兼定	英判布裝 三〇〇餘頁送	一・〇二〇	……候爵日光に赴くさいふ簡單な題を設け更に誤文訂正と批評を試みたものである。	北星堂
英作文の訂正	相良佐	總四六〇頁送	一・〇二〇	英文に拙なるは主に文法知識の不完全なるに比較し、本書は英文法より出發し多數の例文を基に、比較し受驗生の爲に難處急處を教ふる著	研究社
英作文の話	金井牛三郎	三三六頁送	一・〇五〇	本書は著者が親しく卑近の受驗生の心理を檢討して親切無比の英作文の作法を説いたもの發行以來噴々たる好評を以て歡迎される。	健文社
英作文の要點	田中饒	三〇〇頁送	一・〇五〇	學生の實際答案から得た活きた資料によつて、ほんのさしに英作文の要點を示し、實際的に英作文の活力を涵養し得べからしめた快著。	有朋堂
英作文便覽	長澤英一郎	總四六〇頁送	一・〇七〇	和英辭典に發見し得ぬ零碎の語句乃至文例を蒐めて適切に分類して、英文起草又は英作文に際して打つて響く明答を與ふる便著。	研究社
面白き英語の手紙	桑田春風	三五〇頁送	一・〇八〇	クリスマスの賀状より四季折々の訪問上品なる夫の講話を組立て、一々生ける實例により新工夫の最良の參考書として多年學界に喧傳せられたる三省堂學生の「叢書」の一つ。	富山房
學生の英作文	三省堂編輯所	ク三六列總		中學女生學生受驗生諸君が必ず持たねばならぬ、三省堂編輯所、著者の練達を以て叮嚀懇切に説明し盡したる類書なきもの。	三省堂
解 高等英作文	南石福二郎	四六〇頁送	一・一六〇	文部省中等教員高等教員檢定、外交官試驗問題等を材料とし、著者の練達を以て叮嚀懇切に説明し盡したる類書なきもの。	文献書院
和文 構文の新研究	鈴木芳松	英判布裝 三〇〇頁送	一・一四〇	著者多年の經驗上構文を基調とし和文英譯の味し構文の組織的問題百五十種に譯語類語を吟味し、著者の練達を以て叮嚀懇切に説明し盡したる類書なきもの。	尙文堂

自修英作文	石原益治	四六判 布裝送	一〇八〇	英作文上達の順路として基礎的構文五種より漸次進め位置の轉換、語句の添加結合等より漸次擴大し縮約する手段を詳説す。	研究社
商業書翰文初步	切田太郎	一八二頁 洋裝送	〇八四〇	英語商業文の泰斗切田先生が最も分り易く秩序正しく英語商業通信の學習に便せん編纂せられたるもの。一々範文を掲げて練習せしむ。	松邑三松堂
商業通信書式	ブレ	五〇餘種 入送	〇八四〇	最も實地的應用の廣い商用書式五十種を精選し、最新英米の文通に最適。	丸善
ブレー英文商業通信	ブエツチ、エフ ブレ	三〇餘頁 洋裝送	四二七〇	元東京高等商業學校教授として令名あるブレ氏が特に日本學生の爲著はされたるもの。商用書の構成と其文例を示して多種應用自在。	同
英作文の學び方	相良佐	四〇五頁 近形送	一六〇〇	各學校入試問題を網羅し學生の模範的良書也。作題分類、會話、手紙、自由作文と長文の各篇を大別し二千余の構文には過去二十ヶ年の各學校入試問題を網羅し學生の模範的良書也。	文行社
英文法	英文法				
最新英語の文法	小野圭次郎	最新ボケ 五〇〇頁 送	一八〇〇	本書の使命として學生の英文法に對する根本思想の改造、英文法の學び方に關する注意等十二項に亘る特色を發揮したる空前の名著。	山海堂
英文法研究	布河三喜	四六判 布裝送	三〇〇八〇	英語に於る一切の現象を言語上の事實として公平に觀察し、歴史的必要的或は他國語との比較研究に據り、其理由を闡明せる名著。	研究社
英文法參考書	櫻井役	四五〇頁 布裝		英文法教科書によつて多數の教授事項を網羅し例文を彙集して解釋を平易にしたもので中等學校上級生並に受験生諸子の良參考書である。	受験研究社
英文法新講義	清水起正	三〇〇頁 布裝送	一七〇〇	世界英文法學者として名聲あるエスベルセン等學校に於ける會話的經驗を傾注したるもの。年教壇に於ける會話的經驗を傾注したるもの。	北星堂

英文法正解	石川辰之助	七三〇頁 總布裝送	一八〇〇	文章法を中心として英文法の第一義に徹し、中等學校程度の英語の學習者をして眞に活用する英文法の知識を得させるに作つた本。	有朋堂
英文法の根底から	山崎貞	三三〇頁 布裝送	〇三〇八〇	本書は文の構造の解説を主としたもので極めて平易に講話體で説明してあるから、初學者は勿論、上級生諸君にも必讀の書であります。	北星堂
英文法の輪郭	花園兼定	三〇〇頁 布裝送	〇三〇八〇	この頁を見ても面白くスラ、英文法を會得せしめるやうに書いたものは本書である。	同
英文法誤用より正譯へ	佐川春水	三〇〇頁 布裝送	一四〇〇	英文法常識とでも云ひたい様な本である。	尙文堂
新自修英文典	山崎貞	四六判 布裝送	二一五〇	英文法誤譯數百章を列挙し批評縱横之に解説する。同時に英語に關する常識を涵養せしむ。	研究社
笑ひながら中等英文法	中村八郎	三〇〇頁 布裝送	〇七〇〇	一般學生の理解力を標準とせる懇切なる説明より豊富なる引例と據り諄々講義し、理論中等二年より初めて五年までの四巻は、我國なる英文法の最大權威たる増田藤之助先生の嚴重なる校閲を経たるものにして親切此上無し。	日本業社
英文法の學び方(上)	相良佐	四〇五頁 近形送	一六〇〇	英文解釋と英文和譯又は日常の會話に際して是非知り度い事柄を組織立てて説明してあるから一度讀めば直に明解出来る卓越書也。	文行社
英語會話と隨筆	花園兼定	三〇〇頁 布裝送	〇七〇〇	數字の讀み方から始めて著者が海外に於て経験した會話の呼吸を取つて教ふる様に書いてある。初學者の手を取つて教ふる様に書いてある。	北星堂
英和會話篇	ガントレット 佐々木文美	二七〇頁 布裝送	〇〇四〇	世にありふれた會話書とは全然違つて、會話等を通じて文法上の要點や英國日常の作法習慣等を正確に理解し得べからしめたものである。	有朋堂

英和俗語會話	イースト レーキ	袖珍布裝 二七〇頁 送價 一〇〇	英米人々氣のきいた對話をするには俗語を知らなくてはならぬ。話す時でも聴く時でも此の書があれば生粋の英語に不自由しない。	金刺芳流堂
英和社交用會話	富田源太郎	全一冊 送價 一〇〇	全編悉く方語俗語に充ち脚註の詳密なるは俗語辭書を成し趣味の津々たるは英文小説の如く禮儀風俗を知り社交界の真相を理解し得。	丸善
英和商賣用會話	富田源太郎	全一冊 送價 一〇〇	會話、商業熟語、商品名彙に三大別して何れも精細明確なる脚註を附けてある。會話にはコロキユアル、イングリッシュを用ふるに努む。	同
英會話の實際	濱林生之助譯	全一冊 送價 一〇〇	在來の會話書に見る生硬なる熟語の濫發と舞臺的なる無用の誇張とは全然類を異にし、英京中心の實際を宛らに活現せる名著である。	同
Phrases in Cupid-Land キユーピー會話	エロース・ スイト嬢	全一冊 送價 一〇〇	老人は見るべからず、西歐の情緒を語り得ざる者は國際場裡の勝利者たる能はず、邦文と對照し興くめどもつきす。	同
實用英語會話	コール、イー、 野田幾三郎	全一冊 送價 一〇〇	之を讀んで善く邦語と英語との使用上の差異を悟り之を活用して直ちに外人と自由に話し得る活ける話法氣の利いた慣用句を含蓄す。	丸善
實用日英會話	ルース	全一冊 送價 一〇〇	あらゆる場合の會話を洩れなく載せ諸種の書翰、文書、廣告、看板等の日用萬般の必要事項をも細大具に列す所がない理想的會話書。	金刺芳流堂
商業英語	伊地知純正	全一冊 送價 一〇〇	最新形式の商業文を多數の實例に就き縱横詳説した名著。挿入圖版は頗る鮮明且つ豊富。	研究社
大正日英會話	シー・ サマーズ	全一冊 送價 一〇〇	生きた題目の下に生きた短文と語彙とを集め氣の利いた「本場の英語」に練達することが出来る。會話中の一頭地を抜く良著。	博文館
上井日英會話	井上十吉	全一冊 送價 一〇〇	斯界の泰斗たる著者が絶大の努力になる英語の廣汎、會話の整備、今更贅言を要せず。	大阪屋號

辭典

和英會話辭典	牧フランクリン	最新ボケ 三五〇頁 送價 一〇〇	我が口語をABC順に排列しそれに該適する比の會話辭典である。	有朋堂
英語發音辭典	市河三喜	全一冊 送價 一〇〇	我發音界の碩學が萬國音標文字を用ひて編纂せる辭典。譯語は洗練新なる一語一譯式。	研究社
英作文辭典	入江祝衛	全一冊 送價 一〇〇	得るやうに、英作文上の常用基本語からそれ關聯する前置詞動詞等を檢出し得べき新書。	有朋堂
新英和海語辭典	川内藤信夫 内藤信助	全一冊 送價 一〇〇	斯界唯一の典據的述作で、世界戦亂後目覺し關係者英語研究家の無二の虎の巻である。	同
改訂英和辭典	熊本謙二郎 南日恒太郎	全一冊 送價 一〇〇	世界戦亂に由來する新語をも悉く網羅し、辭典としての新編の組織の上にも幾多の改善が施してある。	同
解英和辭典	入江祝衛	全一冊 送價 一〇〇	語彙甚だ豊富、殊に緊要の語には譯語の外に例が示してある。これは本書特色中の特色だ。	同
ベケット英和辭典	「英語研究」 記者	全一冊 送價 一〇〇	紙面を極めて經濟的に用ひ、一握の小冊中に中等教科書の含む英語慣用句等は悉く収めて遺漏無し。全冊これ特色とも稱す可き便書。	研究社
珍英和熟語辭典	清水起正	全一冊 送價 一〇〇	凡そ讀書作文の實際に必要な英語の熟語を盡て網羅して、それによくだけ了した譯語が附してある。普通の英和辭典の缺を補ふに十分。	有朋堂

袖珍英和英辭典合本	熊本、南日、入江、一、六、五、頁、送、價、二、〇、八、〇	袖珍英和英をそのまゝ一冊にしたもので、二者の特長を同時に一冊の内に兼ね備へた所が本書の特長である。	有朋堂
英固有名詞辭典	有朋堂編輯所、七、〇、〇、頁、送、價、三、〇、一、〇、八、〇	全外國の地名人名から神話小話等にあらはれた假作人名假作地名等、凡そ重要な固有名詞がすぐ検出し得られる便利無比の辭典。	同
コンサイス英和辭典	神田乃武、六、八、四、頁、送、價、二、〇、二、〇、四、〇	辭典界にいはゆるコンサイス形の流行を生んで英學界の第一線に立つ花形の辭典。年々三十萬賣れてゐる云へば内容の説明は不要。	三省堂
コンサイス英和辭典	石川林四郎、八、三、六、頁、送、價、二、〇、一、五、〇、四、〇	コンサイス英和の姉妹辭典。内容の太はいはいかなる世の大辭典なるものに勝り、携帯の便はイカなるポケット辭書も及ばぬコンサイス形一冊で英和と和英を兼ね、小さくて持ちよいポケット辭書。一と通り英語の知識を備へたい者がメモ同様に活用する高級な實用辭典。	同
ジエム英和辭典	三省堂編輯所、一、二、〇、〇、頁、送、價、二、〇、一、八、〇、四、〇	一冊で英和と和英を兼ね、小さくて持ちよいポケット辭書。一と通り英語の知識を備へたい者がメモ同様に活用する高級な實用辭典。	同
正譯英和新辭典	上田万年、一、三、五、頁、送、價、二、〇、一、〇、〇、〇	語彙豊富、新語熟語饒多で譯語は平易で明快し、かゝる句の蒐集綿密で原語の眞義を把握し得る事が出来ます。挿圖も有中學用に最適。	富山房
英和熟語大辭典	神田乃武、一、八、〇、〇、頁、送、價、五、五、〇、二、四、〇	語數二萬八千八百餘十六世紀以後現代に至るまでの英米に於ける文學學用兩方面の語句を網羅し、些の餘蘊もない。	有朋堂
明解英和辭典	三省堂編輯所、六、九、二、頁、送、價、一、七、〇、一、七、〇、四、〇	特に初學者のためによりよく引きよく編纂されたもの。中學女學生諸君はまづ本書から使ひ始めるのが英語勉學の近道である。	三省堂
モダン英和辭典	岡田實磨、五、〇、〇、頁、送、價、一、〇、五、〇、四、〇	萬國發音記號と日本語假名の併用の先驅となした辭典。眞に英語初級生の理想的伴侶として形體價格絶對獨自の誇をもつもの。	健文社
モダン英和辭典	熊本謙二郎、八、〇、〇、頁、送、價、二、〇、二、〇、〇、〇	ウエブスター式によりて米國の標準發音を示し、新語新意義を網羅した最新最善の英和辭典。	有朋堂

モダン英和辭典	入江祝衛、八、〇、〇、頁、送、價、二、〇、二、〇、〇、〇	英語の凡てにジョンズ氏發音辭典に據る發音を附し、普通語は勿論、最新語句と純正雅馴な國語とを網羅した最新最良の和英辭典。	有朋堂
英和要語大辭典	勝俣銓吉郎、一、二、〇、〇、頁、送、價、二、〇、一、八、〇、〇	英語界未曾有の一大著述で、英語語法上の關係の複雑な冠詞、代名詞、形容詞、前置詞の類を幸めあらゆる方面から例説してある。	同
英和六千語彙	英文研究会、二、三、六、頁、送、價、一、〇、二、〇、〇、〇	特色——特に學生に必要な語を選択す。入試問題に出たる語を網羅す。語根本位に排列す。萬國音標を附す。携帶に便等々。	文献書院
袖珍英和辭典	入江祝衛、八、〇、〇、頁、送、價、二、〇、一、五、〇、〇	言葉の數が多い、殊に最新の語句を萃めたのは本書の一大特色で、その譯語譯文の妥當穩健な點は特にその誇とする所である。	有朋堂
武和英新辭典	武信由太郎、布、一、〇、〇、〇、頁、送、價、二、〇、一、〇、〇、〇	武信大和英の精粹を蒐めたる袖珍辭典、一握十萬語、中に最新語の一切を収めて遺漏が無い今や全國の學生界を風靡しつつある。	研究社
和英大辭典	竹原常太、菊、一、〇、〇、〇、頁、送、價、八、〇、三、〇、〇、〇	和英辭典界は今正に暗中摸索時代なり著者半生の精力を傾けて燦たる燈光を掲ぐと、實に明記せる實例五萬七千、六ホ細組千六百餘頁。	寶文館
武和英大辭典	武信由太郎、布、二、五、〇、〇、頁、送、價、二、〇、二、〇、〇、〇	「和英は武信」の雷名全國に普し。實に廿年の努力と無盡蔵の學殖との結實、抱容無慮卅萬語、正に我學界のウエブスターに比べ得る。	研究社
佛蘭西語	佛蘭西文學譯註叢書二、アンリ・ラヴダン、一、三、五、頁、送、價、一、〇、五、〇、〇、〇	流麗玉の如き言葉で織り出したアレリ・ラヴダンの對話集から、最も鑑賞に値するもの數篇を選んで譯註を施したのが本書である。	白水社
對譯サロメ	宮原見一郎、一、〇、七、頁、送、價、一、〇、三、〇、〇、〇	サロメの名を聞くこと久しい、而し佛和對譯たるものは本書を以て始とする。譯文脚註の正確は世人の既に認むる處である。	同

實習佛蘭西文典	內藤 濯	二〇七頁裝	一・七〇八	中級用教科書又は獨習用として權威ある唯一の文法書である。版を重ねること十數回以て本書の價値は判明するだらう。	白水社
實用日佛會話	ジュ・ブスケ	袖珍布裝	一・五〇六	會話集成さるべき完備せるもの、あらゆる場合、一寸本書を繰げば、適切にして氣のきいた會話が軽く口に出るに違ひない。	金刺芳流堂
新初等佛語獨修	前田 越嶺	一八四頁裝	〇・八五〇	佛蘭西語獨習に志ある人にまつて一步は一步の上達し得るやう細心の注意を籠めて編述す初學者にも入り易き良書。	博文館
新式佛語提要	瀧村 立太郎	二九一頁裝	二・〇〇八	教科書にして一面獨習書を兼ねたる本書は佛語研究者にとりて好箇の伴侶である。	白水社
新佛和辭典	野村 泰享	三三三頁裝	三・五〇八	卷頭原字及略字解並に原語略語解を附し發音文法解の模範的佛和辭典なり。	大倉書店
新佛和小辭典	佛蘭西文學會	六〇〇頁裝	二・八〇一	斯界の最高權威たる模範佛和辭典を更にコンパクトに語數豊富に定評ある良著なり。	博文館
新佛和小辭典	佛蘭西文學會	五八〇頁裝	二・八〇六	本辭典は弊社發行模範佛和辭典を更にコンパクトに普及版として縮刷せるものにして比類なき良著なるは世既に定評あり。	白水社
新和佛辭典	松井 知時	三三三頁裝	三・五〇八	松井上田の兩先生が先人の陥り易き過失を避け日本人學生及佛語研究者の不便とする缺點を補はんが爲に著されたるものなり。	大倉書店
佛蘭西文學註叢書一	岸田 國士	一三七頁裝	一・五〇六	二人の友は既に人口に膾炙せる名作。それを譯者苦心の譯註は佛語研究者にとりて絶好の好指針たるを失ははぬ。	白水社
新佛語自修の根柢	藤崎 俊茂	八〇〇頁裝	三・五〇七	自然法式に則り綜合的に進み文法其の他一切を説く萬國音符號を採用し尙英獨語を比較對照す極めて初歩より高級に至る新式獨習書。	太陽堂

佛語初步獨修	前田 越嶺	約二〇〇頁裝	一・一〇六	本書は初學者にも獨修し得る様各語悉く發音讀方を附し各文一々直譯意譯を施し文典自修法、重要な日常單語等一切を收めたり。	尙文堂
佛語の發音及文法	松井 知時	一三八頁裝	一・一三四	記憶と参照に便する爲め表解の形式を用ゐる之に見出しを附し發音編、文法編に分ち詳細に九品詞に付解説す高等學校程度教科書に適す。	大倉書店
文法 フランス語教本	大 幸 施 門	二五〇頁裝	二・二〇〇	フランス語を初めて學ぶ人々のために京大に教鞭をさられる著者が親切に講義したもので讀本と文法篇とに分れて極く勉強に都合よい豊富なる學殖と多年の實際體験を経緯として編せる本書は發音文法會話選文書簡より和文佛譯に至る迄あくまで平易明瞭に講義せり。	坂本書店
新佛蘭西語獨修	前田 越嶺	四六六頁裝	三・一〇八	佛蘭西語を秩序的に習得し、佛蘭西文の正しい構造を知りし得るやうに、著者が獨自の考案を廻らした活きた文法書である。	尙文堂
初佛蘭西語獨修書	ジュ・ブスケ	八三〇頁裝	三・一〇八	最新の教授法に基き系統的に佛語の獨習を講じ説明方法を周到な注意がしてあるし毎頁發音は總振假名付であるなど如何にも親切だ。	金刺芳流堂
詳佛蘭西文典	折竹 錫	三三三頁裝	二・一〇〇	佛蘭西語を秩序的に習得し、佛蘭西文の正しい構造を知りし得るやうに、著者が獨自の考案を廻らした活きた文法書である。	有朋堂
新佛蘭西文法獨修	前田 越嶺	約三〇〇頁裝	一・一六〇	本書は「語の研究」「句の研究」の二篇に分ち佛文法に關する事項は悉く網羅せり。叙述簡明樂々さ學び得る唯一の獨修書なり。	尙文堂
模範佛和大辭典	十 大 家	三六六頁裝	九・二〇七	語數の豊富にして最新の言葉の網羅されたるは印刷の鮮明さ相まちて佛蘭西語界の最大權威である。	白水社
例解和文佛譯法	板倉 貞 男	三〇〇頁裝	二・一八〇	内外の文法書を涉獵して、例解一百題を採録したる本書は豊富なる作例と懇切なる解説によつて讀者を満足せしむるに十分である。	同

獨逸語

獨逸文學叢書 あぎぶ王物語	獨逸文學叢書 偉人ペリクレス、天の鍵	獨逸文學叢書 一寸法師ムツク	獨逸文學叢書 大倉造と小倉造	獨逸文學叢書 蛙の王様	獨逸文學叢書 簡易獨逸語讀本	獨逸文學叢書 近代ゲーテ論集二卷	獨逸文學叢書 實用獨逸文法講義
小野秀雄	小野秀雄	小野秀雄	小池聖治	小池聖治	小池聖治	成瀬健夫	龜井藤太郎
每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送
三〇四〇	三〇四〇	三〇四〇	三〇四〇	三〇四〇	三〇四〇	三〇四〇	三〇四〇
獨逸文學研究の手引として編まれた獨逸文學叢書の第一編であつて、譯文明快註釋精細、讀みに適した第一伴である。	偉人ペリクレスは獨逸文學の上に活躍してゐて、親しくその面容に接する觀がある、譯註の詳密さ相俟つてこれに必讀の一編である。	獨逸語の御伽噺、滑稽の中に多分の教訓もあつて我知らず讀み進む中に獨逸語の實力が涵養されて行く。	ゲーテの傑作である、譯者は語學研究を主とし、その一般翻譯の如く勝手な譯ではなからず、語學研究者の好參考書である。	獨逸語で書かれた輕妙な小説、それに附した力明快的邦譯文、知らず識らずの内に獨逸語の活きた知識を獲得しようとする人は必ず斯ういふ書を選ばなくてはならない。	全篇を三部に分ち初部に於て日常普通の單語の使用例を示し、漸次易より難に進み最後の第三部に獨逸都邑を活寫した名文佳章を収めた。	本書は大學乃至高等學校程度に於て獨逸文學研究の好參考書である。	本書は獨逸文學の精華を蒐めたるものにして、高等學校及大學豫科の獨逸教科書として最適のものなり。
有朋堂	同	同	文武堂	同	岩波書店	大倉書店	金刺芳流堂

實用日獨會話	趣味の獨逸語	獨逸文學叢書 食用の寶石	新訂丸善獨逸語叢書 第一卷 クラシック戯曲物語	新訂丸善獨逸語叢書 第二卷 ヘルムホルツ文選	新獨逸語學	新獨逸語讀本	獨逸文學叢書 ステューエンフォルの窓	新註解和獨逸典	獨逸歌謡曲集
ハリール	粕谷眞洋	丸	丸	丸	秋元喜久雄	小池聖治	ウオルフアルト	小田切良太郎	粕谷眞洋
袖珍布裝 五五〇頁送	中判布裝 二七八頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送	每編讀切 一〇〇餘頁送
一五〇六	二五八〇	〇三〇四	〇五〇六	〇〇〇六	〇〇〇八	〇〇〇六	〇〇〇四	〇〇〇七	二五〇〇
單語篇、社交、日用、商用の諸會話篇より諸種の書翰、文書、廣告やその他必要な事は洩れなく網羅されて何につけても至極便利だ。	本書は獨逸語獨習者の高級自修書で興味湧くが如き笑話日記對話小品等三十篇それに清新な短篇小説七篇を排列詳細註釋を施した好著で、これ獨逸文學叢書中の一つで、楽しい気分でも樂々獨逸語を勉強する事の出来る新しい試みである。	ゲーテ、シルレル、レツシングの名曲中代表的のものを選び其概略を掲げ評論を録したるもの、教材として好適、筋書、的讀物として興味深い。	獨逸物理學者ヘルムホルツの思索と研究論文の教材に資し科學原書讀破の力を養はしむ。	本書は獨逸譯讀和文獨譯會話文法作文單語句の應用解釋等總て獨逸語の一般に涉り極て丁寧な説明せられ、獨逸語研究の最良參考書である。	卷頭先づ獨逸文法の要概を説き次で文學篇に入り、獨逸古來の著名な寓話お伽噺より進んで古典時代から近來迄の諸文豪の名文を収めた。	獨逸文學叢書中の一つで、ちぎに讀みこなしのつく程の手頃の頁の中に、原文、邦譯、註解と對照して學習上にて便である。	我が國唯一の和獨辭典として信用あるもので、その語句の蒐集は綿密、新對譯は正確巧妙、註釋は親切明確で檢出は最も容易です。	ハイネの詩を初め我々に親しむものでよく讀れ上難語句の解がしてある語學の勉學に頗る妙	獨逸歌謡曲集
金刺芳流堂	廣文堂	有朋堂	丸善	同	弘學館	丸善	有朋堂	富山房	坂本書店

最新獨逸學語入門	初級獨逸語講座	獨逸語自修自在	中獨逸語自習書	新獨逸語自修の根柢	獨逸語自修文典	獨逸語初步講話	獨逸語初歩講話	獨逸散文集	獨逸新聞の研究	最新獨逸語獨修
ハンス・ユール 西原泉之助	柏谷眞洋	柏谷眞洋	文池、年岡	藤崎俊茂	柏谷眞洋	秋元喜久雄	秋元喜久雄	金田鬼一		内山壽升
四六判洋裝 一四〇餘頁	菊判洋裝 全十二冊	中判布裝 四七〇頁	四判布裝 四四四頁	四判布裝 八五〇頁	中判布裝 二一四頁	四判上裝 四四〇頁	四判上裝 四四〇頁	一八〇頁裝 一八〇頁	每編讀切 一〇〇餘頁	三判布裝 約三〇〇頁
一・五〇 〇・八〇	各 〇・六〇 四〇	三・五〇 一・八〇	一・八〇 〇・八〇	三・五〇 二・七〇	二・二〇 一・一〇	二・八〇 一・二〇	二・八〇 一・二〇	一・五〇 〇・六〇	〇・三〇 〇・四〇	一・五〇 〇・四〇
高等教育を受けんとする者殊に心理學自然科學を學ばんとする者に獨逸語を授くるに最も適當な教材を選み原書讀破の力を急進せしむ	柏谷教授の名講義とその譯は既に定評のある所本講座は初歩より高等程度迄全十二冊に分ちて毎月頒布してゐる物學習者の活用書です	本書は獨逸語の發音、讀方、譯解、文法、會話、獨創新式唯一無二の良參考書である	英語の時代より獨逸語の時代に移らんことを傾向にある時、その自習書として第一に推すべきもの、親切なる用意を盡して講述する	自然法式に則り綜合的に進み文法其他一切を説く萬國發音符號を採用した英佛語を比較對照す極めて初歩より高級に至る新式獨習書	本書は初學者の陥り易い點に専ら留意して誤文訂正文等を挙げ更に讀解會話作文等最も多く誤用する事項を特に懇説す	著者が實際教授の經驗に基き初學者の爲め獨逸語智識の全般を講述せられしもの説明懇切詳細他に類なき最も親切な自修書である	本書獨逸語の簡易なる短篇を集めたるものに於て初學者の學習に最も適當のものなり學校教科書として用ひらる	新聞には又新聞の文體がある、本書の一巻を通じて獨逸語の新聞を讀みこなし得る力がつく事、事實に保證する事が出来る	著者は苦心數年歸納法を採用し如何なる初學者に參入し得るやう編述せる絶好獨修書	著者は苦心數年歸納法を採用し如何なる初學者に參入し得るやう編述せる絶好獨修書
丸善	坂本書店	廣文堂	博文館	太陽堂	廣文堂	弘學館	廣文堂	大日本圖書會社	有朋堂	尙文堂

初級獨逸語獨修	初級獨逸語獨修書	獨逸讀章集	獨逸文法自修書	成句難句用例 獨逸文詳解	獨逸文法辭典	英文法對照 獨逸文法書	獨逸留學生通信	井龜獨文解釋法	珍獨和辭典
上村、菊池	龜井藤太郎	佐久間政一、成田秀三	水野繁太郎	井上忻治	片山正雄	橋田保之助	小池聖治	龜井藤太郎	三浦吉兵衛、橋田保之助
二八八頁裝 送價一・四〇	菊判布裝 六三〇頁	四六判洋裝 一四〇餘頁	三判布裝 後三二頁	三判上裝 三二〇頁	一〇〇〇頁裝 送價一・八〇	三判總布 三四四頁	一〇〇頁裝 送價一・二〇	菊判布裝 三二六頁	三判布裝 九〇餘頁
一・四〇	三・五〇 二・七〇	一・五〇 〇・六〇	一・五〇 〇・八〇	二・五〇 〇・八〇	四・〇〇 一・八〇	一・五〇 〇・八〇	一・二〇 〇・八〇	二・〇〇 一・六〇	一・五〇 〇・四〇
全く獨逸語を解せざる初學者をして、先づ獨逸語の如何なるものかを知らしめ、順次習熟して實用化するまでの指導をなす	新式の組織に依り講述し讀書力の増進を主眼とし、初學者の至らざる所の難點を獨逸文法に配し、二巻はゲート以来の作家の傑作を集むるに、日本の學生の求める所にびつたり適合するやうに考案したもので、至難な獨逸文法は斯うして學んでこそ始めてよく理解が出来る	獨逸語の困難を解き譯讀の秘訣を授け同時に作文の練習に資せんことを、増補改訂成る。内容更に精を極む、一般獨逸語研究の良書	文法の部と辭典の部とから成つてゐる二者關聯して、獨逸文法のあらゆる要義を餘す所がない。而も各獨立して立派に役に立つ	獨逸文法の眞諦を説破し、一々之に對する英文法を脚註對照せしめた記録的述作である。これなら獨逸文法はごんな人にもすぐ分らう	全篇二人の兄妹が語學研究の爲獨逸に留學し、其見聞せる事實を國元へ書送れる體裁の下に、獨逸人の日常生活を活寫す	種々の獨逸の型七十個を擧げて精細に研究し、問題七百餘個を掲げて其の練習に供して應用力を養はしむ。解答を付して自修用に充つ	内容が充實してゐる大辭典に劣らぬだけの語數があり、譯語は嚴正で引用は簡易携帯は至便眞に理想的の辭典といへよう		
博文館	金刺芳流堂	丸善	有朋堂	東海堂	有朋堂	同	丸善	金刺芳流堂	有朋堂

新獨和辭典 ポケット版	登張信一郎 袖珍總製 一三三頁 送價 三〇〇 一〇六	本書は壹千壹百二十頁の大頁數なれども用紙の別製薄漉きと印刷の精巧さを以て僅に厚さ五分の小冊さなし携帯至便なるポケット辭書	大倉書店
新獨和大辭典	登張信一郎 二六三頁 送價 六二五 二七〇	獨逸學界の權威たる著者が六年間の熱血を傾注して編纂せられたる本邦唯一の模範的大辭典なり語數十萬譯語最も明確親切なり	同
新獨和法律經濟辭典	井上忻治 四六新形 一三〇頁 送價 七〇〇 二〇〇	法律經濟は勿論廣く政治、商業、社會、哲學等關係諸學科に亘り原書を繙讀に資するものである限りの用語一切を收む其總語數六萬也	東海堂
袖獨和獨辭典合本	三浦、權田 エ・エンケル 六〇餘頁 送價 三八〇 八〇	袖珍獨和獨辭典をそのまゝ合せ綴つて一冊としたもので一巻の内に兩書を兼ねたのだから机上に備へるものとして最も便利である	有朋堂
獨逸文學叢書 一口噺百廿題	一編讀切 送價 〇三 四五	獨逸獨得の一口噺を通じて笑ひながら活きたる。獨逸語の眞の實力を涵養し得べき絶好書である	同
獨逸文學叢書 胃險奇談	一編讀切 送價 〇三 四五	痛快な胃險の奇談が獨逸語によつて例へば活語學の勉強はこれで行なうに面白く楽々讀める	同
獨逸文學叢書 雪姫兄と妹	一編讀切 送價 〇三 四五	獨逸語のローマンチックな方面の一つとして逸語の生命ではない。堅苦しいのみが獨逸語の生命ではない	同
袖和獨辭典	エ・エンケル 權田保之助 九〇餘頁 送價 〇〇 四〇	和獨の辭典として具備すべきあらゆる要件を最高限度に具備させて充實した内容を至便な形體の内に遺憾なく収録した好辭典である	同
新和獨辭典	岡倉一郎 九四〇頁 送價 一六〇 一八〇	價格至廉で學生の携帯に頗る便。單に單語を排列したるものとは異りて字義に依つて區分し特に日用語には使用例を示して頗る便	金刺芳流堂
和文獨譯活法	龜井藤太郎 二四〇頁 送價 一五〇 一六〇	和文を獨譯する要訣は、使用する文章の型と單語の適否を明らかにするにあるが、本書では多數の問題を掲げて之れを詳解してある	同

露西亞語

實用日露會話	鈴木於菟平 袖珍布裝 二三〇頁 送價 一〇〇 一四〇	獨習用會話書で發音には假名を付して直ちに日常の對話に差支がないやう説いてある露語に慣れない人にも都合のよい會話書である	金刺芳流堂
新日露會話	エヌ、ペ、オ ウー、エフ、ト 矢野太郎 總布裝 送價 〇九 六五	▲露西亞文學▲綴字▲發音▲代名詞▲地名▲度量衡▲時▲陸海軍▲日常會話▲挨拶▲訪問▲食物▲稅關▲商業會話▲書翰文の書式等	大阪屋號
日露露日會話	スミルニツ ホケツ 吉田 薫 三二〇頁 送價 一五〇 一六〇	▲最も必要なる言葉▲人に關する會話▲天文及天氣▲海上旅行▲食事▲病氣▲紹介▲自動車修理▲電話▲電報▲電話▲紹介▲料理店	同
初學露語研究	西海枝靜 二六〇頁 送價 一〇四 一六〇	全く露語に就て知識なき初學者をして知らず切に説く獨習の効果を擧げ得るやう平易且つ親切に説く	博文館
增新式露語獨修	山口虎雄 三六〇頁 送價 一〇四 一八〇	露國との交通益々開け露語修熟の必要愈々迫れる時、本書は其渴望を満たすもの、初學者をなして會話筆書に通ぜしむるに至る	同
露語讀本 卷一、卷二	ミヘエフ 全二冊 送價各 〇〇 四〇	本書は露西亞本國に於て外國人に露語を教授する爲に特編纂せられたる讀本を編刻せしもの、初學者が分り易く秩序正しく覚えらるる	松邑三松堂
露西亞語學階梯	八杉貞利 二九〇頁 送價 二〇〇 一八〇	露語教授に經驗ある著者が語法材料と例題の選擇に意を用ひ文字及發音外九品詞と變化等を詳述し動詞變化一覽前置詞索引を附せり	大倉書店
初等露語讀本	八杉貞利 一七〇頁 送價 一八〇 一六〇	常識の進んだ露語學習者の爲に、從來の正字法的に據り内外の既刊讀本を参照して編纂せる理想的教本なり卷末に註解を附したり	同
簡易日露會話	八杉貞利 一七〇頁 送價 〇八 四五	初學者に對し日常語等の會話を詳述したるものなれば極めて適切なり發音解釋を平明にし材料は簡明書翰文を附録す	同



露西亞語書翰文 第一卷(普通用文)	露西亞語書翰文 第二卷(商業用文)	日本露語發音指針	露西亞語獨修	露和字彙	補露和字彙	新露和大辭典	西班牙語會話	西班牙語會話	近露西班牙語會話	
ト、エン、 トドロウイチ	ト、エン、 トドロウイチ	テ、エン、 トドロウイチ	内藤三雄	古川常一郎	古川常一郎	鈴木於菟平 鈴木貞亮 松本圭亮	酒井市郎	金澤一郎	酒井市郎	
一布四六 四四頁裝判	二布四六 三六頁裝判	一布四六 二四頁裝判	六〇〇頁裝判	四六倍判 三〇〇餘頁	四六倍判 三〇二頁	一六六頁裝判	四六判 クロース	三六判 三〇八頁	四六判 クロース	
送價 一・八〇	送價 二・六五	送價 一・八〇	送價 三・三〇	送價 一・八〇	送價 一・八〇	送價 七・五〇	送價 二・〇〇	送價 一・五〇	送價 二・〇〇	
著者が多年露語教授に從事せる経験に基き革命後に制定せられたる新文字法を用ひ又政治的經濟的事務の爲に日露兩國の間に成立したる密接な關係に適合し露國民の新生活による時代精神に相當するを旨として編纂せられたるものにて八杉教授の適切な説明文を添へたり	本書は飽くまでも實用を旨として日本人の爲として最も新しく正しい内容を持つる書なり	本書は内藤先生が懇切丁寧なる註解の許に露語一般の基礎的知識を容易に學び得るもの	本書は内藤三雄の著書で、露語の發音の指針として、最も新しく、正しく、内容が豊富である。	雅俗を通じてあらゆる露語を網羅した唯一の露語研究の今日必要の廣いは當然である。	本書の爲に費したる歳月は六星霜稿を改むるに於て數回に及び其包含する量に於て完全せるに於て歐米の大辭典に比して遜色なし。	本書は露語の多岐に及ぶ見がすべからず、唯一のスペイン語辭典として最も古き歴史を歓迎の受け本語研究の居ります。	唯一のスペイン語辭典として最も古き歴史を歓迎の受け本語研究の居ります。	日常の必要なる單語、慣用語、平易なる會話に於て、親切に編纂してある。	日常の必要なる單語、慣用語、平易なる會話に於て、親切に編纂してある。	總て發音假名付なれば初學者、獨學者に好適
大倉書店	同	同	同	大倉書店	丸善	大倉書店	大倉書店	大倉書店	岡崎屋書店	

西班牙語

伊太利語・葡萄牙語

新西和辭典	日西會話	伊太利語獨修	初露葡萄牙語獨修	初露葡萄牙語會話	羅甸語	羅甸語彙	羅甸語初步獨修	羅甸語獨修
酒井市郎	金澤一郎	石井昇	菊池	金澤一郎	前田越嶺	前田越嶺	前田越嶺	龜井藤太郎
三六判 三〇八頁	一菊半 一五頁	一八〇頁裝判	二九四頁裝判	一トボケ 一五頁	一六〇頁裝判	一六〇頁裝判	一六〇頁裝判	二二〇頁裝判
送價 一・五〇	送價 〇・五〇	送價 一・四〇	送價 一・四〇	送價 〇・六〇	送價 〇・八〇	送價 〇・八〇	送價 三・一八	送價 二・〇〇
唯一のスペイン語辭典として最も古き歴史を歓迎の受け本語研究の居ります。	日常の必要なる單語、慣用語、平易なる會話に於て、親切に編纂してある。	從來適當なる自習書なかりしため近づき難き獨學し得るの道を開く。	葡萄牙語の修得に就て、恰好の獨習書なきを憂ひ、其初歩より解説せざる好著、葡萄牙語の大體に通ずる捷徑は此一書の熟讀にて足る。	日常の必要なる單語、慣用語、平易なる會話に於て、親切に編纂してある。	本書は羅甸語句をABC順に蒐録して一々之を加へて、尙其中難解なる語句には特に註解を添へ、尙其便に供せるものなり。	各國語の語源をなせる羅甸語を本邦有數の羅甸學者、前田氏が發音より文法會話選文に至る一切を平明暢達な文章を以て解説せるものなり。	羅甸語の文法を中心として講義し原文には一々譯解を施し、細註を加う。練習問題を設け、此の答解を付して、學修者の便利に供してある。	羅甸語の文法を中心として講義し原文には一々譯解を施し、細註を加う。練習問題を設け、此の答解を付して、學修者の便利に供してある。
岡崎屋書店	大倉書店	博文館	同	大日本圖書會社	尙文堂	尙文堂	同	金刺芳流堂

羅甸文法

田中秀央

四六判ク  
二六四頁 送價 二・一五〇

ラテン語の研究は西洋文明の理解に必要なく、可らざるものだ。本書の出現は不完全な我國從來のラテン語を一掃するであらう。

岩波書店

馬來語

馬來語獨修

菊池

二五判上裝  
二五四頁 送價 一・〇四〇

南洋一帯の外交語として近時殊に其必要を認めらるゝに至つた馬來語につき獨學にて修得せらるゝやう親切な説明を施してある。

博文館

支那語

華語教科書

文求堂

一六判假裝  
一三五頁 送價 〇・八〇〇

各教科書の要點を具備したる本書は簡より繁に満たされて居る。があり必要語ばかり

文求堂

華語教科書譯本

石山福治

四六判  
八六頁 送價 〇・七四〇

華語教科書の名詞以外の全文を譯出したるも、華語の習得が原書と對照して研究すれば妙味を得る。

同

華語初階

張廷彦

一七判  
一七〇頁 送價 〇・六四〇

名詞小問答問答談論小説の四編から成つて居る。名詞の撰擇は本書の特色があるから教授方法によつては多少の効果を擧げることが出来る。

同

華語捷徑

張廷彦

一七判  
一七〇頁 送價 〇・五二〇

五百五十の漢字發音にさへ熱せば支那語が一通り話せる様に組織された教科書で小冊子ではあるが速成には尤も適當なものである。

同

官話指南

鄭永邦

二〇判洋裝  
二二〇頁 送價 一・八〇〇

全世界に支那語學書の名著として知られて居る。この本は支那語の増加する傾向があるから、年々使用される部數の増加する傾向がある。

同

官話指南總譯

吳永邦

二六判洋裝  
二六四頁 送價 一・八〇〇

名著官話指南を適切なる譯語を以て全譯したもので、一目瞭然の必携書である。

同

現代支那書翰文例解

石山福治

三〇判洋裝  
三五〇頁 送價 二・一五〇

支那書翰文の解釋と作文を兼ねた本書は讀者に多大の便益を與へることと思ふ。解説指導活用何れも特に意を用ゐてある。

文求堂

最新官話談論篇

張廷彦

二〇判洋裝  
二一四頁 送價 一・〇八〇

高級教科書として編纂せられたるもので、教養ある支那人士との交際には此の程度の語學を必要とするのである。

同

最新官話談論篇譯本

石山福治

二六判洋裝  
二六八頁 送價 一・〇八〇

高級教科書最新官話談論篇を適當なる日本語に譯出したもので、原書の意味を知るに同時に翻譯力の練習にもなるであらう。

同

新實用支那語會話

加藤謙三郎

三〇判布裝  
三二〇頁 送價 〇・九六五

初歩の會話より日常會話の總てを極めて平易に親切に指導せるもの支那語研究者は勿論支那内地旅行に必要の好伴侶たり。

大阪屋號

實用日華會話

足立忠八郎

二九判布裝  
二九二頁 送價 一・〇四〇

發音や四聲を片假名で表はし、單語・單句・談話の三門に分けて支那人との日常會話に不自由が無いやう説いてある。獨習用會話書。

金刺芳流堂

支那現代文教本

井上翠

一七判洋裝  
一七〇頁 送價 一・〇五〇

普通支那の時文を稱せらるる諸公文新聞雜誌の記事廣告書簡文電報文等を集めた絶好の教科用書である。

文求堂

支那語學捷徑

足立忠八郎

三〇判布裝  
三二〇頁 送價 二・〇六〇

便利な獨習書で曾て支那語を學びしことなき初學者でも、此の方法によれば支那人に對し普通の談話は容易に辯じ得らるに違ひない。

金刺芳流堂

支那語教科書

岡本正文

一六判洋裝  
一六四頁 送價 一・〇二〇

最も廣く行はれて居る支那語の教科書は本書である。著者二十年來の經驗を基礎としたるもので、著者から完全なるは言をまたぬ。

文求堂

支那語教科書總譯

木全德太郎

二六判洋裝  
二六〇頁 送價 一・一五〇

斯學に篤き木全氏の丁寧懇切なる譯本で、類例も共に便益を受くること多大である。

同

支那語教科書發音編

岡本正文

三〇判假裝  
三五頁 送價 〇・四二〇

支那語を學習するには先づ第一に發音の練習に力をを用ゐねばならぬ。本書は唯一の教科書として各校に採用されて居る。

同

支那語辭彙	石山福治	三二六頁裝	三〇〇八〇	普通使用さる、支那語の字引に片假名の發音を付し即座に應用の出来る様組織したものである。羅馬字順及總畫引二種の索引がある。	文求堂
支那語大辭彙	石山福治	二五八頁裝	六二〇七〇	二字より四字に至る長短の語句數萬を發音のしたるものである。	同
支那語助辭用法	青柳篤恆	一五二頁裝	一〇二六〇	支那語に難解なものは助辭であるそれを獨特の方法で了解する様にされたのが本書である。著書の造詣の深いのは此書で盡されて居る。	同
支那語獨習全書	石山福治	三五二頁裝	二一八二〇	獨學練習的に支那語を研究する人には絶好の伴侶である。一々實際に活用さるべき會話で満たされて居る全部片假名發音付きである。	同
支那時文教程	宮原民平	二〇〇頁裝	一〇八八〇	最新編刊の教科書である巻尾に三十餘頁の解説があるから獨習用として好箇の参考書である。著者は斯界の雄宮原先生である。	同
支那書翰文初步	岡本正文	一六〇頁裝	二一〇八〇	從來の支那書翰文を説く書は支那人に適して邦人には餘に不親切である。本書は初學者にも分り易く實際に適切な取材を懇切に説明せり。	大阪屋號
支那笑話新篇	矢野藤助	九二一頁裝	〇八四〇	支那に行はる、一口話お笑草的の談話に流暢なる日本語を付したものであるから支那語研究に於ては斯界の人でも興味津津たるものがある。	文求堂
支那聲音字彙	岡本正文	二四四頁裝	一〇二六〇	北京音の四聲發音を引出す索引で羅馬字で正確なる發音を付してある。索引も付けてあるから何人にも極めて便利なるものである。	同
支那童話歌謠研究	米田祐太郎	三〇〇頁裝	一八八〇	支那で創作された童話歌謠の内から特に面白くもので支那語研究者の興味ある参考書。	大阪屋號
支那童話集	矢野藤助	一〇九頁裝	〇八四〇	童話が其國民性を知るに有力なものである。こゝには申迄もない全部日本語の對譯になつて居るから面白い讀物である。	同

北京官話俗諺集解	鈴江萬太郎	一四六頁裝	一〇二八〇	本書は支那の俗諺を原文と對譯せるものにして支那語研究者、支那國民性の研究者の爲め頗る價值と趣味を有する好参考書である。	大阪屋號
中華國語教科書初級篇	清水谷元衡	八〇頁裝	〇六四〇	最も清新なる材料から成り立つた本書は支那外國語學校等に採用されて居るものである。	文求堂
中華國語教科書中級編	清水谷元衡	一二八頁裝	〇八四〇	白話文の教科書としては好適のもので内容の價値ある文が收められてある。稍高等なる教科書として推薦するに充分のものである。	同
中華國語初級篇全譯	江口真吉	七二頁裝	〇五四〇	好評噴々たる中華國語教科書初級篇を一句残らず翻譯したるもので和文支譯も譯例が示してあるから極く便利なる書物である。	同
中華民國國語集	趙仲仁	一四四頁裝	〇二六〇	趙法學博士が特に我邦學生に適切なる様編纂せられたるものであるから完璧たるは勿論である。	同
中國商業用文	田宮中慶	一四四頁裝	〇八四〇	簡單明瞭なる商業取引用文を集め日本文の翻譯が付いてあるから支那取引のある商店には必ず一本を備付けて置く價値がある。	同
中日合璧通商會話	吳張永延	一四四頁裝	〇二四〇	商業用の會話教科書として恐らく本書の右に出づるは困難であらう。それは著者が自ら数十年間の経験によりて編纂せられたからである。	同
新朝鮮語會話	山本正誠	二二〇頁裝	〇九四〇	單語から熟語、熟語から會話になるまで、會話から應用の誰でも直ぐ覺えらる、好参考書。著者が多年の研究を傾倒せるもの。朝鮮語の如何なるものなるかを知らんとする人は勿論語學研究者の必讀すべきものである。	大阪屋號
朝鮮語研究	山本正誠	三四〇頁裝	一八八〇	朝鮮語を研究せんとする人々、初心者爲めより親切丁寧な各項目を擧げて説明し次第に易く難に進む組織立つた絶好の指南書。	同
朝鮮語の先生	崔在翊	三〇〇頁裝	一五八〇	朝鮮語を研究せんとする人々、初心者爲めより親切丁寧な各項目を擧げて説明し次第に易く難に進む組織立つた絶好の指南書。	同

日華會話筌要	平岩道知	四六判 二五五頁	送價 二〇〇六〇	北京官話獨修者の良師全文總振假名付尙發音の明確を期せんが爲更に發音符合を付したれば何人も本書に依つて上達し得るであらう。	岡崎屋書店
支那人適用 日華會話入門	本間良平	一七〇頁 美裝送	價 〇七〇六〇	本書の目的は専ら支那人の日本語研究の用に供せん爲めに編せる物なり。雖亦邦人の支那語を學ぶの資料ともなるべし。	大阪屋號
日華新會話	石山福治	一七三頁 洋裝送	價 〇二〇六〇	日支兩國語の學習が出来るのが特色で支那語には苦心の方法で簡單に發音が出来る様に片假名で示してある旅行には必携書である。	文求堂
日語全璧	文求堂	五〇〇頁 洋裝送	價 三二五〇〇	中華民國人が日本語を學習すべき寶典である。研究も大に益する所がある邦人の支那語研究者も大に益する所がある書物である。	同
日支小辭彙	石山福治	四〇八頁 洋裝送	價 二〇〇八〇	全片假名で組織された極めて手頃の小辭彙でから輕便此上もないものである。	同
日支大辭彙	石山福治	一五〇頁 洋裝送	價 三〇〇六〇	尤も完全せる和支字典は本書である一語を引き出せば發音や應用例が載せてあり一語毎に羅馬字で發音が付けてある。	同
記憶するに易く 實用に適する 日滿會話	富山誠一	一五〇頁 洋裝送	價 〇五〇四〇	▲入門一課より第十課まで ▲本門一課より第十課まで ▲客一課より第十課まで ▲散歩一課より第十課まで ▲氣候時方位職業其他	大阪屋號
北京風俗問答	加藤謙三郎	四六判 二〇〇頁	送價 一五〇六〇	▲賀新居落成▲集古齋▲電影進步▲社會中之虛榮▲北京之警察▲中央公園武劇▲一文公司▲官話之研究▲花輪應當良▲皇室暗潮等	同
北京官話談論新篇	平岩道知	二〇〇頁 洋裝送	價 一〇八〇八〇	高級會話教科書の一である本書は歐米人間に於ても極めて賞讃を博して居る最近大改訂を加へられたから一層完備したものと云つた。	文求堂

ローマ字

歴史

ローマ字第一讀本	理學博士 山口鏡一郎	四六判 各三六頁	送價 〇二五〇二	ローマ字第一第二讀本ローマ字習字帖兒童が英語を學ぶの豫備知識として小學校補習學校のローマ字教科書として理想的のもの。	教文書院
ローマ字獨習	普羅及會	八〇頁 洋裝送	價 〇三〇二〇	初學者の獨習用として編著せしものにして内容正確價の低廉なるを目的とし小學校、中學、商業學校の課外用として好適なり。	三輪書店
ローマ字讀本	湯朝實	四〇頁 洋裝送	價 〇二五〇二	本書は小學校生徒のためローマ字の泰斗ヘーボン先生の式により最も平易に編纂せしものにして繪と對照一目その意味を明らかにす。	同
概觀世界史潮	坂口昂	一七二頁 洋裝送	價 五五〇三六〇	我國民の特に必要とする所は正確な知識に基いた世界史の教養である。本書偶之を提供す。行文流麗命意豐富別に原書表及索引を附す。	岩波書店
秘神様の戀	樋口紅陽	四三〇頁 洋裝送	價 一〇五〇八〇	太古に於ける神様なるもの、戀愛を現代から眺めて見て如何に熾烈濃艶な自由奔放であつたかを物語るものは本書だ戀愛研究者の好書。	日本書院
現代史觀	三浦周行	五二二頁 洋裝送	價 三二〇一八〇	史論家として有名なる著者が折にふれ物に應じて現代社會の種々相を歴史的に觀察批判し、た透徹明快なる意見をあつめたものである。	古今書院
最新世界年表	三省堂編輯所	三六〇頁 洋裝送	價 一五〇一七〇	歴史年表の最高權威として自他共に認むるもの、その精細にして正確なる歴史を學ぶ者の唯一の羅針盤として學界に重きをなしてゐる。	三省堂
史學叢書第壹編 歴史とは何ぞや	小坂野鐵一	三四六頁 洋裝送	價 一七〇一八〇	歴史學研究方法に就て最熱心に考究した著者の數ある著述中最も高い「歴史の方法」を短縮し一般讀者への手引として配慮を加へて述作し「普通世界史」第一卷の卷頭の緒論。史學の原	岩波書店
史學叢書第參編 世界史の使命	坂口俊雄	二六六頁 洋裝送	價 一六〇一八〇	「普通世界史」第一卷の卷頭の緒論。史學の原	同

史學叢書第五編 マイヤ 歴史の理論及方法	史學とは何ぞや	兒童文化史十二講	世界革命之裏面	新世界史年表	世界大革命史	世界大戦史	世界讀史年表	ルエ 世界文化史	最新 世界歴史年表
植村清之助 安藤俊雄	橋 惠勝	増田抱村	包 荒子	妻木忠太	野中春洋	原 勝郎	齊藤斐章	赤井米吉	島田増平
四六布装 二二〇頁	四六布装 二二〇頁	三〇〇頁	四六〇頁	三〇〇頁	三〇〇頁	九〇〇頁	三〇〇頁	五〇〇頁	三〇〇頁
送價 一・五〇	送價 二・〇〇	送價 三・〇〇	送價 二・七〇	送價 一・二〇	送價 一・五〇	送價 六・三〇	送價 一・二〇	送價 二・五〇	送價 〇・五〇
純史學者にして理論家たる著者が史學の根本問題に就き公表した重要な論文にして歴史の本質使命と其研究法とに對する力強い名著	歴史的法則の因果關係を發明して史學を文化である未だ世界に本立したる著者独自の創説	歴史黎明期より近代に及ぶ兒童教育の方法や眼の人の精神生活を以て記述した貴重なる文獻	猶太の世界的政策即ち平和手段の征服法を詳述せるシオンの議定書は世界的珍品ニルスの原表と對照して一覽の下に事件年代を知悉するべからしめたるものである	世界に於けるあらゆる大革命史を詳細に編述す血を流すやうな大革命があつた	セラエブ事變後に於ける澳塞兩國の態度に筆を起しグエルダン戦前の東西兩軍の配備に筆を起しグエルダン戦前の外交事情を叙したる歴史年表を机上に展開して前後の年代を照合すべし本書は其正確を以て定評あるものなり	歴史年表を讀む者は其時代に通ぜざるべからず常に本書を讀む者の時間的勤多忙な人の爲に特に執筆したもので小説を讀むようにならざるべし	日本、東洋、西洋の各時代に於ける重要事項を對照し治亂興亡の跡を一目瞭然たらしめるもの、中等各學校生徒用に適當である	大正年間諸官公私高等專門學校入學試験問題「日本」「東洋」「西洋」歴史の全部を網羅し之に懇切詳密なる解説を施したる歴史小辭典なり	國民的個性の現在に於て凡ての歴史問題を具體的に解決すべき方法を詳述せる名著、歴史家は勿論、一般國民の必讀すべき好参考書
岩波書店	丸木書店	厚生閣	二西社	有朋堂	日本書院	同文館	大日本圖書會社	集成社	文友社

日本

歴史と教育	歴史之部	新しき年中行事	明治新建設史	改訂 維新後大年表	古代 遺物遺跡の研究	大 鏡	大阪文化史論	學生の日本歴史
大西友太	瀨川克三	小林鶯里	鈴江幸次郎	妻木忠太	大野雲外	佐藤 球	寶文館編輯部	三省堂編輯所
五二六頁	四九〇頁	四六六頁	八一五頁	八〇〇頁	三九六頁	二六八頁	二〇〇頁	三六〇頁
送價 三・五〇	送價 一・五〇	送價 〇・四〇	送價 七・五〇	送價 四・〇〇	送價 二・三〇	送價 一・五〇	送價 二・〇〇	送價 一・三〇
國民的個性の現在に於て凡ての歴史問題を具體的に解決すべき方法を詳述せる名著、歴史家は勿論、一般國民の必讀すべき好参考書	大正年間諸官公私高等專門學校入學試験問題「日本」「東洋」「西洋」歴史の全部を網羅し之に懇切詳密なる解説を施したる歴史小辭典なり	俗にすれば忘れ勝たならんとする、我國の風俗、國民精神の表れともいふべき年中行事に嚴密な選擇を施し且つ丁寧に解説せるもの	世界大變革の期に際し維新鴻業の跡を究むるには至る巨細の史實を編述せる最新の名著也	維新後は端的に吾々の生活背景である。その間の巨細漏らさず吾々の生活を掲げて些の遺憾がない	古墳横穴の構造及遺物埴輪土偶等によりて其風俗を研究し或は内部から發見する種々の遺物を悉く考證し當時の文化變遷の有様を詳述し國文にて書ける歴史の祖として名高き大鏡に及び一般讀書家に便利である	大阪の實現目録に迫れる今日當らに前途を想望するのみにて過去の文化を遺却するは識者のせざる所其の知識の源泉は本書に求めよ	中學生女學生受験生諸君が必ず持たねばならぬ最良の参考書として多年學界に喧傳せられ居る三省堂學生「叢書」の一つ	
寶文館	東海堂	文藝社	出版風部會	有朋堂	磯部甲陽堂	明治書院	寶文館	三省堂

かまくら	大森金五郎	四六判 三〇餘頁	送價 二・八〇	概説鎌倉といふ名稱の起り山河海原及び谷鎌倉と近郷の關係幕府の組織及び其の遺跡神社寺院古戰場鎌倉の美術史跡の破壊と其復興有らゆる官職を摘録して上古より徳川時代に至る國史國文研究者檢定受驗者の必讀書	日用書房
訂官職要解	和田英松	四六判 四六〇頁	送價 三・五〇	遠く道灌時代より現今に至る東都を中心に関八洲の名士奇人等あらゆる人の墓所を實地に調査せるもの加ふるに小傳を以つてす	明治書院
關八洲名墓誌	時山彌八	總ク 六〇〇頁	送價 六・二〇	本書は眞に刊行せし裝束甲冑圖解の體に倣ひ内裏諸宮貴人の殿舎門牆室内の裝飾器財車輿の種類に至る迄圖を示して詳解したるもの	明治堂
増補 宮殿調度圖解	關根正直	全一冊 一冊	送價 一・五〇	本書は學界の泰斗大槻磐溪先生の遺著にして安政年中の稿にかゝり當時幕府稟准し其忌諱に屬するものを削り上梓を許された書なり	六合館
標註 近古史談	大槻磐溪	菊判 一冊	送價 〇・六〇	平民文化を形成せる江戸時代を前篇とし、急激な社會状態の混雜と進展せる明治大正時代を後編とし近世三百年間の世相を活寫す	同
近世日本世相史	齋藤隆三	菊判 三〇〇頁	送價 五・二〇	幕府城下に於ける切支丹の迫害、切支丹屋敷の沿革とそこに幽閉された聖教徒の事蹟及び島原亂後、日本入國を企てた伴天連の事蹟等	博文館
戸切支丹屋敷の史蹟	山本秀煌	一六二頁 一冊	送價 一・二〇	禁秘抄は順徳天皇の御撰にして長所寶劍神璽の由來より歴朝の重器宮殿規模毎月毎日の行事恒例の大儀御膳御裝束其他の制度を詳記す	イデア書院
正訂 禁秘抄講義	關根正直	全三冊 三冊	送價 二・〇〇	本書は年中の公事世俗の慣例等を平易に記載し簡にして且つ要を得たれば朝野行事の由來故實風俗を知るに重寶なり復興更に修正せり	六合館
正修 公事根源新釋	關根正直	全一冊 一冊	送價 一・五〇	我國の聖典として最も重要な價值あるは古事記である本書は古聖典の態容を盡したるもの加ふるに著者の權威あり正に國民的家寶なり	同
校訂 古事記	田中頼庸	美濃木版 三刷上中下 三卷	送價 三・一〇		會通社

高等小學 國史の考察及活用	渡邊茂雄	菊判 二七〇頁	送價 一・八〇	著者は國史教授に一隻眼を有するの士藝にせしが今又本書を公にす斯學教授者の必備書	寶文館
國史學習指導原論	永良郡事	一六二頁 一冊	送價 二・五〇	本書は現代の新教育思潮と最近の史潮とを汲み著者多年の思索體験に依つて著述せられたるもの新指導原理を究明し實際問題を透徹解決す	弘學館
國史美談 (上中下)	北垣恭次郎	一〇五頁 三冊	送價 一・五〇	上巻は神代より南北朝合一まで、中巻は足利義満より徳川秀忠まで、下巻は徳川家光より和親條約まで史實に基いて美談を集む	日實業社
新譯漢文叢書 國史略	大町桂月	袖珍 九〇〇頁	送價 二・八〇	國史略は頼山陽が筆を開闢に創めて聚樂行幸に結んだ熱々たる愛國の精神に燃ゆる史書である。本書は桂月先生が活譯を與へたるものにわたれり。	至誠堂
國造本紀考	文學博士 栗田寛	一八二頁 一冊	送價 一・八〇	書名の如く國造本紀の考證にして微に入り細にわたれり。	近藤出版部
國民日本歴史	高橋俊乘	四六判 七八五頁	送價 三・二〇	清新なる口語文の叙述と嶄新なる編次の巧妙さは湧くが如き好評を博し今や家庭及學校の歴史讀物の最高位となりました。	富山房
古事記及日本書紀の研究	津田左右吉	一〇六頁 一冊	送價 四・二〇	著者は日本古代文學の權威本書の價值亦言を要しない。我上代史研究に於ける一つの新しい試みとして此書を學界に提出する。	岩波書店
古事記新講	次田潤	七〇〇頁 一冊	送價 五・一〇	古事記に懇切丁寧な詳解を下し史的科學の新智識に基づいた周密な考察と批評とを加へてある國文國史神道研究家の好參考書	明治書院
古事記全釋	植松安	布裝 六五四頁	送價 四・五〇	本書は從來流布の類書と全く趣きを異にし第一各段對照通讀式古今無比の長書である。	廣文堂
古事記燈	富士谷御杖	菊判 七〇〇頁	送價 一・一〇	本居宣長の古事記傳に啓發され言靈説によつて古事記の研究をなした文化五年に上梓した書を岡麓氏によつて校訂覆刻したものである。	古今書院

滑 稽 日 本 史	町 田 柳 塘	六五〇頁	洋装	一・一六〇	きまじめな日本史を滑稽文に定評があつた柳塘氏の名文に麗陽氏が更に加味した趣味を根柢とした滑稽日本史面白い面白い事	日本書院
最新日本史	横 田 宗 直	四八四頁	洋装	一・一八〇	一言一句も無駄がなく受験問題に記憶するに合理的で、過去の入験問題を表になつて一見して分るから勉強の方針を立てるに適當だ。	金刺芳流堂
最新日本歴史	本 多 淺 治 郎	七九二頁	洋装	三・二五〇	著者の麗筆は我が國史を活寫して恰も繪巻物眼を透して學問的に取扱へる等讀むべし。	同
最新日本史 (増訂版)	杉 山 助 之 進	五三六頁	洋装	一・〇九〇	高等學校及専門學校受験用の参考書で現代の類書中最も有効なるものとして好評噴々たるものである。	大日本圖書會社
参考日本歴史	藤 森 政 次 郎	七四〇頁	洋装	二・二〇〇	本書は著者が多年教へて來た實驗上の知識を根柢として著したもので、國史家、學生諸君に絶好の参考書である。	崇 文 堂
神代史の研究	津 田 左 右 吉	六二四頁	洋装	三・二七〇	神代史の全體としての性質と其精神の研究で多くは世の通説と比較して其一半の仕事著者の所見は世の通説と異なるところは甚しく歸趣を異にせり。	岩 波 書 店
神皇正統記評釋	大 町 桂 月	三二〇頁	洋装	一・一六〇	北島親房卿が心血を凝らした神皇正統記に丁寧の解釋を嚴正な批評を加へてある我が國體の尊嚴な所以を知るには最も必用な書。	明 治 書 院
趣味の日本歴史	橋 本 辰 彦	四八〇頁	洋装	二・二九〇	世界最新思潮たる歴史哲學に立脚した叙述大戦後の諸問題迄明快な筆致で詳説せり。	三 友 社
少國民の日本史	友 納 養 德	四六六頁	洋装	二・一八〇	上巻には國初から平氏滅亡迄を容れ中巻には鎌倉時代から織豊時代迄をのべ専ら教科書用たる久しからぬ現に學習院の教科書である。	モ ナ ス
誌 第一册	帝大圖書館内書物同好會	四〇〇頁	洋装	三・三〇〇	帝大圖書館内の書物同好會で書誌學獨立の一端として内外圖書地方誌料の研究發表がある。	坂 本 書 店

書 誌 第二册	帝大圖書館内書物同好會	四〇〇頁	洋装	三・三〇〇	ケンブル博士に就き野博士・神宮文庫博士・古事記植松博士・津輕藩北邊警備の資料中道氏・初版近世奇跡考岡村博士等の發表がある。	坂 本 書 店
郷 土 資 料	帝大圖書館内書物同好會	一四四頁	洋装	一・〇〇〇	市史及其武藤教授・仙臺府學養賢堂版に就田中博士・厚生新論・大槻翁貞松氏・村上忠順・刈谷久松博士・江戸時代蝦夷關係書。	同
神祇史の研究	宮 地 直 一	三四〇頁	洋装	二・二九〇	博士の考證論文であつて比較的貧弱なる舊記につきては、これを註して靈犀なる眼識を通りてつきては、この問題を明快な判断を與へてある。	古 今 書 院
新講日本通史	太 田 亮	四六六頁	洋装	二・二八〇	時代を推し、文化の大勢を序し其の詳説、論議並に到る迄詳細なる著者の攻訐を窺ふ。詩歌等に到る迄詳細なる著者の攻訐を窺ふ。	文 獻 書 院
新編日本史	弘道館編輯部	上下二册	洋装	一・一九〇	本書は煩を避け簡明確に各時代の歴史的人物的政治經濟思想の要點を捉へ文化の進行を系統的に説述せり中等實業學校に恰好の良書也。	弘 道 館
新編日本讀史地圖	吉 田 東 伍	四六六頁	洋装	六・二五〇	博士獨特の歴史眼で地理眼を以て縦横照射せり日本史の立體物で大日本地名辭書と共に博士を記念する名著であります。	富 山 房
神武天皇十代記	丸 山 正 彦	一〇二頁	洋装	二・〇四〇	元正天皇の養老四年一品舍人親王勅を奉じて編纂し給へる日本書記三十卷中より國體の起原、皇統巨裔の由來するところを知る書。	川 流 堂
諏 訪 史 第一卷	鳥 居 龍 藏	七〇三頁	洋装	二・四〇〇	長野縣諏訪郡教育會多年の研究たる郡史の最初の一巻で同郡の先史原史時代の鳥居氏指導の下に精細に究めたもの諸郡史中の白眉なり。	古 今 書 院
全譯日本外史	興文社編輯所	八五〇頁	洋装	二・一六〇	日本外史の原文直譯にして、史上人物及び事件を求むるに便せんがために小項目五百廿を割註したるもの。	興 文 社
増訂裝束圖解	關 根 正 直	全一册	洋装	一・〇五〇	國史國文の研究者は甲冑裝束に關する故實の大要を心得置かねばならぬ本書はそれ等を一圖解した者で宮殿調度圖解と姉妹篇である。	六 合 館

續國史美談 <small>(前・中・後)</small>	北垣恭次郎	四六判 クロース 四五〇頁	送價 一・八〇	前編は、ハルリス來朝より五稜廓の戦争までを、中編は明治初年の内治より議會開設までを、後編は條約改正より日露戦争時代を含む。本書は複雑なる祖先の文化を小學高學年程度に通ずるやう面白く簡明に叙述されたもので、又歴史の好参考書である。	日實業社
日本祖先の文化	上里朝秀	四六判 上装 二六三頁	送價 一・八〇	本書は、ハルリス來朝より五稜廓の戦争までを、中編は明治初年の内治より議會開設までを、後編は條約改正より日露戦争時代を含む。本書は複雑なる祖先の文化を小學高學年程度に通ずるやう面白く簡明に叙述されたもので、又歴史の好参考書である。	イデア書院
太古史闡明	井口丑二	四六判 布裝 三三二頁	送價 二・一八	全篇四十六章、神代五百年間の史實を徹頭徹尾合理的に研究解説したる名著にして著眼警拔、觀察精透、前人未發の創見を以て充さる。永久に忘るべからざる人類史上空前の大震火災！凄惨慘鼻の極！幾多の慘話、哀話、歴々の吾人の腦裏に刻す、見よこの不朽の記録！！	中央報徳會
大正大震災大火災	大日本雄辯會	菊判 寫眞 二〇餘頁 明細圖入	送價 一・五〇	大震災火災直後一高健兒一百名の筆を驅りて災禍突發の刹那自己の在りし地點に於て所々災禍波動的の状況を有りのまゝ記されたものなり	雄大辯會
大震の日	第一高等學校 國文學部	四六判 餘裝 四〇餘頁	送價 二・五〇	かの有名なる尼港事件を問題の中心として日本開闢以來の國辱事件を歴史的に事實を背景として麗陽氏の快筆になれるもの。	六合館
大日本國辱史	樋口麗陽	四六判 洋裝 四二〇頁	送價 一・五〇	十年苦心の大著、記述の多方面に互り最近史學的研究の集大成せる内容の豊富愉快なる國民的絶好の讀物で家庭學校會社等の必備書	日本書院
大日本全史(全三冊)	大森金五郎	菊判 二七〇頁	送價 各七・三〇	本書は國家統治の權力を有せらるゝ天皇の所在たる帝都名によつて時代の區分名稱を改定し國史の學習に新紀元を劃せん事企圖せり。	富山房
大日本通史	重田象陽	四六判 五〇〇頁	送價 二・一六	大日本は如何に建設せらるべきか。萬國興亡の跡を釋れて大日本主義を絶叫する著者の堂々たる論議は國民に對する一大警鐘である。	大阪屋號
大日本の建設	上泉徳彌	四六判 一〇一頁	送價 〇・五〇	太平記中意義あり趣味ある名文を抄録す教科用又は家庭の自習讀み物として適良なり。	出版風部會
太平記 <small>十四年改訂版</small>	上田萬年和	裝 送價 〇・六一			大日本圖書會社

大日本裏面史	樋口麗陽	四六判 洋裝 四一〇頁	送價 一・〇〇	一枚の紙にも表裏あり日本の歴史にも裏面なからんやである大阪落城にも淀君の秘史あり高野師直の淫事あり藤原時代の女性史あり。	日本書院
再訂増補 大日本歴史 <small>(上下二卷)</small>	法、文學博士 有賀長雄	菊判 布裝 二二八〇頁	送價 上四・五〇 下五・〇〇 二四〇〇	正史傳來の事實を紹述するに共に處々に博士卓越の識見を加へ量に於て實に於て最も信憑せらるゝ日本歴史の權威的名著。	博文館
朝鮮史話	文學博士 幣原坦	四六判 五〇四頁	送價 三・五〇	日鮮の關係を史實の上より人情風俗の上より趣味深く記述しその融合問題の將來に有力なる暗示曙光を齎してゐるのがこの本です。	富山房
通論考古學	文學博士 濱田耕作	四六判 クロース 二三〇頁	送價 三・五〇	本書は考古學の本質を論じ其研究方法、目的其他考古學の資料調査發掘等萬般に亘りて詳述して遺憾なし。蓋し斯學に於る唯一文獻也	大鑑閣
參考 答案式日本史粹	瀬戸重次郎	四六判 上裝 三〇餘頁	送價 一・五〇	高等諸學校の入學準備書で、一切の要を盡して不要を省き、記憶應用自由な所に特色が存する。 <small>(第十二版)</small>	慶文堂
東 奧 異 聞	佐々木喜善	四六判 布裝 一八〇頁	送價 一・三〇	著者は遠野物語の談話者として令名あり口碑民譚土俗傳説の蒐集に没頭するに多年、本書數篇の不思議なる物語は一讀驚歎に値する	坂本書店
東京大地震史	朝倉義朗	四六判 二八〇頁	送價 〇・九〇	大正十二年の東京大地震は絶大なる損害を人類の上にも財産の上にも及ぼした。その顛末を事實の上から叙述した悲惨史。	日本書院
東京府史蹟	東京府 寫眞 四倍和裝 說明五〇六	送價 三・五〇	一八〇	大震災で失はれた史的建造物湯島聖堂を初め府内に於ける著明な史蹟は汎々網羅する東京の過去を回想する資料としての代表的好著	洪洋社
童話の日本史	吉田助治	四六判			文陽堂
美しい國 <small>(神代)</small>	吉田助治	四六判 一八六頁	送價 〇・五〇	神代より人皇の初期に至る、歴史的傳説を童話として解き、我國の創造の由來を説く。	同



吉野の宮(南北朝)	土俗私考	長崎丸山断	増補 二千五百年史	歴史 日本英雄史蹟	地理 日本英雄史蹟	日本外交史	新譯漢文叢書 日本外交史	訂重 日本外交史	漢文學叢書 日本外交史講義
吉田助治	中山太郎	本山桂川	竹越與三郎	水谷次郎	水谷次郎	仲原善忠	大町桂月	久保天隨	興文社編輯所
一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送
五〇四	一三〇	一三〇	六二七	二二〇	二二〇	一八二	二〇八	二〇八	七〇八
皆さんの、おすきな補正成や正行がごんなに か苦心をして忠義をつくしたでせう。南北朝 の戦いは益々はげしくなりました。	著者は我が土俗學界一方の雄、該博なる學識 の豊富なる資料を常に斯界に重きをなす。 性の迷信外敷篇悉く眞摯なる研鑽の結晶なり	著者風「長崎の句と彩り」「南島情趣」等の好 著あり今又丸山遊廓の異郷情調を描いて餘蘊 なき長崎版畫數葉と相俟ちて恍惚たるしむ。	建國より幕府の衰亡に至る二千五百年間の史 記の變遷參差錯綜の妙を極む日本歴史の大典 の變遷參差錯綜の妙を極む日本歴史の大典	歴史の上から地理の上から日本の史蹟を最も 面白く趣味的に講述せしもの。次の關東の卷 東北韓滿の卷と四冊にて完結する。	日本史蹟巡禮と名づくべきもの。全四冊を以 て完結する。歴史上の偉人女傑紙上に活躍し て眼前に展開するが如く非常有益な書。	兒童圖書館叢書の一編ではあるが、むしろ通 等學校の參考書として好適である。小學、中 山陽の日本外史は國民必讀の史書である。桂 月先生絶筆の邦文に移し難句には解釋を附し 痛絶快絶の批評を加へて山陽の面目髣髴たり	日本外史の註解書として最も世に信憑せられ 最も廣く流布せられたる良書、頼山陽の歴史 の大意圖はこゝに初めて再現せらる。	内容の正確親切にして検討廣汎を旨として大 組成せし既に定評ある縮刷版にして上下二卷 洋裝函入送	景行天皇より數代に至る間の皇室を中心とし たる話を集め、建國の由來を説きしもの。 武烈天皇より文武天皇まで、佛教傳來の期よ り三韓の折衝入鹿の誅伐壬申の亂に及ぶ。 元明天皇より光仁天皇迄奈良朝七代七十年間 の史蹟を擧げ佛教の全盛より阿部仲磨の曲雅 遺唐使より道鏡の事、清麿の忠烈に及ぶ。 恒武天皇より文徳天皇迄。平安遷都より田村 羣出せしこゝより文物隆盛を説きたり。 藤原時代の物語で、十五夜の満月のやうにち つとも缺目のないさほこつた藤原氏の面影が 忍ばれる。

寶の國(上代)	難波の堀江(佛教傳來)	奈良の都(奈良朝)	平安の都(平安朝)	十五夜の藤(藤原時代)	赤旗の光(平氏)	白旗の光(源氏)	鎌倉の山(鎌倉幕府)	神風の國(北條時代)	笠置の山(建武の中興)
吉田助治	吉田助治	吉田助治	吉田助治	吉田助治	吉田助治	吉田助治	吉田助治	吉田助治	吉田助治
一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送	一四六頁判送
五〇四	五〇四	五〇四	五〇四	五〇四	五〇四	五〇四	五〇四	五〇四	五〇四
文陽堂	同	同	同	同	同	同	同	同	同

日本危機米禍來る	樋口麗陽	四〇〇頁	一・五〇	アメリカの排日問題は歴史的に日本をいぢめひんしてゐる。對外的に日本人の位置は愈々危機に	日本書院
近江	太田亮	五六二頁	三・〇〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	磯部甲陽堂
和泉	太田亮	三〇二頁	一・八〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	同
越後・佐渡	太田亮	三二二頁	一・八〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	同
尾張	太田亮	五四〇頁	三・〇〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	同
甲斐	太田亮	三六〇頁	二・三〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	同
河内	太田亮	四六二頁	二・五〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	同
信濃	太田亮	二八八頁	一・八〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	同
攝津	太田亮	七七〇頁	四・二〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	同
丹波・丹後	太田亮	三三八頁	二・三〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	同

日本國誌資料叢書	三河	太田亮	三四五頁	二・〇〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	磯部甲陽堂
日本國誌資料叢書	武藏	太田亮	一〇〇頁	五・二〇	地名、沿革、氏族、神社、佛閣、雜載等六章數十項。史籍の精、地誌の華、あらゆる典籍の粹を	同
日本古代思想史	橋惠勝	三三八頁	四・〇〇	古代の思想史を明瞭せなければ現代の思想を	丸木書店	
日本國民思想史講話	石田文四郎	三二〇頁	三・〇〇	東洋文明の大殿堂たる我國三千年の文化の根	二松堂	
女子用 日本史教科書	峰岸米造	菊判洋裝	上・八八	大正十四年一月八日八版發行	光風館	
女子用上級用 日本史教科書	峰岸米造	菊判洋裝	下・二四	大正十四年一月十六日文科省檢定	同	
日本史講話	萩野由之	菊判布裝	七・〇〇	神代より世界戰役の終結に至る迄の我が國史	明治書院	
受 日本史の準備	佐々木恒清	總布裝	一・三〇	學生を棒暗記に終始せしめる教科書の宿弊を	研究社	
日本神代物語	小笠原省三	菊判洋裝	一・〇〇	古事記日本書紀舊事記等の神代卷を最も解り	會通社	
日本神話	鈴木友吉	四〇二頁	二・〇〇	日本の神話は解り易く面白く讀めるやうに、	磯部甲陽堂	

日本西教史全二冊	太政官	菊判布装各五〇頁送	各五〇頁送	三〇〇	日本を歐洲に紹介した史籍中最も古く又最も著名なものである足利時代より徳川時代に至る基督教及當時の世相を詳説せる史籍也。	太陽堂
日本國民史	小林篤里	美四六装判送	各六〇	六〇	神代の昔より健國既に三千年。我國體の精華は燦然として世界に輝いてゐる。本書は今迄の歴史書と異り興味中心通俗的に叙せるもの	文藝社
建國より平安朝へ	小林篤里	美四六装判送	六〇	六〇	平安時代さいひ、奈良時代さいひ偶然にあの隆盛を見たのではな。建國の昔から既にその準備がなされた。本書はそれを平易に著す	同
源家と平家	小林篤里	美四六装判送	六〇	六〇	我が國の歴史を通じて、源平時代は対立して戦つた時代はな。源平時代は源家と平家の人々を叙べ且つ兩武家盛衰を流麗に記せる物。	同
鎌倉幕府時代	小林篤里	美四六装判送	六〇	六〇	富士河の水鳥の音に軍を亂し、平家に對して關東武士の活躍は中心に當時の歴史を書きしもの。	同
吉野を護る人々	小林篤里	美四六装判送	六〇	六〇	日本歴史を編く者誰か吉野朝廷時代に最も興々を引かれざるものあらんや。本書は當時の人々を中心としてこの時代の歴史を述べしもの	同
建武の中興	小林篤里	美四六装判送	六〇	六〇	我歴史上二大變革と云へば古くは建武の中興新しくは明治の維新である。本書は建武の中興當時の史實を詳細に述べた興味多きもの。	同
勤王の輩出	小林篤里	美四六装判送	六〇	六〇	専心朝廷を助けて勤王の實を擧げた志士の活躍を中心とし、これにまつはる史實を述べ、興味深く當時を偲ばしむるものである。	同
足利幕府の建設	小林篤里	美四六装判送	六〇	六〇	足利十五代榮華の基礎が築かる、迄には波瀾多く隠れたる事實がある。本書は其當時の有様を詳説したるもの。	同
應仁の亂前後	小林篤里	美四六装判送	六〇	六〇	嘉吉の變より太田道灌、關東の騷亂、義政の奢侈、銀閣寺、宗全と勝元、相國寺の戦等。(以下 續刊一現代迄)	同

日本通史	高桑駒吉	菊判洋装	四六判	五〇〇	内外の歴史に精通し特に日本史に造詣深き著者が苦心六年遂に本書を大成せり記事事實所説穩健行文流暢國史中の快著也。	弘道館
日本傳説研究 全五卷	藤澤衛彦	各四〇〇頁送	各五〇	二〇〇	傳説は民族心理の所産、史的傳承の口碑である。本書は此等傳説の粹を集め、夫々の淵源に溯りて考證吟味、日本傳説稀有の研究書也。	大燈閣
日本傳説集	高木敏雄	菊判上装送	三〇七頁送	二五〇	全國に傳承さる多くの傳説中より二百五十餘篇の代表的趣味深き口碑傳説を學術上の名目に分類し解説を加へた傳説研究民間採訪書	武蔵野書院
日本讀史年表	大森金五郎	三六六判送	一〇九	一四〇	千支年號天皇先皇院政皇族執政大臣大連攝關三公將軍執權六波羅探題管領關東管領大老中老所司代明治政府諸卿表諸大臣重要事項等	日用書房
日本先住民の研究	大野雲外	一六六判送	一五〇	一八〇	先住民時代の遺跡遺物を實踐研究せられ、其事實に基き、當時の文化變遷風俗等の状態を詳説せし尤も有益にして興味ある説を發表す	磯部甲陽堂
日本風俗史 (祖先の生活)	上里朝秀	二八三判送	二〇〇	二二〇	祖先の生活状態を此の程度に記述したものは恐らく本書のみであらう。歴史學習上の好參考である。	イデア書院
日本風俗史要	坂本健一	三三三判送	二八〇	一八〇	上代より大正に至る世相變遷を圖解を加へ通俗に詳説したるもの。各時代に於ける制度産業冠婚葬祭流行歌舞雜技年中行事等を説く良書	武蔵野書院
日本文化史概観	藤崎俊茂	四八〇判送	二二〇	二二〇	本書は社會學政治經濟學心理宗教哲學藝術等の立場より眺め日本文化三千年の變革を詳説せられしもの未だ曾てなき新研究の結晶也。	弘學館
日本紋章學	沼田頼輔	一六〇〇判送	二五〇	四〇〇	紋章學の權威沼田先生が紋章に關する有らゆる研究を網羅した大著である紋章について知らうとするには本書を措いて他にない。	明治書院
日本歴史	長沼賢海	五六四頁送	二二〇	二二〇	教科書を中心にして材料を取捨按配し、受験生並に更に進んで日本歴史を研究せんとするもの参考として隨一の著作。	博文館

註釋	最新	修正	日本	日本	日本	女子	分類	私娼	公娼
日本歴史	日本歴史解釋	日本歴史受験の研究	日本歴史詳解	日本歴史精要	日本歴史地圖	日本歴史地圖	日本歴史年表	人情變遷史	人情變遷史
文野博士	妻木忠太	板澤武雄	島田增平	藤澤直枝	芝葛盛	峰岸米造	島田增平	石井龍藏	石井龍藏
六〇〇頁	五九四頁	三六八頁	三三五頁	六四五頁	一二〇頁	一〇三頁	三四〇頁	三四〇頁	三四〇頁
送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價
三・八〇	一・五〇	一・三〇	一・四〇	五・二〇	一・五〇	六・五〇	一・五〇	一・五〇	一・五〇
史學界の最高權威たりし故博士の代表的著作として重版したる最良の標準書として推稱する。名著、日本歴史の標準書として推稱する。	主要の始めにまづその大綱を示し、次にそのに徹し得べからしめた獨創的述作である。	官公私立高等程度の學校文檢試験問題より選び問題の傾向を知り明快なる答案を作成し便に排し得べからしめた獨創的述作である。	太古より現今まで國史の重要事項を教科書順に排し得べからしめた獨創的述作である。	日本史を研究し又は教授する者の参考書として著述されたもので其の編述の方法には特別の苦心が拂はれて親切を極めた好著である。	現代地名と歴史的名蹟とを對照せしめ一目古今の變遷を識別し易からしめたもので内容も詳密正確を極め國史地圖中第一の好著である。	碩學吉田東伍先生一代の論文數百篇中よりその精華を抜いて一書とせしめるもの地理歴史の綜合的研究書なり。	重要事項を政治外交、軍事、宗教、文學美術に分類し、更に朝鮮、支那の時代を對照してある。一般に學生に必携の書である。	私娼公娼の歴史より其人情の如何に變遷せしかを時代的に記述されたるもの。正に天下の奇書一讀巻を掩ふ能はず。	私娼公娼の歴史より其人情の如何に變遷せしかを時代的に記述されたるもの。正に天下の奇書一讀巻を掩ふ能はず。
博文館	有朋堂	高岡本店	寶文館	古今書院	明治書院	光風館	富山房	文友社	日本書院

幕府	幕末	服制	平家	平家	平家	平家	保元	保元	鏡	鏡
瓦解史	明治裏面史	の研究	詩史	物語評釋	平治物語	平治物語	平治物語	平治物語	鏡	鏡
熊田葦城	藤森花影	關根正直	村山龜齡	内海弘藏	鳥野幸次	上田萬年	上田萬年	上田萬年	和田英松	上田萬年
文庫型	洋裝	洋裝	菊判	菊判	菊判	菊判	菊判	菊判	菊判	菊判
後二六頁	三八〇頁	二八五頁	六六五頁	七八〇頁	三五〇頁	一四四頁	一四四頁	一四四頁	三三〇頁	一四四頁
送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價
一・三〇	一・〇〇	二・二〇	三・八〇	四・五〇	一・五〇	〇・六一	〇・六一	〇・六一	一・五〇	〇・六一
著者一流の詩趣津津たる妙筆を以て、小説よりも奇なる幕府瓦解の史實を描寫したもので津波籠城を中心とした點特に其一異彩である。大日本裏面史の姉妹編として成つたもので、から幕末維新の秘史を發表したるもの。日本民族の生活の一表現である服制の研究書であつて太古より現代までの服制の様々を挿繪入りして丁寧に説いたものである。	本書は實に一大史傳にして一大詩篇、まさしく明治大正にわたれる第一の歴史文學、文章の活参考書なり。中等學校教科書に轉載平家物語中の意義あり趣味ある名文を抄録す教科用又は家庭の自習讀み本として適宜なり	平家物語に丁寧な解釋を施し且つ文の巧拙を論じ全編の結構一段の趣向までなほ批判したもので研究者及び學生の好参考書である。	保元物語平治物語を併せて親切なる標註を加へたるもの卷末に添へたる系統作者文章等に對する考説は甚だ有益なり。	保元平治間の亂離の史實を知るのみならず戦記文として國語の剛健と典雅とを見るべき好書である。	増鏡に簡明なる標註を施したもので教科書として又學生用参考書として至便の書である。	教科用として補助讀本として使用するに適典的趣味を知り且假名敘事の方法に通ず。	教科用として補助讀本として使用するに適典的趣味を知り且假名敘事の方法に通ず。	教科用として補助讀本として使用するに適典的趣味を知り且假名敘事の方法に通ず。	教科用として補助讀本として使用するに適典的趣味を知り且假名敘事の方法に通ず。	教科用として補助讀本として使用するに適典的趣味を知り且假名敘事の方法に通ず。
有朋堂	日本書院	古今書院	銀鈴社	明治書院	同	大日本圖書會社	大日本圖書會社	大日本圖書會社	明治書院	大日本圖書會社